

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第316集

# 山王山遺跡第9次発掘調査報告書

盛岡地方気象台建設関連遺跡発掘調査



(財) 岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター

# **山王山遺跡第9次発掘調査報告書**

**盛岡地方気象台建設関連遺跡発掘調査**

## 序

岩手県には旧石器時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地が各地域にあり、平成10年度の岩手県教育委員会のまとめでは9,900箇所を超えております。先人の残したこれらの埋蔵文化財を保護し、保存してゆくことは私達県民に課せられた重大な責務であります。

一方、本調査の原因となりました盛岡地方気象台建設を例にあげるまでもなく、現代社会を豊かにし、快適な生活をおくるための情報処理業務の拡充もまた切実な願いであります。埋蔵文化財の保護・保存と開発という、相容れない要素をもつ事業の調和のとれた施策が今日的な課題となっております。財團法人岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、埋蔵文化財保護の立場にたって、県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむをえず消滅する遺跡について発掘調査を行い、記録保存する措置をとつてまいりました。

本書は、盛岡地方気象台建設に関連した山王山遺跡の調査結果をまとめたものであります。遺跡は、北に中津川、南に篆川、西に北上川に囲まれた丘陵地に立地した縄文時代早期と中期を中心とした集落跡であることが明らかになりました、竪穴住居跡、土坑など各種の遺構や多くの遺物が発見されました。本書が広く活用され、考古学の研究に寄与するとともに、埋蔵文化財に対する理解をいっそう深めることに役立つことを切に希望いたします。

最後になりましたが、発掘調査および報告書作成にご協力とご援助を賜わりました盛岡市教育委員会、盛岡地方気象台をはじめとする多くの関係諸機関・関係各位に衷心より感謝申し上げます。

平成11年11月

財團法人 岩手県文化振興事業団  
理事長 船 越 昭 治

## 例　　言

1. 本書は、岩手県盛岡市山土町7-60に所在する山王山遺跡の第9次発掘調査報告書である。

2. 本遺跡の岩手県遺跡登録台帳の遺跡番号と遺跡略号は次のとおりである。

　山王山遺跡第9次調査　遺跡番号：LE17-0068

　遺跡略号：SNY-98

3. 本遺跡の開査は、盛岡地方気象台建設に伴う緊急調査である。調査は、岩手県教育委員会・盛岡市教育委員会・建設省東北地方建設局との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。

4. 野外調査の期間と調査面積・調査担当者は次のとおりである。

　調査期間　平成10年4月8日～8月6日

　調査面積　2,000m<sup>2</sup>

　調査担当者　菊地榮壽・岩沼計・布谷義彦

5. 室内整理作業の期間と担当者は次のとおりである。

　整理期間　平成10年11月1日～平成11年3月31日

　整理担当者　菊地榮壽・岩沼計・布谷義彦

6. 出土品の鑑定および分析は、次の機関に依頼した。

　炭化材樹種同定　高橋利彦（木工舎「ゆい」）

　炭化材樹種同定　早坂松次郎（岩手県木炭協会）

　石材鑑定　花崗岩研究会：代表矢内圭三

7. 基準点測量は次の機関に委託した。

　東北エンジニアリング株式会社

8. 空中写真撮影は次の機関に委託した。

　東邦航空株式会社

9. 発掘調査において次の機関のご協力を得た。

　盛岡市教育委員会・流沢村教育委員会・盛岡地方気象台

10. 野外調査と室内整理・報告書の作成にあたっては次の方々のご指導・ご協力をいただいた。

　佐々木勝・佐藤嘉広（岩手県教育委員会）

　八木光則・似内啓邦・藤岡光男・室野秀文・神原雄一郎（盛岡市教育委員会）

　柄牛正一・吉田努（流沢村教育委員会）

11. 野外調査では山王地区・流沢村をはじめとする地元の方々のご協力をいただいた。

12. 本書の原稿執筆・編集は、菊地榮壽が担当した。

13. 本遺跡で出土した遺物および調査資料は、岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。

## 目 次

序

例言

目次

### <本 文>

I. 調査に至る経過.....	1
II. 遺跡の立地と環境.....	1
1. 遺跡の立地と地形・地質.....	1
2. 遺跡の基本層序.....	7
3. 周辺の遺跡.....	7
III. 調査の方法と室内整理.....	11
1. 野外調査.....	11
2. 室内整理.....	13
IV. 検出された遺構と遺物.....	17
1. 穴状遺構.....	17
2. 壓穴住居跡.....	19
3. 土坑.....	64
4. 焼土遺構.....	113
5. 柱穴状小土坑群.....	114
V. 出土遺物 .....	117
1. 土器 .....	117
2. 石器 .....	119
3. 土製品 .....	120
4. 石製品 .....	120
5. 金属製品 .....	120
VI. まとめ .....	180
VII. 分析・鑑定 .....	182
報告書抄録 .....	294

### < 表 >

第1表 周辺の遺跡一覧表.....	9
第2表 穴穴住居跡観察表.....	62
第3表 土坑観察表.....	65
第4表 土器観察表 .....	171
第5表 石器観察表 .....	177
第6表 土製品観察表 .....	179
第7表 石製品観察表 .....	176
第8表 金属製品観察表 .....	179

## <図 版>

第1図 岩手県全図	2	第41図 R D008・009・011・012土坑	85
第2図 遺跡の位置図	3	第42図 R D013・015・016・017土坑	86
第3図 岸辺地区地形分類図	4	第43図 R D018・019・020・021土坑	87
第4図 周辺地形図（1）	5	第44図 R D022・023・024・025土坑	88
第5図 岸辺地形図（2）	6	第45図 R D026・027・028・029土坑	89
第6図 基本編序	7	第46図 R D030・031・032・034土坑	90
第7図 周辺の遺跡分布図	8	第47図 R D033・036・037土坑	91
第8図 グリッド配置図	11	第48図 R D035・039・042・044土坑	92
第9図 造様実測圖凡例	14	第49図 R D043・045・049・050土坑	93
第10図 遺物実測圖凡例	14	第50図 R D051・052・053・054・055・056土坑	94
第11図 遺構配図	15	第51図 R D057・058・059・060土坑	95
第12図 R E001堅穴状遺構	17	第52図 R D062・063・064・065土坑	96
第13図 R E002堅穴状遺構	18	第53図 R D066・067・070・071土坑	97
第14図 R A001堅穴住居跡	20	第54図 R D068・069・075・076土坑	98
第15図 R A002堅穴住居跡（1）	21	第55図 R D072・074・077・078土坑	99
第16図 R A002堅穴住居跡（2）	23	第56図 R D079・080・082・083土坑	100
第17図 R A003堅穴住居跡	25	第57図 R D084・085・086・087土坑	101
第18図 R A004堅穴住居跡	27	第58図 R D089・091・092・093土坑	102
第19図 R A005・006堅穴住居跡	29	第59図 R D096・097・098・099土坑	103
第20図 R A007堅穴住居跡	30	第60図 R D100・101・102・103土坑	104
第21図 R A008堅穴住居跡（1）	32	第61図 R D104・105・107・108・110・111土坑	105
第22図 R A008堅穴住居跡（2）	33	第62図 R D106・109・112・113・115・ 125・126・141土坑	106
第23図 R A009堅穴住居跡	35	第63図 R D116・117・118・119土坑	107
第24図 R A010堅穴住居跡	37	第64図 R D120・121・122・123土坑	108
第25図 R A011堅穴住居跡	38	第65図 R D124・127・128・129土坑	109
第26図 R A012堅穴住居跡	39	第66図 R D130・131土坑	110
第27図 R A015堅穴住居跡	41	第67図 R D132・133・134・135・140土坑	111
第28図 R A016堅穴住居跡（1）	42	第68図 R D136・137・138・139土坑	112
第29図 R A016堅穴住居跡（2）	43	第69図 R F001・003焼上遺物	113
第30図 R A017・025・030堅穴住居跡	44	第70図 R Z001柱穴状小土坑群	115
第31図 R A018（1）・021堅穴住居跡	46	第71図 R Z002柱穴状小土坑群	116
第32図 R A018堅穴住居跡（2）	47	第72図 R E001（1）出土遺物	121
第33図 R A019堅穴住居跡	49	第73図 R E001（2）出土遺物	122
第34図 R A020堅穴住居跡	51	第74図 R E001（3）・002出土遺物	123
第35図 R A022堅穴住居跡	53	第75図 R A001・002・003（1）出土遺物	124
第36図 R A023堅穴住居跡	55	第76図 R A003（2）・004（1）出土遺物	125
第37図 R A024・027堅穴住居跡	57	第77図 R A004（2）出土遺物	126
第38図 R A026堅穴住居跡	58	第78図 R A004（3）出土遺物	127
第39図 R A034堅穴住居跡	60	第79図 R A004（4）・005出土遺物	128
第40図 R A035堅穴住居跡	61		

第80回	R A006・007・008 (1) 出土遺物	129
第81回	R A008 (2) 出土遺物	130
第82回	R A008 (3) 出土遺物	131
第83回	R A008 (4) 出土遺物	132
第84回	R A009・010・011 (1) 出土遺物	133
第85回	R A011 (2)・012 (1) 出土遺物	134
第86回	R A012 (2)・015 (1) 出土遺物	135
第87回	R A015 (2)・016 (1) 出土遺物	136
第88回	R A016 (2)・017出土遺物	137
第89回	R A018 (1) 出土遺物	138
第90回	R A018 (2) 出土遺物	139
第91回	R A018 (3) 出土遺物	140
第92回	R A019・020 (1) 出土遺物	141
第93回	R A020 (2) 出土遺物	142
第94回	R A021・022・023 (1) 出土遺物	143
第95回	R A023 (2)・024出土遺物	144
第96回	R A025・026出土遺物	145
第97回	R A027・030・034出土遺物	146
第98回	R A028出土遺物	147
第99回	R D008・009・011・012 (1) 出土遺物	148
第100回	R D012 (2)・013・016・ 018・019出土遺物	149
第101回	R D020・024・027・028・029・030・ 033 (1) 出土遺物	150
第102回	R D033 (2)・036・037・039・ 042・043出土遺物	151
	R D044・049 (1) 出土遺物	152
第104回	R D049 (2)・050・051・052・ 053・054出土遺物	153
第105回	R D057・058・059・060・062・063・064・ 065・066・068・069・070出土遺物	154
第106回	R D071・072・076・077・078・079・080・ 084・086出土遺物	155
第107回	R D087・089・091・092出土遺物	156
第108回	R D096・098・099・100・101・102・ 104・105・106・108出土遺物	157
第109回	R D109・110 (1) 出土遺物	158
第110回	R D110 (2)・112・113・115・116・117・ 118・120出土遺物	159
第111回	R D121・123出土遺物	160
第112回	R D124・127・128・129・130・131・ 132・133出土遺物	161
第113回	R D134出土遺物	162
第114回	造構外出土遺物 (1)	163
第115回	造構外出土遺物 (2)	164
第116回	造構外出土遺物 (3)	165
第117回	造構外出土遺物 (4)	166
第118回	造構外出土遺物 (5)	167
第119回	造構外出土遺物 (6)	168
第120回	造構外出土遺物 (7)	169
第121回	造構外出土遺物 (8)	170

## <写真図版>

写真図版 1	埋甕 (R A018内出土)	185
写真図版 2	埋甕・三角彫形石製品	186
写真図版 3	埋甕出土状況 (R A018・020)	187
写真図版 4	遺跡全貌	188
写真図版 5	調査区現況	189
写真図版 6	調査区現況・基本層序	190
写真図版 7	R E001堅穴狀遺構	191
写真図版 8	R E002堅穴狀遺構	192
写真図版 9	R A001堅穴住居跡	193
写真図版10	R A002堅穴住居跡	194
写真図版11	R A003堅穴住居跡	195
写真図版12	R A004堅穴住居跡	196
写真図版13	R A005堅穴住居跡	197
写真図版14	R A006堅穴住居跡	198
写真図版15	R A007堅穴住居跡	199
写真図版16	R A008堅穴住居跡	200
写真図版17	R A009堅穴住居跡	201
写真図版18	R A010堅穴住居跡	202
写真図版19	R A011堅穴住居跡	203
写真図版20	R A012堅穴住居跡	204
写真図版21	R A015堅穴住居跡	205
写真図版22	R A016堅穴住居跡	206
写真図版23	R A017堅穴住居跡	207
写真図版24	R A018堅穴住居跡 (1)	208
写真図版25	R A018堅穴住居跡 (2)	209
写真図版26	R A019堅穴住居跡 (1)	210
写真図版27	R A019堅穴住居跡 (2)	211
写真図版28	R A020堅穴住居跡 (1)	212

写真図版29	R A 020堅穴住居跡（2）	213	写真図版69	遺構内出土遺物（2）	253
写真図版30	R A 021堅穴住居跡	214	写真図版70	遺構内出土遺物（3）	254
写真図版31	R A 022堅穴住居跡	215	写真図版71	遺構内出土遺物（4）	255
写真図版32	R A 023堅穴住居跡	216	写真図版72	遺構内出土遺物（5）	256
写真図版33	R A 024堅穴住居跡	217	写真図版73	遺構内出土遺物（6）	257
写真図版34	R A 025堅穴住居跡	218	写真図版74	遺構内出土遺物（7）	258
写真図版35	R A 026堅穴住居跡	219	写真図版75	遺構内出土遺物（8）	259
写真図版36	R A 027・030堅穴住居跡	220	写真図版76	遺構内出土遺物（9）	260
写真図版37	R A 031堅穴住居跡	221	写真図版77	遺構内出土遺物（10）	261
写真図版38	R A 035堅穴住居跡	222	写真図版78	遺構内出土遺物（11）	262
写真図版39	R D 008・009・011・012土坑	223	写真図版79	遺構内出土遺物（12）	263
写真図版40	R D 013・015・016・017土坑	224	写真図版80	遺構内出土遺物（13）	264
写真図版41	R D 018・019・020・021土坑	225	写真図版81	遺構内出土遺物（14）	265
写真図版42	R D 022・023・024・025土坑	226	写真図版82	遺構内出土遺物（15）	266
写真図版43	R D 026・027・028・029土坑	227	写真図版83	遺構内出土遺物（16）	267
写真図版44	R D 030・031・032・033土坑	228	写真図版84	遺構内出土遺物（17）	268
写真図版45	R D 034・035・036・037土坑	229	写真図版85	遺構内出土遺物（18）	269
写真図版46	R D 039・042・043・044土坑	230	写真図版86	遺構内出土遺物（19）	270
写真図版47	R D 045・049・050・051土坑	231	写真図版87	遺構内出土遺物（20）	271
写真図版48	R D 052・053・054・055土坑	232	写真図版88	遺構内出土遺物（21）	272
写真図版49	R D 056・057・058・059土坑	233	写真図版89	遺構内出土遺物（22）	273
写真図版50	R D 060・062・063・061土坑	234	写真図版90	遺構内出土遺物（23）	274
写真図版51	R D 065・066・067・068土坑	235	写真図版91	遺構内出土遺物（24）	275
写真図版52	R D 069・070・071・072土坑	236	写真図版92	遺構内出土遺物（25）	276
写真図版53	R D 074・075・076・077土坑	237	写真図版93	遺構内出土遺物（26）	277
写真図版54	R D 078・079・080・082土坑	238	写真図版94	遺構内出土遺物（27）	278
写真図版55	R D 083・084・085・086土坑	239	写真図版95	遺構内出土遺物（28）	279
写真図版56	R D 087・089・091・092土坑	240	写真図版96	遺構内出土遺物（29）	280
写真図版57	R D 093・094・096・097土坑	241	写真図版97	遺構内出土遺物（30）	281
写真図版58	R D 098・099・100・101・102土坑	242	写真図版98	遺構内出土遺物（31）	282
写真図版59	R D 103・104・105・106土坑	243	写真図版99	遺構内出土遺物（32）	283
写真図版60	R D 108・109・110・111土坑	244	写真図版100	遺構内出土遺物（33）	284
写真図版61	R D 112・113・115・116土坑	245	写真図版101	遺構内出土遺物（34）	285
写真図版62	R D 117・118・119・120土坑	246	写真図版102	遺構外出土遺物（1）	286
写真図版63	R D 121・122・123・124土坑	247	写真図版103	遺構外出土遺物（2）	287
写真図版64	R D 125・126・127・128・129土坑	248	写真図版104	遺構外出土遺物（3）	288
写真図版65	R D 130・131・132・133・134土坑	249	写真図版105	遺構外出土遺物（4）	289
写真図版66	R D 135・136・138・139土坑	250	写真図版106	遺構外出土遺物（5）	290
写真図版67	R F 001・003土坑・遺構		写真図版107	遺構外出土遺物（6）	291
写真図版68	R Z 002柱穴状小土坑群	251	写真図版108	遺構外出土遺物（7）	292
	遺構内出土遺物（1）	252	写真図版109	遺構外出土遺物（8）	293

## I. 調査に至る経過

盛岡地方気象台は大正12年（1923）に建築され、その後、気象業務の拡充に応じ昭和11年（1936）に一部増築された。しかしながら、経年による老朽化と近年の情報処理装置の新規導入に伴う狹隘化を解消するため、現敷地で庁舎を建て替えすることになり、平成8年に予算化され、平成9年3月に工事が発注された。

工事は、はじめに隣接する別敷地に仮設庁舎を建設し、既存庁舎の取り壊しを経て、新庁舎を建設するものであった。しかしながら、既存庁舎の取り壊しに先立ち、盛岡市教育委員会により試掘調査を行ったところ、上器破片や豈穴住居跡が確認され、岩手県教育委員会と盛岡市教育委員会の協議の結果、本格的な埋蔵文化財の調査を急遽平成10年度に行うこととなった。

これを受けて（財）岩手県文化振興事業団は山王山遺跡について、平成10年4月1日付で、建設省東北地方建設局と委託契約を締結し、4月8日から発掘調査に着手した。

報告書作成にかかる室内整理は、平成10年11月1日～平成11年3月31日まで実施し、報告書は平成11年度の刊行とした。

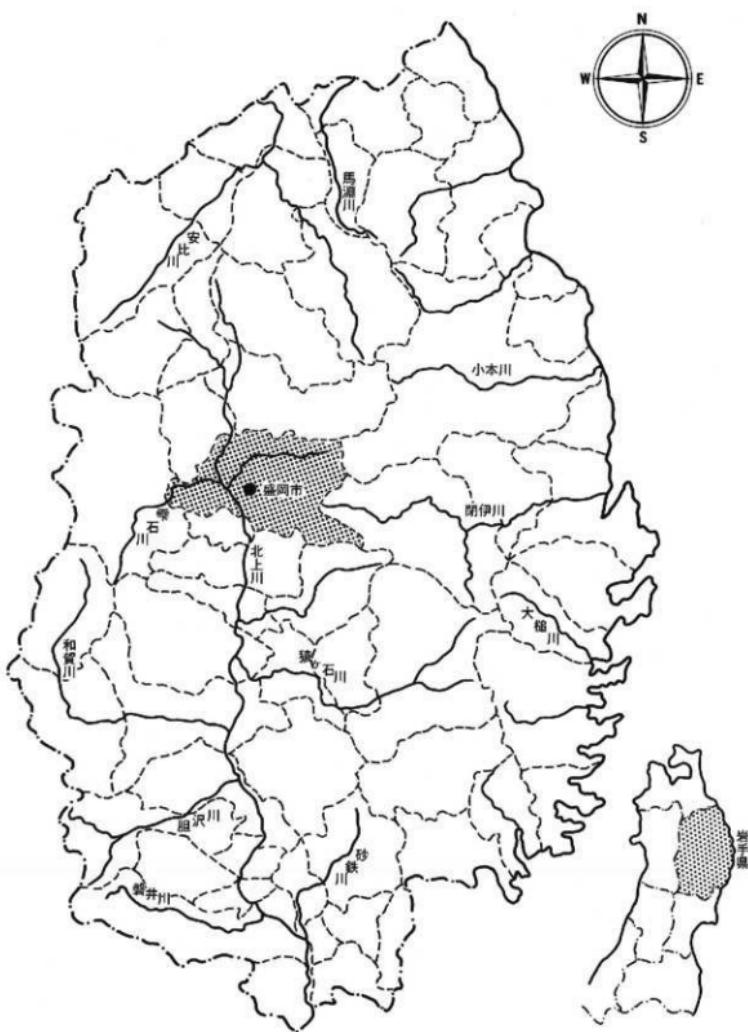
## II. 遺跡の立地と環境

### 1 遺跡の立地と地形・地質（第1・2・3・4・5図）

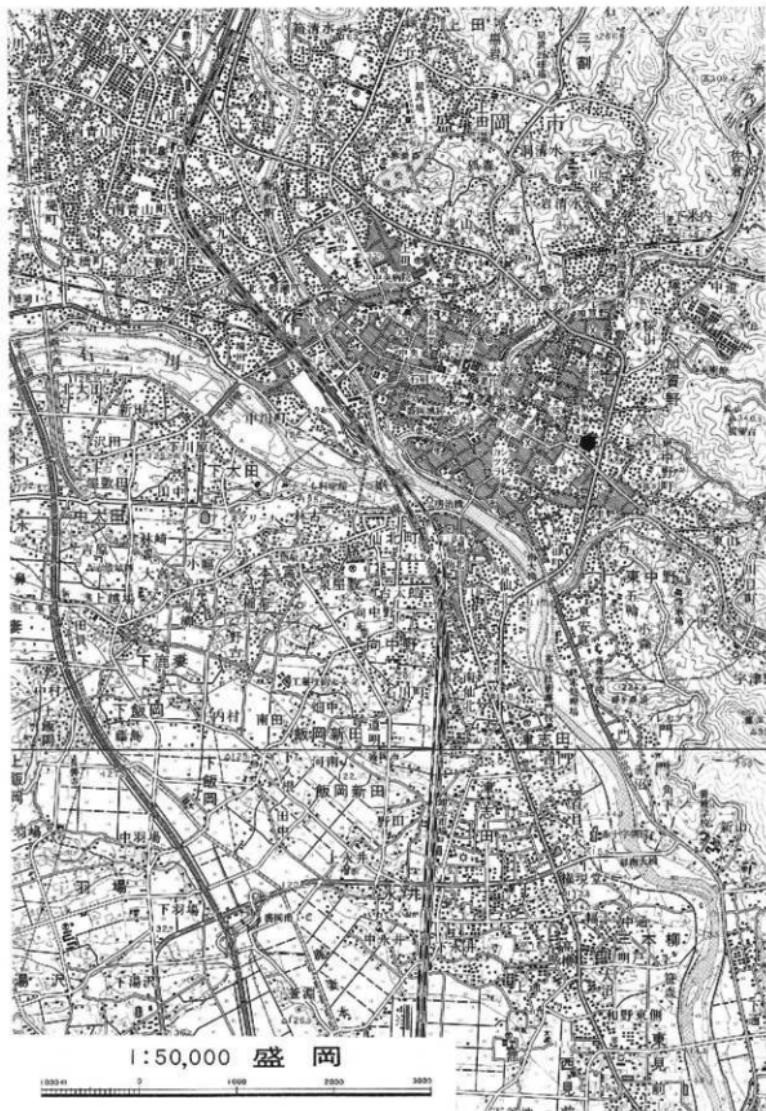
山上山遺跡の所在する盛岡市は、岩手県の中央に位置し、北は岩手郡滝沢村・玉山村、東は下閉伊郡岩泉町・川井村、南は紫波郡紫波町・稗貫郡大迫町、西は岩手郡平石町に接する。面積489.15km<sup>2</sup>、人口約28万3千人の岩手県の県庁所在地である。

市域の中央部を北上川が、西からの零石川、東からの中津川・篠川を合わせて南流し、東西に走る山々に挟まれた盛岡盆地を形成する。北西には岩手山（2,038m）がコニーデ火山特有の枕野を東方に広げ、北東にはその形状から女性にたとえられる姫神山（1,124.5m）が、岩手山と向き合うように優美なシルエットを映し出し、南東には北上山地の最高峰早池峰山（1,913.5m）が定窓性を示す周囲の山塊からひとときわ抜きん出た山稜を望ませている。北上川は、主流部の延長243km、流域面積10,720km<sup>2</sup>、支流数216を有する東北地方最大の河川で、西側に連なる奥羽脊梁山脈と東側に広がる北上山地の間の低地帯を満喰し、宮城県石巻湾に注ぐ。流域は、盛岡市北部の四十四田峡谷と一関市狐神寺峡谷を境にして上・中・下流に分けられ、盛岡は中流域の上流部にある。中流域の地形は、背後に控える山地構造の違いによって対照的な様相を呈し、新第三系および火山岩類を主体とする褶曲山脈である奥羽山脈は、各支流に多量の土砂を供給し、大小の扇状地が複合する広い平野部を北上川西岸に作り出している。これらの扇状地は更新世中・後期に形成されたもので、支流によって開拓され段丘化している。対して老年期山地がその後の地殻変動によって隆起準平原化した北上山地側は、山地に続く丘陵部に小規模な段丘と冲積地が観察されるにすぎない。北上川流域の第四系および地形の研究は中川久太郎の業績が大きく、中流域の段丘を上部から西横段丘・村崎野段丘、金ヶ崎段丘に分類した。中流域北部では、石鳥谷段丘、二枚橋段丘、都南段丘が上記の段丘に相当する。

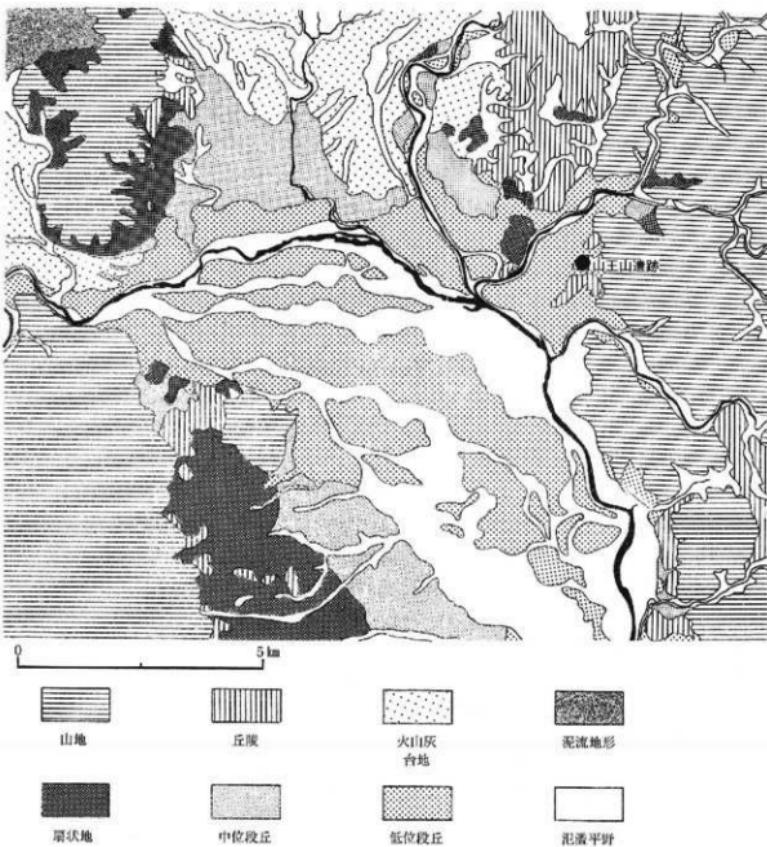
山王山遺跡は、北緯39°41'45"、東経141°10'8"に位置し、国土地理院の1:50,000の地形図では「盛岡」（N J - 54-13-14）の園幅に含まれる。遺跡は、東日本旅客鉄道東北本線盛岡駅の東約2.5km付近で、北上川支流の中津川・篠川流域に発達した低位段丘と岩山や大森山を含む建石山山地の小起伏山地の間に形成された丘陵に立地している。標高は155m前後で、現況は盛岡地方気象台跡地である。



第1図 岩手県全図



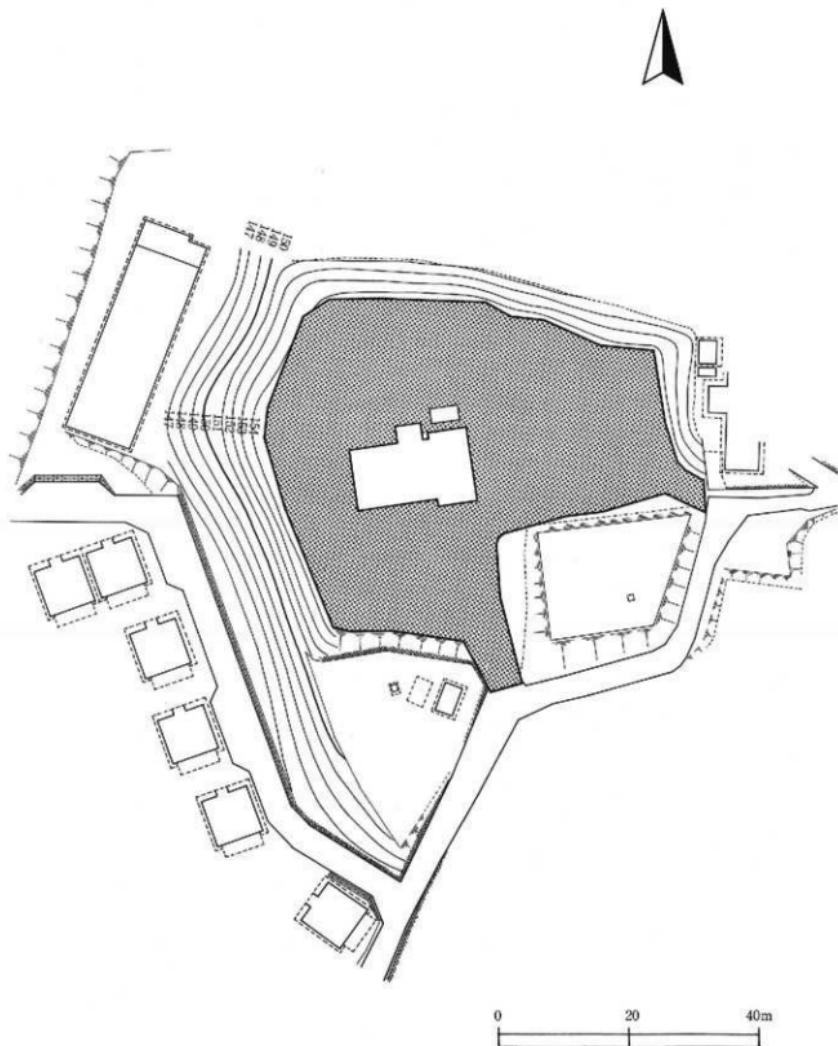
第2図 遺跡の位置図



第3図 周辺地区地形分類図



第4図 周辺地形図（1）



第5図 周辺地形図（2）

## 2 遺跡の基本層序（第6図）

調査区に10箇所の試掘を入れ、調査区北側東隅に深掘りを行い、基本層序を確認した。

I a層 黒褐色土 現表土で層厚4~20cm。

I b層 黄褐色土 庁舎建設時の切土を盛った土である。層厚20~30cm。

I c層 黒褐色土 調査区北側の縁際に堆積している。縄文中期の土器片を含む。層厚0~50cm。

I d層 黒褐色土 調査区北側の縁際に堆積している。I c層より締まりがある。層厚25~60cm。

II層 暗褐色土 炭化物を含む。縄文時代中期の遺構検出面で、細分も可能である。層厚6~20cm。

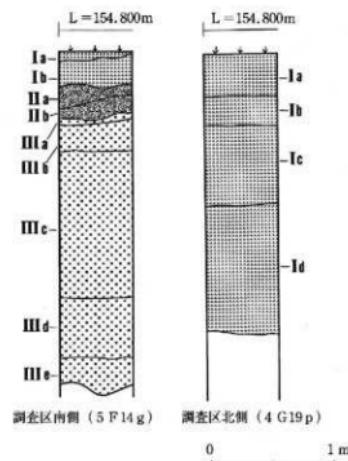
III a層 褐色土 基盤となる層で、縄文時代早期の遺構検出面である。層厚5~20cm。

III b層 明黄褐色土 層厚0~20cm。

III c層 黄褐色土 層厚50~120cm。

III d層 褐色土 粘性・締まりあり。層厚50cm前後。

III e層 にぶい黄褐色土 層厚は不明。



第6図 基本層序

## 3 周辺の遺跡（第7図）

平成10年度の岩手県教育委員会のまとめでは、盛岡市内に506カ所の遺跡が登録されている。遺跡の分布状況をみると、零石川左岸と右岸では対照的な様相を示している。左岸の台地上は大館遺跡群をはじめとした縄文時代の遺跡が数多く分布しているが、右岸の完新世段丘面上には、古代の遺跡が多い。たとえば、八ヶ遺跡などの8世紀代の集落遺跡、太田蝦夷森古墳群、803年に造営された城柵遺跡である志波城、林崎遺跡などの集落遺跡が数多く分布している。縄文時代の遺跡は陥し穴状遺構が散在する程度であり、住居跡や貯蔵穴などをもつ集落遺跡は確認されていない。このような遺跡の分布の相違は、立地する地形と深い関係があると考えられる。

本遺跡は、北上川支流の中津川・篠川流域に発達した低位段丘と岩山や大森山を含む建石山山地の小起伏山地の間に形成された丘陵に立地している。周辺には、縄文時代中期から後期の大久保遺跡・縄文時代後期～晩期の大塚遺跡・鼻子遺跡・新庄遺跡・瀬戸遺跡、縄文時代中期～後期の包含層のある小山遺跡、中期初等の集落遺跡である砂溜遺跡がある。中津川と米内川の合流点には、縄文時代中期の集落遺跡である柿ノ木平遺跡、米内川流域には、縄文時代中期～晩期の複合遺跡である上米内遺跡や向館遺跡がある。篠川流域には、中期～後期の川目遺跡、前期～中期の二反田遺跡がある。

山王山遺跡で調査された縄文時代中期の集落の視点でみると、盛岡低地の中心部、北上川と零石川に挟まれた地点に拠点となる大館町遺跡があり、周辺から北上川に流れ込む各河川の流域にも拠点となる大集落が確認されている。零石川流域の磐遺跡、中津川流域の柿ノ木平遺跡、米内川流域の上米内遺跡、篠川流域の川目c遺跡などである。ただしこれら個々の遺跡の様相は一様ではない。これらの遺跡と山王山遺跡との比較検討が、今後の課題である。



第7図 周辺の遺跡分布図

第1表 周辺の遺跡一覧表

No.	遺跡名	時代・時期	所在地	備考
1	通原塗	縄文・古(6)	盛岡市	
2	松尾塗	早房・中期	盛岡市	H.5. 岩塚文調査 集落跡 分場跡
3	小島沢A・S	晩期末～中期初	盛岡市	S.58(C)・S.59(E)・S.60(B)・S.63 市教育委員会(吉野樹) 計量跡
4	庄ヶ畠A		盛岡市	
5	庄ヶ畠B		盛岡市	
6	庄ヶ畠C・D		盛岡市	
7	庄ヶ畠E		盛岡市	
8	道の下A		盛岡市	S.63. 市教育委員会
9	道の下B	前期・中期	盛岡市	
10	木内沢B		盛岡市	
11	木内沢A	前期・晚期	盛岡市	
12	下三沢	前期・晚期	盛岡市	
13	下二沢	前期・晚期	盛岡市	
14	口巣瀬	中期・晚期	盛岡市	
15	矢沢	後期・晚期	盛岡市	盛岡市史
16	大崎新田	後期	盛岡市	
17	尖沢口		盛岡市	
18	畠	中期・晚期	盛岡市	
19	音沢下		盛岡市	
20	音沢	中期・後期	盛岡市	
21	北沢	中期・後期	盛岡市	
22	畠井	前期・中期	盛岡市	盛岡市史
23	向鉢	中期・後期	盛岡市	H.4. 岩塚文調査 集落跡 中期・後期集落跡
24	向鉢	縄文	盛岡市	
25	上木内	中期・晚期	盛岡市	S.63. 市教育委員会 集落跡 H.4～6 岩塚文調査 集落跡
26	松木下		盛岡市	
27	大平		盛岡市	
28	内四出		盛岡市	
29	黒石野	前期・中期・晚期	盛岡市	S.63～H.2 市教委調査
30	東岸石野	後期・晚期	盛岡市	H.1 市教委調査
31	黒石野平	後期・晚期	盛岡市	
32	黒石		盛岡市	
33	東越が丘		盛岡市	S.60, 62, 63 市教委調査
34	上足路	中期	盛岡市	S.63. 市教委調査
35	字豊板	中期・後期	盛岡市	
36	長根		盛岡市	
37	龜石		盛岡市	H.1. 古教委調査
38	洞清水	後期	盛岡市	
39	成ノ原	早明・晚期	盛岡市	S.57. 市教委調査 遺物少量
40	新木原	晚期	盛岡市	盛岡市史
41	新木原口		盛岡市	
42	日石	晚期	盛岡市	盛岡市史
43	菅原	早期	盛岡市	
44	イタコ塚		盛岡市	
45	道下	前期・中期	盛岡市	
46	道上		盛岡市	
47	岩清水		盛岡市	S.62～63 市教委調査
48	久保庭石塚A		盛岡市	
49	新南道		盛岡市	
50	金比羅前		盛岡市	
51	上田山	中期	盛岡市	
52	高松		盛岡市	
53	高松神社裏	縄文	盛岡市	
54	久保庭石塚B		盛岡市	
55	鏡持沢	後期・晚期	盛岡市	S.61. 市教委調査
56	合胡	早期・中期	盛岡市	盛岡市史
57	日向	中期・前期	盛岡市	
58	植山田	後期	盛岡市	
59	水福寺山		盛岡市	
60	百合	後期・晚期	盛岡市	S.61～H.2, H.2～3 市教委調査 配石遺構
61	馬場野		盛岡市	S.57. 市教委調査 遺物僅少
62	鶴鳴社前		盛岡市	
63	下木内		盛岡市	
64	大豆門		盛岡市	
65	米崎社前	中期	盛岡市	
66	7カトリ	中期	盛岡市	
67	一本松	早・前・後・晚	盛岡市	S.42. 吉手大学調査 市教委調査
68	龍ノ沢		盛岡市	
69	一本松沢		盛岡市	
70	エドコ山	中期	盛岡市	
71	大邑	中期・後期	盛岡市	S.62. 市教委調査 後期集落跡

No.	道路名	時代・時期	所在地	備考
72	大馬ヶ洞	中期・後期	盛岡市	
73	上大島	中期	盛岡市	
74	蔵ノ平	早期・中期・後期	盛岡市	
75	高崎A	中期・後期	盛岡市, 盛岡古史	
76	高崎B	後期	盛岡市	
77	上八木田I	早期・中期・後期	盛岡市 H.3. 岩手文庫金 前期集落跡	
78	上八木田II	早期・中期	盛岡市 H.3. 岩手文庫金 犬塚跡	
79	上八木田III	後期・晚期	盛岡市 H.2. 岩手文庫金 後期集落跡	
80	上八木田IV	中期・後期	盛岡市 H.2. 岩手文庫金 犬塚跡	
81	上八木田V	早期・晚期	盛岡市 H.2. 岩手文庫金 前期・中期・晚期・集落跡	
82	下八木田	中期・中期	盛岡市	
83	八木田	中期	盛岡市	
84	鶴ノ上A	後期	盛岡市	
85	鶴ノ上B	後期	盛岡市	
86	白地	中期	盛岡市 S.57 古教委調査 遺物僅少	
87	岩山南	後期	盛岡市 S.50 古教委調査 犬塚跡	
88	栗木平	中期・後期	盛岡市	
89	寺沢	中期・後期	盛岡市	
90	向田	前中期・中期	盛岡市	
91	柿ノ木平	中期	盛岡市 S.50~51 岩手大学調査 S.57 市教委調査 集落跡	
92	福久保	中期	盛岡市	
93	桜山	後期	盛岡市	
94	大久保	中期・後期	盛岡市	
95	大塙	後期・晚期	盛岡市 H.2. 市教委調査	
96	鼻子	後期	盛岡市	
97	新庄	後期	盛岡市	
98	船戸	後期	盛岡市	
99	山王山	中期	盛岡市 転写遺跡	
100	小山	前中期・晚期	盛岡市 S.61~62 古教委調査 中期包含層	
101	砂瀬	前中期・中期	盛岡市 S.62~63 市教委調査 中期初頭集落跡	
102	仁反田	前中期・中期	盛岡市 古教委調査 フラスコピット群	
103	和田	後期	盛岡市	
104	沢田	後期・晚期	盛岡市 S.57~58 市教委試掘 後期土器僅少	
105	金勢	後期	盛岡市	
106	日石	中期・後期	盛岡市 S.62 市教委調査	
107	V石	後期	盛岡市	
108	安庭籠	中期・後期	盛岡市	
109	櫻ヶ森	後期	盛岡市	
110	南仙北	後期	盛岡市	
111	門	後期	盛岡市	
112	川目下沢	後期	盛岡市	
113	たたら山	後期	盛岡市	
114	宇都野	後期	盛岡市	
115	道達	後期	盛岡市	
116	ブナト	後期	盛岡市	
117	沢坂	後期	盛岡市	
118	田ノ沢	後期	盛岡市	
119	川日B	後期	盛岡市	
120	川日A	中期・後期	盛岡市 盛岡市史 刃跡 二足土器	
121	戸仲	中期・後期	盛岡市 盛岡市史	
122	小尾野	後期	盛岡市	
123	李曾沢	後期	盛岡市	
124	西塙石野	前期末・中期初	盛岡市 H.3. 市教委調査 環状集落跡	
125	板樋 I	縄文	滝沢村	
126	板樋 II	縄文 (後期)	滝沢村	
127	板樋 III	縄文・古代	滝沢村	
128	板樋 IV	縄文	滝沢村	
129	糸の木沢!	縄文	滝沢村	
130	松屋敷	縄文 (晚期)	滝沢村	
131	糸の木沢A	縄文	滝沢村	
132	糸の木沢B	縄文	滝沢村	
133	糸の木沢C	縄文	滝沢村	
134	糸の木沢D	縄文 (晚期)	滝沢村	
135	篠 (町の平)	縄文	玉山村 屋敷跡	
136	町の平 I	縄文	玉山村 敷布地	
137	子登 II	縄文	玉山村 敷布地	
138	町の平 II	縄文	玉山村 敷布地	
139	町の平 III	縄文	玉山村 敷布地	
140	子登 I	縄文	玉山村 敷布地	
141	町の平 IV	縄文	玉山村 敷布地	
142	町の平 V	縄文	玉山村 敷布地	
143	町の平 VI	縄文	玉山村 敷布地	

### III. 調査の方法と室内整理

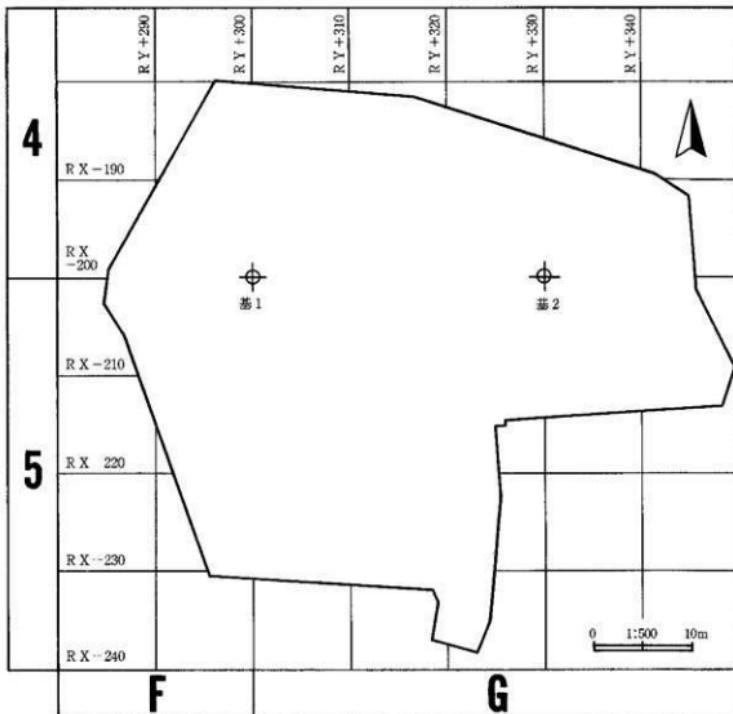
#### 1 野外調査（第8図）

##### (1) グリッドの設定

グリッドの設定にあたっては、盛岡市教育委員会の方法に準じ、平面直角座標第X系を座標変換した調査座標を用いた。調査座標原点は、 $X = -33,500.000m$ 、 $Y = +28,500.000m$ である。この座標原点を基点として、遺跡全体を一辺50mの大グリッドで区画した。北西隅を基点に西～東方向にアルファベットの大文字A～Y、北から南方向には1～25の数字を付して、これを組み合わせて、1 A・1 B……と表した。小グリッドは、大グリッドを25等分して、 $2 \times 2 m$ に区画し、北西隅を基点に西から東方向にa～y、北～南方向には1～25を付して、1 a・2 aと名称を付し、大小の組み合わせで1 A 1 a グリッドなどとした。実際のグリッド設定にあたっては原点と調査区に距離があるため調査区付近において次の2点の基準点を設定した。

基準点1  $X = -33,700.000m$ 、 $Y = +28,800.000m$ 、 $H = 155.105m$

基準点2  $X = -33,700.000m$ 、 $Y = +28,830.000m$ 、 $H = 155.218m$



第8図 グリッド配置図

報告書の記載にあたっては、盛岡市教育委員会の方法に準じ、原点をR Y±0・R X±0として、1m毎に北方向へはR X+、南方向へはR X-、東方向へR Y+、西方向へはR Y-として表示している。

#### (2) 粗掘りと遺構検出

本調査に先立ち盛岡市教育委員会による試掘調査が行われ、今回の調査対象区域のはば全面について遺構・遺物の状況がある程度把握されていた。また試掘トレンチに直交する2×3mのトレンチを10箇所設定し、土層の状況把握に努めた。その結果、コンクリート塊や解体時の廃材が調査区のはば全域の表土（I層）に含まれていたため、I層除去に重機（パワーショベル）を使用し、その後人力によって遺構の検出を行った。

#### (3) 遺構の命名

検出された遺構の命名については盛岡市教育委員会の方法に準じ、下記の通りに行った。各遺構の遺構番号は、第8次調査からの通し番号で検出順に付しており、欠番となっているものについては調査進行中、または整理作業の過程で遺構としての認定から除外したものである。

種別	遺構名（登録数）	※欠番
堅穴住居跡	R A001~035 (28)	*013・014・028・029・031・032・033欠番
土坑	R D008~141 (119)	*010・014・038・040・041・046・047・048・061・073・081・088・090・095・114欠番
堅穴状遺構	R E001~002 (2)	
焼土遺構	R F001~003 (2)	*002欠番
その他	R Z001~002 (2)	

#### (4) 遺構の精査と実測・遺物の取り上げ

検出された遺構は、堅穴住居跡・堅穴状遺構は4分法、土坑類は2分法を原則として精査を行った。ただし必要に応じてその他の方法も併用した。記録として必要な図面及び写真撮影は、精査の各段階においてこれを適宜行った。

遺構内の出土遺物は、埋土の場合は上位・中位・下位に分けて取り上げた。遺構外の出土遺物は、グリッドごとに出土した層位を記して取り上げた。

#### (5) 写真撮影

野外調査での写真撮影は、6×7cm判カメラ（モノクロ）と35mm判カメラ（モノクロとカラーリバーサルフィルム）を使用し、この他にポラロイドカメラ1台をメモ的な用途として使用した。撮影にあたっては、撮影内容を記載した「撮影カード」を事前に写し、整理時の混乱を防止した。また、調査終了間近に小型飛行機による空中写真の撮影を実施した。

#### (6) 現地説明会

平成10年7月4日（土）午後1時から実施し、遺構と遺物の公開・展示を行っている。約120名程の来訪者があった。

## 2 室内整理

### (1) 作業内容

遺物の処理は遺物の注記、接合・復元を優先して行い、次に仕分け・登録・写真撮影・実測・拓本の作成を並行して進めた。実測図は点検の後にトレスを行い、図版・写真図版の作成を順に行った。

### (2) 遺構

遺構配置図は発掘調査時に作成した図面をもとに1/100縮尺の図を作成し、印刷仕上がり1/300で掲載した。各遺構図面は以下の縮尺を原則としたが、一部に変更もあり、図面には、それぞれスケール・縮尺を付した。堅穴住居跡・堅穴状遺構の平・断面図1/50、炉跡の断面図1/25、土坑の平・断面図1/50である。

### (3) 遺構の計測基準と記載

遺構の計測値は以下の基準に基づいている。

- ①主軸方位：平面形が梢円形基準の場合は長軸方向、方形基準の場合は長辺方向を主軸方位とした。
- ②長径・短径：長径は長軸方向の上端間の最大距離、短径は長軸・長辺に直交する軸で上端間の最大の距離を計測した。
- ③床面積：下端で囲まれた部分の面積を計測している。壁際に周溝が巡る場合は溝の外側を下端と見なした。計測に当たってはエリカーブメーターを使用し、3回計測した値の平均値を記載している。
- ④壁高：上端最高部と床面（底面）最低部の差を壁高としている。但し、周溝・柱穴等は含めていない。
- ⑤柱穴間距離：柱痕跡の明確なものはその中心、柱痕跡が不明なものは柱穴の中心の距離を計測した。
- ⑥柱穴の深さ：上幅で最も高い部分と底面の比高差を計測した。
- ⑦計測値（規模：径・面積など）は、完全に把握できたものについては実数で表し、測定区域外や重複などにより部分的にしか把握できなかったものについては残存値を（ ）内数値で表した。

### (4) 遺物実測と遺物図版

土器実測にあたっては、完形品の他、径を復元できる資料、立体的で探折が困難な資料を選び実測を行った。一部には作業時間の軽減のため文様等を撮影で表わしたものがある。石器実測は器種毎に、使用面等を同化する方向で展開方法の選択を行った。

各遺物の図化は、以下の縮尺を原則としたが、一部変更したものもあり、各図にスケール・縮尺を付した。土器は立体1/3、ただし大型の土器は1/4・1/6、破片は1/3、剥片石器は2/3（石鐵）・1/2、礫石器は1/3、ただし大型の礫石器は1/6、土製品は2/3、石製品1/3である。

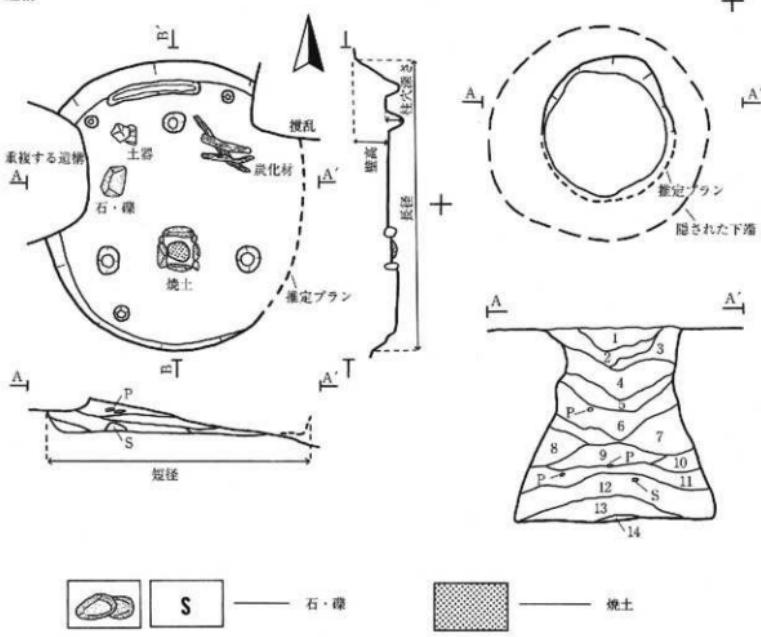
### (5) 写真図版

遺構写真は縮尺不定である。遺物の写真図版については、各図に縮尺を付した。

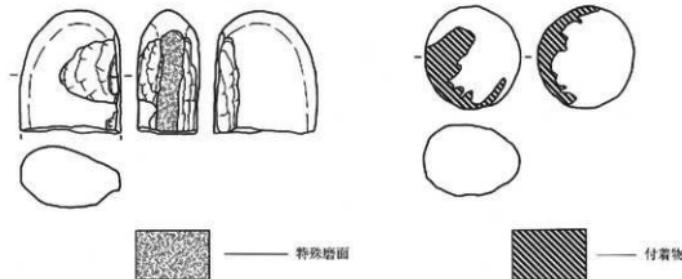
### (6) 凡例（第9・10）

図版で使用した凡例は次のとおりである。

遺構



第9図 遺構実測図凡例



第10図 遺物実測図凡例



竖穴住居跡	52	R D033	105	R D098
1 R A001	53	R D034	106	R D099
2 R A002	54	R D035	107	R D100
3 R A003	55	R D036	108	R D101
4 R A004	56	R D037	109	R D102
5 R A005	57	R D039	110	R D103
6 R A006	58	R D042	111	R D104
7 R A007	59	R D043	112	R D105
8 R A008	60	R D044	113	R D106
9 R A009	61	R D045	114	R D107
10 R A010	62	R D049	115	R D108
11 R A011	63	R D050	116	R D109
12 R A012	64	R D061	117	R D110
13 R A015	65	R D062	118	R D111
14 R A016	66	R D063	119	R D112
15 R A017	67	R D054	120	R D113
16 R A018	68	R D055	121	R D115
17 R A019	69	R D056	122	R D116
18 R A020	70	R D057	123	R D117
19 R A021	71	R D058	124	R D118
20 R A022	72	R D059	125	R D119
21 R A023	73	R D060	126	R D120
22 R A024	74	R D062	127	R D121
23 R A025	75	R D063	128	R D122
24 R A026	76	R D064	129	R D123
25 R A027	77	R D065	130	R D124
26 R A030	78	R D066	131	R D125
27 R A034	79	R D067	132	R D126
28 R A035	80	R D068	133	R D127
土坑	81	R D069	134	R D128
29 R D008	82	R D070	135	R D129
30 R D009	83	R D071	136	R D130
31 R D011	84	R D072	137	R D131
32 R D012	85	R D074	138	R D132
33 R D013	86	R D075	139	R D133
34 R D015	87	R D076	140	R D134
35 R D016	88	R D077	141	R D135
36 R D017	89	R D078	142	R D136
37 R D018	90	R D079	143	R D137
38 R D019	91	R D080	144	R D138
39 R D020	92	R D082	145	R D139
40 R D021	93	R D083	146	R D140
41 R D022	94	R D084	147	R D141
42 R D023	95	R D085		
43 R D024	96	R D086		
44 R D025	97	R D087		
45 R D026	98	R D089		
46 R D027	99	R D091		
47 R D028	100	R D092		
48 R D029	101	R D093		
49 R D030	102	R D094		
50 R D031	103	R D096		
51 R D032	104	R D097		

### 第11図 遺構配置図

## IV. 検出された遺構と遺物

### 1 堅穴状遺構

堅穴状遺構は2棟検出している。床面と思われる堅い底面と遺物出土状況から、住居跡を想定して調査を行ったが、炉跡を検出していないので堅穴状遺構として報告する。時期は縄文時代早期と思われる。

#### R E 001堅穴状遺構

遺構（第12図・写真同版7）

＜位置＞調査区南側 5 G15g グリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞Ⅲ b 層で暗褐色土の広がりを検出する。南側は調査区域外に延びる。R D115と重複関係にあり、R D115に切られている。

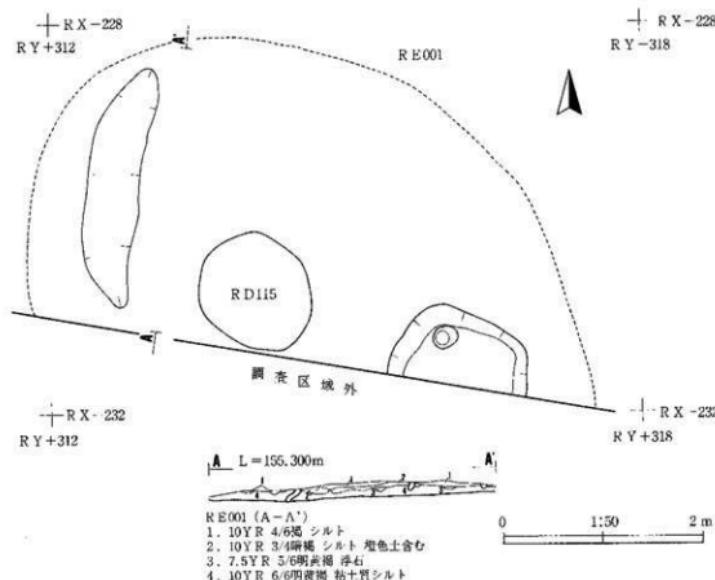
＜規模・平面形＞検出した範囲は東西約(5.7) m、南北(3.2) mで、円形を基調とするものと推定される。

＜埋土＞4層に分けられ、1・2層は遺物を包含する。1層は褐色土、2層はオレンジバニスが混入する暗褐色土、3層は浮石を含む明黄褐色土、4層は明黄褐色粘土から構成されている。

＜壁・床面＞壁は不明である。床面はⅢ b 層を掘り込んでいる。ほぼ平坦でかなり堅く締まる。

＜柱穴＞未検出である。

＜炉＞未検出である。



第12図 R E 001堅穴状遺構

遺物（第72・73・74図・写真図版68・69）

＜出土状況＞埋土から土器・石器が出土している。

＜土器＞1～5は貝殻腹縁文・平行沈線・格子目文が施されている土器の口縁部破片である。

＜石器＞石鏃2点（6・7）・石鏟2点（8・9）・打製石斧1点（10）・特殊磨石6点（11～16）・凹石1点（17）が出土している。11・13は3側面に機能面をもつ特殊磨石である。

＜時期＞出土遺物から縄文時代早期と思われる。

R E 002堅穴状造構

遺構（第13図・写真図版8）

＜位置＞調査区北側4 G 19 d グリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞Ⅲ a層で暗褐色土の広がりを検出する。R A018・R A023・R A024・R A027と重複関係にあり、R E 002が切られている。

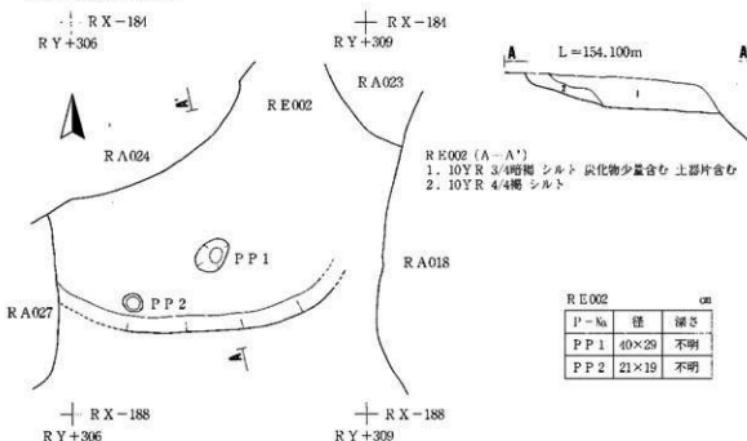
＜規模＞平面形より重複が激しく、残存する部分で3×(2.5)mで、方形を基調とするものと推定される。

＜埋土＞暗褐色土で微量に炭化物を含み、堅く締まりがある。

＜壁・床面＞南壁で10cmほどの立ち上がる。床面はⅢ b層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦でかなり堅く締まる。

＜柱穴＞2基検出している。

＜炉＞未検出である。



第13図 R E 002堅穴状造構

#### 遺物（第74図・写真図版69）

- <出土状況>埋土から土器・石器が出土している。
- <土器>18~20で、縦条体压痕による文様が施されている。
- <石器>21は石鏃である。
- <時期>出土遺物から縄文時代早期と思われる。

#### 2 壓穴住居跡

縄文時代中期中葉の壓穴住居跡27棟、中期末葉の壓穴住居跡1棟を登録した。重複・搅乱が多く、全体の規模・形状が不明な住居跡もあるが、炉跡と周辺の堅く締めた床面や柱穴を検出したことから住居跡として認定している。

##### R A001壓穴住居跡

###### 遺構（第14図・写真図版9）

- <位置>調査区南側5 G 1 c グリッドに位置する。東、西、南壁は気象台進入路により、削平を受けている。
- <検出状況・重複関係>黒褐色土を約13cm下げたⅡ層で検出した。R D029と重複関係にあり、R A001が切られている。
- <規模・平面形>長軸南東(4.3)×短軸南西(3.2)m程で、平面形は円形を呈する。主軸方向はN-55°-Wである。床面積は(10.4)m<sup>2</sup>である。
- <埋土>人為堆積で大きく3層に分けられる。上部は褐色土、下部は褐色土と黄褐色土の混合土、黄褐色土で構成されている。
- <壁・床面>南壁は搅乱により、一部しか残っていないが、壁高の残存値は北壁20cm、南壁12cmで外傾する。床面はⅢ a層を掘り込んで構築され、平坦である。
- <柱穴>P P 1の1基を検出した。
- <炉>検出されていない。中央部がR D029により掘り込まれているため消滅した可能性もある。

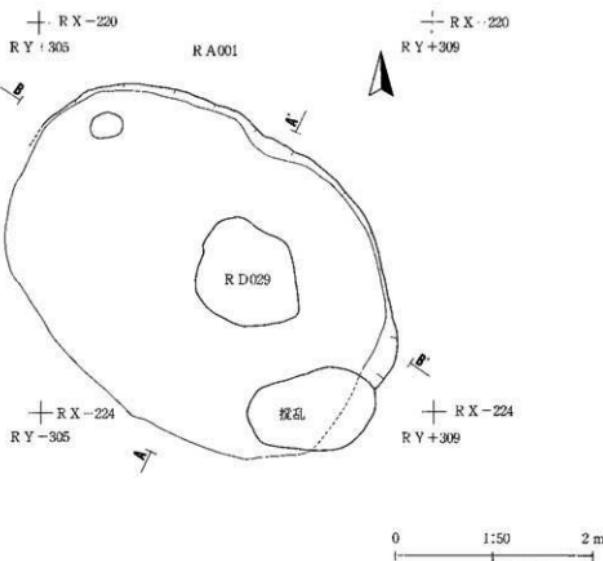
###### 遺物（第75図・写真図版70）

- <出土状況>埋土1層～3層より出土している。
- <上器>22は口縁が大きく外反し、口縁部が無文帯、体部は隆沈線による渦巻文が施される小型深鉢である。23は隆沈線による懸垂文を施す深鉢の底部である。24は内外面にミガキを施すミニチュアの鉢である。
- <石器>28は四基無茎鏃の石鏃である。
- <時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

##### R A002壓穴住居跡

###### 遺構（第15・16図・写真図版10）

- <位置>調査区東側4 G 1 q グリッドに位置する。
- <検出状況・重複関係>表土除去後、Ⅲ a層で炭化物を多量に検出した。遺構の周囲はすべて建物基礎による搅乱を受けている。西側でR D028と重複関係にあり、R D028に切られている。
- <規模・平面形>長軸4.5m、短軸4 m程である。平面形は円形を呈する。住居跡中央部は庁舎建物基礎により搅乱を受けている。主軸方向はW-35°-Nである。床面積は12.9m<sup>2</sup>である。



- R A001 (A-A')
1. 10YR 4/4褐色 粘土質シルト 炭化物少含む
  2. 10YR 4/4褐色 シルト 黄褐色土との混合土
  3. 10YR 5/8黄褐色 シルト



- R A001 (B-B')
1. 10YR 4/4褐色 粘土質シルト 炭化物少量含む
  2. 10YR 4/4褐色 シルト
  3. 10YR 4/6褐色 シルト 黄褐色土との混合土 炭化物含む
  4. 5YR 4/6褐色 シルト
  5. 10YR 4/6褐色 シルト
  6. 10YR 4/4褐色 シルト
  7. 10YR 4/4褐色 シルト 黄褐色土との混合土
  8. 10YR 4/6褐色 シルト 炭化物含む
  9. 10YR 4/4褐色 粘土質シルト 黄褐色土含む混合土 炭化物含む
  10. 10YR 4/6褐色 シルト 炭化物少含む

第14図 RA 001竪穴住居跡

<埋土>4層に分けられる。1層は暗褐色土主体に明黄褐色土との混合土で焼土粒、炭化物を多量に含む。2層は明黄褐色土、3層は褐色土である。4層は明黄褐色土主体に黄褐色土と黄橙色土との混合土から構成される。また、床面全体から炭化物、焼上が検出された。状況より焼失住居と推定される。

<壁・床面>ほとんど壁は残っておらず、わずかに南西壁、北東壁の一部が残存している。残存高は南西壁19cm程、北東壁1cm程である。床面はⅢ b層を掘り込んで構築されており、北西壁際がやや隆むがほぼ平坦で、堅く締まっている。床面で多量の炭化材を検出した。床面中央よりやや西側に分布し、径20~30cm程の焼土の広がりが見られる。炭化材は分析の結果、ブナ科クリの同定結果を得ている。

<柱穴>柱穴は8基検出した。P P 1、P P 3、P P 4、P P 5が主柱穴と考えられる。これらの規模は22~40cm、深さ46~74cmである。柱間は165~210cmである。

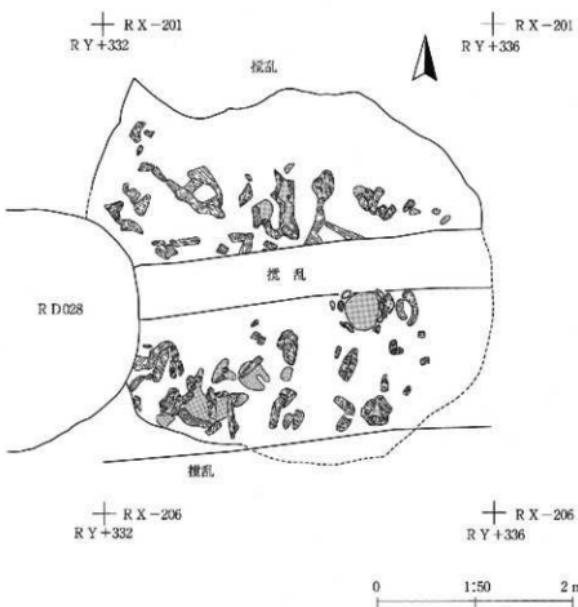
<炉>直径45~50cm程の円形の石闕がである。住居の長軸線上で中心より70cm程南東に寄る。炉内は焼土が形成され、堅く締まっている。

#### 遺物（第75図・写真図版70）

<出土状況>埋土から出土している。

<土器>25は深鉢の口縁部の破片で陰沈線による満巻文が施される。26は刺突列を施すものである。27は尖底深鉢の底部である。

<時期>出土遺物から绳文時代中期中葉と思われる。



第15図 RA 002竪穴住居跡（1）

#### R A 003堅穴住居跡

##### 遺構（第17図・写真図版11）

- <位置>調査区南側5 G 12 g グリッドに位置する。
- <検出状況・重複関係> II層で黒褐色土の広がりとして検出した。R D021、R D071と重複関係にあり、R A 003住居跡が切られている。
- <規模・平面形>東西(6.2)m、南北(4.4)mである。平面形はほぼ円形を呈する。住居跡南側半分は気象台進入路により削平を受け、残存していない。主軸方向はW-43°-Nで、床面積は(19.9)m<sup>2</sup>である。
- <堆土>13層に分けられるが、上位は黒褐色土、中位は褐色土、下位は暗褐色土で構成されている。
- <壁・床面>壁高は72cm程度緩やかに外傾し立ち上がる。床面はⅢ c 層を掘り込んで構築されおり、中央の炉の周辺は3~5cm程度高くなり堅く締まっている。
- <柱穴>柱穴は5基検出した。PP 1、PP 2、PP 4が主柱穴と考えられる。これらの規模は30~50cm、深さ57~72cmである。柱間は230~280cmである。
- <炉>住居の長軸線上に石壇炉を1基検出している。自然礫の炉石が3個残存しているが、石壇炉の平面形は不明である。炉内の焼土は50×60cm程度の不整な広がりを持ち、厚さは6cmである。

##### 遺物（第75・76図・写真図版70・71）

- <出土状況>埋土から上器片、石器が出土している。
- <土器>29は口縁が波状を呈し、波状部が無文となる小型深鉢である。体部は沈線による渦巻文・懸垂文が施され、地文にはR L R複節繩文が継位に施される。31は粗製の深鉢の体部～底部にかけてのものである。地文はL R 単節繩文を施す。底部には網代底がある。33は2列の刺突文を施す深鉢の口縁部である。34はキャリバー形深鉢の口縁部で、隆沈線による渦巻文が施される。35は孔のある波状突起をもつ深鉢の口縁部である。36は櫛目状の文様が施される。37は平行沈線、格子目文が施される。
- <石器>38は磨石、39は石皿である。
- <時期>出土:遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### R A 004堅穴住居跡

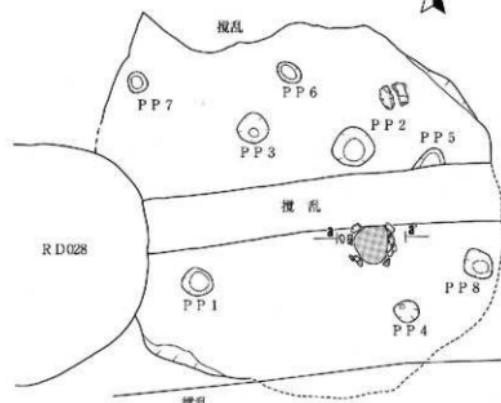
##### 遺構（第18図・写真図版12）

- <位置>調査区東側4 G 23 o グリッドに位置する。
- <検出状況・重複関係> II層下位で黒褐色土の広がりとして検出した。北側は排水溝により一部搅乱を受けている。また、東側も搅乱を受けている。R D009と重複関係にあり、R A 004が切られている。
- <規模・平面形>長径(6.4)×短径5.7mである。平面形は梢円形を呈する。主軸方向はW-4°-Sである。床面積は(30.3)m<sup>2</sup>である。
- <壁上>自然堆積で15層に分けられる。おもに黒褐色土に明黄褐色土を含む混合土である。床面に近い層には焼土粒、炭化物を少量含む。
- <壁・床面>東壁は削平され残っていないが、壁高は北壁48cm、南壁58cm、西壁72cmでやや直立気味に立ち上がる。床面はⅢ b 層を掘り込んで構築されており、ほぼ平坦で堅く締まっている。
- <柱穴>柱穴は24基検出している。PP 1、PP 2、PP 4、PP 5、PP 6、PP 9、PP 10、PP 12が主柱穴と考えられる。これらの規模は32~60cm、深さ43~94cmである。柱間は130~230cmである。

RA002

+ RX-201  
RY +332

+ RX-201  
RY +336



+ RX-206  
RY +336



RA002 (A-A')

1. 10YR 3/4暗褐色 シルト 明黄色土との混合土 燃土粒少量、炭化物多量含む
2. 10YR 6/6明黄褐色 シルト
3. 10YR 4/4暗 黄褐色土と混合土 燃土ブロック多量に含む
4. 10YR 6/8明黄褐色 シルト 黄褐色土、黄褐色土粒含む混合土

RA002 cm

P-Nr	径	深さ
PP 1	32×28	49
PP 2	44×40	74
PP 3	32×32	54
PP 4	26×22	46
PP 5	33×?	25
PP 6	28×20	13
PP 7	22×21	17
PP 8	34×29	34

a L = 154.600m



RA002(G回折) (a-a')

1. 10YR 2/2黒褐 シルト 焼土粒、炭化物少量含む
2. 10YR 2/3黒褐 シルト 赤褐色土との混合土
3. 2.5YR 4/8赤褐 シルト 焼土

第16図 RA002堅穴住居跡 (2)

<炉>住居の長軸線上に石圓炉1基を検出している。石圓炉は大小10個の自然縞で構築しており、石の抜き取り痕は見られず、東側に開くコの字状を呈する。長軸(東西)90cm、短軸(南北)78cmである。炉内の焼土の厚さは最大8cmである。

遺物(第76・77・78・79図・写真図版71・72・73)

<出土状況>埋土から上器、上器片、石器、石製品、土製品が出土している。

<上器>40は沈線による懸垂文が施される小型深鉢である。口縁は外反する。41は波状口縁の波頂部に隆沈線による渦巻文を施し、頭部に3本1組の沈線を施す深鉢である。地文はR L単節縄文を縱位に施す。42、43、44、45は口縁が波状を呈し、口唇部が無文で外反する小型深鉢である。体部は隆沈線による渦巻文、懸垂文を施す。42は地文にR L R複節縄文を縱位に施す。44は体部に大渦巻文が描かれ、小渦巻文を周囲に施す。地文にはR L R複節縄文を縱位に施す。45は体部中央に隆沈線による渦巻文を施す。46は浅鉢で、口縁部は隆沈線による小渦巻文、2本1組の横位の隆沈線を施す。地文にはR L R複節縄文を縱位に施す。47はキャリバー形深鉢の口縁～体部である。口縁は隆帯による渦巻文と懸垂文が施される。48は無文の浅鉢の体部～底部である。49は口縁に隆沈線を施す。50はキャリバー形深鉢の口縁部である。渦巻文突起を加飾する。51は刺突文を施す深鉢の口縁部である。53は口縁が外反し、R L単節縄文を縱位に施す。61は口唇部に横位のナデによる調整を施す無文の土器片である。

<石器>64～67は石鏃で、64・65・66は凹基無茎鏃、67は凸基有茎鏃である。68は石匙である。69～76は削搖器である。77～79は刀部欠損の磨製石斧である。側面は研磨整形され稜が明瞭に形成されている。80は磨石で黒色の付着物がある。81は円石である。

<土製品>82は三角形を呈し、沈線文、刺突文を施すものである。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

## R A 005堅穴住居跡

### 遺構(第19図・写真図版13)

<位置>調査区西側5F 3ヶ所グリッドに位置する。

<検出状況・重複関係>Ⅱ層下位～Ⅲa層上位で暗褐色上の広がりとして検出した。炉の東側は排水管溝により、また西側も鉄塔の除去により擾乱を受けている。R A 006、R D 063、R D 064と重複関係にあり、R D 063、R D 064に切られている。C-C'の土層ベルトの観察より、R A 006に切られていると推定される。

<規模・平面形>調査区内で検出した範囲で、規模は東西(4.55)m、南北(3.6)mである。主柱穴と炉から導き出される主軸方向はW-27°-Nであると推定される。平面形は隅丸方形を呈するものと推定される。

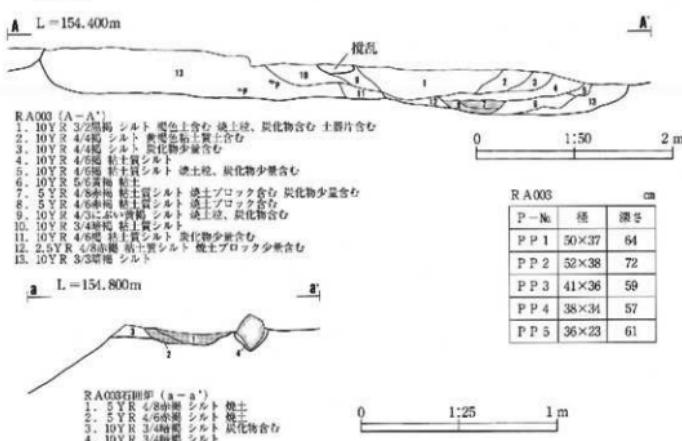
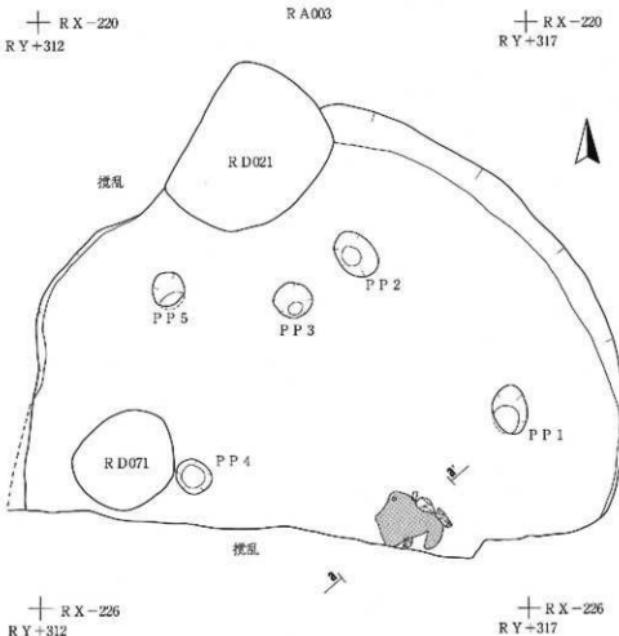
<埋土>自然堆積で7層に分けられる。上位はおもに暗褐色土、下位は黒褐色土と暗褐色土から構成される。床面に近い層には炭化物、焼土粒を含む。

<壁・床面>壁高は南西壁35cm、東壁34cmで床面よりやや直立気味に立ち上がる。床面はⅢc層を掘り込んで構築されており、ほぼ平坦で堅く締まっている。

<柱穴>柱穴は8基検出している。PP 1、PP 2、PP 3、PP 4が主柱穴と考えられる。これらの規模は径30～41cm深さ57～75cmである。柱間は2.3～2.8mである。

<炉>住居の軸線上に石圓炉を1基検出している。石圓炉は大小6個の自然縞で構築している。抜き取り痕は確認できず、平面形は不明である。長径64cm、短径48cmである。炉内の焼土の厚さは2cmである。

### 遺物(第79図・写真図版73)



第17図 R A 003竪穴住居跡

<出土状況>埋土中、床面直上から土器片が出土している。

<土器>83はL R L複節縄文を縦位に施す深鉢である。84は口縁部が無文で外反する小型深鉢である。体部は沈線による渦巻文、懸垂文、横円文を施す。85は貝殻腹縄文、貝殻条痕文を施す。

<時期>出土遺物から縄文時代中期末葉と思われる。

#### R A006堅穴住居跡

遺構（第19図・写真図版14）

<位置>調査区東側5 F 1 u グリッドに位置する。

<検出状況・重複関係>II層下位～III a層上位で赤褐色土の広がりを検出する。RA005、RD049、RD085と重複関係にあり、RA005を切り、RD049、RD085に切られる。

<規模・平面形>周囲を排水管溝、鉄塔の除去による搅乱を受け全容は不明だが、南北で2.8m以上と推定される。平面形は不明である。

<埋土>暗褐色土である。

<壁・床面>堀は残存せず不明である。床面はRA005より低く高低差が5～8cm程であり、III c層を掘り込んで構築しており、ほぼ平坦で堅く締まっている。

<柱穴>柱穴は4基検出している。PP1が主柱穴と考えられるが、配置は不明である。

<炉>土器埋設炉を1基検出している。埋設土器は深鉢の体部のみで、ほぼ正位に据えられている。土器の周囲は、堅く締まった赤褐色焼土を張り巡らしている。床面より5～6cm程高い。

遺物（第80図・写真図版74）

<出土状況>土器埋設炉に使用された底部欠損の深鉢1点が出土している。

<上器>86は2段RLを縦位に回転施文する。

<時期>出土遺物から縄文時代中期末葉と思われる。

#### R A007堅穴住居跡

遺構（第20図・写真図版15）

<位置>調査区南西側5 F 7 w グリッドに位置する。

<検出状況・重複関係>II層下位～III a層上位で暗褐色土の広がりとして検出する。西側でRA035と重複関係にあると思われるが新旧関係は不明である。

<規模・平面形>周囲を地下ケーブル溝、排水管溝により搅乱を受けており、規模や平面形は不明である。

<埋土>6層に分けられる。おもに暗褐色土、黒褐色土から構成される。

<壁・床面>堀は残存せず不明である。床はIII c層を掘り込んで構築され、ほぼ平坦で堅く締まっている。

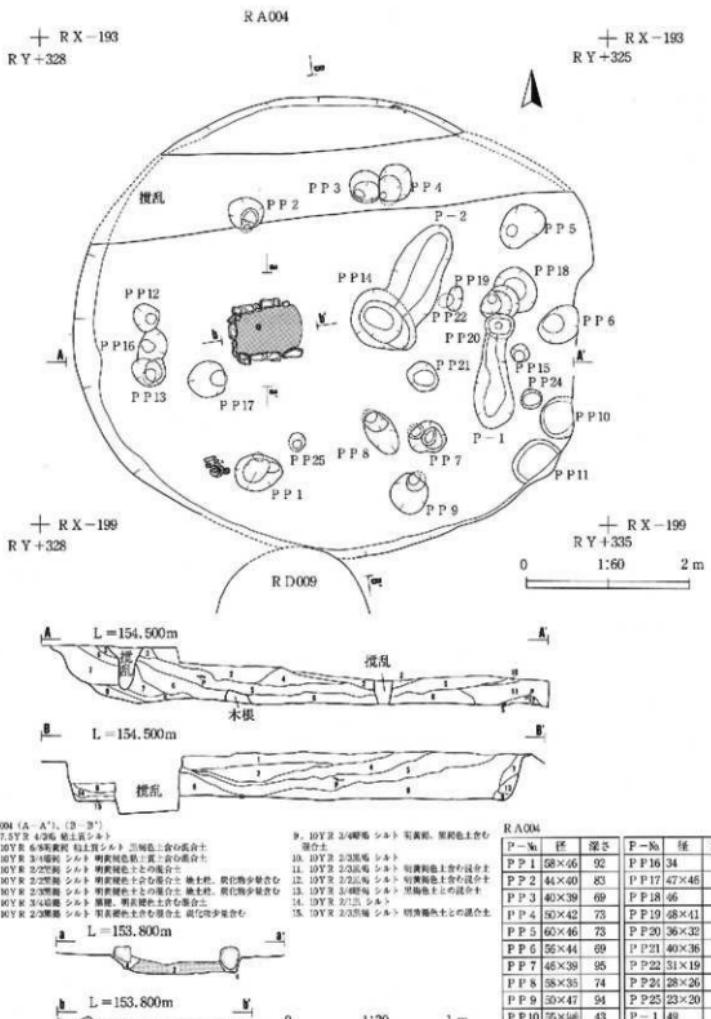
<柱穴>柱穴は8基検出している。柱配置は不明である。規模は径23～46cm、深さ8～33cmである。

<炉>石凹炉を1基検出している。炉の中央部は搅乱を受けているが、4個の石組が残存している。平面形は円形と推定され、径70～80cmである。炉内の焼土の厚さは5～8cmである。

遺物（第80図・写真図版74）

<出土状況>埋土中より土器片、石器が出土している。

<土器>87は小波状を呈し、口縁が内湾する深鉢で、1列の刺突文を施す。88は口縁が内湾する深鉢である。隆沈線による渦巻文、懸垂文を施す。



第18図 RA 004堅穴住居跡

<石器>89は削搔器で、1点出土している。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### R A 008豊穴住居跡

遺構（第21・22図・写真図版16）

<位置>調査区南側5F11yグリッドに位置する。

<検出状況・重複関係>Ⅲ層下位で褐色土の広がりとして検出する。R D036、R D069、R D094、R D096、R D098、R D099、R D100、R D101、R D112、R D116、R D120と重複し、これらはRA008を切っている。

<規模・平面形>長径9.5m、短径7.6mである。主軸方向はW-10°-Sである。平面形は楕円形を呈し、床面積は55.5m<sup>2</sup>である。

<埋土>人为堆積で25層に分けられる。おもに埋土上位は褐色粘土質土、中位は黄褐色粘土質土、下位は褐色土主体に焼土粒と炭化物を含む黄褐色粘土質土との混合土から構成される。

<壁・床面>壁高は西壁37cm、南壁33cm、北壁72cmで床面より直立気味に立ち上がる。床面はⅢc層を掘り込んで構築されており、やや凸凹が見られ堅く締まっている。

<柱穴>柱穴は16基検出している。PP1、PP2、PP3、PP4、PP5、PP6が主柱穴と考えられる。これらの規模は径36~66cmである。柱間は2.4~4.7mである。

<炉>住居の軸線上中央付近より1.4m程東に石窯炉1基を検出している。石窯炉は大小31個の自然亞円錐で構築しており、抜き取りの痕跡がある。本來は石が巡っていたと思われる。西側部分の二重の石組は焼土の上に構築されている。平面形は西側がやや丸みを帯びた台形状を呈する。長径1.5m、短径1.05mである。炉内の焼土の規模は128×56cmの隅丸台形状を呈し、厚さは最大16cmである。石窯炉西側の焼土の規模は68×40cmの不整な円形を呈し、厚さは最大11cmである。地床炉と思われる。炉は地床炉、石窯炉の2時期があったと推定される。

遺物（第80・81・82・83図・写真図版74・75・76・77）

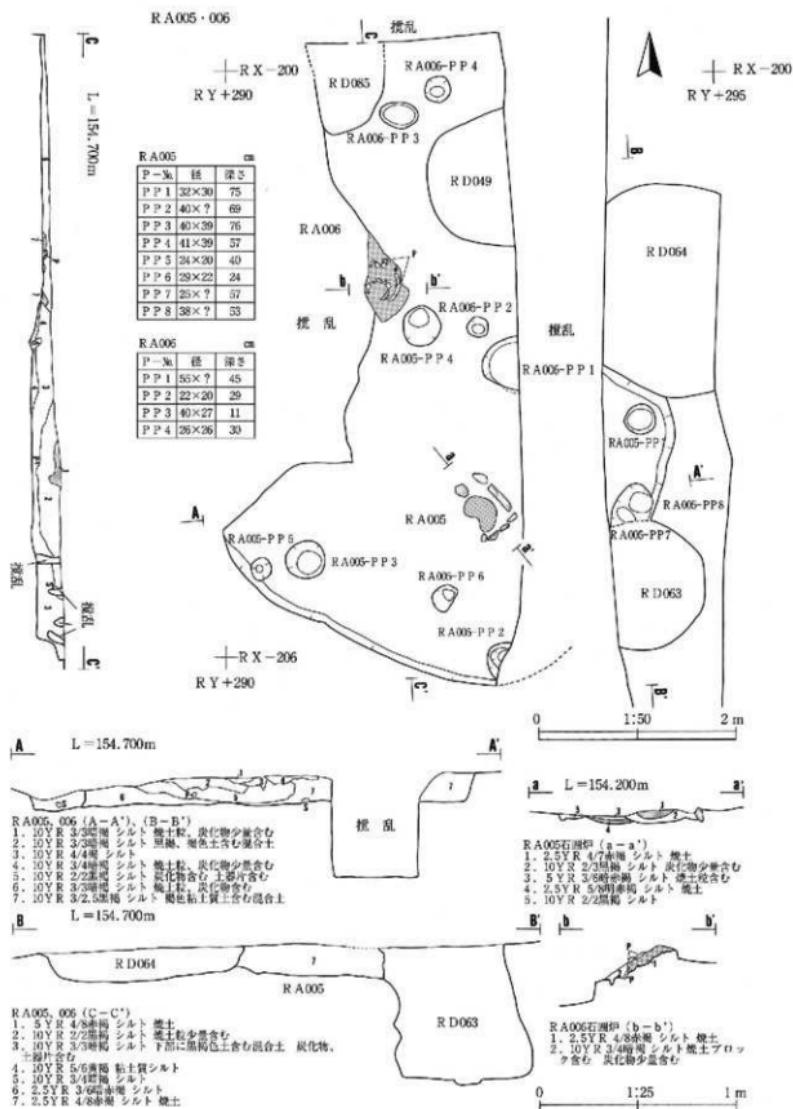
<出土状況>埋土中や床面高より縄文上器、土器片、石器、石製品、土製品が出土している。

<上器>90は口縁が無文で外反する小型深鉢である。体部は沈線による渦巻文、懸垂文を施す。地文にはR L R複節縄文を縦位に施す。底部は穿孔を施す。91は緩やかな波状を呈し、口縁がやや外反する。体部は沈線による円文、楕円文を区画する。地文はR L L単節縄文を縦位に施す。92、93、94、95は小型深鉢である。92、93は口縁が無文で外反する。体部は隆沈線による渦巻文、懸垂文を施す。94・95は体部で隆沈線による渦巻文、懸垂文、楕円文を施す。地文はR L R複節縄文を縦位に施す。96は櫛形の深鉢である。口縁部は無文でやや内湾する。頭部は櫛状の把手をもち、櫛状の把手の間に隆沈線による小渦巻文を施す。体部は隆沈線による有棘大渦巻文、有棘小渦巻文を施し、膨らみをもつ。97はキャリバー形の深鉢である。口縁に尚巻突起を加飾し、渦巻文を施す。98・99はミニチュア十器である。98は体部に小把手を縱方向に1対をもつものである。100、102は器台である。100は孔をもつものである。

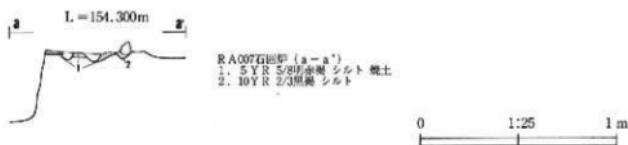
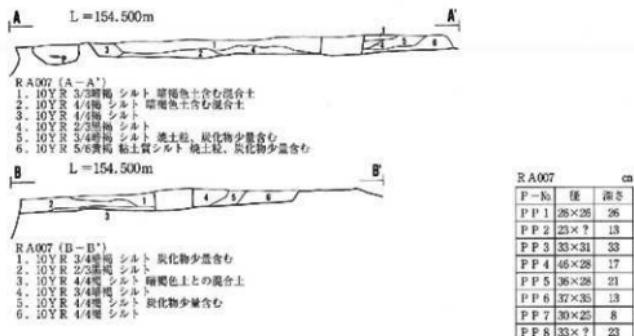
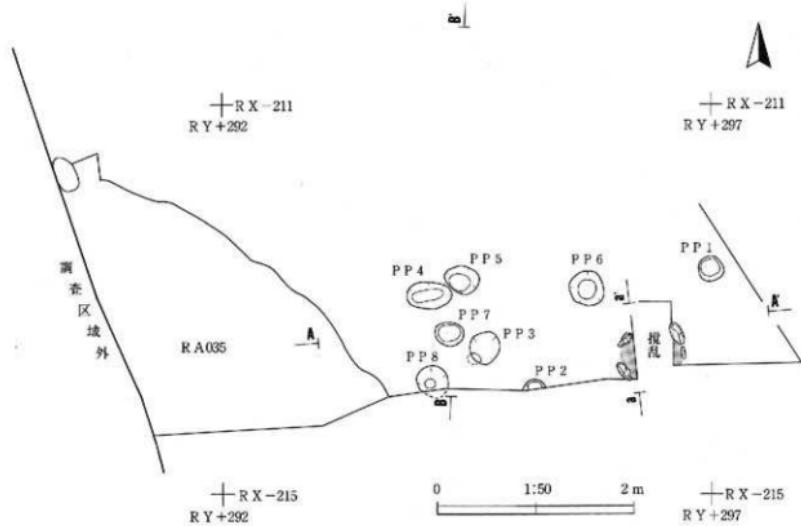
<石器>121・122・123は石鏟である。凹基無茎鏟である。123は脚部が欠損している。124は削搔器である。126、125は石鎌である。127、128は磨製石斧である。127は刃部が欠損している。128は縫、斜めの方向に擦痕がある。129は磨石で破損している。130・131・132は石皿で、132は脚がついている。

<石製品>133は孔のある柱石石製品である。

<土製品>134は三角形を呈した土製品である。先端部に小突起があり小刺突が施される。中央部には小



第19図 RA 005・006豊穴住居跡



第20図 R A 007堅穴住居跡

きな孔がある。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### R A009竪穴住居跡

遺構（第23図・写真図版17）

<位置>調査区西側5 F 9 v グリッドに位置する。

<検出状況・重複関係> II層下位～III a層上位で赤褐色土の広がりを検出する。R A035、R D042、R D060、R D062と重複関係にある。R D042を切り、R A035、R D060、R D062に切られる。

<規模・平面形>規模や平面形は不明である。

<埋土>暗褐色土、褐色土、黄褐色粘土質土から構成される。

<壁・床面>残存せず不明である。床面はIII c層を掘り込んで構築しており、ほぼ平坦で堅く締まっている  
<柱穴>柱穴は13基検出している。主柱穴はP P 1、P P 2、P P 3、P P 4と考えられる。規模は径34  
～72cm、深さ36～101cmである。柱間は1.2～2.2mである。

<炉>右開炉を1基検出している。石開炉は大小8個の自然礫で構築しており、方形状を呈する。長径(東西)86cm、短径(南北)72cmである。炉内の焼土は58×50cmの不整な円形を呈する。焼土の厚さは最大で15cmである。

遺物（第84図・写真図版77）

<出土状況>埋土中、床面から縄文上器、上器片、石製品が出土している。

<上器>135は口縁が内湾するミニチュア上器である。136は口縁部が無文の深鉢である。頭部に隆帯を貼り付け刺突を施す。地文はL R 単節縄文を継ぎに施文する。

<石製品>137、138、139は三日月形を呈する石製品である。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉以降と思われる。

#### R A010竪穴住居跡

遺構（第24図・写真図版18）

<位置>調査区南西側5 F 11w グリッドに位置する。

<検出状況・重複関係> III a層で暗褐色土の広がりとして検出する。R A008、R D091と重複関係にある。  
R A010が切られている。南西部分は調査区域外に延びる。

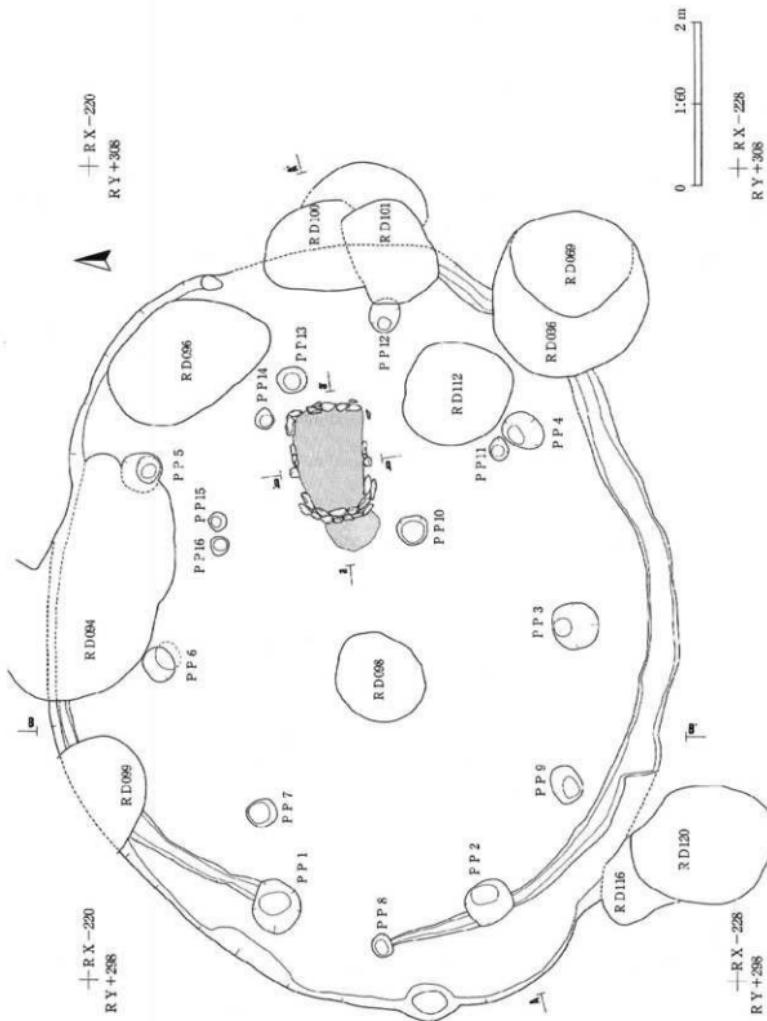
<規模・平面形>調査区内で検出した規模は長径5.5m、短径(3.9)mである。平面形は隅丸方形を呈すると思われる。主軸方向はN-12°-Wある。床面積は(17.0)m<sup>2</sup>である。

<埋土>人為堆積で9層に分けられる。おもに暗褐色土と褐色土から構成される。床面に近い層には炭化物を少量含む。周溝の埋土は褐色土主体に黄褐色粘土質土との混合土である。

<壁・床面>壁高の残存高は北壁33cm、南壁24cmで床面より直立に立ち上がる。床面はIII c層を掘り込んで構築しており、ほぼ平坦で堅く締まっている。北壁際には幅12cm、深さ10cm程の周溝が廻る。

<柱穴>柱穴は7基検出している。柱配置は不明である。これらの規模は径13～61cm、深さ9～44cmである。

<炉>右開炉を1基検出している。石開炉は大小6個の自然礫で構築しており、北側はP P 8により掘り込まれ炉石が配されていたかどうかは不明である。平面形は方形を呈すものと推定される。長径71cm、短径68cmである。炉内の焼土は54×36cmで不整な円形を呈する。焼土の厚さは最大10cmである。



第21図 R A 008堅穴住居跡 (1)

L = 154, 200m



R A008 (A-1')

1. 黄褐色粘土質シルト、黄褐色少量化合物含む  
2. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
3. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
4. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
5. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
6. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
7. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
8. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
9. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
10. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
11. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
12. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物含む  
13. 5YR 4/6褐色  
14. 10YR 3/4褐色  
15. 10YR 2/4褐色  
16. 10YR 2/4褐色  
17. 10YR 2/4褐色  
18. 10YR 2/4褐色  
19. 10YR 2/4褐色  
20. 10YR 2/4褐色  
21. 10YR 2/4褐色  
22. 10YR 2/4褐色  
23. 10YR 2/4褐色  
24. 10YR 2/4褐色  
25. 10YR 2/4褐色

8 L = 154, 200m



- R A008 (B-1')  
1. 黄褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
2. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
3. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
4. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
5. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
6. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
7. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
8. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
9. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
10. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
11. 10YR 3/4褐色  
12. 10YR 2/4褐色  
13. 5YR 4/6褐色  
14. 5YR 4/6褐色  
15. 5YR 4/6褐色  
16. 10YR 2/4褐色  
17. 10YR 2/4褐色  
18. 10YR 2/4褐色

8 L = 155, 600m



- R A008 (C-1')  
1. 5YR 4/6褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
2. 2.5YR 5/6褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む  
3. 10YR 2/4褐色粘土質シルト、灰化物少量化合物含む

第22図 R A008堅穴住居跡（2）

#### 遺物（第84図・写真図版78）

＜出土状況＞埋土より縄文土器片、石器が出土している。

＜土器＞140は渦巻文を施す口縁である。141は波状を呈し、降帯による渦巻文を施す。

＜石器＞142は縦型の石匙である。

＜時期＞出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### R A011堅穴住居跡

##### 遺構（第25図・写真図版19）

＜位置＞調査区北西側4F23uグリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞Ⅱ層下位～Ⅲa層上位で褐色土の広がりとして検出する。西側部分は調査区域外に延びる。

＜規模・平面形＞鉄塔の基礎により中央部から東壁は搅乱を受けている。残存する規模は南北で4.9mである。平面形は推定で不整な円形を呈すると思われる。

＜埋土＞人為堆積で7層に分けられる。おもに埋土上位は褐色土、中位は暗褐色土、下位は暗褐色土主体に黒褐色土と褐色土との混合土から構成される。床面に近い層には炭化物、焼土粒を含む。

＜壁・床面＞壁高の残存値は北壁54cm、南壁55cmで床面よりやや緩やかに立ち上がる。床面はⅢc層を掘り込んで構築しており、ほぼ平坦で堅く締まっている。

＜柱穴＞柱穴は2基検出している。柱配置は不明である。これらの規模は径26～49cm、深さ21～51cmである。

＜炉＞石坩埚を1基検出している。石坩埚は大小6個の自然縁で構築しており、南東側は削平され残存していない。形態は円形を呈すると思われる。径75cm程度である。炉内の焼上は25×20cm程度、不整形を呈する。厚さは不手際により記録なし。

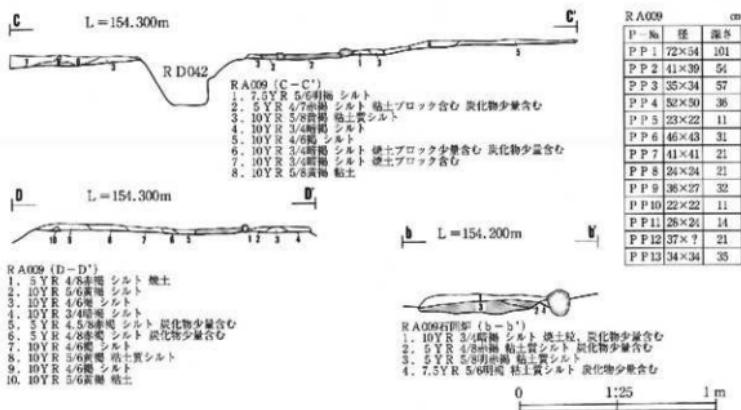
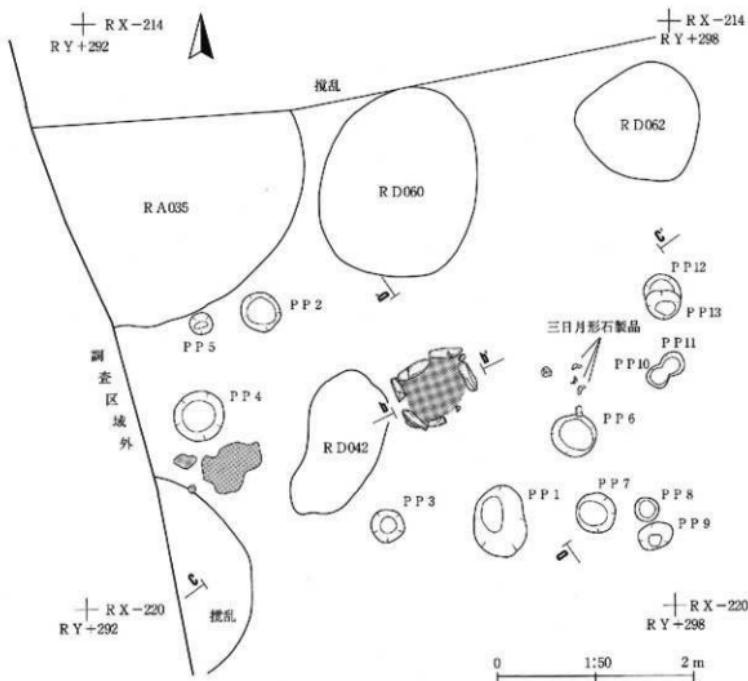
#### 遺物（第84・85図・写真図版78）

＜出土状況＞埋土中位、埋土下位から縄文土器、土器片、石器が出土している。

＜土器＞143、145、146はキャリバー形の深鉢である。143は口縁に山形の橋状把手をもち、S字状に小渦巻文を施す。頸部に3本1組の沈線を施す。体部は沈線による有輪渦巻文を施す。

＜石器＞148は石皿である。149は打製石斧である。

＜時期＞出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。



第23図 RA 009竪穴住居跡

## R A012堅穴住居跡

遺構（第26図・写真図版20）

＜位置＞測査区4 F 22wグリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞Ⅲ b層上位で黒褐色土の広がりとして検出する。R D075、R D097、R D108と重複関係にある。R D108、R D097に切られる。

＜規模・平面形＞周囲を排水管溝や廻材の埋め穴により搅乱を受けている。長径(8.6)m、短径(8.1)mである。主軸方向はN-41°-Wである。平面形は隅丸方形を呈するものと推定され、床面積は(49.2)m<sup>2</sup>である。

＜埋上＞人為堆積で11層に分けられる。上位はおもに暗褐色土主体に褐色土との混合土、中位は黒褐色土主体に褐色土と明黄褐色土との混合土、下位は黒褐色土主体に明黄褐色土を含む混合土で焼上粒、炭化物、土器片を含む。

＜壁・床面＞残存する壁高は東壁32cm、西壁32cm、南壁45cmで床面より直立に立ち上がる。床面はⅢ d層を掘り込んで構築されており、堅く締まっている。

＜柱穴＞柱穴は18基検出している。P P 1、P P 4、P P 11、P P 12が主柱穴と考えられる。これらの規模は41~114cm、深さ74~90cmである。柱間は3~4mである。

＜炉＞住居の縦線上に石窯炉1基を検出している。石窯炉は大小15個の自然碌で構築しており、小碌の部分は二重に配置している。南東部分は排水管溝により搅乱を受け、失われている。平面形は北西側にやや開く円形状を呈する。長径(102)cm、短径(68)cmである。炉内の焼土の規模は51×48cmで、厚さは最大36cmである。

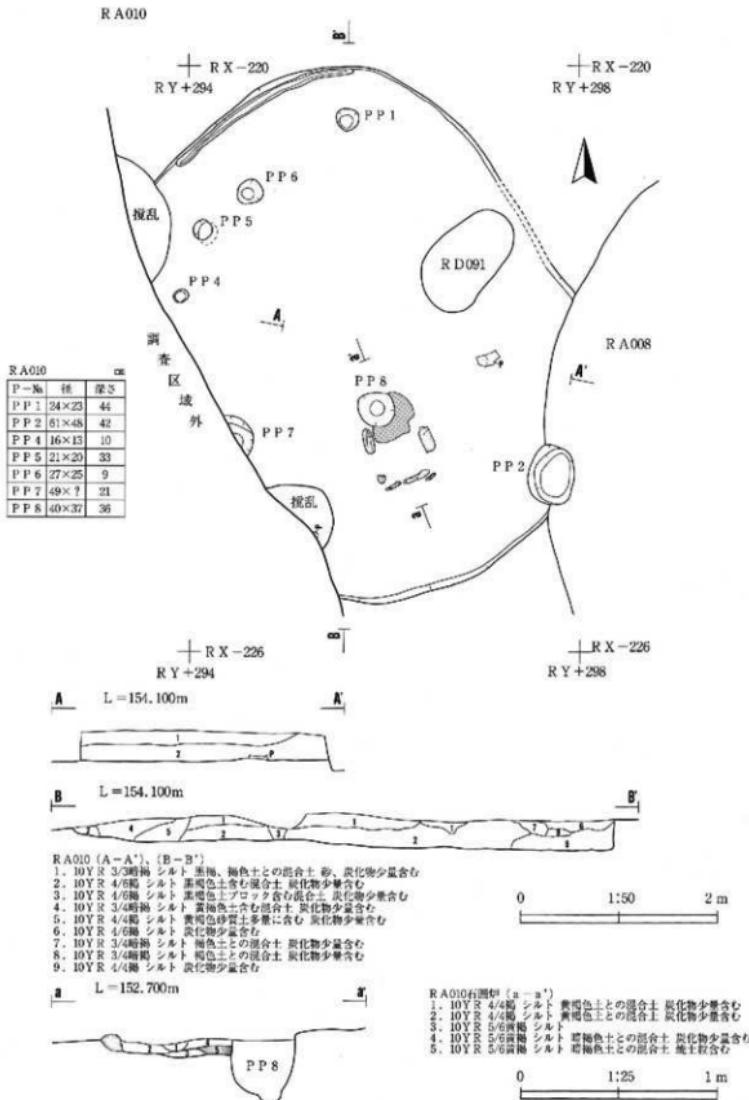
遺物（第85・86図・写真図版79）

＜出土状況＞埋上から繩文上器、土器片、石器が出土している。

＜土器＞150・152は口縁が無文で外反する小型深鉢である。体部は沈線による渦巻文、懸垂文を施す。地文にはL R 単節繩文を縦位に施す。151は体部に隆沈線による大渦巻文、小渦巻文、懸垂文を施す。地文はR L R 復節繩文を縦位に施文する。153は口縁部が無文、頸部に橋状把手をもつ。体部は沈線による区画を施す。154は孔のある波状突起をもつ深鉢の口縁部～体部である。口縁部は刺突文、体部は隆沈線による渦巻文・懸垂文が施される。155は口縁が緩やかな波状を呈し、無文で外反する深鉢である。158は口縁が外反する小型深鉢である。

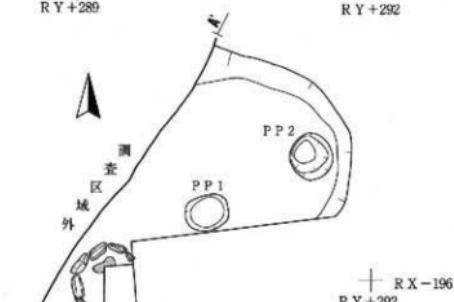
＜石器＞157は石鏃で凹基無茎鏃で、脚部が欠損する。159は石皿である。

＜時期＞出土遺物から繩文時代中期中葉と思われる。



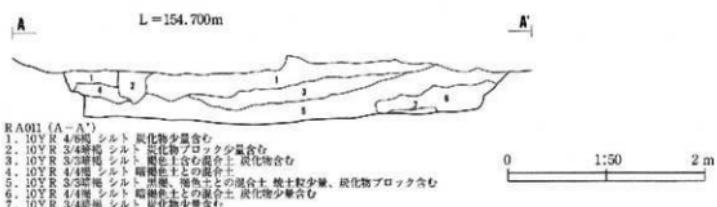
第24図 R A010堅穴住居跡

+ R X-193 R A011 + R X-193  
R Y+289 R Y+292



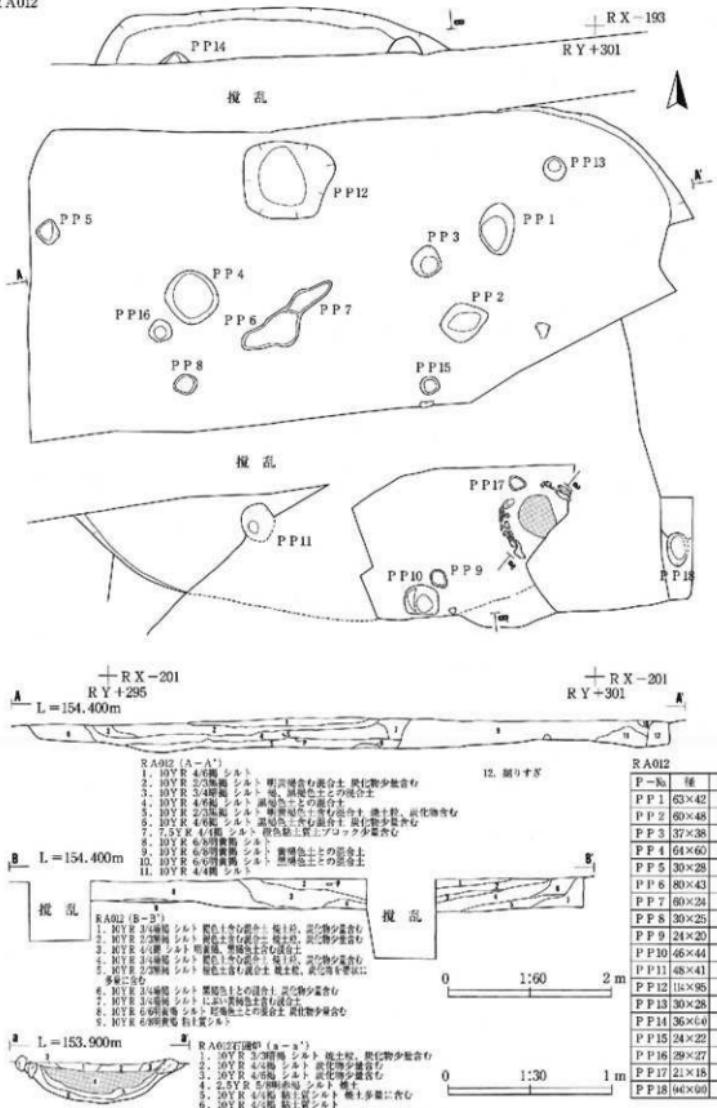
+ R X-196  
R Y+292

R A011		
P - No.	種	深さ
PP 1	45×26	21
PP 2	49×44	51



第25図 R A011竪穴住居跡

RA012



第26図 RA012堅穴住居跡

## R A015堅穴住居跡

遺構（第27図・写真図版21）

＜位置＞調査区4F19wグリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞II層で褐色土の広がりとして検出する。RD027、RD059、RD102、RD103と重複関係にある。RD027、RD059、RD102、RD103に切られる。

＜規模・平面形＞調査区内で検出した規模は東西(5.64)m、南北(6.8)mの梢円形を呈する。西側部分は調査区域外に延びる。床面積は(30.1)m<sup>2</sup>である。

＜埋上＞人為堆積で20層に分けられる。おもに暗褐色土、褐色土、黄褐色土の混合土から構成される。周溝の堆土は炭化物を少量含む暗褐色土である。

＜壁・床面＞残存する壁高は東壁32cm、西壁32cm、南壁45cmで床面より直立に立ち上がる。床面はⅢd層を掘り込んで構築されている。北側半分は約20cmの高低差があり、北方向にやや傾斜しながら調査区域外に延びる。床面は堅く締まっている。南壁～東壁際には幅11～29cm、深さ12～22cmの周溝が廻る。

＜柱穴＞柱穴は35基検出している。柱配置は不明である。これらの規模は径10～70cm、深さ12～91cmである。

＜炉＞地床炉1基を検出している。規模は40×25cmの梢円形を呈する。焼土の厚さは2～3cm程で、赤褐色粘土質土である。

遺物（第86・87図・写真図版80・81）

＜出土状況＞埋土、床面直上から縄文土器、上器片、石器、石製品が出土している。

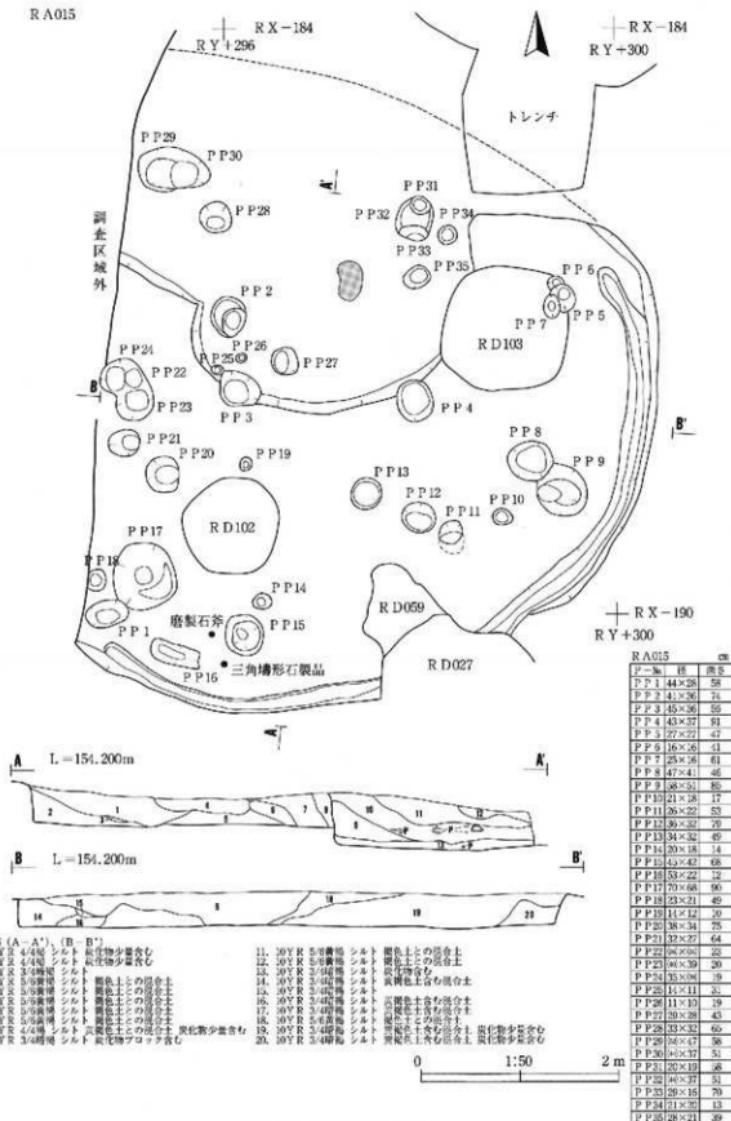
＜上器＞160は口縁が小波状を呈し、波頂部下に孔をもつ浅鉢である。隆帯による4単位の渦巻文、懸垂文を施す。161は口縁が大きく波状を呈し、波頂部に円文を施し、下部に波状の隆帯間に刺突を施文する。墾部は3本1組の沈線、体部にも3本1組の沈線を施文する。162は波状口縁の波頂部に渦巻突起を加飾する深鉢の口縁部である。164は浅鉢で口縁部が降沈線による渦巻文、梢円区画内に刺突文を施す。体部はR L R複節縄文を縱位に施文する。167は貝殻腹縁圧痕文を施す。168は縦位、横位の平行沈線を施す。

＜石器＞169は背面下部に刃部をもつ削器である。170は基部を欠損する磨製石斧である。側面はほぼ平坦に研磨整形され、稜が明瞭に形成されている。

＜石製品＞171は三角彫形石製品である。正面は三角形状を呈し、三角形の掘り込みをもつ。2つの孔は底部に貫通する。裏面は三角状の凹みをもつ。側面はL字状の2本1組の沈線を施す。底部は沈線を施し、台形状の掘り込みをもつ。2つの孔は側面部に貫通する。研磨整形による擦痕がみられる。

＜時期＞出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

RA015



第27図 RA 015堅穴住跡

### RA016竪穴住居跡

遺構 (第28・29図・写真図版22)

<位置>調査区4 F 17y グリッドに位置する。

<検出状況・重複関係>Ⅲc層で黒褐色土の広がりとして検出する。RA024と重複関係にありRA024を切っている。南北に1.5×3mの試掘トレンチを入れたため南壁の一部は失われている。

<規模・平面形>調査区内で検出した規模は東西3.73m、南北(2.62)mの円形を呈するものと推定される。北側部分は調査区域外に延びる。床面積は(6.8)m<sup>2</sup>である。

<埋土>自然堆積で5層に分けられる。おもに黒褐色土、暗褐色土から構成される。

<壁・床面>残存する塙高は東壁66cm、西壁44cm、南壁67cmで、床面よりやや直立気味に立ち上がる。床面は1d層を掘り込んで構築されており、ほぼ平坦で堅く締まっている。

<柱穴>柱穴は6基検出している。柱配置は不明である。これらの規模は径22~82cm、深さ16~63cmである。<炉>不明である。

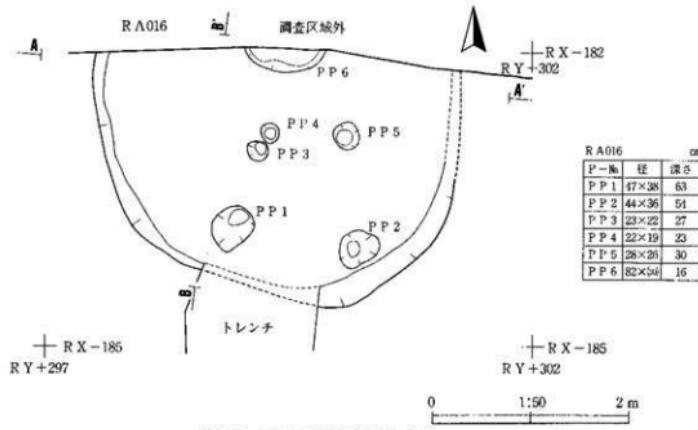
遺物 (第87・88図・写真図版80)

<出土状況>埋土上位、埋土中位、埋土下位より縄文土器、土器片、石器が出上している。

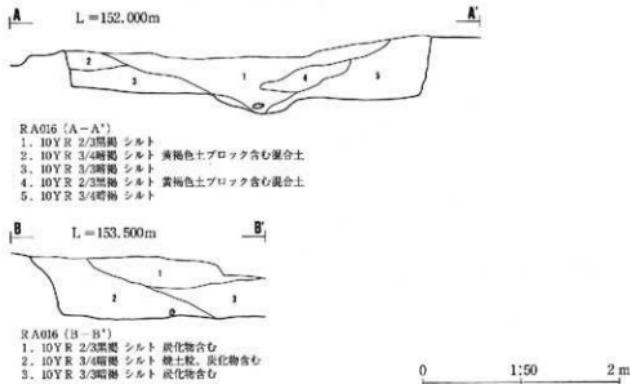
<土器>172はキャリバー形の深鉢の口縁～体部である。隆沈線による有縫渦巻文を施す。地文はRL単節縄文を口縁部は横位に、体部は縱位に施す。173は深鉢の体部で隆帶による有縫渦巻文を施す。地文はLR単節縄文を縱位に施文する。174は小波状の口縁で2本1組の沈線、波状沈線を施す。175は格子文を施す。176は口縁部で貝殻腹縁文を縱位に施す。

<石器>177は石鏃で円基鏃である。178は平基無茎鏃である。179は削搔器である。180は石皿である。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。



第28図 RA016竪穴住居跡 (1)



第29図 RA016豎穴住居跡（2）

#### RA017豎穴住居跡

遺構（第30図・写真図版23）

＜位置＞調査区4 G18 i グリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞盛土除去後、I c層で黒色土の広がりとして検出する。RA018、RA021、RA030と重複関係にありRA030を切り、RA018、RA021に切られる。

＜規模・平面形＞遺構の重複により東側部分のみ残存する。推定で東西(3.22)m、南北(2.2)m程の楕円形を呈するものと推定される。床面積は(5.5)m<sup>2</sup>程と推定される。

＜埋土＞2層に分けられる。黒褐色土で構成される。3層は縮まりがあり、貼床と思われる。

＜壁・床面＞残存する壁高は、東壁52cm、西壁51cmで床面よりやや緩やかに立ち上がる。床面はIII a層を掘り込んで構築している。中央部は厚さ8cmの黒褐色～褐色土で貼られ、ほぼ平坦である。

＜柱穴＞不明である。

＜炉＞不明である。

遺物（第88図・写真図版82）

＜出土状況＞埋土中、床面上から土器片、石器が出土している。

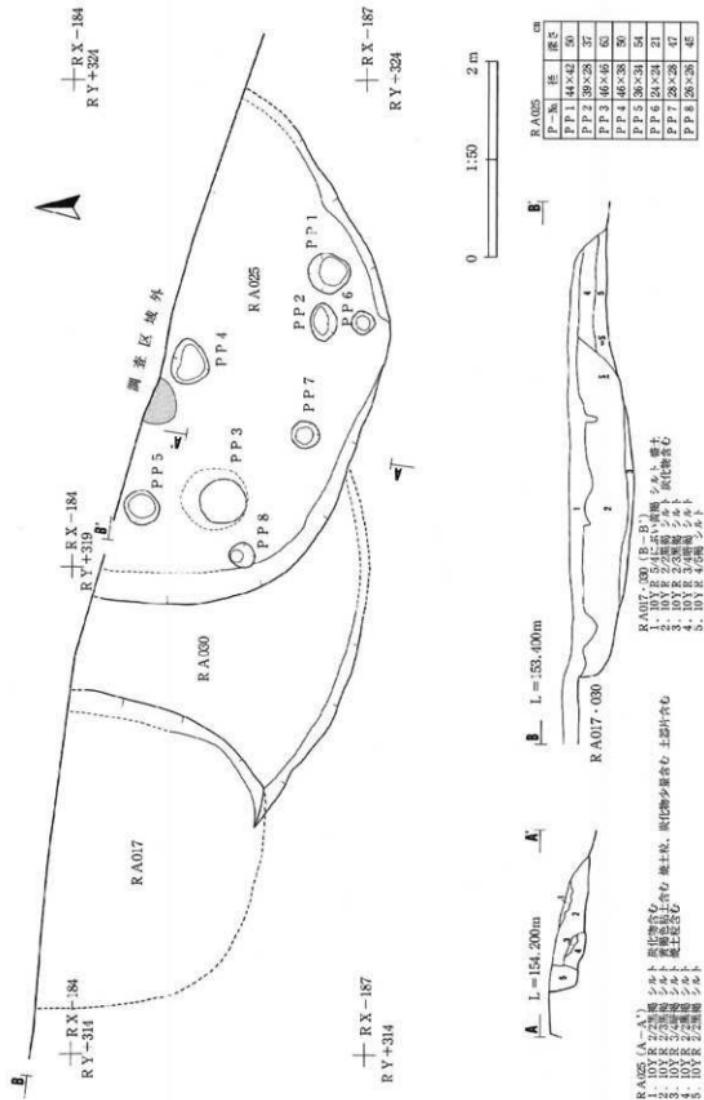
＜土器＞181は深鉢の口縁部で陸帯による渦巻文を施す。182は陸帯による有輪文を施す。184、185、186は貝殻腹縁文を施す。

＜石器＞187は削器である。

＜石製品＞188は中心部に斜めに貫通した孔をもつものである。

＜時期＞出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

R A017・025・030



第30図 R A017・025・030縦穴住居跡

## R A018堅穴住居跡

遺構（第31・32図・写真図版24・25）

＜位置＞調査区北側中央部4 G19 f グリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞住居跡中央部は南北の排水管溝により擾乱を受けている。I c層で褐色土の広がりを検出する。R A021、R D110と重複関係にある。R A021を切り、R D110に切られている。

＜規模・平面形＞長径(7.2)m程、短径7.15m程のほぼ円形を呈し、床面積は約(35.0)m<sup>2</sup>である。なお、西側に周溝を検出していることから拡張された住居跡と考えられる。古期の住居跡は長径3m程、短径2.3m程の梢円形を呈すると思われる。

＜埋土＞人為堆積で13層に分けられる。埴土上位は暗褐色～褐色土で炭化物を少量含み、中位はにぶい黄褐色土と黄褐色土の混合土、下位は炭化物を多量に含む暗褐色土から構成される。

＜壁・床面＞残存する壁高は東壁44cm、西壁54cm、南壁66cmである。床面よりやや直立気味に立ち上がる。床面はⅢ a層を掘り込んで構築されており、部分的に凹凸が見られるが、ほぼ平坦で堅く締まっている。東～南側には幅30cm、深さ10cm程の周溝が掘る。

＜柱穴＞柱穴は31基検出している。柱配置は不明であるが、これらは拡張、またはR A021の柱穴が重複していると考えられる。規模は径16～72cm、深さ10～106cmである。

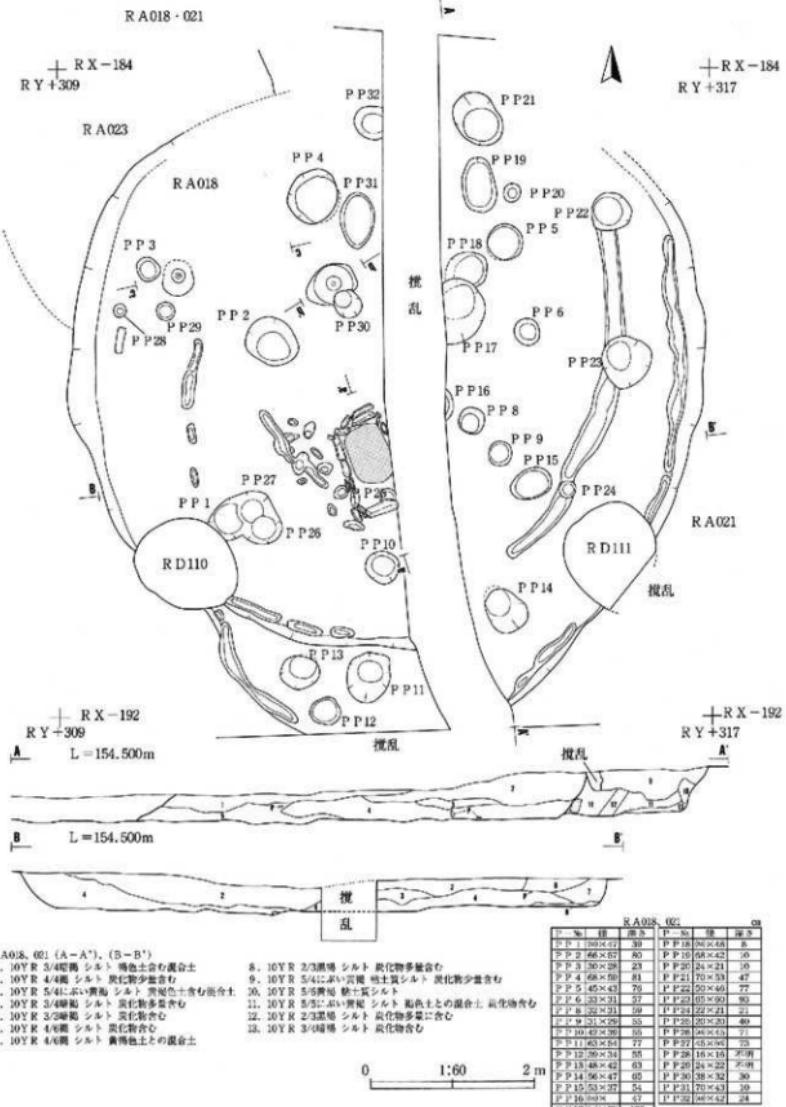
＜炉＞住居の軸線上に石門炉1基を検出している。石門炉は大小17個の自然並みで構築している。東側の一部は擾乱により残存しないが、長径132cm、短径82cmで、平面形は台形状を呈する。炉内の焼土の規模は31×74cmの梢円～隅丸方形を呈し、厚さは最大14cmである。炉の周辺に炉石の抜き取り痕が見られる。

＜埋甕＞住居の軸線上より約20cm東寄りに埋甕1、約134cm西寄りに埋甕2の2基を検出している。埋甕1は大型の深鉢で、上端幅69cm、下端幅51cm、深さ70cmのラスコ形の土坑に伏せて埋設している。埋甕周辺の埋土は人為堆積で3層に分けられる。1層は褐色土主体に黄褐色土をブロック状に含む混合土、2層はにぶい黄褐色土主体に明黄褐色土をブロック状に含む混合土、3層は黄褐色粘土質土から構成される。埋甕2は小型の深鉢で上端幅42cm、下端幅22cm、深さ30cmの土坑に伏せて埋設している。埋甕周辺の埋土は人為堆積で2層に分けられる。1層は暗褐色土主体に褐色土を含む混合土、2層はにぶい黄褐色土から構成される。

遺物（第89・90・91図・写真図版82・83・84）

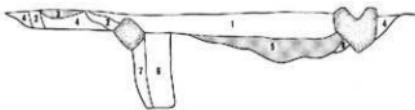
＜出土状況＞埋土中、壁際、床面直上、床面下より繩文土器、石器、石製品が出土している。

＜土器＞189は深鉢である。口縁部は平縁を呈し、小溝巻文を7つ配して、7つに区画し、その間に隆沈線による渦巻文と懸垂文、刺突文を配する。体部上半は隆沈線による有棘大渦巻文を施し、小溝巻文、円文と連結する。体部下半は梢円状に区画する。地文はR L R複節繩文を縱位に施す。底部は網代痕があり、穿孔をもつ。190は口縁が無文で外反する小型深鉢である。口縁部は刺突文を施す。体部は隆沈線による渦巻文、懸垂文を施す。地文にはR L R複節繩文を縱位に施す。底部は穿孔を施す。191は口縁～頸部まで無文でミガキを施す小型深鉢である。頸部に鈎状把手を加飾する。体部上半は隆沈線による小溝巻文、懸垂文、下半は隆沈線による梢円状の区画文を施す。192はミニチュア上器で注口をもつものである。193は幅広い弁状突起をもつものである。隆帯による渦巻文を施す。地文はR L 単節繩文を横位に施す。196は平縁の浅鉢である。口縁部は隆沈線による渦巻文、懸垂文、連続文を施文する。地文はR L 単節繩文で横位に施す。201は波状口縁の波頂部に隆沈線による渦巻突起を加飾する、破片



第31図 RA018(1)・021豎穴住居跡

**a** L = 153.900m



- R A018G断面 (a - a')
1. IOY R 3/20粘 シルト 硫化物含む
  2. IOY R 4/6粘 粘土質シルト
  3. 5 YR 4/6赤 粘土質シルト 焼上
  4. IOY R 5/10粘 黒褐色シルト
  5. 6 YR 6/10粘 黒褐色シルト
  6. IOY R 3/4粘 シルト 黒施 硫化物と粘土との混合土
  7. IOY R 4/6粘 粘土質シルト 硫化物少巣含む
  8. IOY R 4/6粘 粘土質シルト 硫化物少巣含む

0 1:25 1m

**b** L = 153.600m



- R A018埋堀1 (b - b')
1. IOY R 4/6粘 シルト 黑褐色土含む混合土
  2. IOY R 4/6粘 黑褐色土含む混合土
  3. IOY R 2/3粘 シルト 黑褐色土含む混合土
  4. IOY R 3/4粘 シルト 黑褐色土含む混合土
  5. IOY R 4/6粘 シルト 細黑褐色土含む混合土
  6. IOY R 6/10粘 黑褐色土含む混合土
  7. IOY R 3/4粘 シルト 硫化物少巣含む
  8. IOY R 0/6粘 黑土

**c** L = 154.000m



- R A018埋堀2 (c - c')
1. IOY R 4/6粘 シルト 黑褐色土含む混合土
  2. IOY R 4/6粘 黑褐色土含む混合土
  3. IOY R 2/3粘 シルト 黑褐色土含む混合土
  4. IOY R 3/4粘 シルト 黑褐色土含む混合土
  5. IOY R 4/6粘 シルト 細黑褐色土含む混合土
  6. IOY R 6/10粘 黑褐色土含む混合土
  7. IOY R 3/4粘 シルト 硫化物少巣含む
  8. IOY R 0/6粘 黑土

0 1:25 1m

第32図 R A018堅穴住居跡 (2)

の下縁には沈線が見られる。地文はLR単節縄文を継位に施す。198は波状口縁の波頂部に隆線による渦巻文を施し、口縁部は無文でミガキを施す。頭部に隆帯、3本1組の沈線を施す深鉢である。203は深鉢の体部で隆沈線による小渦巻文、懸垂文、円・楕円状の区画文を施す。204は波状口縁の波頂部に隆沈線による渦巻文を施し、口縁部は沈線による有棘渦巻文を施す。体部は3本1組の沈線を施す深鉢である。

<石器>205は石礫である。206~212は削撃器である。213は磨石である。214は敲打痕を有し、一個縁部を使用する特殊磨石である。

<石製品>215は孔をもつものである。216は石棒である。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### R A019堅穴住居跡

##### 遺構（第33図・写真図版26・27）

<位置>開査区4 G 19 k グリッドに位置する。

<検出状況・重複関係> I c 層で検出する。R A025と重複関係にあり、R A019が切られている。

<規模・平面形>一部南側は排水管溝により搅乱を受けている。長径(5.7)m、短径4.1mである。主軸方向はN-5°-Eである。平面形は不整な隅丸形を呈し、床面積は(15.6)m<sup>2</sup>である。

<埋土>4層に分けられる。おもに暗褐色粘土質土、褐色粘土質土から構成される。炭化物、土器片含む。

<壁・床面>残存する壁高は東壁30cm、西壁30cm、南壁40cmである。床面よりやや直立気味に立ち上がる。西壁～南壁際には幅15cm、深さ10cm程の周溝が巡る。

<柱穴>柱穴25基検出している。PP1、PP2、PP10、PP11、PP15、PP22が主柱穴と考えられる。規模は径28~56cm、深さ33~79cmである。柱間は1.36~1.9mである。

<炉>住居の長軸線上に石開炉1基を検出している。石開炉は5個の自然縛で構築している。抜き取りの痕跡は不手際により確認できなかったが、本来は石が廻っていた可能性も考えられる。形態は方形、もしくは円形状を呈する。長径68cm、短径55cmである。炉内の焼土の規模は62×56cm、厚さ最大で22cmである。炉右の外に広がる焼土は100×60cmの不整形を呈し、厚さは8cm程である。南側の自然縛は石開炉の右組の一部と思われる。2時期の炉が構築されていたと推定される。

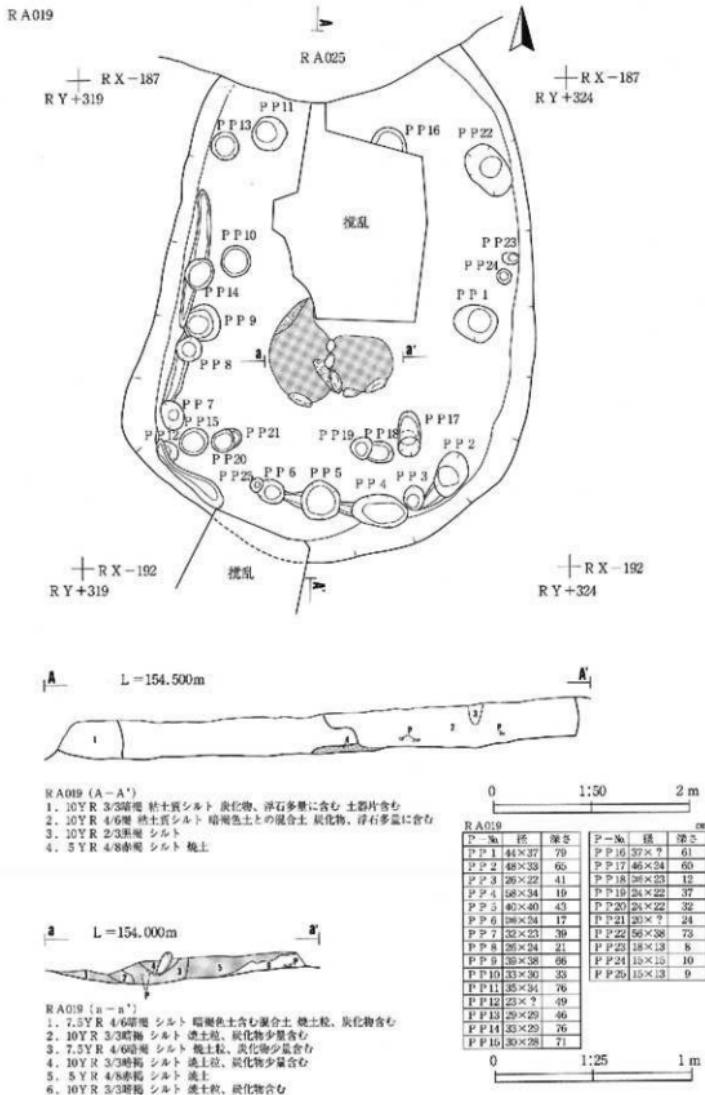
##### 遺物（第92図・写真図版84・85）

<出土状況>堆土上位、埋土中位と炉上から縄文土器片、石器が出土している。

<土器>217は口縁部が無文の深鉢である。地文はRL単節縄文を継位に施す。218は頭部に2本1組の沈線、体部に3本1組の沈線を施す小型深鉢である。219は弁状突起をもつ深鉢の口縁部である。隆沈線による小渦巻文、渦巻文を施す。220は口縁部に円形状区画文、刺突文を施す。221はキャリバー形深鉢の口縁部である。地文はRLR複節縄文を横位に施す。222は隆沈線による渦巻文を施す。223は隆沈線による有棘渦巻文を施す。地文はRLR複節縄文を縱位に施す。

<石器>224は背部に自然面を残す削撃器である。225は石皿である。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。



第33図 R A019堅穴住居跡

## R A 020整穴住居跡

遺構（第34図・写真図版28・29）

＜位置＞調査区北側東部4 G19mグリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞I c層で黒色土の広がりを検出する。北側は調査区域外に延びる。西側試掘トレンチにより、東側はU字溝により擾乱を受けている。

＜規模・平面形＞調査区内で検出した規模は長径5.7m、短径(3.4)m程で楕円形を呈し、床面積は約(13.9)m<sup>2</sup>である。主軸方向は、W-27°-Nである。周溝を2条検出していることから拡張された住居跡と考えられ、古期の住居跡は長径4.4m程、短径3.3m程の楕円形を呈すると思われる。

＜埋土＞自然堆積で6層に分けられる。埋土上位は黒色土、中位は黒色土主体に暗褐色土との混合土と暗褐色土主体に明黄褐色土を含む混合土、下位は炭化物を多量に含む黒～黒褐色土から構成される。周溝の埋土は黒褐色土で炭化物を少量含み、かなり縋まりがある。

＜壁・床面＞残存する壁高は、南壁74cmで床面よりやや直立気味に立ち上がる。床面はIII a層を掘り込み、平坦で堅く締まっている。古期と新期の床面の高低差は5cmで新期の方が高く位置している。壁に沿って幅10～24cm、深さ10cm、この内側に幅10～18cm、深さ10cmの周溝を2条検出している。

＜柱穴＞柱穴は6基検出している。P P 1、P P 2、P P 5は主柱穴と思われる。これらの規模は径21～42cm、深さ36～63cmである。柱間隔は2～2.05mである。

＜炉＞住居の袖廊上に石囲炉1基と石囲炉の南西側に焼土を検出している。石囲炉は大小31個の自然礫で構築している。西側中央部の炉石は径21個の偏平な自然礫を配置している。部分的に炉石が二重に廻る。規模は長径98cm、短径86cmでやや台形状を呈する。炉内の焼土の規模は42×48cmの円形を呈し、厚さ最大で4cmである。石囲炉南西側の焼土の規模は31×34cmの円形を呈する。

＜埋窯＞住居の袖廊上に1基検出している。埋窯は大型の粗製深鉢で、上端幅76cm、下端幅40cm、深さ56cmのフラスコ形の土坑に伏せて埋設している。埋窯周辺の埋土は2層に分けられる。1層は黒褐色土で粘性、しまりがない。2層は褐色土と明黄褐色粘土との混合土で、粘性、縋りとともにある。床面とはほぼ同じ面で埋窯の底部を確認していることから、穿孔部分は住居床面上に露出していた可能性がある。

遺物（第92・93図・写真図版85・86）

＜出土状況＞埋土中、埋土下位、床下より上器、土器片、石器が出土している。

＜土器＞226はミニチュア土器である。227は降沈線による小尚巻文、楕円状区画文内に刺突文を施す。228は口縁に刺突文を施し、体部に隆沈線による懸垂文、円文を施文する。229は口縁が無文の深鉢である。地文は格条体を回転施文する。底部に孔をもつものである。230は撚目状の文様を施す。

＜石器＞232は円基鏡である。233は凹石である。234は石箇である。

＜時期＞出土遺物から绳文時代中期中葉と思われる。

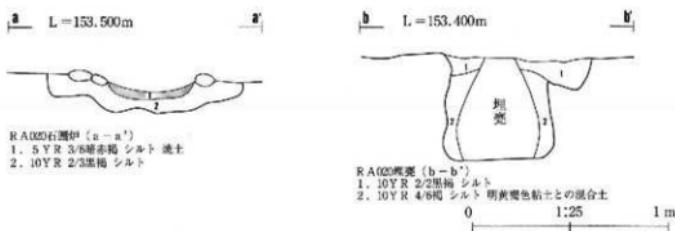
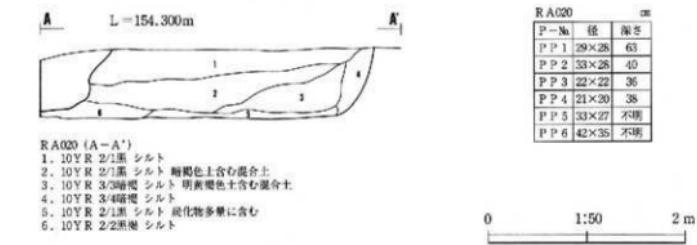
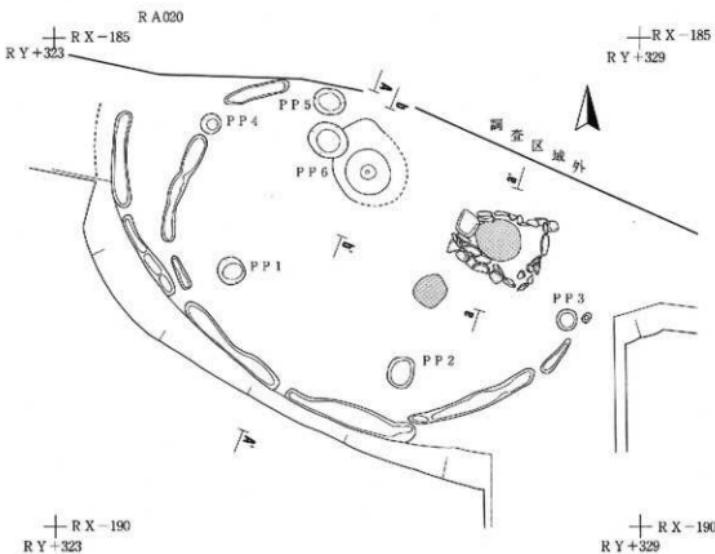
## R A 021整穴住居跡

遺構（第31図・写真図版30）

＜位置＞調査区北側中央部4 G21 fグリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞住居跡中央部は南北方向の排水皆溝により擾乱を受けている。I c層で褐色土の広がりを検出する。R A 018、R D 111と重複関係にあり、R A 018、R D 111に切られている。

＜規模・平面形＞推定で長径(8.4)m程、短径(6.0)m程で楕円形を呈し、床面積は(33.6)m<sup>2</sup>である。主



第34図 RA 020堅穴住居跡

軸方向はN-11°-Eである。

＜埋土＞人為堆積で8層に分けられる。埋土上位はにぶい黄褐色粘土質土、中位は黄褐色粘土質土、にぶい黄褐色土主体に褐色土との混合土、黒褐色土、下位は炭化物を含む暗褐色土から構成される。

＜壁・床面＞残存する壁高は、東壁44cm、南壁61cmである。床面からやや直立気味に立ち上がる。床面はⅢa層を掘り込み構築され、ほぼ平坦で堅く締まっている。RA018の床面よりやや高く、高低差は5cmである。

＜柱穴＞RA018との重複により、柱配置は不明である。

＜炉＞不明である。

#### 遺物（第94図・写真図版86）

＜出土状況＞埋土下位より縄文上器片、石器が出土している。

＜土器＞235は降帯による円文、楕円文を口縁部に施す浅鉢である。236は3本1組の沈線文、波状の沈線文を施す。地文はL R 単節縄文を継ぎに施す。

＜石器＞238・239は石錐である。238は円基錐に属するとと思われる。

＜時期＞出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### RA022堅穴住居跡

##### 遺構（第35図・写真図版31）

＜位置＞調査区北側4 G20bグリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出する。RD012、RD055、RD107と重複関係にありRD012、RD055に切られる。RD107との新旧関係は不明である。

＜規模・平面形＞調査区内で検出した規模は東西(6.8)m、南北(5.4)mである。南側部分は排水管溝や廃材の埋め穴により擾乱を受けている。平面形は橢円形を呈し、床面積は(28.3)m<sup>2</sup>である。

＜壁上＞大きく2層に分けられる。壁上上位は黒褐色土、下位は明褐色土から構成される。上層ベルトを設定したが、西側は掘り上げてしまい土層断面の記録はない。

＜壁・床面＞残存する壁高は5cmほどで、床面はやや凸凹があり堅く締まっている。

＜柱穴＞柱穴は23基検出している。柱配置は不明である。これらの規模は径14~34cm、深さ6~61cmである。

＜炉＞地床炉を北東端に1基、東側に1基それぞれ検出している。

##### 遺物（第94図・写真図版86）

＜出土状況＞壁上から土器片が出土している。

＜土器＞240は貝殻腹縁文を斜位に施す。241は貝殻腹縁文を斜位に施す。242は口唇部に刻目、口縁部に貝殻腹縁文を斜位に施し、体部は平行沈線を施す。

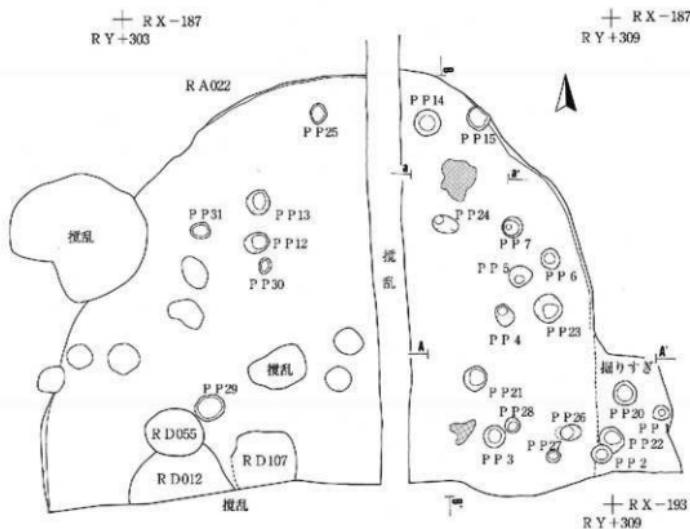
＜時期＞時期を特定できる出土遺物がなく、詳細は不明である。

#### RA023堅穴住居跡

##### 遺構（第36図・写真図版32）

＜位置＞調査区北側4 G17cグリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出する。RA018、RA024と重複関係にあり、RA018、RA024に切られている。



A L = 154.400m A'

B L = 154.400m B'

- RA 022 (A-A'), (B-B')
- 10YR 2/3黒鶴 シルト 氯化物少量含む
  - 7.5YR 5/6明鶴 シルト 硫土
  - 5YR 5/8明鶴 シルト 硫土
  - 7.5YR 5/4明鶴 シルト 硫土
  - 7.5YR 5/6明鶴 シルト
  - 7.5YR 5/6明鶴 シルト
  - 10YR 5/6青鶴 硫土質シルト
  - 10YR 2/3黒鶴 シルト

A L = 154.200m A'

- RA 022 硫土 (a-a')
- 5YR 5/8明赤鶴 シルト 硫土

0 1:60 2 m

RA 022

P-N	深	横	P-N	径	深さ
PP 1	21×19	31	PP 20	30×28	14
PP 2	24×23	24	PP 21	31×27	不明
PP 3	28×28	29	PP 22	32×38	44
PP 4	27×22	30	PP 23	34×34	49
PP 5	29×25	56	PP 24	33×21	?
PP 6	25×24	19	PP 25	26×21	14
PP 7	25×25	31	PP 26	25×19	不明
PP 12	31×25	53	PP 27	18×14	9
PP 13	32×29	25	PP 28	20×18	16
PP 14	33×32	61	PP 29	37×32	14
PP 15	29×26	31	PP 30	20×14	25
PP 31	24×20	6			

第35図 RA 022堅穴住居跡

<規模・平面形>調査区内で検出した範囲で、規模は南北(3.7)m程、東西(3.65)mである。北側は調査区域外に延びる。平面形は梢円形を呈し、床面積は(10.6)m<sup>2</sup>である。土軸方向はN-11°-Wである。

<埋土>人為堆積で10層に分けられる。おもに埋土上位は黒褐色土主体に褐色土との混合土、中位は褐色粘土質土主体に炭化物を含む暗褐色土との混合土、下位は黒褐色土主体に黄褐色土との混合土から構成される。

<壁・床面>残存する壁高は東壁45cm、西壁30cmである。床面中央部分には貼床が見られ平坦で堅く締まっている。

<柱穴>柱穴は13基検出している。PP1、PP3、PP5が主柱穴と考えられる。これらの規模は径34~42cm、深さ62~65cmである。

<炉>住居の軸線上に地床炉1基を検出している。平面形は長梢円形を呈し、規模は長径64cm、短径30cmで、焼土の厚さは最大10cmである。

#### 遺物（第94・95図・写真図版87）

<出土状況>埋土中、床面直上から上器片、石器が出土している。

<土器>243は体部~底部の深鉢である。地文はR L単節縄文を横位に施す。底部には網代痕が見られる。244は小波状口縁で波頂部に落沈線による小渦巻文を施す。245は波状口縁で波頂部下に盲孔をもつ。

<石器>247・248・249は石籠である。250は一側縁に使用痕をもつ特殊磨石である。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### R A024堅穴住居跡

##### 遺構（第37図・写真図版33）

<位置>調査区北側4 G18aグリッドに位置する。

<検出状況・重複関係>重層で暗褐色土の広がりとして検出する。RA016、RA023、RA027と重複関係にあり、RA024が、これらに切られる。

<規模・平面形>調査区内で検出した規模は東西7.5m程、南北(3.6)m程である。平面形は梢円形状を呈し、床面積は(23.0)m<sup>2</sup>である。

<埋土>下位の11層が埋土と推定される。暗褐色土で炭化物を多量に含む。

<壁・床面>残存する壁高は南壁で30cmで、床面から直立気味に立ち上がる。床面は堅く締まっている。

<柱穴>柱穴は7基検出している。柱配置は不明である。これらの規模は径21~56cm、深さ9~76cmである。<炉>未検出である。

#### 遺物（第95図・写真図版87・88）

<出土状況>埋土上位、埋土中位から土器片、石器が出土している。

<土器>251は隆沈線による渦巻文を施す。

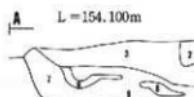
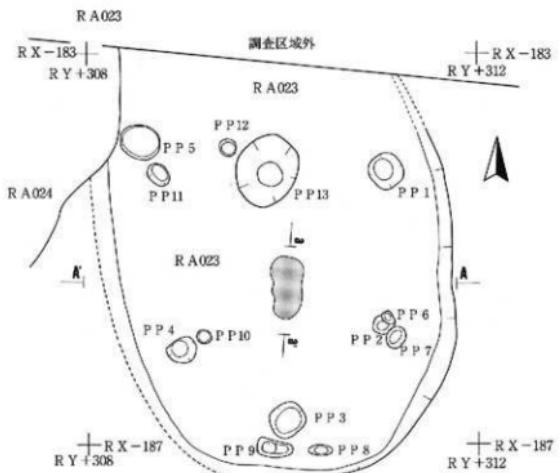
<石器>260、261は石籠である。262は一側縁に使用痕をもつ特殊磨石である。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### R A025堅穴住居跡

##### 遺構（第30図・写真図版34）

<位置>調査区北側4 G18jグリッドに位置する。



0 1:50 2 m

RA 023		
P-N	径	深さ
PP 1	36×34	82
PP 2	22×19	36
PP 3	38×34	55
PP 4	32×28	不明
PP 5	42×36	不明
PP 6	16×11	不明
PP 7	24×18	不明
PP 8	25×12	39
PP 9	38×18	21
PP 10	16×14	不明
PP 11	27×20	不明
PP 12	18×18	不明
PP 13	76×63	不明

RA 023地図 (a-a')

1. 2.5Y R 4/6赤褐色 シルト 土
2. 10Y R 3/2暗褐色 シルト に赤い黄褐色土との混合土 粘土粒含む
3. 10Y R 5/6赤褐色 黄褐色シルト

a L = 153.500m a'

0 1:25 1 m

第36図 RA 023整穴住居跡

<検出状況・重複関係>Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出する。R A030と重複関係にあり、R A030を切る。

<規模・平面形>調査区内で検出した規模は東西5.45m程、南北(2.2)m程である。平面形は不整な円形を呈し、床面積は(8.2)m<sup>2</sup>である。

<埋土>人為堆積で5層に分けられる。おもに黒褐色土と暗褐色土から構成される。

<壁・床面>残存する壁高は南壁で30cmで、床面から直立気味に立ち上がる。床面は堅く締まっている。

<柱穴>柱穴は8基検出している。P P 1、P P 3が主柱穴と考えられる。これらの規模は径42~46cm、深さ50~63cmである。

<炉>北端に規模45×(30)cmの焼土の広がりが見られるが詳細は不明である。

#### 遺物（第96図・写真図版88）

<出土状況>埋土中から縄文土器片、石器が出土している。

<土器>263は波状口縁で隆沈線を施す。264は隆沈線による渦巻文を施す。265は3本1組の沈線文を施す。<石器>266は石範である。267は磨石である。

<石製品>268は円形を呈し中央部に孔をもつものである。

<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### R A026竪穴住居跡

##### 遺構（第38図・写真図版35）

<位置>調査区北側4 G 19 aグリッドに位置する。

<検出状況・重複関係>R A015の床面より20cm程上位で石圓炉を検出している。R A015と重複関係にあり、R A015を切る。またR D103と重複し、R A026が切られている。

<規模・平面形>東壁の一部と炉の検出のみで全容は不明である。

<埋土>黒褐色土で炭化物を含み、かなり締まりがある。

<壁・床面>残存する壁高は東壁5cmである。石圓炉の周囲は平机で堅く締まる。

<柱穴>未検出である。

<炉>東壁寄りに石圓炉1基検出している。

#### 遺物（第96図・写真図版89）

<出土状況>埋土中、炉の直上より縄文土器、土器片が出土している。

<土器>269は口縁が大きく外反し、口縁部に刺突文を2列配する。体部は隆沈線による小渦巻文、懸垂文が施される小型深鉢である。地文はL R単節縄文を縦位に施す。270は口縁が平縁で隆沈線による小渦巻文、方形状の区画文を施す。地文はR L単節縄文を縦位に施文する。271は口縁が外反し、沈線による渦巻文、懸垂文を施す。地文はL R単節縄文を縦位に施文する。

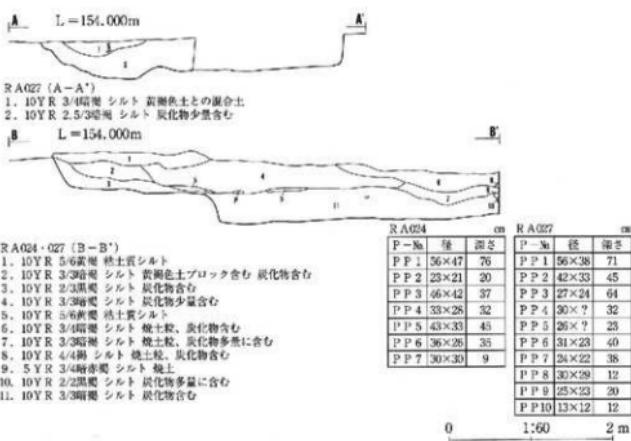
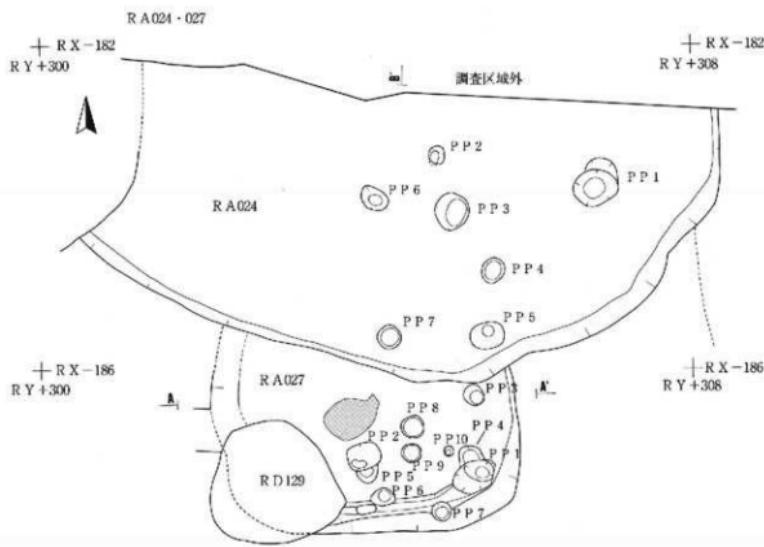
<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

#### R A027竪穴住居跡

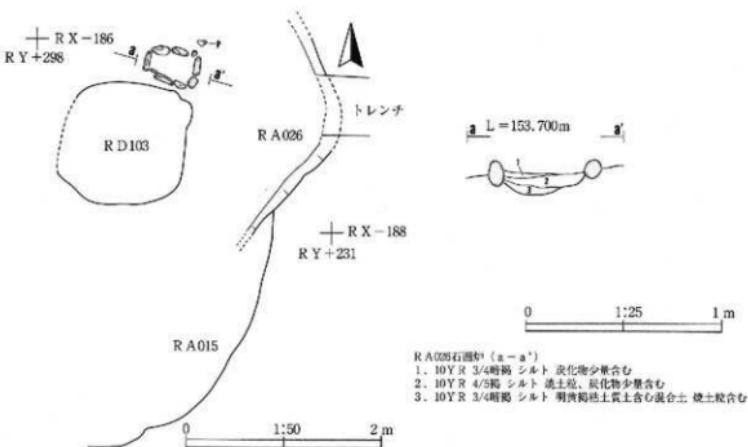
##### 遺構（第37図・写真図版36）

<位置>調査区北側4 G 19 bグリッドに位置する。

<検出状況・重複関係>Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出する。R A024、R D129と重複関係にあり、



第37図 R A024・027竪穴住居跡



第38図 RA 026竪穴住居跡

RA 024を切り、RD 129に切られる。不手際により北側半分の記録なし。

<規模・平面形>南北(2.56)m程、東西3.76m程である。平面形は隅丸方形状を呈し、床面積は(5.7)m<sup>2</sup>である。

<埋土>8層に分けられる。埋土上位は暗褐色土と黄褐色土との混合土、下位は炭化物を含む暗褐色土から構成される。

<壁・床面>残存する壁高は東壁25cm、西壁25cm、南壁30cmで、床面よりやや直立気味に立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込み、貼床が見られ、平坦で締まっている。南壁際に幅15cm、深さ5cmの窪溝が廻る。

<柱穴>柱穴は10基検出している。柱配置は不明である。これらの規模は径12~56cm、深さ12~71cmである。

<炉>地床炉1基を検出している。規模70×50cm程の不整形を呈し、焼土の厚さは最大3cmである。

#### 遺物（第97図・写真図版89）

<出土状況>埋土から縄文土器片、石器が出土している。

<土器>272は深鉢の底部で、網代痕をもつ。273は小波状口縁で波頂部下に隆沈線による渦巻文を施す。275は深鉢の体部である。沈線による緩やかな渦巻文を施す。

<石器>276は石匙である。277は敲打痕を有し、一側縁部を使用する特殊磨石である。278は凹石である。<時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

### R A030堅穴住居跡

#### 遺構（第30図・写真図版36）

- <位置>調査区北側 4 G19 i グリッドに位置する。
  - <検出状況・重複関係>Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出する。西側で R A017、東側で R A025と重複関係にあり、R A030が切られている。
  - <規模・平面形>調査区内で検出した規模は東西(2.8)m程である。平面形は円～稍円形を呈すると推定され、北側部分は調査区域外に延びる。
  - <埋土>2層に分けられる。埋土上位は暗褐色土、下位は褐色土から構成される。
  - <壁・床面>残存する壁高は南壁で30cmである。床面はⅢ b層を掘り込み、ほぼ平坦で堅く締まっている。
  - <柱穴>未検出である。
  - <炉>未検出である。
- 遺物（第97図・写真図版89）
- <出土状況>壙上から縄文土器片が出土している。
  - <土器>279は降線を施す深鉢の破片である。
  - <時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。

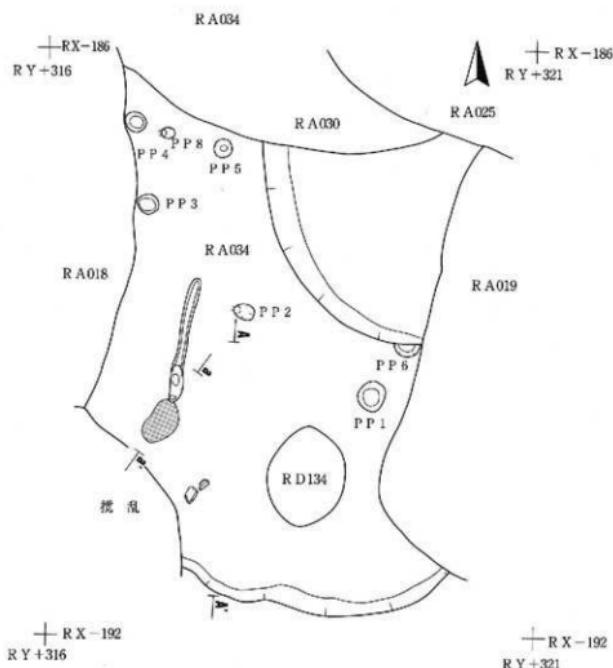
### R A034堅穴住居跡

#### 遺構（第39図・写真図版37）

- <位置>調査区北側 4 G19 j グリッドに位置する。
- <規模・平面形>重複が激しく全容は不明であるが、調査区内で検出した規模は東西(3.2)m程、南北(4.8)m程である。平面形は円～稍円形を呈すると推定される。北側部分は調査区域外に延びる。
- <検出状況・重複関係>Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出する。R A019、R A025、R A030、R A034、R D134と重複関係にある。
- <堆土>人為堆積で6層に分けられる。暗褐色土主体にぶい黄褐色土との混合土、暗褐色土主体に明黄褐色粘土質土との混合土、明黄褐色粘土質土から構成される。
- <壁・床面>残存する南壁で27cmである。床面よりやや直立気味に立ち上がる。床面はⅢ a層を掘り込み、ほぼ平坦で堅く締まっている。中央やや西側に長さ約90cm、幅10cm、深さ10cmの溝を検出している。
- <柱穴>柱穴は7基検出している。柱配置は不明である。これらの規模は径12～31cm、深さ14～35cmである。
- <炉>2個の自然縫を床面より検出しているが、石囲炉の炉石かどうか不明である。西側に規模36×44cm、厚さ4cmの焼土の広がりが見られる。

#### 遺物（第97図・写真図版89・90）

- <出土状況>壙上から出土している。
- <土器>282は口縁に隆沈線による渦巻突起をもつ深鉢である。地文はL R 単節縄文を横位に施す。283は波状口縁で波頂部に小渦巻文を施す。
- <石器>284は削撓器である。
- <時期>出土遺物から縄文時代中期中葉と思われる。



RA 034 (A-A')  
 1. 10YR 3/6暗緑 シルト にぶい黄褐色土との混合土 硫化物少量含む  
 2. 10YR 3/6暗緑 シルト 明瞭粘土質土含む混合土 硫化物少量含む  
 3. 10YR 6/8明黄緑 粘土質シルト 黄褐色土を含む混合土  
 4. 10YR 6/8明黄緑 粘土質シルト 黄褐色土を含む混合土  
 5. 10YR 2/3黒緑 シルト 明黄褐色土質土含む混合土 硫化物少量含む  
 6. 10YR 6/8明黄緑 粘土質シルト

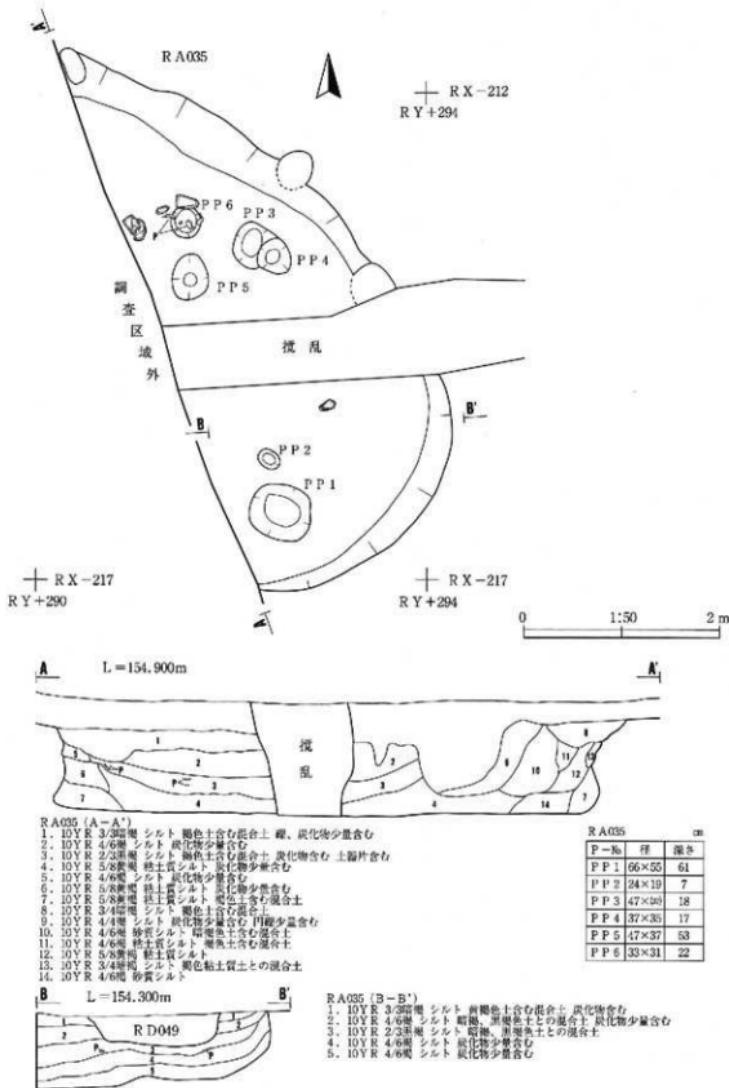
0 1:50 2 m

RA 034 cm		
P-3c	径	深さ
PP 1	31×28	23
PP 2	22×16	35
PP 3	23×21	16
PP 4	22×20	22
PP 5	19×19	16
PP 6	27×96	14
PP 8	15×12	23

A-A' L=154.200m  
 1. 5YR 5/6明赤緑 シルト  
 2. 5YR 4/6赤緑 シルト

0 1:25 1 m

第39図 RA 034堅穴住居跡



第40図 R A035竪穴住居跡

第2表 穫穴住居跡観察表

No.	遺構名	位 置	重複（旧→新）	平 面 形	規模 長軸×短軸(m)
1	RA001	5 G 11 c	RD029に切られる？	楕円形	(4.3) × (3.2)
2	RA002	4 G 1 q	RD028に切られる？	不整な円形(楕円形?)	(4.5) × 4
3	RA003	5 G 12 g	RD071→RA003→RD021	ほぼ円形	(6.2) × (4.4)
4	RA004	4 G 23 o	RA004→RD009	楕円形	(6.4) × 5.7
5	RA005	5 F 3 u	RA005→RD063・RD064	隅丸方形?	(4.55) × (3.6)
6	RA006	5 F 1 u	RA006→RD049・RD085	不明	不明
7	RA007	5 F 7 w	西側RA035 重複関係があるかどうか不明	不明	不明
8	RA008	5 F 11 y	RA008→RD036・037・050・059・092・094 ・095・099・100・101・112・116・120	楕円形	9.5 × 7.6
9	RA009	5 F 9 v	RA042→RA009→RA035・RD060・062	不明	不明
10	RA010	5 F 11 w	RA010→RD091, RA010→RA008	(隅丸方形)?	5.5 × (3.9)
11	RA011	4 F 23 u	なし	不整な円形	(4.9)
12	RA012	4 F 22 w	RD108→RA012→RD087→RD075	隅丸方形?	(8.6) × (8.1)
13	RA015	4 F 19 w	RA015→RD027→RD059 RA015→RD102・103	ほぼ円形	(5.64) × (6.8)
14	RA016	4 F 17 y	RA024(西側)→RA016	円形	3.7 × (6.2)
15	RA017	4 G 18 i	RA030→RA017	楕円形?	(3.26) × (2.2)
16	RA018	4 G 19 f	RA021→RA018→RD110	ほぼ円形	(7.2) × (7.1)
17	RA019	4 G 19 k	RA019→RA025	隅丸方形に近い楕円形	4.1 × (5.7)
18	RA020	4 G 19 m	なし	楕円形	5.7 × (3.4)
19	RA021	4 G 21 f	RA021→RA018 RA021→RD111	楕円形	(8.4) × (6.0)
20	RA022	4 G 20 b	RA022→RD012→RD055 (107の新旧関係 は不明)	楕円形	(6.8) × (5.4)
21	RA023	4 G 17 e	RA021・RA023 RA023→RA024	楕円形	(3.7) × 3.65
22	RA024	4 G 8 a	RA023・RA024 RA021→RA016 RA024・RA027	楕円形	(7.5) × (3.6)
23	RA025	4 G 18 j	RA030→RA016	不整な円形	5.45 × (2.2)
24	RA026	4 G 19 a	RD103→RA026 (レベル差から)	?	(1.5) × (1.1)
25	RA027	4 G 19 b	RA024→RA027→RD129	隅丸方形?	(2.56) × (3.76)
26	RA030	4 G 19 i	RA034→RA017 RA030→RA025	円形?	(2.8)
27	RA034	4 G 19 j	RA034→RD134 RA034→RA030 RA019→RA025	不明	4.8 × 3.2
28	RA035	5 F 7 u	なし	楕円形	(5.9)

竪穴状遺構観察表

No.	遺構名	位 置	重複（旧→新）	平 面 形	規模 長軸×短軸(m)
1	RE001	5 G 15 g	RE001→RD115	円形?	(5.7) × (3.2)
2	RE002	4 G 19 d	RE002→RA023・018・024・027		

主軸方向	炉場(面)	炉	柱穴	時期	備考
N-55°-W	(10.4)	地床炉の可能性?	2?	中期中葉	
W-35°-N	(12.9)	石圓炉(円形)	4	中期中葉	
W-43°-N	(19.9)	石圓炉	3	中期中葉 南壁は進入跡により削平を受ける	
W-4°-S	(30.3)	石圓炉(コの字)	8	中期中葉 東壁は搅乱を受け残っていない	
	?	石圓炉(コの字)	4	中期中葉	
	?	土器埋設炉	1	中期末葉	
	?	石圓炉(円形)	5	中期	
W-10°-S	55.5	石圓炉(方形)	?	中期中葉 (拡張) 建て替え	
	?	石圓炉(方形)	4	中期中葉	
N-12°-W	(17.0)	石圓炉(方形)	3	中期中葉	
	?	石圓炉	2	中期中葉 西側は調査区域外に延びる 鉄塔の基礎により中央部から東壁は搅乱を受けている	
	(49.2)	石圓炉(円形)	4	中期中葉	
	(30.1)	地床炉?	35	中期中葉	
	(6.8)	なし	6	中期中葉	
	(5.5)	なし	?	中期中葉	
N-23°-W	(35.0)	石圓炉	31	中期中葉	
N-5°-E	(15.6)	石圓炉	25	中期中葉 二度の建て替え 燃土	
W-27°-N	(13.9)	石圓炉(台形状)	6	中期中葉 二度の建て替え(燃土 周溝) 炉中輪線上に埋甕	
N-11°-E	(33.6)		31	中期中葉 北壁は調査区域外に延びる	
	(28.3)	地床炉	23	中期中葉	
N-11°-W	(10.6)	地床炉	13	中期中葉	
	(23.0)		7	中期中葉 精査中にRA027を掘ってしまう	
	(8.2)	地床炉?	8 PP2.6 (RA019分)	中期中葉	北側は調査区外に延びる
	?	石圓炉(台形状)	?	中期中葉	
	(5.7)	地床炉	10	中期中葉 北側はRA024精査中に掘り上げてしまう	
	?	?	?	中期中葉	北側は調査区外に延びる
	?	地床炉?	7 PP1 ~PP8	中期中葉	
	8.8	調査区外?	6	中期中葉	南東壁86cm 東壁81cm 北西壁100cm 西側は調査区域外に延びる

主軸方向	炉場(面)	炉	柱穴	時期	備考
				? 早期	
				早期	

### R A 035堅穴住居跡

遺構（第40・38図・写真図版38）

＜位置＞調査区西側 5 F 7 u グリッドに位置する。

＜検出状況・重複関係＞Ⅱ層下位～Ⅲ a 層上位面で暗褐色土の広がりを検出している。中央部分は東西に延びる排水管溝が掘られ搅乱を受けている。西側は調査区域外に延びる。

＜規模・平面形＞調査区で検出した規模は南北約(5.9)mの楕円形を呈すると思われる。

＜堆土＞自然堆積で大きく4層に分けられる。1層は暗褐色土主体に黄褐色上、炭化物を含む混合土、2層は褐色土主体に暗褐色上、黒褐色土、炭化物を少量含む混合土、3層は黒褐色土主体に暗褐色土、黄褐色土との混合土、4層は炭化物を含む褐色土から構成される。

＜壁・床面＞残存する壁高は南東壁86cm、東壁81cm、北西壁100cmで床面より直立気味に立ち上がる。床面はⅢ c 層を掘り込んで構築され、ほぼ平坦で堅く締まっている。

＜柱穴＞柱穴は6基検出している。柱配置は不明である。これらの規模は径19～66cm、深さ7～61cmである。

＜炉＞北側に4個の自然縁を検出しているが、周辺に焼土の痕跡を確認できなかった。調査した範囲で炉跡は検出できなかった。

遺物（第98図・写真図版90）

＜出土状況＞埋土から出土している。

＜土器＞285はキャリバー形の深鉢である。口縁はゆるやかな、波状を呈し、波頂部に小渦巻文を施す。

頸部は3木1組の弦線を施す。体部は3本1組の懸垂文を施す。286は弁状突起をもつ深鉢である。

＜時期＞出土遺物より縄文時代中期中葉と思われる。

### 3 土坑

個々の土坑の規模・平面形など詳細については観察表に記載してあるので参照されたい。ここでは検出された土坑で特に主体となる縄文時代の土坑の全体的な傾向と特徴について述べることとする。

＜検出数＞119基が検出されている。

＜位置＞調査区全体に広がるが、調査区の南側で特に集中して検出された。

＜検出状況・重複関係＞Ⅱ層下位～Ⅲ a 層上位面で黒褐色土や暗褐色土の広がりとして検出された。土坑同士の重複が多い。また堅穴住居跡との重複も多く、新旧関係は住居跡を切る土坑が多い。

＜平面形＞円形を呈するものが多い。

＜断面形＞フラスコ形とビーカー形を呈するものがある。

＜規模・平面形＞個々の土坑により残存率が異なるので、一概には言えないが、R D028の開口部280cm、底部径300cmが最大である。

＜規模・深さ＞最深の土坑はR D068の293cmである。

＜底面＞概ね平坦で、付属する施設として底部の中央付近に副穴を持つものが27基ある。規模は径20～30cm、深さ10～20cm前後の比較的浅いものが多い。溝状の施設を伴う土坑は検出されていない。

＜埋土＞人為堆積と自然堆積のものがある。

＜出土状況＞遺物が出土した土坑は少ない。埋土に混入したと思われる上器碎片がほとんどである。出土した遺物は縄文時代中期中葉の上器が主体で後期初頭の上器も出土している。R D012・049・089・110土坑から数個体の上器がまとまって出土している。

＜時期＞縄文時代中期中葉から後期初頭と思われる。

第3表 土坑観察表

( ) は推定値

遺構名	R D008
図版	遺構 41
写真図版	遺構 39
位置	4 G 23 t グリッド
検出状況	II b 層、上部擾乱トレンチ。 西側調査区域外。
重複関係	なし
平面形	楕円形
形状	断面形 ピーカー形
・規格	開口径 (96) cm 底部径 (76) cm 深さ 100cm
理	上 砂質土に黄褐色粘土質土含む。
底面	不整
壁	ほぼ直立
竪穴	なし
出土遺物	石器 (288)
時期	縄文中期

遺構名	R D009
図版	遺構 41
写真図版	遺構 39
位置	5 G 1 p グリッド
検出状況	II 層下位
重複関係	なし
平面形	円形
形状	断面形 フラスコ形
・規格	開口径 204×198cm 底部径 256×252cm 深さ 216cm
理	上部擾乱 黒褐色土主体。自然堆土。然堆下。D部はIII c 層崩落す。また、または埋め戻し?
底面	ほぼ平坦
壁	内湾して外反
竪穴	なし
出土遺物	土器 (289・290)、石器 (291)
時期	縄文中期

遺構名	R D011
図版	遺構 41
写真図版	遺構 39
位置	5 G 10 h グリッド
検出状況	II 層下位
重複関係	R D066 を切る。
平面形	椎円形
形状	断面形 不整な皿
・規格	開口径 105×80cm 底部径 74×45cm 深さ 37cm
理	暗褐色土主体の混合土。黄褐色土上プロック含む。
底面	ほぼ平坦
壁	外傾
竪穴	なし
出土遺物	土器 (292)、石器 (293)
時期	縄文中期

遺構名	R D012
図版	遺構 41
写真図版	遺構 39 遺物 91・92
位置	4 G 22 b グリッド
検出状況	II 層下位
重複関係	R D055 に切られる。
平面形	円形
形状	断面形 フラスコ形
・規格	開口径 128cm 底部径 223×214cm 深さ 195cm
理	黒褐色～暗褐色土主体の自然堆積。中部に黄褐色の崩落土含む。
底面	平坦
壁	内湾して外反
竪穴	なし
出土遺物	土器 (294・302)、石器 (303・304)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D013
図版	遺構 42
写真図版	遺構 40 遺物 100
位置	4 G 20 b グリッド
検出状況	II 層
重複関係	なし
平面形	楕円形
形状	断面形 直形
・規格	開口径 130cm 底部径 117cm 深さ 18cm
理	暗褐色土主体。上部に炭化物含む。
底面	ほぼ平坦
壁	外傾
竪穴	なし
出土遺物	土器 (305)・石器 (306)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D015
図版	遺構 42
写真図版	遺構 40 遺物
位置	4 F 21 x グリッド
検出状況	II 層下位
重複関係	なし
平面形	円形
形状	断面形 直形
・規格	開口径 114×110cm 底部径 73×61cm 深さ 27cm
理	暗褐色土主体。黄褐色土粒含む。
底面	ほぼ平坦
壁	緩やかに外傾
竪穴	なし
出土遺物	なし
時期	不明

( ) は推定値

造構名 R D016		造構名 R D017		造構名 R D018							
図版	造構 42	遺物	100	図版	造構 42	遺物	-	図版	造構 43	遺物	100
写真図版	造構 40	遺物	92	写真図版	造構 40	遺物	-	写真図版	造構 41	遺物	92
位 置	4 F 20×グリッド			位 置	4 G 21 c グリッド			位 置	4 G 24 f グリッド		
検出状況	II層			検出状況	II層下位			検出状況	III a層		
重複関係	なし			重複関係	なし			重複関係	なし		
形状	平面形 円形			形状	平面形 円形			形状	円形?		
・断面形	直面形 直形			・断面形	ビーカー形			・断面形	ラスコ形?		
・開口径	144×137cm			・開口径	88×79cm			・開口径	(210) cm		
・底部径	116×115cm			・底部径	77×70cm			・底部径	(170) cm		
深さ	43cm			深さ	20cm			深さ	105cm		
埋 土	上部に暗褐色土。下部は褐色土主体の混合土。			埋 土	暗褐色土主体で黄褐色土ブロッキ含む混合土。埋め戻し土?			埋 土	暗褐色土主体の混合土。全体に明褐色、黄褐色土含む。		
底 面	ほぼ平坦			底 面	ほぼ平坦			底 面	ほぼ平坦		
壁 外縁				壁	ほぼ直立			壁	内湾		
副 穴	なし			副 穴	なし			副 穴	なし		
出土遺物	土器 (307)、石器 (308)			出土遺物	なし			出土遺物	土器 (309)		
時 期	縄文中期			時 期	不明			時 期	縄文中期中葉		

造構名 R D019		造構名 R D020		造構名 R D021							
図版	造構 43	遺物	100	図版	造構 43	遺物	101	図版	造構 43	遺物	-
写真図版	造構 41	遺物	92	写真図版	造構 41	遺物	92	写真図版	造構 41	遺物	-
位 置	4 G 23 s グリッド		位 置	5 G 9 b グリッド		位 置	5 G 11 h グリッド		位 置	5 G 11 h グリッド	
検出状況	III a層		検出状況	III a層		検出状況	II層		検出状況	II層	
重複関係	なし		重複関係	なし		重複関係	なし		重複関係	なし	
形状	平面形 槍円形?		形状	平面形 円形		形状	円形?		形状	円形?	
・断面形	断面形 ラスコ形?		・断面形	ラスコ形		・断面形	ビーカー形		・断面形	ビーカー形	
・開口径	(220) cm		・開口径	95×58cm		・開口径	190cm		・開口径	190cm	
・底部径	160cm		・底部径	114×110cm		・底部径	160cm		・底部径	160cm	
深さ	184cm		深さ	77cm		深さ	78cm		深さ	78cm	
埋 土	黒褐色土主体の混合土。中部に黄褐色・明黃褐色土の崩落土?合む。		埋 土	黒褐色土質土の單層。底面より炭化した堅果類。人為堆積?		埋 土	暗褐色土主体の混合土。上部に炭化物、疊合む。		埋 土	暗褐色土主体の混合土。上部に炭化物、疊合む。	
底 面	丸味もつ		底 面	平底		底 面	ほぼ平底		底 面	ほぼ平底	
壁 外縁	内湾して外反		壁	内湾して外反		壁	ほぼ直立		壁	ほぼ直立	
副 穴	なし		副 穴	21×20×8 cm		副 穴	なし		副 穴	なし	
出土遺物	土器 (310)		出土遺物	土器 (311)		出土遺物	なし		出土遺物	なし	
時 期	縄文中期中葉		時 期	縄文中期中葉		時 期	不明		時 期	不明	

( ) は推定値

遺構名	R D022
図版	遺構 44 遺物 -
写真図版	遺構 42 遺物 -
位置	5 G 8 g グリッド
検出状況	III a層
重複関係	R D023を切る。
平面形	円形
断面形	圓形
形状・規模	開口径 61×60cm
深さ	底部径 52×50cm
深さ	12cm
埋土	褐色粘土質上の單層。焼土粒、炭化物粒含む。
底面	平坦
壁	緩やかに外傾
副穴	なし
出土遺物	なし
時期	不明

遺構名	R D023
図版	遺構 44 遺物 -
写真図版	遺構 42 遺物 -
位置	5 G 8 h グリッド
検出状況	III a層
重複関係	R D022に切られる。
平面形	不整な梢円形
断面形	圓形
形状・規模	開口径 88×70cm
深さ	底部径 81×50cm
深さ	6 cm
埋土	褐色粘土質上の單層。焼土粒、炭化物粒含む。
底面	平坦
壁	緩やかに外傾
副穴	なし
出土遺物	なし
時期	不明

遺構名	R D024
図版	遺構 44 遺物 101
写真図版	遺構 42 遺物 92
位置	5 G 8 d グリッド
検出状況	III b層
重複関係	R D025を切る。
平面形	円形
断面形	フ拉斯コ形
形状・規模	開口径 126cm
深さ	底部径 176×168cm
深さ	286cm
埋土	黄褐色粘土質土。(III c層起源)による人為堆積。下部に黒褐色土含む。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾して外反?
副穴	なし
出土遺物	土器(312)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D025
図版	遺構 44 遺物 -
写真図版	遺構 42 遺物 -
位置	5 G 8 e グリッド
検出状況	III b層
重複関係	R D024に切られる。
平面形	円形
断面形	ビーカー形
形状・規模	開口径 100cm
深さ	底部径 104cm
深さ	74cm
埋土	褐色粘土質土主体で暗褐色~黒褐色土、焼土を帯状に含む。
底面	ほぼ平坦
壁	ほぼ直立
副穴	なし
出土遺物	なし
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D026
図版	遺構 45 遺物 -
写真図版	遺構 43 遺物 -
位置	5 G 7 e グリッド
検出状況	III a層
重複関係	なし
平面形	円形?
断面形	圓形?
形状・規模	開口径 (154) cm
深さ	底部径 (146) cm
深さ	34cm
埋土	黒褐色土主体の混合土。褐色土粒含む。
底面	ほぼ平坦
壁	不整
副穴	なし
出土遺物	なし
時期	不明

遺構名	R D027
図版	遺構 45 遺物 101
写真図版	遺構 43 遺物 92
位置	4 F 21 y グリッド
検出状況	III a層
重複関係	R D059に切られる。
平面形	円形
断面形	フ拉斯コ形
形状・規模	開口径 177×168cm
深さ	底部径 212×202cm
深さ	198cm
埋土	暗褐色~黒褐色土主体。自然堆積土。中部に黄褐色の崩落土含む。
底面	平坦
壁	内湾して外反
副穴	なし
出土遺物	土器(313~315)、石器(316)
時期	縄文後期初頭

( ) は推定値

遺構名 R D028	
図版	遺構 45
写真図版	遺構 43
位 置	5 G 3 p グリッド
検出状況	
重複関係	
平面形	円形
断面形	ビーカー形
・開口径	280×250cm
・底部径	300×280cm
深さ	146cm
埋 上	黒褐色土と下部の黄褐色土が 土体。炭化物含む。人為堆積?
底 面	ほぼ平坦
壁 壁	直立
副 穴	70×50×16cm
出土遺物	土器 (317), 石器 (318)
時 期	縄文中期中葉

遺構名 R D029	
図版	遺構 45
写真図版	遺構 43
位 置	5 G 12 d グリッド
検出状況	
重複関係	
平面形	不規な円形
断面形	ビーカー形
・開口径	110×101cm
・底部径	97cm
深さ	28cm
埋 上	暗褐色土を主体とする。
底 面	ほぼ平坦
壁 壁	ほぼ直立?
副 穴	なし
出土遺物	石器 (319)
時 期	不明

遺構名 R D030	
図版	遺構 46
写真図版	遺構 44
位 置	5 G 14 g グリッド
検出状況	
重複関係	
平面形	円形
断面形	ビーカー形
・開口径	130×127cm
・底部径	149×144cm
深さ	117cm
埋 上	暗褐色~黒褐色土を主体に黄褐色土~褐色土が混入。上部は人為堆積。
底 面	ほぼ平坦
壁 壁	ほぼ直立
副 穴	なし
出土遺物	土器 (320), 石器 (321)
時 期	縄文中期中葉

遺構名 R D031	
図版	遺構 46
写真図版	遺構 44
位 置	5 G 14 f グリッド
検出状況	
重複関係	
平面形	円形
断面形	フラスコ形?
・開口径	126×126cm
・底部径	132×130cm
深さ	107cm
埋 土	黒褐色土・土体の混合土。上~中部は人為堆積。
底 面	ほぼ平坦
壁 内溝	なし
副 穴	なし
出土遺物	なし
時 期	縄文中期中葉

遺構名 R D032	
図版	遺構 46
写真図版	遺構 44
位 置	5 G 9 g グリッド
検出状況	
重複関係	
平面形	楕円形
断面形	ビーカー形?
・開口径	62×49cm
・底部径	65×36cm
深さ	34cm
埋 土	褐色土・土体の単層。
底 面	ほぼ平坦
壁 直立	なし
副 穴	なし
出土遺物	なし
時 期	不明

遺構名 R D033	
図版	遺構 47
写真図版	遺構 44
位 置	5 G 14 e グリッド
検出状況	
重複関係	
R D035に切られる。	
平面形	
断面形	
・開口径	
・底部径	
深さ	
埋 土	上部は暗褐色、下部にはぼい 黃褐色土・土体。敷上部粘土は別の遺構埋土?
底 面	ほぼ平坦
壁 内溝	なし
副 穴	なし
出土遺物	上器 (322~323), 石器 (324~325)
時 期	縄文後期初頭?

( ) は推定値

遺構名	R D034
図版	遺構 46 遺物 一
写真図版	遺構 45 遺物 一
位 置	4 G22 g グリッド
検出状況	II 層下位
重複関係	なし
形状・規模	平面形 円形? 断面形 逆台形 開口径 90cm 底部径 60cm 深さ 37cm
埋 売	上部暗褐色土、下部褐色土主体。炭化物を含む。
底 面	ほぼ平坦
壁 外傾	
副 穴	なし
出土遺物	なし
時 期	不明

遺構名	R D035
図版	遺構 48 遺物 一
写真図版	遺構 45 遺物 一
位 置	5 G14 e グリッド
検出状況	III c 層
重複関係	R D033を切る。
形状・規模	平面形 円形? 断面形 フラスコ形 開口径 105×97cm 底部径 108×97cm 深さ 150cm
埋 売	上部暗褐色土主体に黄褐色粘土七合む。中～下部にはぶい黄褐色粘土主体。
底 面	ほぼ平坦
壁 内傾して外反	
副 穴	なし
出土遺物	なし
時 期	縄文中期中葉

遺構名	R D036
図版	遺構 47 遺物 102
写真図版	遺構 45 遺物 93
位 置	5 G14 d グリッド
検出状況	III c 層
重複関係	R A008・R D069を切る。
形状・規模	平面形 円形 断面形 フラスコ形? 開口径 208×196cm 底部径 220×180cm 深さ 226～178cm
埋 売	暗褐色土～黄褐色土が入り混じる。断層土に付いた様な複雑な層位。
底 面	傾斜
壁 内湾して外反	
副 穴	なし
出土遺物	土製品(336)、石器(327)
時 期	縄文中期中葉

遺構名	R D037
図版	遺構 47 遺物 102
写真図版	遺構 45 遺物 93
位 置	5 F13 b グリッド
検出状況	R A008層上より III c 層
重複関係	R A008を切る。
形状・規模	平面形 円形 断面形 逆台形 開口径 146×140cm 底部径 140×123cm 深さ 34cm
埋 売	黒褐色土主体。褐～黄褐色粘土七合む。
底 面	ほぼ平坦
壁 外傾	
副 穴	なし
出土遺物	土器(328)
時 期	縄文中期中葉

遺構名	R D039
図版	遺構 48 遺物 102
写真図版	遺構 46 遺物 93
位 置	5 F12 w グリッド
検出状況	R A010堆土中より II 層下位
重複関係	R A010を切る。
形状・規模	平面形 不整な長楕円形 断面形 皿形 開口径 110cm 底部径 92cm 深さ 29cm
埋 売	上部は暗褐色土、下部は褐色土主体。
底 面	やや丸味もつ
壁 外傾	
副 穴	なし
出土遺物	上器(329)、石器(330)
時 期	縄文中期中葉

遺構名	R D042
図版	遺構 48 遺物 102
写真図版	遺構 46 遺物 94
位 置	5 F10 w グリッド
検出状況	R A009堆土中より III b 層
重複関係	R A009を切る。
形状・規模	平面形 小整な楕円形 断面形 逆台形 開口径 115×70cm 底部径 85×51cm 深さ 48～55cm
埋 売	褐色土主体。下部に炭化物層あり。
底 面	わずかに傾斜
壁 外傾	
副 穴	なし
出土遺物	土器(331)
時 期	縄文中期中葉

( ) は推定値

遺構名	R D013	
図版	遺構 49	遺物 102
写真図版	遺構 46	遺物 94
位置	4 G 22 i グリッド	
検出状況	II 層下位	
重複関係	なし	
平面形	円形	
断面形	ラスコ形	
・開口径	145cm	
規格	底部径 270×245cm	
深さ	192cm	
埋土	褐色～暗褐色土が主体。中部に崩落土含む。自然堆積。	
底面	ほぼ平坦	
壁	内清して外反	
副穴	なし	
出土遺物	上器 (332・333)	
時期	縄文中期中葉	

遺構名	R D044	
図版	遺構 48	遺物 103
写真図版	遺構 46	遺物 94
位置	5 F 3 v グリッド	
検出状況	R A005層上半より III b 層	
重複関係	R A005を切る。	
平面形	円形	
断面形	ビーカー形?	
・開口径	(106) cm	
規格	底部径 (92) cm	
深さ	19cm	
埋土	暗褐色土主体。	
底面	ほぼ平坦	
壁	ほぼ直立	
副穴	なし	
出土遺物	十器 (331・335)	
時期	縄文中期中葉	

遺構名	R D045	
図版	遺構 49	遺物 -
写真図版	遺構 47	遺物 -
位置	5 F 4 u グリッド	
検出状況	III b 層	
重複関係	R D067を切る。	
平面形	円形	
断面形	皿形	
・開口径	125×117cm	
規格	底部径 108×99cm	
深さ	20cm	
埋土	上部は暗褐色土、下部は褐色土主体。	
底面	ほぼ平坦	
壁	緩やかに外傾	
副穴	なし	
出土遺物	なし	
時期	縄文中期中葉	

遺構名	R D049	
図版	遺構 49	遺物 103・104
写真図版	遺構 47	遺物 94・95
位置	5 F 8 w グリッド	
検出状況	R A035の埋土中より III b 層	
重複関係	R A035を切る。	
平面形	楕円形?	
断面形	逆台形?	
・開口径	(130) cm	
規格	底部径 (114) cm	
深さ	38cm	
埋土	暗褐色土主体の混合土。	
底面	やや丸味もつ	
壁	ほぼ直立	
副穴	なし	
出土遺物	上器 (337～342). 石器 (343～347)	
時期	縄文中期中葉	

遺構名	R D050	
図版	遺構 49	遺物 104
写真図版	遺構 47	遺物 95
位置	5 F 13 y グリッド	
検出状況	R A008の埋土中より III c 層	
重複関係	R A008を切る。	
平面形	円形	
断面形	逆台形	
・開口径	157×147cm	
規格	底部径 97×84cm	
深さ	53cm	
埋土	暗褐色土主体で褐色土を含む。	
底面	やや丸味もつ	
壁	外傾	
副穴	なし	
出土遺物	十器 (348～350)	
時期	縄文中期中葉	

遺構名	R D051	
図版	遺構 50	遺物 104
写真図版	遺構 47	遺物 95
位置	5 F 11 x グリッド	
検出状況	R A010埋土中より II 層下位	
重複関係	R A010を切る。	
平面形	楕円形	
断面形	皿形	
・開口径	83×74cm	
規格	底部径 73×52cm	
深さ	22cm	
埋土	褐色土主体の単層。	
底面	やや丸味もつ	
壁	緩やかに外傾	
副穴	なし	
出土遺物	上器 (351)	
時期	縄文中期中葉	

( ) は推定値

遺構名	R D052
図版	遺構 50 遺物 104
写真図版	遺構 48 遺物 95
位質	5 F 1 v グリッド
検出状況	III b 層
重複関係	R A006を切る?
平面形	円形
形状	断面形 フラスコ形
・開口径	151cm
・底部径	119cm
深さ	84cm
埋土	暗褐色土主体でレンズ状に堆積。上部明黄褐色土以降は人為的な堆積?
底面	ほぼ平坦
壁	内溝して外反
副穴	なし
出土遺物	土器 (352)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D053
図版	遺構 50 遺物 104
写真図版	遺構 48 遺物 95
位質	5 F 8 y グリッド
検出状況	III b 層
重複関係	直下の R D062を切る?
平面形	円形?
形状	断面形 不規?
・開口径	?
・底部径	?
深さ	?
埋土	上部黄褐色粘土質上。中~下部暗褐色~黒褐色土主体で炭化物粒を含む。
底面	?
壁	外傾?
副穴	なし
出土遺物	土器 (353)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D054
図版	遺構 50 遺物 -
写真図版	遺構 48 遺物 -
位質	5 F 6 x グリッド
検出状況	搅乱により全体埋され壁の外湾部のみ III c 層
重複関係	なし
平面形	円形?
形状	断面形 フラスコ形
・開口径	?
・底部径	?
深さ	?
埋土	上部黄褐色~明黄褐色土主体。下部暗褐色~黒褐色土主体。自然堆積?
底面	ほぼ平坦
壁	内溝
副穴	なし
出土遺物	なし
時期	不明

遺構名	R D055
図版	遺構 50 遺物 -
写真図版	遺構 48 遺物 -
位質	4 G 22 b グリッド
検出状況	II 層下位
重複関係	R D012を切る。
平面形	円形
形状	断面形 逆台形
・開口径	61×62cm
・底部径	46×37cm
深さ	35cm
埋土	黒褐色土主体。明黄褐色砂質土上と炭化物粒を含む混合土。
底面	やや丸味もつ
壁	外傾
副穴	なし
出土遺物	なし
時期	不明

遺構名	R D056
図版	遺構 50 遺物 104
写真図版	遺構 49 遺物 95
位質	5 F 5 v グリッド
検出状況	III b 層
重複関係	なし
平面形	円形
形状	断面形 フラスコ形
・開口径	126×106cm
・底部径	137×125cm
深さ	86cm
埋土	上部搅乱。中部混じり少ない黄褐色土主体。下部黒褐色土主体、炭化物含む。
底面	ほぼ平坦
壁	内溝して外反
副穴	なし
出土遺物	土器 (354~355)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D057
図版	遺構 51 遺物 105
写真図版	遺構 49 遺物 95
位質	5 F 6 v グリッド
検出状況	III b 層
重複関係	R D089を切る。
平面形	円形
形状	断面形 フラスコ形
・開口径	151×140cm
・底部径	186×184cm
深さ	170cm
埋土	上部黒褐色土、中部明黄褐色土、下部黒褐色土主体。自然堆積?
底面	ほぼ平坦
壁	内溝して外反
副穴	なし
出土遺物	土器 (356)、土製品 (357)
時期	縄文中期中葉

( ) は推定値

遺構名 R D058		遺構名 R D059		遺構名 R D060	
国版	遺構 51	遺物	105	国版	遺構 51
写真国版	遺構 49	遺物	95	写真国版	遺構 50
位置	5 G 15 b グリッド	位 置	4 F 20 x グリッド	位 置	5 F 8 w グリッド
検出状況	III a層	検出状況	III a層	検出状況	III a層
重複関係	なし	重複関係	R D027を切る。	重複関係	なし
平面形	円形	平面形	円形?	平面形	円形?
断面形	皿形?	断面形	ピーカー形?	断面形	ラスコ形?
・規 模	開口径 140×127cm 底部径 110×87cm 深さ 33×47cm	・規 模	開口径 100×80cm 底部径 40×36cm 深さ 88cm	・規 模	開口径 198×158cm 底部径 163×159cm 深さ 206cm
埋 土	上部にパミス? 堆積。暗褐色土主体。下部は褐色土主体。	埋 土	下部のみ判別。暗褐色土主体の単層。	埋 土	暗褐色~黒褐色土主体。中~下部に褐色の崩落土? 含む。
底 面	鋪斜	底 面	丸味もつ	底 面	平坦
壁	ほぼ直立	壁	不整	壁	やや内湾
副穴	なし	副穴	なし	副穴	なし
出土遺物	上器 (358)	出土遺物	土器 (359)	出土遺物	土器 (360), 石器 (361), 土製品 (362)
時 期	縄文中期中葉	時 期	縄文中期中葉	時 期	縄文中期中葉

遺構名 R D062		遺構名 R D063		遺構名 R D064	
国版	遺構 52	遺物	105	国版	遺構 52
写真国版	遺構 50	遺物	95	写真国版	遺構 50
位置	5 F 8 x グリッド	位 置	5 F 3 w グリッド	位 置	5 F 2 w グリッド
検出状況	R D053の直下より検出。III b層	検出状況	III b層	検出状況	III b層
重複関係	R D053に切られる?	重複関係	R A005を切る。	重複関係	R A005 (006も?) を切る。
平面形	円形	平面形	円形	平面形	円形
断面形	ラスコ形?	断面形	ラスコ形	断面形	皿形
・規 模	開口径 127×122cm 底部径 146×124cm 深さ 257cm	・規 模	開口径 132cm 底部径 156×144cm 深さ 140cm	・規 模	開口径 221cm 底部径 197cm 深さ 44cm
埋 土	上部不明。中部褐色粘土主体。人為堆積? 下部に暗褐色土を帶状に含む。	埋 土	上部暗褐色土主体。中部褐色土主体でパミス? 含む。下部黒褐色土主体。	埋 土	最上部は擾乱。暗~黒褐色土とIII層との混合土。人為的な埋め戻し?
底 面	ほぼ平坦	底 面	(?)平坦	底 面	丸味もつ
壁	内湾?	壁	内湾	壁	外傾
副穴	なし	副穴	30×30×10cm	副穴	46×46×30cm
出土遺物	土器 (363)	出土遺物	土器 (364)	出土遺物	土器 (365), 金属器 (366)
時 期	縄文中期中葉	時 期	縄文中期中葉	時 期	近世

( ) は推定値

遺構名 R D065	
図版	遺構 52 遺物 105
写真図版	遺構 51 遺物 95
位置	4 G23 c グリッド
検出状況 III a層	
重複関係なし	
平面形 円形	
形状 ・開口径 ・底部径 ・深さ	断面形 フラスコ形
	160×152cm
	181cm
	91cm
埋理 上層。中部と底部に帯状に黒褐色土、炭化物含。	
底面 平坦	
壁 内湾して外反	
副穴 42×40×16cm	
出土遺物 土器 (367)	
時期 縄文中期中葉	

遺構名 R D066	
図版	遺構 53 遺物 105
写真図版	遺構 51 遺物 95
位置	5 G10 h グリッド
検出状況 III b層	
重複関係 R D011に切られる。	
平面形 円形	
形状 ・開口径 ・底部径 ・深さ	断面形 ピーカー形
	184cm
	176cm
	89cm
埋理 黒褐色土主体のレンズ状堆積。壁際に崩壊褐色崩落上。上部は埋め戻しか?	
底面 (1) 平坦	
壁 ほぼ直立	
副穴 なし	
出土遺物 十器 (368)	
時期 縄文中期中葉	

遺構名 R D067	
図版	遺構 53 遺物 -
写真図版	遺構 51 遺物 -
位置	5 G12 f グリッド
検出状況 III b層	
重複関係 R D068に切られる。	
平面形 円形	
形状 ・開口径 ・底部径 ・深さ	断面形 フラスコ形
	196×180cm
	160cm
	132cm
埋理 上～中部不明。下部黄褐色～褐色土。色土主体。暗褐色土を含む。	
底面 ほぼ平坦	
壁 やや内湾	
副穴 なし	
出土遺物 なし	
時期 縄文中期	

遺構名 R D068	
図版	遺構 54 遺物 105
写真図版	遺構 51 遺物 95
位置	5 G12 f グリッド
検出状況 III b層	
重複関係 R D067を切る。	
平面形 円形?	
形状 ・開口径 ・底部径 ・深さ	断面形 フラスコ形?
	181cm
	158×146cm
	293cm
埋理 上層 黒褐色土含む。上～中部縫まりなく埋め戻し?	
底面 平坦	
壁 内湾して外反	
副穴 29×26×7cm	
出土遺物 土器 (369)	
時期 縄文中期中葉	

遺構名 R D069	
図版	遺構 54 遺物 105
写真図版	遺構 52 遺物 95
位置	5 G14 d グリッド
検出状況 R D036下にて検出。III c層	
重複関係 R D036に切られる。	
平面形 円形?	
形状 ・開口径 ・底部径 ・深さ	断面形 ピーカー形?
	154×150cm
	145×140cm
	350cm
埋理 黒褐色粘土質土主体。炭化物粒を含む。	
底面 平坦	
壁 ほぼ直立から内湾?	
副穴 なし	
出土遺物 土器 (370)	
時期 縄文中期中葉	

遺構名 R D070	
図版	遺構 53 遺物 105
写真図版	遺構 52 遺物 95
位置	4 G24 b グリッド
検出状況 III c層	
重複関係なし	
平面形 円形	
形状 ・開口径 ・底部径 ・深さ	断面形 ピーカー形
	112cm
	95cm
	142cm
埋理 暗褐色土主体に褐～黄褐色土粒含む。自然堆積と思われる。	
底面 ほぼ平坦	
壁 ほぼ直立	
副穴 25×24×6cm	
出土遺物 土器 (371), 石器 (372)	
時期 縄文中期中葉	

( ) は推定値

遺構名 R D071		遺構名 R D072		遺構名 R D074	
図版	遺構 53	遺物	106	図版	遺構 55
写真図版	遺構 52	遺物	96	写真図版	遺構 53
位置	5 G 13 g グリッド	位置	4 F 25 u グリッド	位置	4 F 23 y グリッド
検出状況	R △003床面。III c層	検出状況	III b層	検出状況	III a層下位
重複関係	R △003に切られる。	重複関係	なし	重複関係	なし
平面形	円形	平面形	円形?	平面形	円形?
断面形	ビーカー形	断面形	フラスコ形	断面形	フラスコ形
形状・規模	開口径 107×95cm 底部径 100×98cm	形状・規模	開口径 128cm 底部径 134cm	形状・規模	開口径 146cm 底部径 144cm
深さ	48cm	深さ	197cm	深さ	163cm
埋土	黄褐色粘土主体。最下部に暗褐色土層。	埋土	I: 脊は塔~黒褐色土上主体レンズ状堆積。中~下部黄褐色土主体の混合土。	埋土	上部黒褐色土、中部褐色土、下部暗褐色土主体とする。
底面	ほぼ平坦	底面	ほぼ平坦	底面	ほぼ平坦
壁	直立	壁	内湾して外反	壁	内湾して外反
副穴	なし	副穴	なし	副穴	なし
出土遺物	上器 (373)	出土遺物	上器 (374)	出土遺物	なし
時期	縄文中期中葉	時期	縄文中期中葉	時期	縄文中期

遺構名 R D075		遺構名 R D076		遺構名 R D077	
図版	遺構 54	遺物	—	図版	遺構 55
写真図版	遺構 53	遺物	—	写真図版	遺構 53
位置	4 G 25 a グリッド	位置	5 G 12 e グリッド	位置	4 C 12 u グリッド
検出状況	III b層	検出状況	III a層	検出状況	III a層
重複関係	なし	重複関係	なし	重複関係	なし
平面形	円形?	平面形	円形	平面形	円形
断面形	フラスコ形?	断面形	ビーカー形	断面形	フラスコ形?
形状・規模	開口径?	形状・規模	開口径 203×189cm	形状・規模	開口径 168×144cm
深さ	底部径?	深さ	底部径 152×147cm	深さ	底部径 160×148cm
埋土	110cm	埋土	暗褐色土と黄褐色土が互い違いに層を形成。レンズ状堆積をなす。	埋土	黒褐色土を主体とする。中部壁際に黄褐色土ブロック(崩落土?)含む。
底面	上~中部にぶい黄褐色土主体。下部暗褐色土主体。レンズ状堆積?	底面	ほぼ平坦	底面	やや丸味もつ
壁	内湾して外反	壁	直立して外反	壁	内湾
副穴	なし	副穴	なし	副穴	なし
出土遺物	なし	出土遺物	石器 (377~378)	出土遺物	石器 (375)
時期	不明	時期	不明	時期	不明

( ) は推定値

遺構名	R D078	
図版	遺構 55	遺物 106
写真図版	遺構 54	遺物 96
位置	4 G23 u グリッド	
検出状況		
重複関係	III a 層	
平面形	円形	
断面形	フラスコ形?	
形状		
開口径	150cm	
規模		
底部径	130cm	
深さ	59cm	
埋	上部黒褐色土主体。壁際~下部土にかけ黄褐色土主体の混合土。	
底面	やや丸味もつ	
裏	内湾	
副穴	なし	
出土遺物	上器 (376)	
時期	縄文中期中葉	

遺構名	R D079	
図版	遺構 56	遺物 106
写真図版	遺構 54	遺物 96
位置	4 G25 q グリッド	
検出状況	II 層下位	
重複関係	なし	
平面形	円形	
断面形	ビーカー形?	
形状		
開口径	221×185cm	
規模		
底部径	149×122cm	
深さ	74cm	
埋	上部黒褐色土主体。中~下部明黄褐色粘土質土に帶状に黒褐色土含む。	
底面	ほぼ平坦	
裏	直立して外傾	
副穴	なし	
出土遺物	上器 (379~380)	
時期	縄文中期中葉	

遺構名	R D080	
図版	遺構 56	遺物 106
写真図版	遺構 54	遺物 96
位置	5 G1 r グリッド	
検出状況	II 層下位	
重複関係	なし	
平面形	椭円形	
断面形	フラスコ形?	
形状		
開口径	191×127cm	
規模		
底部径	191×165cm	
深さ	69cm	
埋	黒褐色土主体とし、明黄褐色土粘土質土ブロックを含む混合土。	
底面	ほぼ平坦	
裏	内湾	
副穴	なし	
出土遺物	石器 (381)	
時期	不明	

遺構名	R D082	
図版	遺構 56	遺物 一
写真図版	遺構 54	遺物 一
位置	5 G10 d グリッド	
検出状況	III b 層	
重複関係	なし	
平面形	円形	
断面形	フラスコ形?	
形状		
開口径	127×117cm	
規模		
底部径	142×136cm	
深さ	125cm	
埋	上~中部黄褐色土主体。下部暗褐色土主体で炭化物を含む。	
底面	ほぼ平坦	
裏	内湾	
副穴	なし	
出土遺物	なし	
時期	縄文	

遺構名	R D083	
図版	遺構 56	遺物 一
写真図版	遺構 55	遺物 96
位置	5 G10 d グリッド	
検出状況	III a 層	
重複関係	なし	
平面形	円形	
断面形	フラスコ形	
形状		
開口径	109×95cm	
規模		
底部径	129×104cm	
深さ	133cm	
埋	上部暗褐色土と褐色土主体。中~下部暗褐色粘土質土。組成粗く埋め戻しか?	
底面	ほぼ平坦	
裏	内湾	
副穴	なし	
出土遺物	なし	
時期	不明	

遺構名	R D084	
図版	遺構 57	遺物 106
写真図版	遺構 55	遺物 96
位置	4 G24 u グリッド	
検出状況	III a 層	
重複関係	なし	
平面形	不整	
断面形	皿形?	
形状		
開口径	(240) cm	
規模		
底部径	(168) cm	
深さ	68cm	
埋	上~中部暗褐色土とびい黄褐色土主体。下部褐色土主体の混合土。	
底面	不整	
裏	不整外傾	
副穴	なし	
出土遺物	上器 (382)	
時期	縄文中期中葉	

( ) は推定値

遺構名 R D085			遺構名 R D086			遺構名 R D087		
図版 遺構 57	遺物	-	図版 遺構 57	遺物	106	図版 遺構 57	遺物	107
写真図版 遺構 55	遺物	-	写真図版 遺構 55	遺物	96	写真図版 遺構 56	遺物	97
位置 5F 1u グリッド			位置 4G 23m グリッド			位置 5F 5u グリッド		
検出状況 III b層			検出状況 I d層			検出状況 III b層		
重複関係 RA 006を切る?			重複関係 なし			重複関係 R D045に切られる。		
平面形 格円形?			平面形 円形			平面形 円形		
形状 断面形 不整			形状 断面形 フラスコ形			形状 断面形 フラスコ形		
・規格 開口径 (73)cm			・規格 開口径 126×123cm			・規格 開口径 135×127cm		
底部径 (63)cm			底部径 175×164cm			底部径 195×194cm		
深さ 40cm			深さ 100cm			深さ 160~170cm		
埋土 にぶい黄褐色～黄褐色粘土質土 主体。中部に黒褐色～暗褐色土層含む。			埋土 上～中部黒褐色土主体。下部黄褐色粘土質土層の混合土。			埋土 黄褐色土層と下部のほぼ水平な堆積。中部に暗褐色、下部黒褐色土層含む。		
底面 ほぼ平坦			底面 ほぼ平坦			底面 やや傾斜		
壁 不整			壁 内湾して外反			壁 内湾して外反		
副穴 なし			副穴 なし			副穴 なし		
出土遺物 なし			出土遺物 土器(383~385・387),石器(386)			出土遺物 上器(388)		
時期 繩文中期			時期 繩文中期中葉			時期 繩文中期		

遺構名 R D089			遺構名 R D091			遺構名 R D092		
図版 遺構 58	遺物	107	図版 遺構 58	遺物	107	図版 遺構 58	遺物	107
写真図版 遺構 56	遺物	97	写真図版 遺構 56	遺物	97	写真図版 遺構 56	遺物	97
位置 5F 7v グリッド			位置 5F 11x グリッド			位置 5G 10b グリッド		
検出状況 III b層			検出状況 III a層			検出状況 III a層		
重複関係 R D057に切られる。			重複関係 RA 010を切る。			重複関係 RA 006, R D094を切る。		
平面形 円形?			平面形 円形?			平面形 円形		
形状 断面形 フラスコ形			形状 断面形 フラスコ形			形状 断面形 フラスコ形		
・規格 開口径 130cm			・規格 開口径 115×64cm			・規格 開口径 190cm		
底部径 150×145cm			底部径 127×123cm			底部径 208×203cm		
深さ 83cm			深さ 221cm			深さ 158cm		
埋土 上～中部黒褐色土主体の混合土。下部明黄褐色粘土質土主体。			埋土 上～中部暗褐色土と明黄褐色土主体。下部緑まりなし。埋め戻し?			埋土 上部褐色土主体。中～下部暗褐色土主体。下部緑色泥質土層含む。		
底面 ほぼ平坦			底面 ほぼ平坦			底面 ほぼ平坦		
壁 内湾して外反			壁 内湾			壁 内湾		
副穴 なし			副穴 28×25×14cm			副穴 36×32×7cm		
出土遺物 七器(390~392)			出土遺物 土器(389)			出土遺物 上器(393),石器(394~395)		
時期 繩文中期中葉			時期 繩文中期中葉			時期 繩文中期中葉		

( ) は推定値

遺構名	R D093		
図版	遺構 58	遺物	—
写真図版	遺構 57	遺物	—
位置	4 F22 u グリッド		
検出状況	III a 層		
重複関係	なし		
平面形	円形?		
断面形	ラスコ形		
・規格	開口径 178×122cm		
・規格	底部径 142×117cm		
深さ	128cm		
埋土	上部にぶい黄褐色粘土質土。下部暗褐色土主体の混合土。埋め戻し。		
底面	ほぼ平坦		
壁	内湾して外反		
副穴	なし		
出土遺物	なし		
時期	不明		

遺構名	R D094		
図版	遺構 一	遺物	—
写真図版	遺構 57	遺物	—
位置	5 G11 b グリッド		
検出状況	R D092に重複した状態。断面未確認。III a 層		
重複関係	R A008を切り、R D092に切られる。		
平面形	円形		
断面形	ビーカー形		
・規格	開口径 (165) cm		
・規格	底部径 170cm		
深さ	105cm		
埋土	褐一暗褐色土主体と思われる。		
底面	平坦		
壁	直立?		
副穴	なし		
出土遺物	なし		
時期	不明		

遺構名	R D095		
図版	遺構 59	遺物	108
写真図版	遺構 57	遺物	98
位置	5 G11 c グリッド		
検出状況	III b 層		
重複関係	R A008を切る。		
平面形	円形		
断面形	ラスコ形		
・規格	開口径 163×143cm		
・規格	底部径 210×140cm		
深さ	138cm		
埋土	暗褐色～黒褐色土主体で黄褐色土をブロック状に含む。		
底面	平坦		
壁	内湾		
副穴	なし		
出土遺物	上器 (396)		
時期	繩文中期中葉		

遺構名	R D097		
図版	遺構 59	遺物	—
写真図版	遺構 57	遺物	—
位置	4 G25 a グリッド		
検出状況	III b 層		
重複関係	R A012を切る。		
平面形	円形		
断面形	ラスコ形		
・規格	開口径 182cm		
・規格	底部径 173cm		
深さ	170cm		
埋土	暗褐色～黒褐色土主体。		
底面	ほぼ平坦		
壁	内湾して外反		
副穴	50×45×17cm		
出土遺物	なし		
時期	不明		

遺構名	R D098		
図版	遺構 59	遺物	108
写真図版	遺構 58	遺物	98
位置	5 G12 a グリッド		
検出状況	R A008底面より検出。III c 層		
重複関係	R A008を切る。		
平面形	円形		
断面形	ビーカー形		
・規格	開口径 116×103cm		
・規格	底部径 110×108cm		
深さ	31cm		
埋土	上部褐～暗褐色粘土質土主体。下部暗褐色土主体で中部に板状の櫛含む。		
底面	ほぼ平坦		
壁	内湾		
副穴	なし		
出土遺物	土器 (397), 石器 (398)		
時期	繩文中期中葉		

遺構名	R D099		
図版	遺構 59	遺物	108
写真図版	遺構 58	遺物	98
位置	5 G11 a グリッド		
検出状況	III b 層		
重複関係	R A008を切る。		
平面形	円形		
断面形	ラスコ形?		
・規格	開口径		
・規格	底部径 要再考		
深さ			
埋土	明褐色土主体で中部に暗褐色土上、最下部に黒褐色土層を含む。		
底面			
壁			
副穴			
出土遺物	上器 (399)		
時期	繩文中期中葉		

( ) は推定値

遺構名	R D100
図版	遺構 60
写真図版	遺構 58
位置	5 G 12 d グリッド
検出状況	III b 層
重複関係	R D101を切り R D138・R A008に切られる。
形状	平面形
断面形	円形
寸法	断面形 フラスコ形
・開口径	102cm
規模	底部径 156×148cm
深さ	189cm
埋上	暗褐色土主体とし中部に黄褐色土色、暗褐色土層を含む。ほぼ水平に堆積。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾
副穴	なし
出土遺物	土器(400)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D101
図版	遺構 60
写真図版	遺構 58
位置	5 G 12 d グリッド
検出状況	III b 層
重複関係	R D100, 138, RA008に切られる。
形状	平面形
断面形	円形
寸法	断面形 フラスコ形
・開口径	96cm
規模	底部径 158×154cm
深さ	193cm
埋土	褐色粘土質土を主体とする。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾
副穴	なし
出土遺物	土器(401・402)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D102
図版	遺構 60
写真図版	遺構 58
位置	4 F 20 x グリッド
検出状況	RA015床面下より検出。III c 層
重複関係	RA015を切る。
形状	平面形
断面形	皿形
寸法	開口径 102×100cm
規模	底部径 70×65cm
深さ	30cm
埋土	上部暗褐色土主体とし焼土を層状に含む。下部は黄褐色土主体とする。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾
副穴	なし
出土遺物	土器(403)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D103
図版	遺構 60
写真図版	遺構 59
位置	4 F 19 y グリッド
検出状況	RA015床面下より検出。III b 層
重複関係	RA015を切る。
形状	平面形 不整な円形
断面形	不整
寸法	開口径 150×136cm
規模	底部径 108×96cm
深さ	17cm
埋土	黒褐色土主体の単層。褐色土ブロック含む。押め戻し?
底面	ほぼ平坦
壁	不整
副穴	なし
出土遺物	なし
時期	縄文中期

遺構名	R D104
図版	遺構 61
写真図版	遺構 59
位置	5 F 10 w グリッド
検出状況	III b 層
重複関係	R D127に切られる。
形状	平面形 円形
断面形	ビーカー形
寸法	開口径 144×143cm
規模	底部径 126×120cm
深さ	140cm
埋土	黒褐色土質土主体で黒褐色、暗褐色土層を含む。ほぼレンズ状堆積。
底面	ほぼ平坦
壁	ほぼ直立
副穴	なし
出土遺物	土器(404)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D105
図版	遺構 61
写真図版	遺構 59
位置	5 G 15 d グリッド
検出状況	II 層
重複関係	なし
形状	平面形 小整な稍円形
断面形	逆台形
寸法	開口径 192×102cm
規模	底部径 146×77cm
深さ	50cm
埋土	暗褐色土を主体とする。
底面	ほぼ平坦
壁	外傾
副穴	なし
出土遺物	土器(405)
時期	縄文

( ) は推定値

遺構名	R D106
図版	遺構 62 遺物 108
写真図版	遺構 59 遺物 98
位置	5 F 9 y グリッド
検出状況	Ⅲ b 層
重複関係	R D126に切られる。
平面形	円形
断面形	ラスコ形?
形状	直角形
開口径	173cm
規模	底部径 128cm
深さ	242cm
埋土	上部黄褐色粘土質土を主体。 中一下部暗褐色土主体に帯状 に黒褐色土含む。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾
副穴	34×32×18cm
出土遺物	土器 (406)
時期	縄文後期

遺構名	R D107
図版	遺構 61 遺物 -
写真図版	遺構 - 遺物 -
位置	4 G 22 c グリッド
検出状況	II 層下位
重複関係	なし
平面形	円形
断面形	直角形
形状	直角形
開口径	81cm
規模	底部径 61×58cm
深さ	28cm
埋土	褐色土主体の單層。黄褐色ブ ロック含む。
底面	丸味もつ
壁	外傾
副穴	なし
出土遺物	なし
時期	不明

遺構名	R D108
図版	遺構 61 遺物 108
写真図版	遺構 60 遺物 98
位置	4 G 25 a グリッド
検出状況	III b 層、搅乱激しく全体規模 不明。
重複関係	R A012に切られる。
平面形	円形?
断面形	ラスコ形?
形状	直角形
開口径	?
規模	底部径 ?
深さ	?
埋土	黄褐色~明黄褐色土を主体に上 部と下部に黒褐色土層を含 む。
底面	?
壁	内湾
副穴	なし
出土遺物	土器 (407)・石器 (408)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D109
図版	遺構 62 遺物 109
写真図版	遺構 60 遺物 98
位置	5 F 10 y グリッド
検出状況	III b 層
重複関係	R D125、126に切られる。
平面形	円形
断面形	ラスコ形
形状	直角形
開口径	(186) cm
規模	底部径 186×157cm
深さ	199cm
埋土	上部褐色土主体。中一下部黑 褐色土主体で黄褐色土含む。 自然地盤。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾
副穴	22×20×8 cm
出土遺物	土器 (409)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D110
図版	遺構 61 遺物 109-110
写真図版	遺構 60 遺物 99
位置	4 G 21 f グリッド
検出状況	II 層下位
重複関係	R A018を切る。
平面形	円形
断面形	ラスコ形
形状	直角形
開口径	135×125cm
規模	底部径 211×196cm
深さ	150~160cm
埋土	暗褐色土を主体とする。中部 に黄褐色土、炭化物粒、焼土 粒を含む。
底面	やや傾斜
壁	内湾して外反
副穴	なし
出土遺物	土器 (410~415)、石器 (416 ・417・418)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D111
図版	遺構 61 遺物 -
写真図版	遺構 60 遺物 -
位置	4 G 20 h グリッド
検出状況	II 層下位
重複関係	R A021を切る。
平面形	円形
断面形	ラスコ形
形状	直角形
開口径	115cm
規模	底部径 137cm
深さ	114cm
埋土	暗褐色土と褐色土をそれぞれ 主体とする層が入り混じる。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾
副穴	37×33×12cm
出土遺物	なし
時期	縄文中期中葉

( ) は推定値

造構名	R D112
図版	造構 62
写真図版	造構 61
位置	5 G13 c グリッド
検出状況	III c 墓
重複関係	R A008を切る。
形状・規模	半面形 円形 断面形 フラスコ形 開口径 143×128cm 底部径 143×124cm 深さ 52cm
埋上	上部と下部に暗褐色土、中部に明黄褐色土を主体とし、ほぼ水平に堆積。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾
副穴	32×25×13cm
出土遺物	土器(419)
時期	縄文中期中葉

造構名	R D113
図版	造構 62
写真図版	造構 61
位位置	5 G15 f グリッド
検出状況	III a 墓下位
重複関係	R D124を切る。
形状・規模	平面形 円形 断面形 フラスコ形 開口径 152×131cm 底部径 149×147cm 深さ 136cm
埋土	黒～暗褐色土を主体とし黄褐色土～明黄褐色土を含む。自然堆積？
底面	ほぼ平坦
壁	内湾
副穴	41×40×11cm
出土遺物	土器(420)、石器(421)
時期	縄文中期中葉

造構名	R D115
図版	造構 62
写真図版	造構 61
位位置	5 G16 g グリッド
検出状況	III a 墓下位
重複関係	R E001を切る。
形状・規模	平面形 円形 断面形 フラスコ形 開口径 127×111cm 底部径 162×153cm 深さ 168cm
埋土	上部黄褐色土主体。中～下部黒～暗褐色土の人为堆積。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾
副穴	50×47×24cm
出土遺物	土器(422)
時期	縄文中期中葉

造構名	R D116
図版	造構 63
写真図版	造構 61
位位置	5 F14 y グリッド
検出状況	III b 墓
重複関係	R D120を切る。
形状・規模	平面形 楕円形? 断面形 不整 開口径 146×93cm 底部径 120×112cm 深さ 104cm
埋土	暗褐色土主体の混合土。黄褐色土含む。最下部に黒色土含む。人為堆積？
底面	傾斜
壁	山側へ傾斜
副穴	なし
出土遺物	土器(423)
時期	縄文中期中葉

造構名	R D117
図版	造構 63
写真図版	造構 62
位位置	5 F14 y グリッド
検出状況	III a 墓
重複関係	R D127に切られる。
形状・規模	平面形 円形 断面形 フラスコ形 開口径 184cm 底部径 188cm 深さ 207cm
埋土	黒褐色土と暗褐色土を主体とする土層。崩落土含む。自然堆積。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾して外反
副穴	34×27×8cm
出土遺物	土器(424～426)、石器(427)
時期	縄文中期中葉

造構名	R D118
図版	造構 63
写真図版	造構 62
位位置	5 F11 y グリッド
検出状況	III b 墓
重複関係	R D122に切られる。
形状・規模	平面形 円形 断面形 フラスコ形 開口径 112cm 底部径 180×178cm 深さ 135cm
埋土	上部黄褐色粘土質上、中部暗褐色土、下部黒褐色土主体。下部自然堆積。
底面	ほぼ平坦
壁	内湾して外反
副穴	なし
出土遺物	土器(428)
時期	縄文中期中葉

( ) は推定値

遺構名	R D119		
図版	遺構 63	遺物	一
写真図版	遺構 62	遺物	一
位置	4 G21 o グリッド		
検出状況	III a層		
重複関係	なし		
平面形	円形		
形状	断面形 ピーカー形		
・規模	開口径 102×100cm 底部径 94×94cm 深さ 38cm		
埋	黒褐色土を主体とする。		
土			
底面	ほぼ平坦		
壁	ほぼ直立		
穴	なし		
出土遺物	なし		
時期	不明		

遺構名	R D120		
図版	遺構 64	遺物	110
写真図版	遺構 62	遺物	100
位置	5 F14 y グリッド		
検出状況	III b層		
重複関係	R A008・R D116に切られる。		
平面形	円形		
形状	断面形 フラスコ形		
・規模	開口径 158×146cm 底部径 172×158cm 深さ 123cm		
埋	黒褐色土と黄褐色土の混合土		
土	主体、中部に崩落上含む。中～下部自然堆積。		
底面	ほぼ平坦		
壁	やや内湾して外反		
穴	45×39×16cm		
出土遺物	上器 (429) 出土遺物		
時期	縄文中期中葉		

遺構名	R D121		
図版	遺構 64	遺物	111
写真図版	遺構 63	遺物	100
位置	5 G15 d グリッド		
検出状況	III a層		
重複関係	R D130、131を切る。		
平面形	円形		
形状	断面形 フラスコ形？		
・規模	開口径 140cm 底部径 120cm 深さ 237cm		
埋	暗褐色土主体で褐～明褐色土 土層や黒褐色土層を含む。自然堆積。		
土			
底面	ほぼ平坦		
壁	やや内湾して外反		
穴	なし		
出土遺物	土器 (430～432)、石器 (433～434)		
時期	縄文後期初頭		

遺構名	R D122		
図版	遺構 64	遺物	一
写真図版	遺構 63	遺物	一
位置	5 F11 y グリッド		
検出状況	III b層		
重複関係	R D118を切る。		
平面形	円形		
形状	断面形 ピーカー形		
・規模	開口径 92cm 底部径 87cm 深さ 168cm		
埋	下部のみ。暗褐色土主体の黄褐色土含む混合土。縛まりなし。埋め戻し？		
土			
底面	ほぼ平坦		
壁	ほぼ直立		
穴	16×13×11cm		
出土遺物	なし		
時期	縄文中期中葉		

遺構名	R D123		
図版	遺構 64	遺物	111
写真図版	遺構 63	遺物	101
位置	5 F15 y グリッド		
検出状況	III a層		
重複関係	R D120に切られる。		
平面形	円形？		
形状	断面形 フラスコ形？		
・規模	開口径 178cm 底部径 164cm 深さ 20cm		
埋	黒褐色土主体。黄褐色土層を含む。		
土			
底面	？		
壁	内湾？		
穴	なし		
出土遺物	上器 (435)		
時期	縄文中期中葉		

遺構名	R D124		
図版	遺構 65	遺物	112
写真図版	遺構 63	遺物	101
位置	5 G15 f グリッド		
検出状況	III a層		
重複関係	R D113に切られる。		
平面形	円形		
形状	断面形 フラスコ形		
・規模	開口径 137×136cm 底部径 166×156cm 深さ 65cm		
埋	暗～黒褐色土主体で明褐色色土の崩落土含む。中～下部は自然堆積。		
土			
底面	ほぼ平坦		
壁	内湾		
穴	50×35×7cm		
出土遺物	石器 (436)		
時期	縄文中期中葉		

( ) は推定値

遺構名	R D125		
図版	遺構 62	遺物	—
写真図版	遺構 64	遺物	—
位置	5 F 10 y グリッド		
検出状況	III b層		
重複関係	R D109を切る。R D141との新旧関係は不明。		
平面形	円形?		
形状	断面形?		
・開口径	?		
規模	底部径 47cm		
深さ?			
埋上	暗褐色土を主体とすると思われる。		
底面	ほぼ平坦		
壁	?		
副穴	なし		
出土遺物	なし		
時期	縄文中期中葉		

遺構名	R D126		
図版	遺構 62	遺物	—
写真図版	遺構 64	遺物	—
位置	5 F 10 y グリッド		
検出状況	III b層		
重複関係	R D106, 109, 125, 141を切る。		
平面形	円形		
形状	断面形?		
・開口径	?		
規模	底部径 88×81cm		
深さ?			
埋土	褐色土を主体とする。人為堆積と思われる。		
底面	ほぼ平坦		
壁	?		
副穴	なし		
出土遺物	なし		
時期	縄文中期中葉		

遺構名	R D127		
図版	遺構 65	遺物	112
写真図版	遺構 64	遺物	101
位置	5 F 10 x グリッド		
検出状況	III b層		
重複関係	R D104, 117を切る。		
平面形	円形		
形状	断面形? フラスコ形		
・開口径	119×109cm		
規模	底部径 125×112cm		
深さ?	122cm		
埋土	上部褐色～黄褐色土主体。中～下部暗褐色～黒褐色土主体。自然堆積。		
底面	ほぼ平坦		
壁	内湾して外反		
副穴	なし		
出土遺物	土器 (437)		
時期	縄文中期中葉		

遺構名	R D128		
図版	遺構 65	遺物	112
写真図版	遺構 64	遺物	101
位置	5 G 15 e グリッド		
検出状況	II a層		
重複関係	R D131に切られる。		
平面形	円形		
形状	断面形? フラスコ形?		
・開口径	140cm		
規模	底部径 176cm		
深さ?	106cm		
埋土	上部明黄褐色崩落土。中～下部暗褐色土主体で黄褐色土含む。自然堆積。		
底面	ほぼ平坦		
壁	内湾		
副穴	なし		
出土遺物	土器 (438)		
時期	縄文中期中葉		

遺構名	R D129		
図版	遺構 65	遺物	112
写真図版	遺構 64	遺物	101
位置	4 G 19 b グリッド		
検出状況	II層		
重複関係	R A027に切られる。		
平面形	円形		
形状	断面形? フラスコ形?		
・開口径	162×157cm		
規模	底部径 188×162cm		
深さ?	84cm		
埋土	黒褐色土主体。明黄褐色土ブロック含む。		
底面	ほぼ平坦		
壁	内湾?		
副穴	22×20×? cm		
出土遺物	上器 (439), 石器 (440)		
時期	縄文中期中葉		

遺構名	R D130		
図版	遺構 66	遺物	112
写真図版	遺構 65	遺物	101
位置	5 G 15 d グリッド		
検出状況	III b層		
重複関係	R D121に切られる。		
平面形	円形		
形状	断面形? フラスコ形?		
・開口径	206cm		
規模	底部径 184cm		
深さ?	134cm		
埋土	上部は褐色土主体の崩落土? 下部は黄褐色土に帯状に黒褐色土の自然堆積。		
底面	やや丸味もつ		
壁	ほぼ直立		
副穴	37×32×14cm		
出土遺物	上器 (441), 石器 (442)		
時期	不明		

( ) は推定値

遺構名	R D131
図版	遺構 66 遺物 112
写真図版	遺構 65 遺物 101
位置	5 G15 d グリッド
検出状況	III a層
重複関係	R D121、130に切られる。
平面形	円形
断面形	ビーカー形
形状・規模	開口徑 122×120cm
深さ	底部径 111×109cm
埋理	上部明黄褐色土主体。中～下部暗褐色～黒褐色土を主体とする自然堆積。
底面	ほぼ平坦
壁	ほぼ直立
副穴	33×30×? cm
出土遺物	土器 (443)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D132
図版	遺構 67 遺物 112
写真図版	遺構 65 遺物 101
位置	5 G115 b グリッド
検出状況	III b層
重複関係	R D133に切られる。
平面形	円形
断面形	逆台形
形状・規模	開口徑 196×170cm
深さ	底部径 180×156cm
埋理	118cm
底面	黒褐色土主体の黄褐色土含む 埋土 混合土。人為堆積。
壁面	ほぼ平坦
副穴	外傾
副穴	50×?×25cm
出土遺物	土器 (444～446)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D133
図版	遺構 67 遺物 112
写真図版	遺構 65 遺物 101
位置	5 G15 a グリッド
検出状況	III b層
重複関係	R D132に切られる。
平面形	円形
断面形	ラスコ形
形状・規模	開口徑 100cm
深さ	底部径 164×160cm
埋理	121cm
底面	黒褐色土主体で壁際と下部に黒褐色土含む 埋土 混合土。人為堆積もしくは崩落土。
壁面	ほぼ平坦
副穴	内溝
副穴	26×25×9 cm
出土遺物	土器 (447)
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D134
図版	遺構 67 遺物 113
写真図版	遺構 65 遺物 101
位置	4 G21 j グリッド
検出状況	R A034に切面より。III b層
重複関係	R A034に切られる。
平面形	P形
断面形	ラスコ形
形状・規模	開口徑 101×80cm
深さ	底部径 125×117cm
埋土	101cm
底面	明褐色土主体で下部に黒褐色土層をもつ。上～中部人為堆積?
壁面	ほぼ平坦
副穴	内溝
副穴	20×20×12cm
出土遺物	土器 (448)
時期	縄文中期中葉

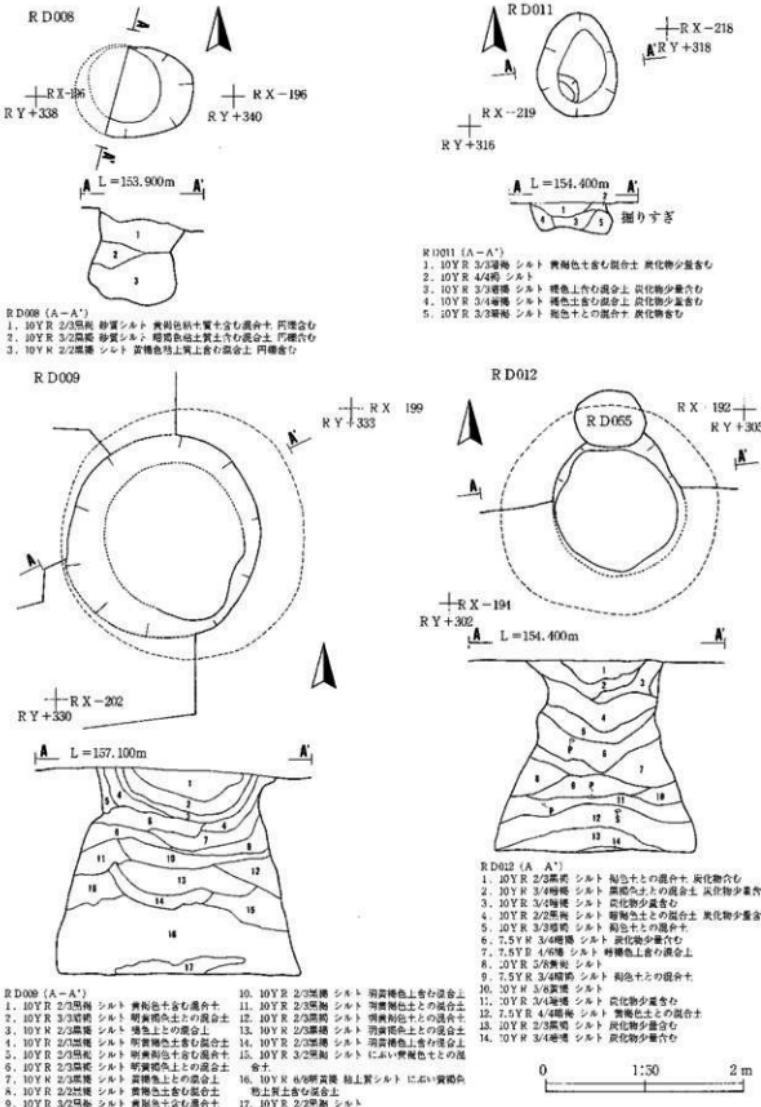
遺構名	R D135
図版	遺構 67 遺物 -
写真図版	遺構 66 遺物 -
位置	5 G10 a グリッド
検出状況	III b層
重複関係	R D136に切られる。
平面形	円形?
断面形	ラスコ形?
形状・規模	開口徑 (106) cm
深さ	底部径 105×100cm
埋土	120～130cm
底面	明褐色土主体。人為堆積?
壁面	やや傾斜
副穴	?
副穴	なし
出土遺物	なし
時期	縄文中期中葉

遺構名	R D136
図版	遺構 68 遺物 -
写真図版	遺構 66 遺物 -
位置	5 G10 a グリッド
検出状況	III b層
重複関係	R D135を切る。
平面形	円形?
断面形	ラスコ形
形状・規模	開口徑 160cm
深さ	底部径 150cm
埋土	100cm
底面	黒褐色土主体の混合土。上部 埋土と下部に黒褐色土層を含む。
壁面	ほぼ平坦
副穴	内溝
副穴	44×?×11cm
出土遺物	なし
時期	縄文中期中葉

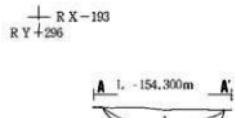
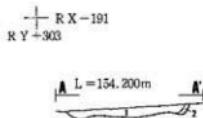
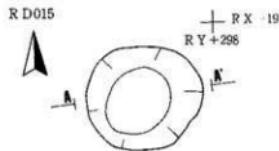
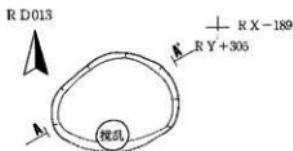
( ) は推定値

遺構名 RD137		遺構名 RD138		遺構名 RD139	
國版 遺構	68	遺物	—	國版 遺構	68
写真図版 遺構	—	遺物	—	写真図版 遺構	66
位置	5 G10 b グリッド	位置	5 G12 d グリッド	位置	5 F11 y グリッド
検出状況	III b 層	検出状況	III b 層	検出状況	III c 層
重複関係	R D092またはR D094に切られる。	重複関係	R D100、101を切る。	重複関係	R A010を切る。
平面形	円形?	平面形	円形	平面形	円形?
断面形	ビーカー形?	断面形	逆台形	断面形	逆台形
形状・規模	開口径(70)cm 底部径(56)cm 深さ45cm	形状・規模	開口径146cm 底部径120cm 深さ54cm	形状・規模	開口径(140)cm 底部径(120)cm 深さ42cm
埋土	暗褐色土主体で黄褐色土ブロック含む混合土。	埋土	黄褐色土主体で明黄褐色土、埋土 黒褐色土を含む混合土。人為堆積。	埋土	黒褐色土主体で明黄褐色土、埋土 黒褐色土を含む混合土。人為堆積。
底面	ほぼ平坦	底面	ほぼ平坦	底面	丸味もつ
壁	内湾?	壁	外傾	壁	外傾
副穴	なし	副穴	なし	副穴	なし
出土遺物	なし	出土遺物	なし	出土遺物	なし
時期	縄文中期中葉	時期	縄文中期中葉	時期	縄文中期中葉

遺構名 RD140		遺構名 RD141	
國版 遺構	67	遺物	—
写真図版 遺構	—	遺物	—
位置	5 G15 b グリッド	位置	5 F10 y グリッド
検出状況	R D132の直下より検出。III b 層	検出状況	R D106、125、126光掲時に検出。III b 層
重複関係	R D132に切られる。	重複関係	R D126に切られる。
平面形	円形	平面形	円形
断面形	ビーカー形	断面形	ビーカー形
形状・規模	開口径105×98cm 底部径86×77cm 深さ(81)cm	形状・規模	開口径(120)cm 底部径(98)cm 深さ?
埋土	暗褐色土主体の单層。	埋土	不明
底面	ほぼ平坦	底面	ほぼ平坦
壁	ほぼ直立	壁	ほぼ直立
副穴	なし	副穴	なし
出土遺物	なし	出土遺物	なし
時期	縄文中期	時期	縄文中期

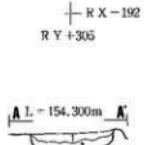
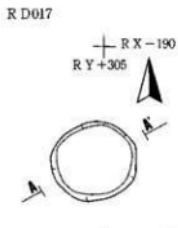
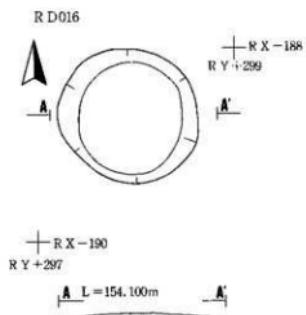


第41図 R D008・009・011・012土坑



R D013 (A-A')  
1. 10Y R 3/3暗褐 シルト 炭化物少量含む  
2. 10Y R 4/4褐 シルト 炭化物少量含む

R D015 (A-A')  
1. 10Y R 3/3暗褐 シルト 黄褐色土含む混合土 炭化物含む  
2. 10Y R 5/6黄褐 シルト 黄褐色土との混合土 炭化物少量含む

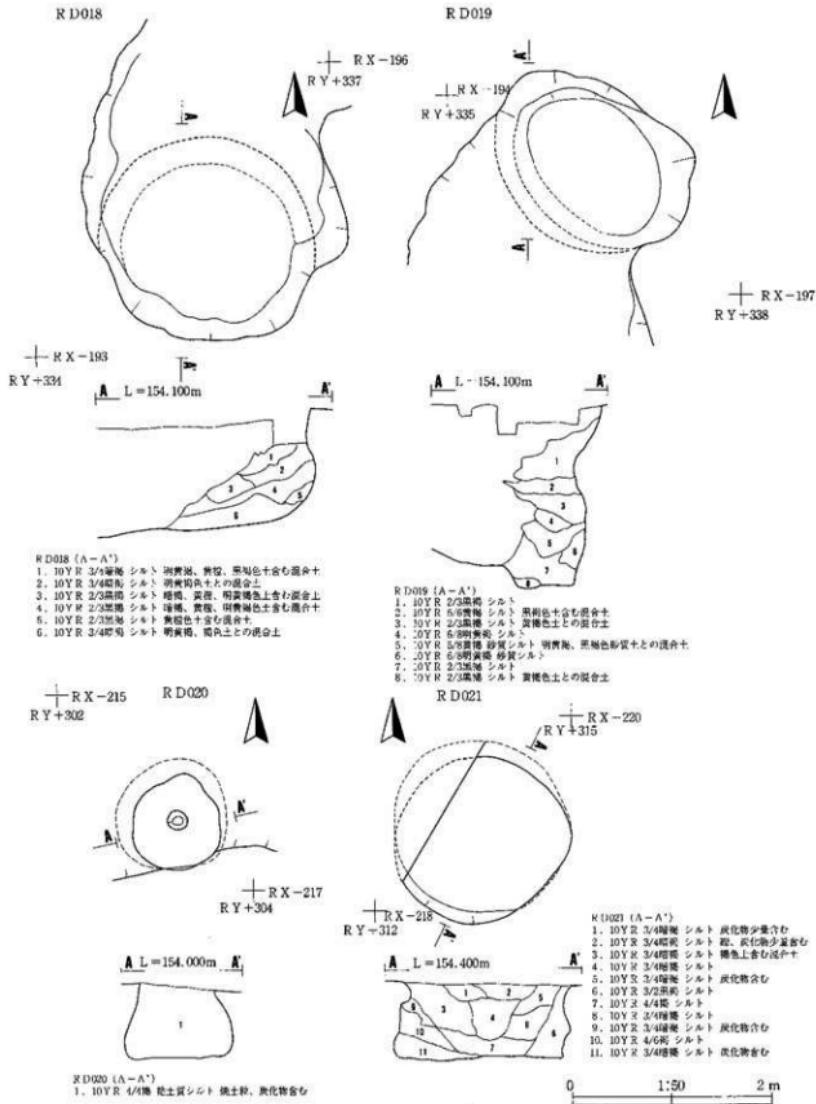


R D016 (A-A')  
1. 10Y R 3/3暗褐 シルト 炭化物少量含む  
2. 10Y R 4/4褐 シルト 黄褐色土との混合土 炭化物少量含む  
3. 10Y R 4/4褐 シルト 黄褐色土との混合土  
4. 10Y R 3/4暗褐 シルト 炭化物少量含む

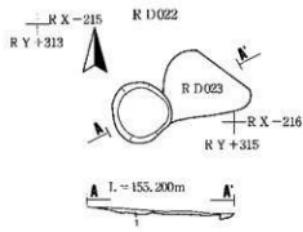
R D017 (A-A')  
1. 10Y R 3/3暗褐 シルト 黄褐色土との混合土  
2. 10Y R 5/6黄褐 シルト 黄褐色土との混合土

0 1:50 2 m

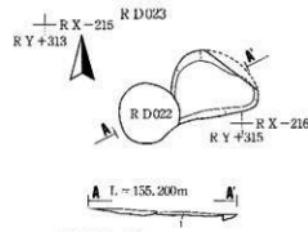
第42図 R D013・015・016・017土坑



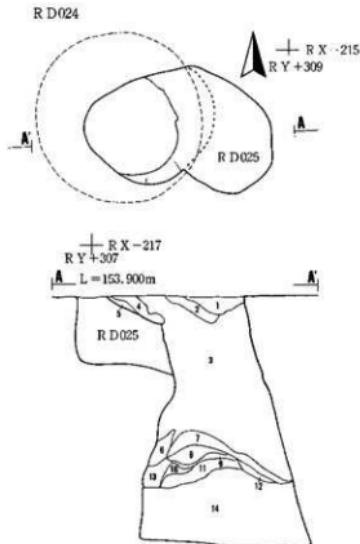
第43図 R D018・019・020・021土坑



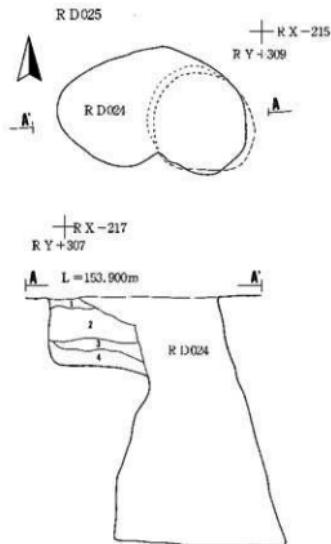
R D022 (A-A')  
1. 10YR 4/4暗 粘土質シルト 塗土粒、炭化物含む



R D023 (A-A')  
1. 10YR 4/4暗 粘土質シルト 塗土粒、炭化物含む



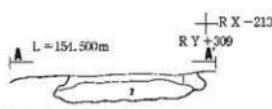
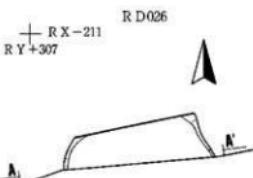
- R D024 (A-A')
1. 10YR 3/2暗緑 シルト 黒鈍赤土質を含む混合土 炭化物含む
  2. 10YR 4/6暗 粘土質シルト
  3. 10YR 5/6黄褐 粘土質シルト
  4. 10YR 3/4暗緑 シルト 黒鈍赤土質を含む混合土 炭化物含む
  5. 10YR 3/4暗緑 シルト 黒鈍赤土質を含む混合土 上部土層
  6. 10YR 3/4暗緑 シルト 黒鈍赤土との混合土
  7. 10YR 3/4暗緑 シルト 黒鈍赤土との混合土
  8. 10YR 3/4暗緑 シルト 黒鈍赤土を含む混合土
  9. 10YR 2/2茶灰 シルト
  10. 10YR 2/2茶灰 シルト 黒鈍赤土を含む混合土
  11. 10YR 3/4暗緑 シルト 黒鈍赤土質シルトを含む混合土
  12. 10YR 4/6暗 細粒 黒鈍赤土を帶状に含む混合土
  13. 10YR 5/6黄褐 粘土質シルト 黒鈍赤土との混合土 炭化物少量含む
  14. 10YR 4/6暗 細粒 黒鈍赤土を帶状に含む混合土



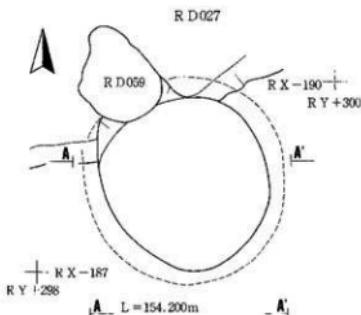
- R D025 (A-A')
1. 10YR 4/6暗 粘土質シルト 黒鈍赤土を帶状に含む混合土
  2. 10YR 4/6暗 粘土質シルト 黒鈍赤土を帶状に含む混合土 炭化物含む
  3. 7.6YR 4/6暗 粘土質シルト 黒鈍赤土を帶状に含む混合土
  4. 10YR 4/4暗 粘土質シルト

0 1:50 2 m

第44図 R D022・023・024・025土坑

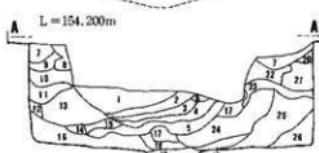
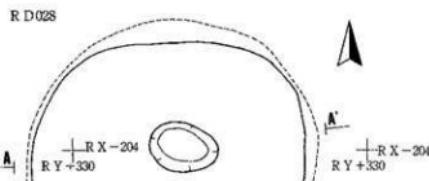


R D 026 (A-A')  
1. 10YR 3/2黒褐色 シント 黑色土含む混合土  
2. 10YR 3/2黒褐色 シント 黑色土含む混合土

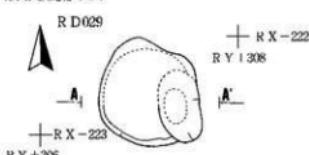


R D 027 (A-A') L = 154.200m A'

- R D 027 (A-A')  
1. 10YR 2/2黒褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
2. 10YR 3/3暗褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
3. 10YR 3/4褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
4. 10YR 3/5褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
5. 10YR 3/6褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
6. 10YR 3/7褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
7. 10YR 3/8褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
8. 10YR 3/9褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
9. 10YR 2/10黒褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
10. 10YR 2/11黒褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
11. 10YR 2/12黒褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
12. 10YR 4/1褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
13. 10YR 4/2褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
14. 10YR 4/3褐色 シント 黑色土含む混合土 黑化物少量含む  
15. 10YR 3/0褐色 シント 黑色土含む混合土  
16. 10YR 3/1褐色 シント 黑色土含む混合土



- R D 028 (A-A')  
1. 10YR 5/0褐色 黏土質シント 黑色土含む混合土 黑化物含む  
2. 10YR 5/1褐色 黏土質シント 黑色土含む混合土 黑化物含む  
3. 10YR 5/2褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物含む  
4. 10YR 5/3褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物含む  
5. 10YR 5/4褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物含む  
6. 10YR 5/5褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物含む  
7. 10YR 5/6褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物含む  
8. 10YR 5/7褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物含む  
9. 10YR 5/8褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物含む  
10. 10YR 5/9褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物含む  
11. 10YR 6/0褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
12. 10YR 6/1褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
13. 10YR 6/2褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
14. 10YR 6/3褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
15. 10YR 6/4褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
16. 10YR 6/5褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
17. 10YR 6/6褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
18. 10YR 6/7褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
19. 10YR 6/8褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
20. 10YR 6/9褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
21. 10YR 6/10褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土  
22. 10YR 2/3褐色 シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物少量含む  
23. 10YR 2/4褐色 シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物少量含む  
24. 10YR 2/5褐色 シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物多量に含む  
25. 10YR 6/0褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物多量に含む  
26. 10YR 6/1褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物多量に含む  
27. 10YR 6/2褐色 黏土質シント 黑色土上に粘土質土含む混合土 黑化物多量に含む

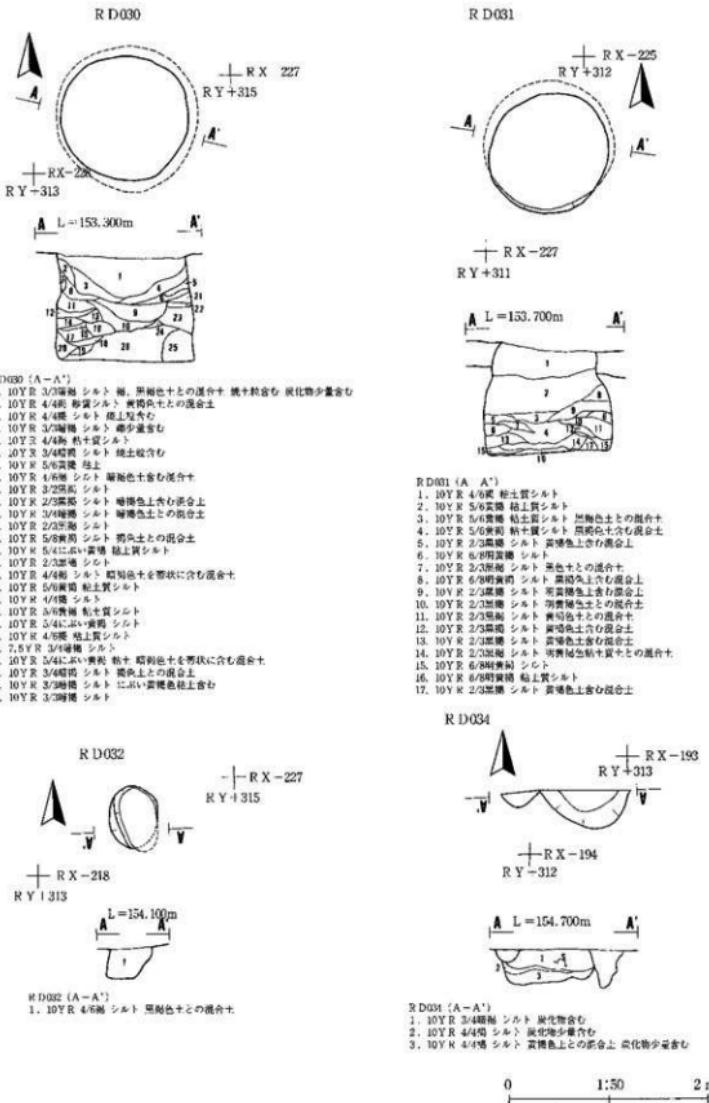


R D 029 (A-A') L = 154.000m A'

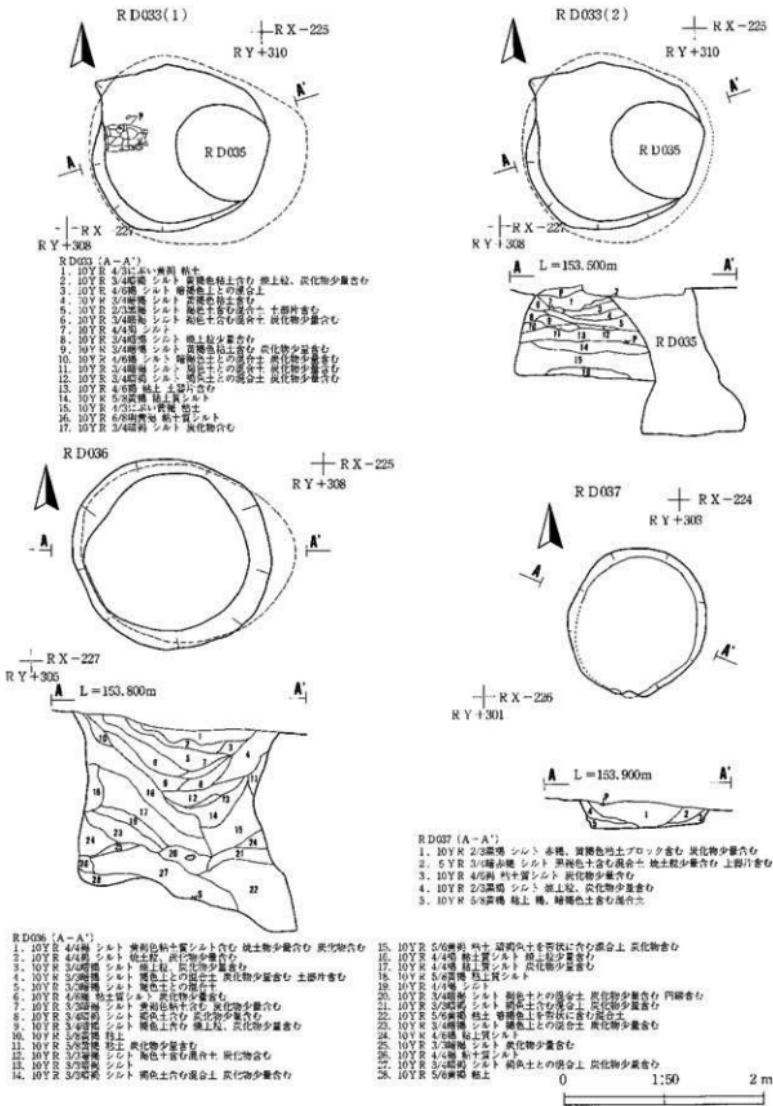
- R D 029 (A-A')  
1. 10YR 3/4褐色 シント 黑色土含む  
2. 10YR 3/5褐色 シント 黑色土含む  
3. 10YR 3/6褐色 シント 黑色土含む  
4. 10YR 3/7褐色 シント 黑色土含む混合土

0 1:50 2 m

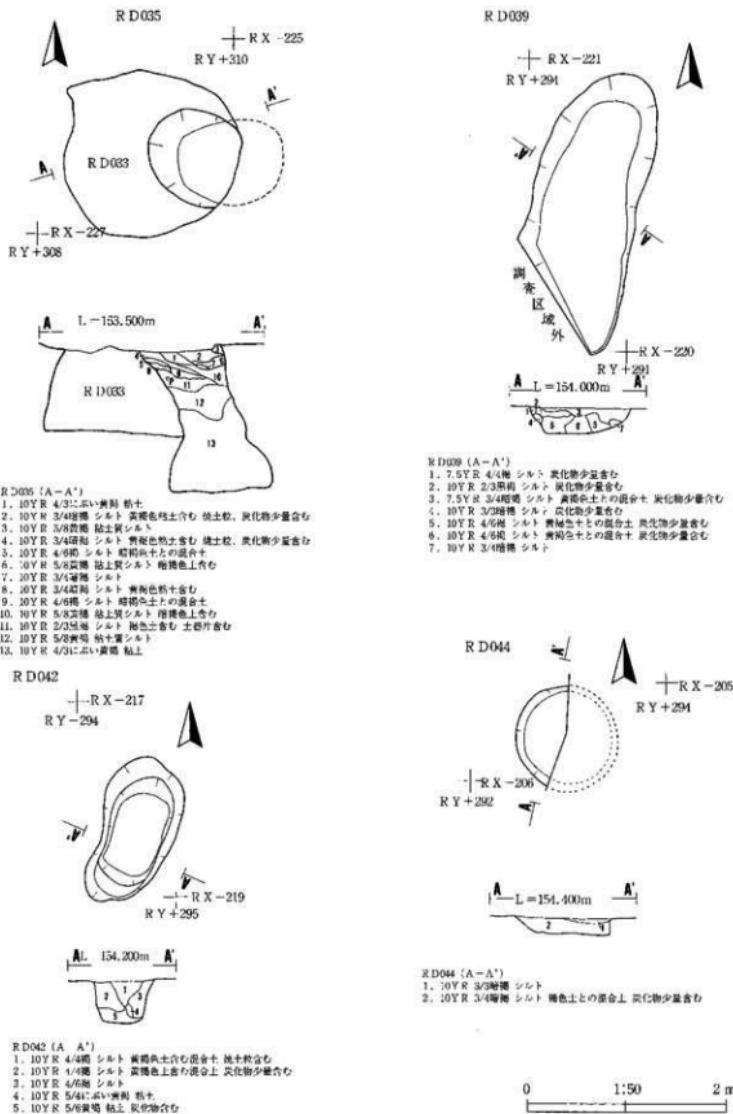
第45図 R D 026・027・028・029土坑



第46図 R D030・031・032・034土壤

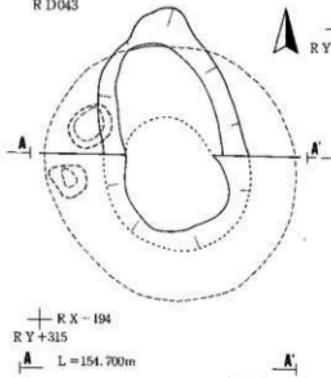


第47図 R D 033・036・037土坑

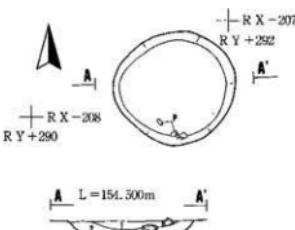


第48図 R D035・039・042・044土坑

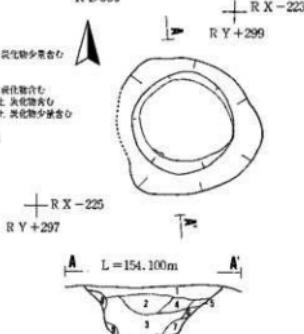
R D043



R D045



R D050



R D049 (A-A')

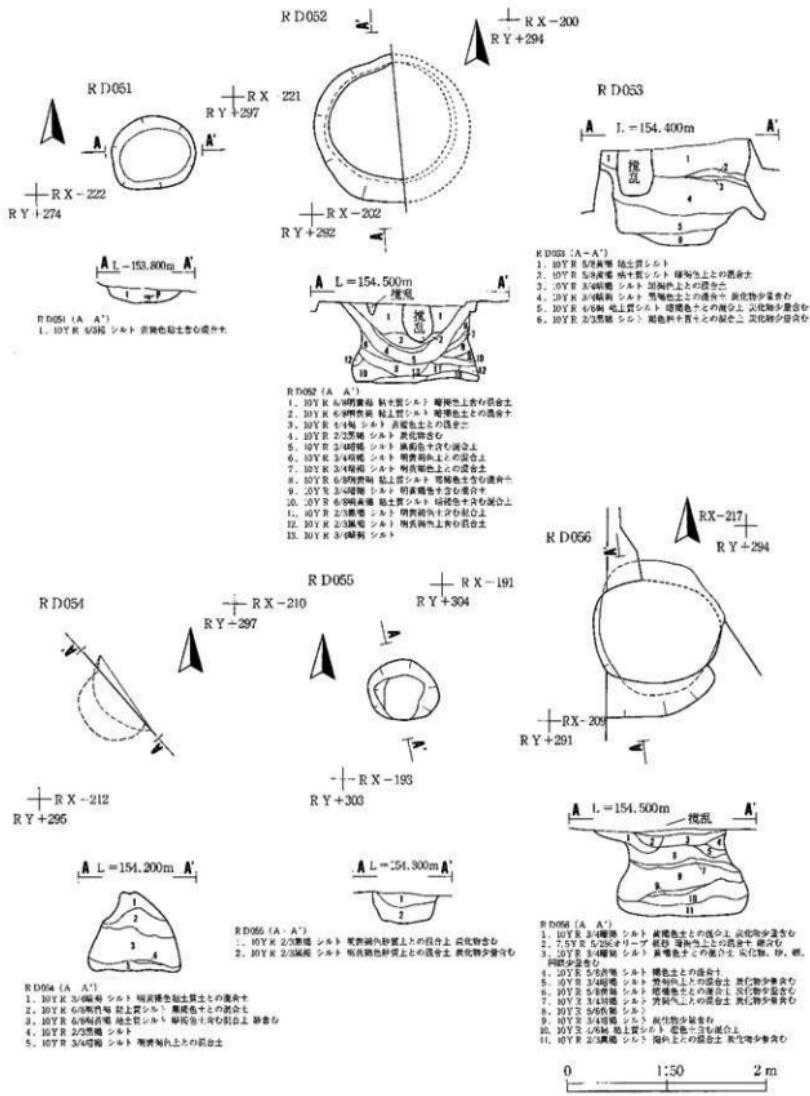
1. 10Y R 2/2褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
2. 10Y R 5/6褐鐵 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
3. 10Y R 3/4褐鐵 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
4. 10Y R 2/3褐鐵 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
5. 10Y R 4/5褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
6. 10Y R 3/4褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
7. 10Y R 3/4褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
8. 10Y R 3/4褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
9. 10Y R 3/4褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
10. 10Y R 4/5褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
11. 10Y R 5/6褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
12. 10Y R 4/5褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
13. 10Y R 3/4褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
14. 10Y R 4/5褐色 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
15. 10Y R 4/5褐色 シート  
16. 10Y R 4/5褐色 シート  
17. 5,5Y R 4/6褐色 シート 黄褐色土含む混合土  
18. 10Y R 4/5褐色 シート  
19. 10Y R 4/5褐色 シート

R D049 (A-A'')

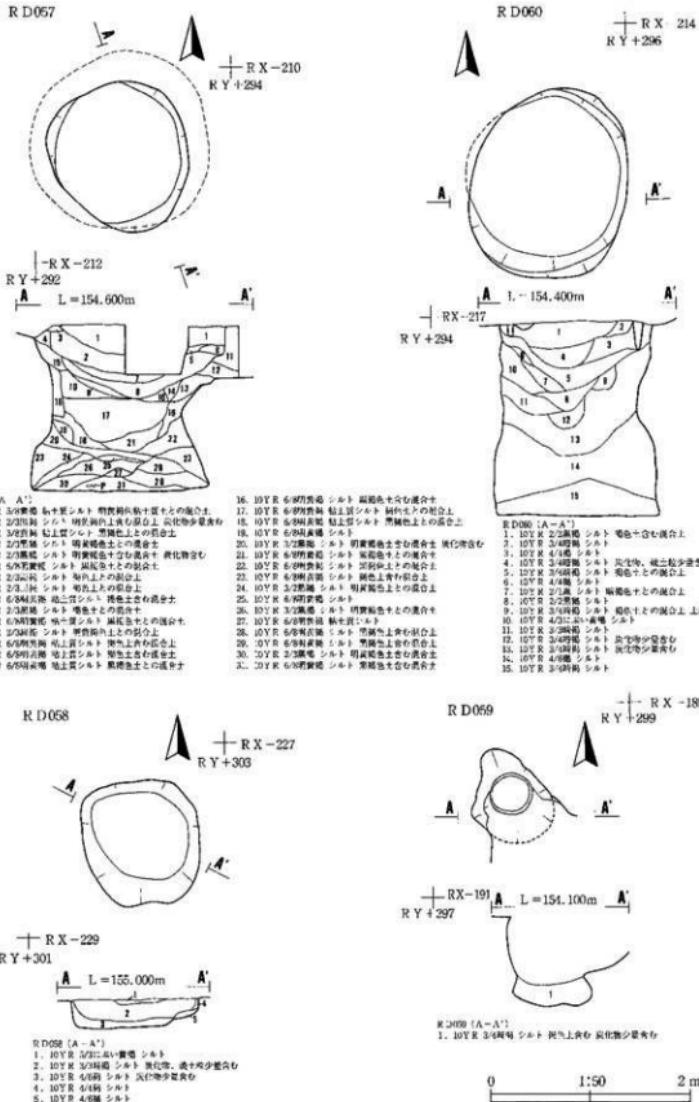
1. 10Y R 3/2褐鐵 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む
  2. 10Y R 1/4褐色 シート 黄褐色、褐鉄、褐鐵、黄褐色との混合土
- R D049 (A-A'')
1. 10Y R 3/2褐鐵 シート 黄褐色土との混合土、炭化物少量含む  
2. 10Y R 1/4褐色 シート 黄褐色、褐鉄、褐鐵、黄褐色との混合土

0 1:50 2 m

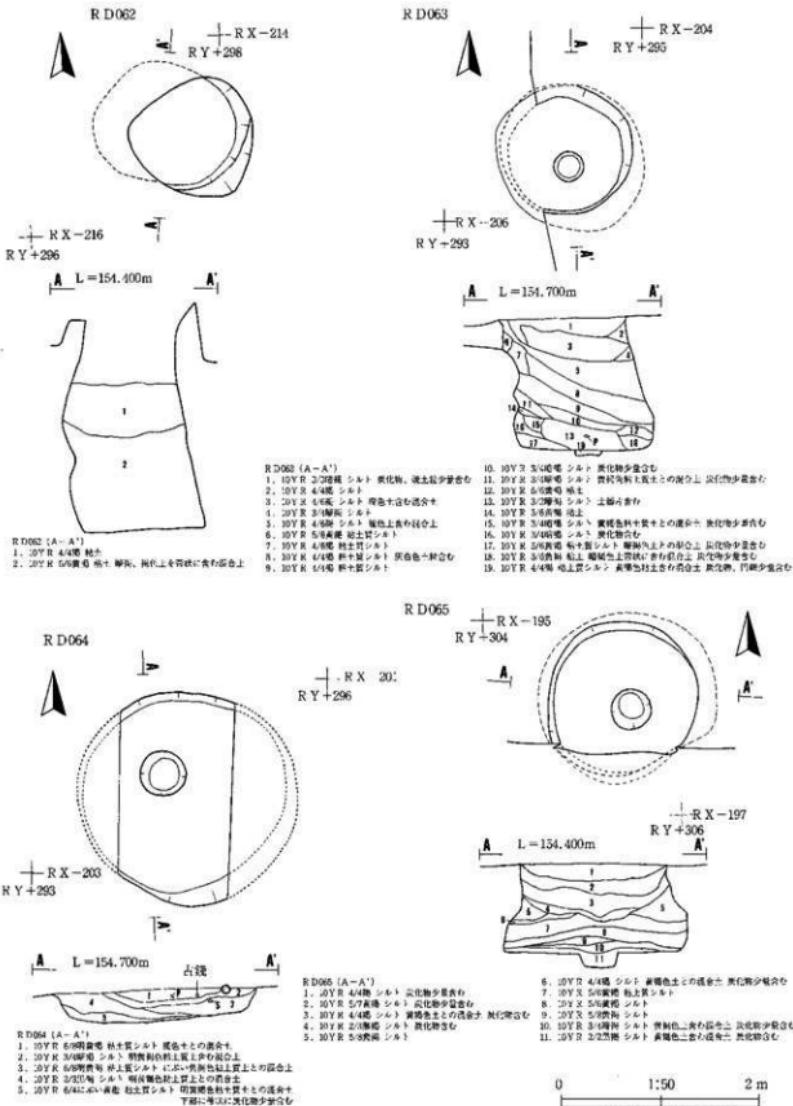
第49図 R D043・045・049・050土坑



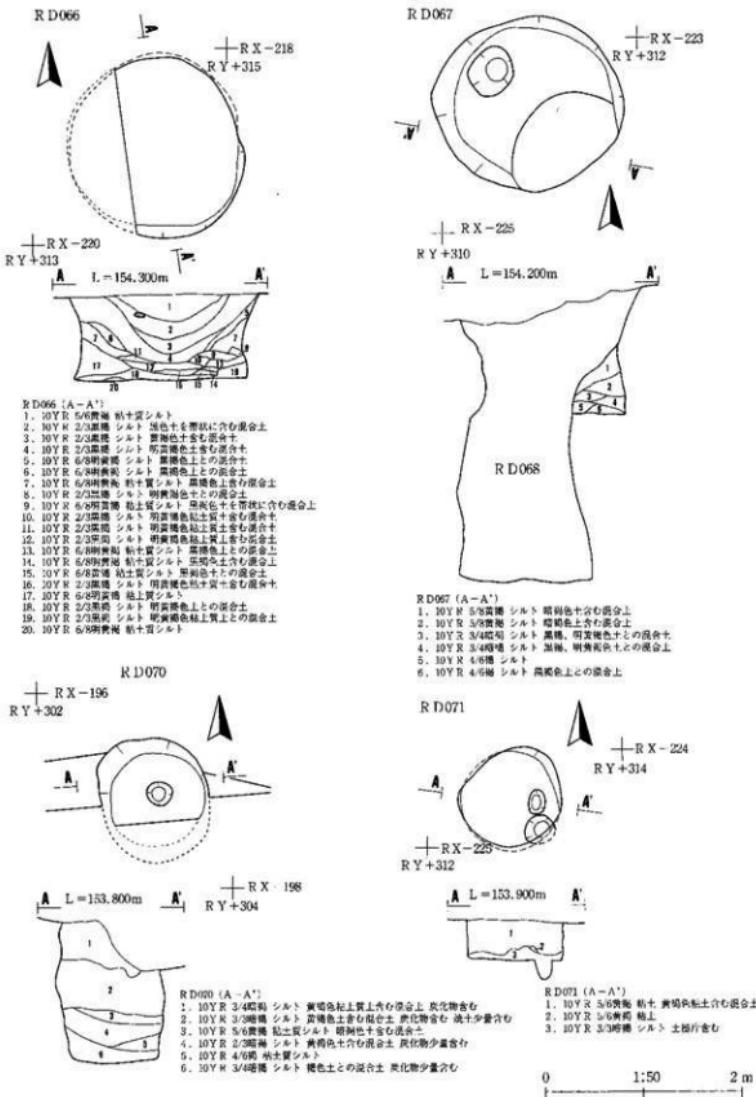
第50図 R D 051・052・053・054・055・056土坑



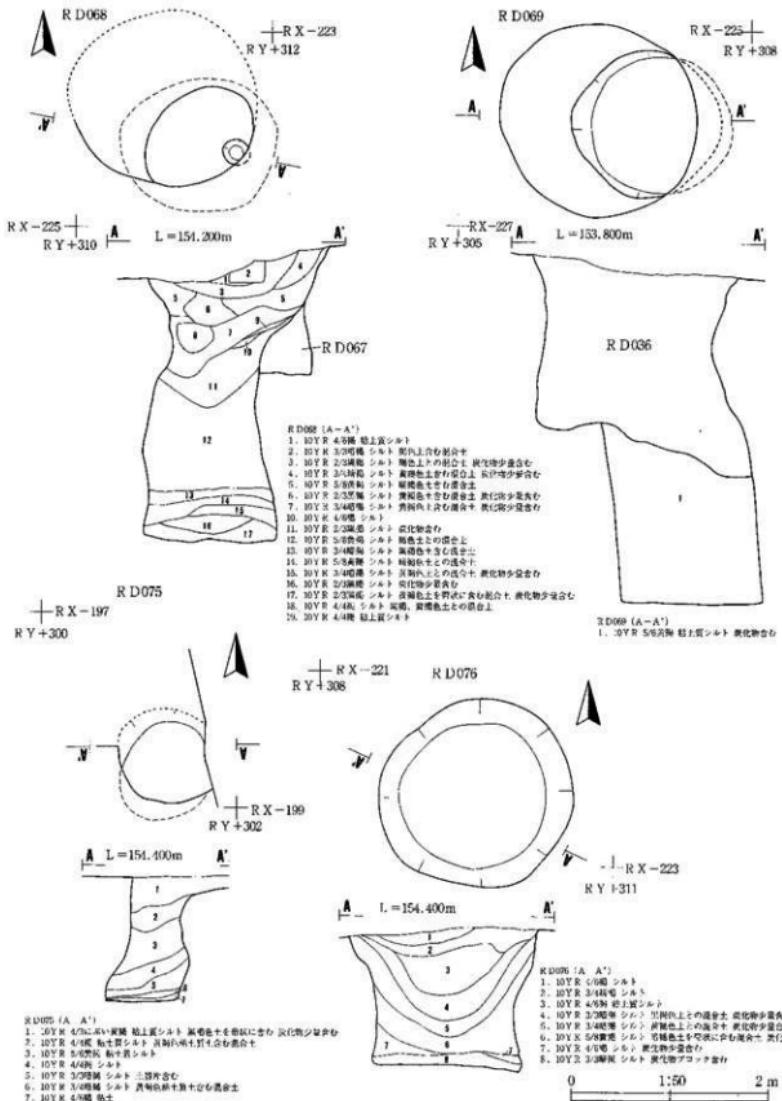
第51図 R D 057・058・059・060土坑



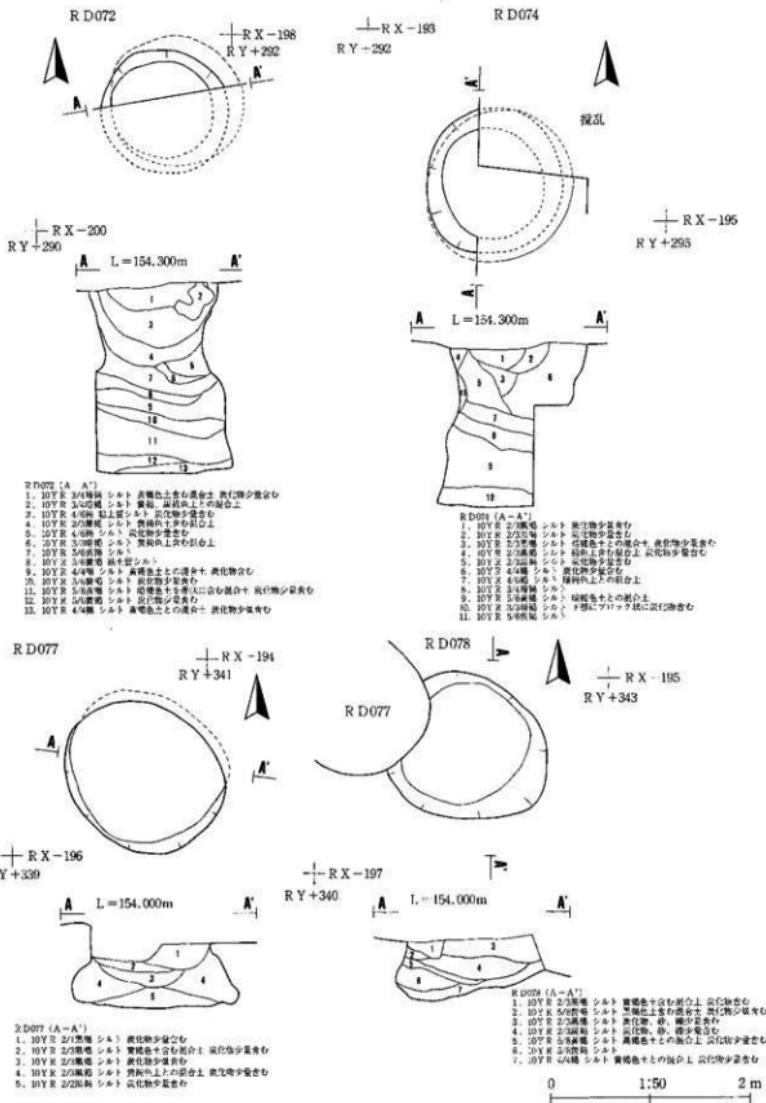
第52図 R D062・063・064・065土坑



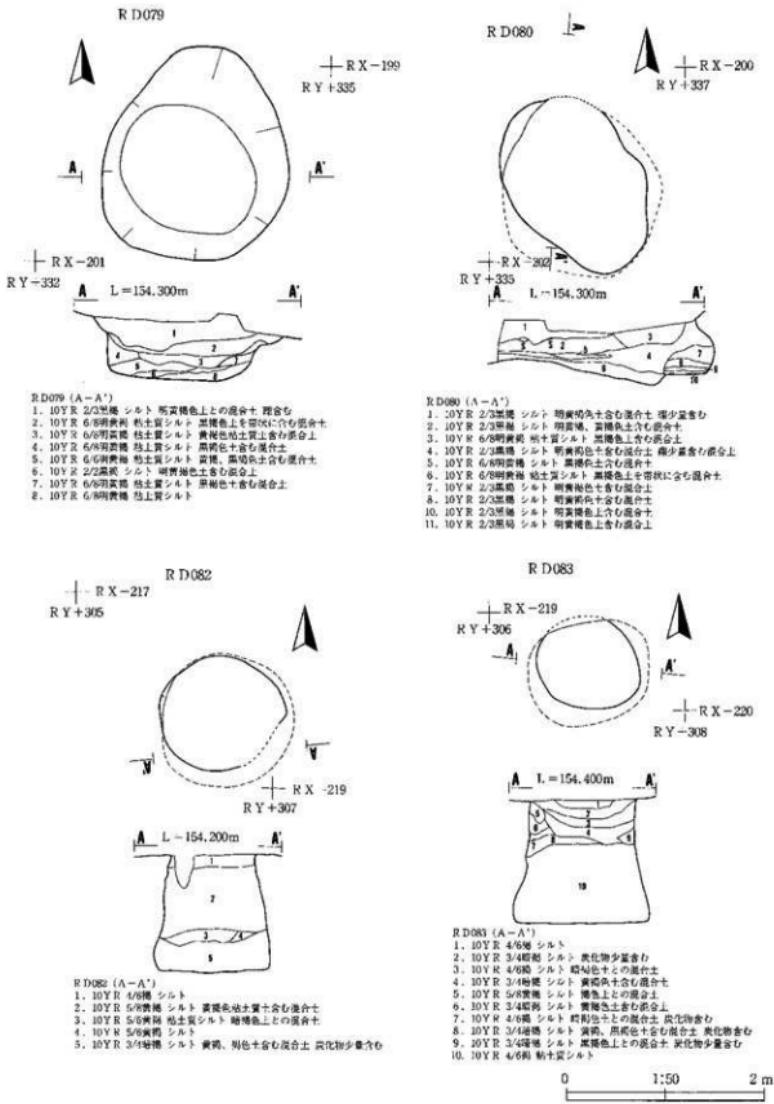
第53図 R D066・067・070・071土坑



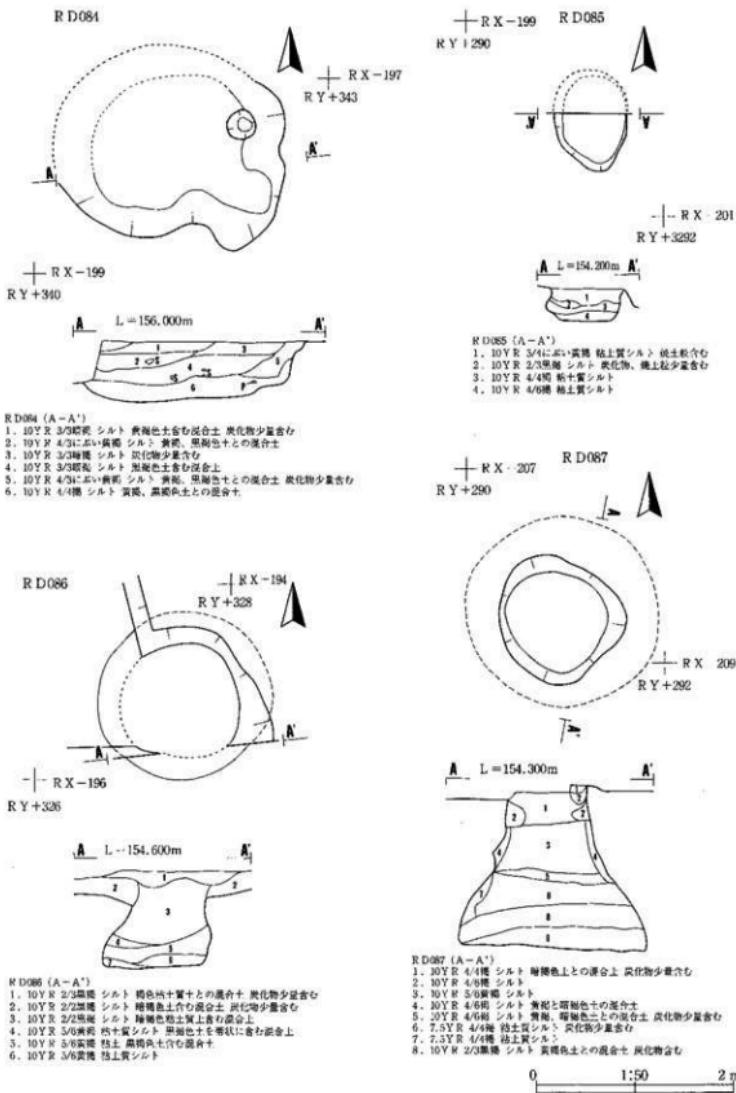
第54図 R D 068・069・075・076土坑



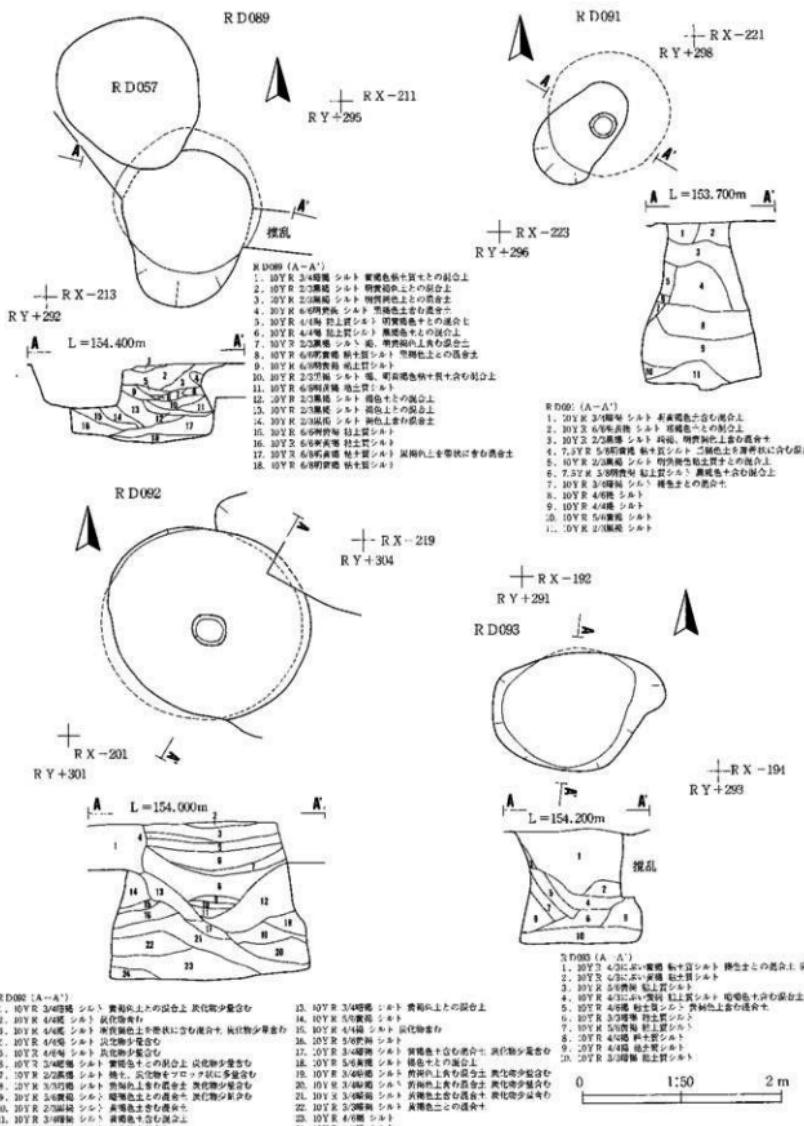
第55図 R D072・074・077・078土坑



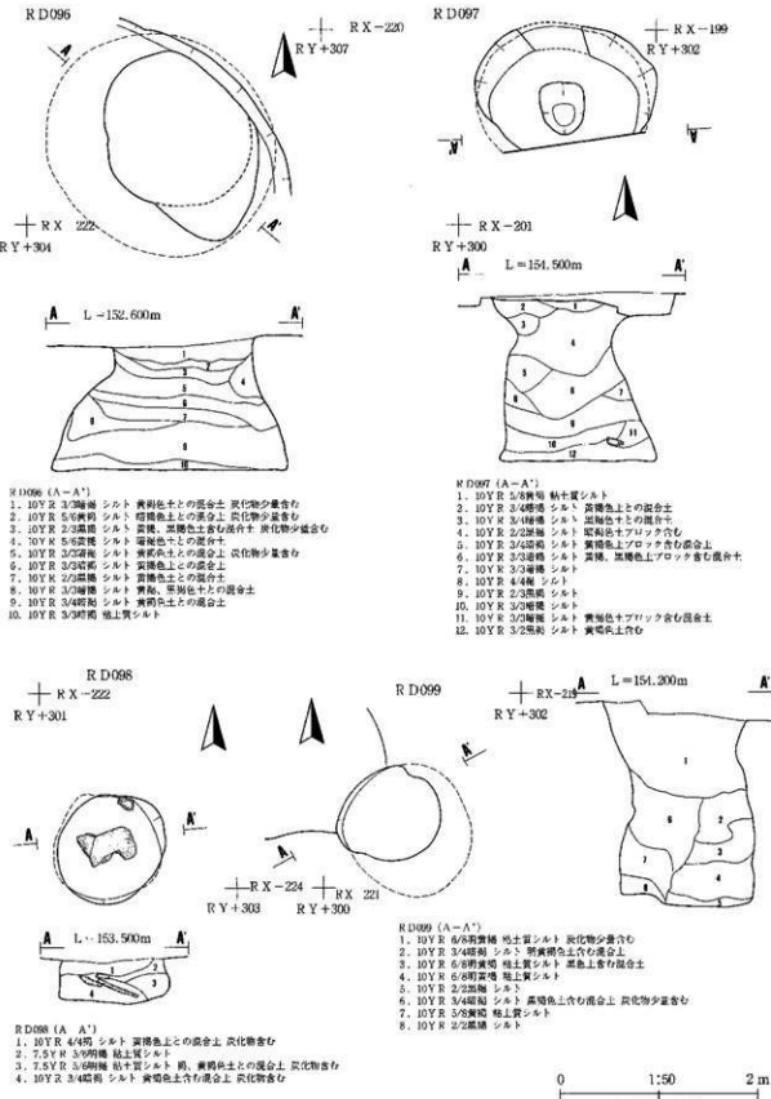
第56図 R D079・080・082・083土坑



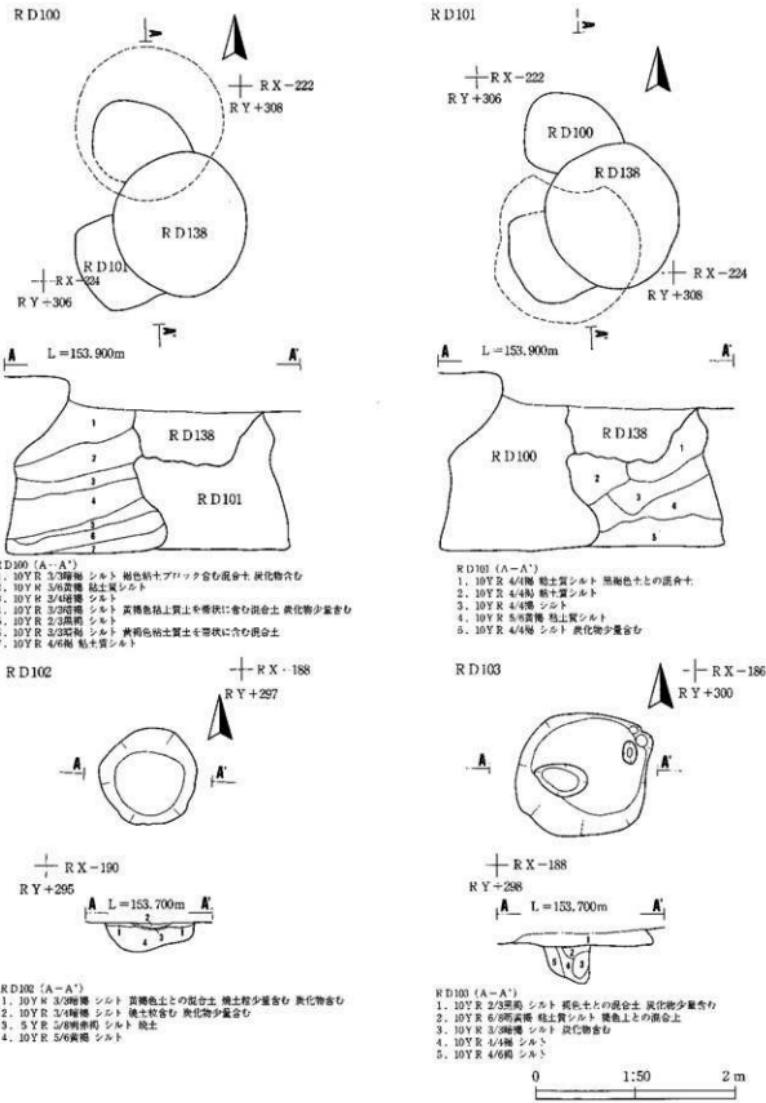
第57図 R D084・085・086・087土坑



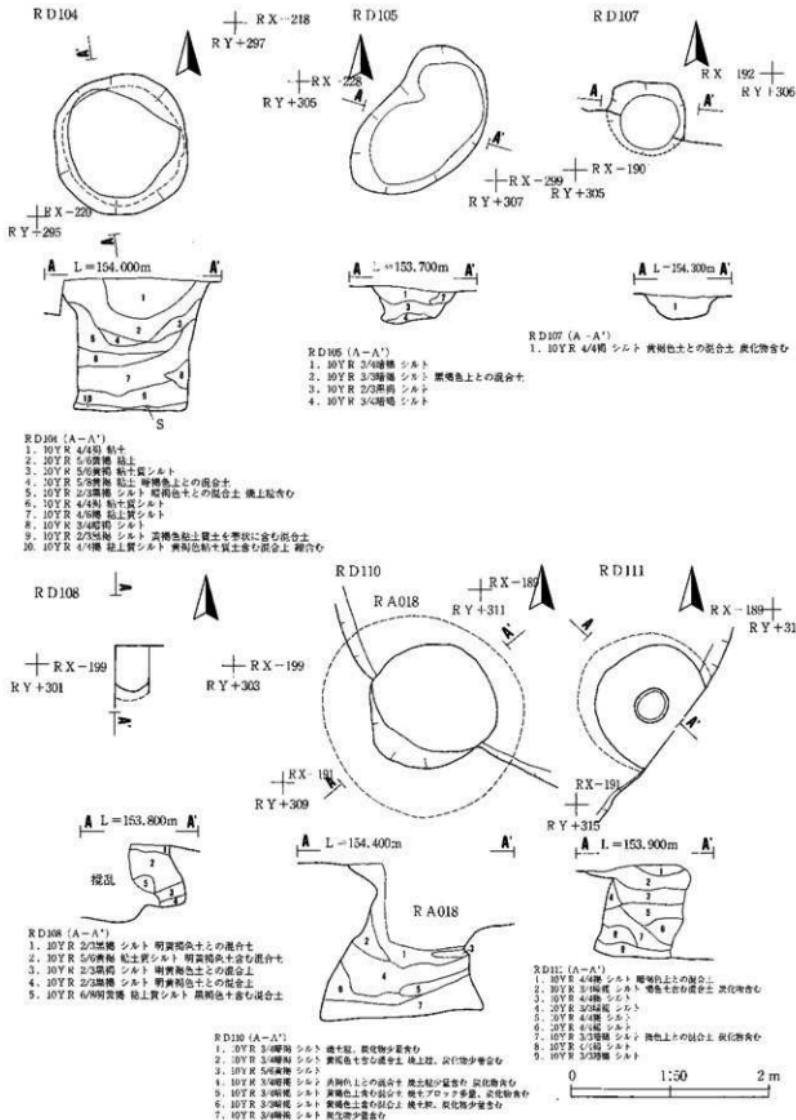
第58図 B.D.089・091・092・093土壤



第59図 R D 096・097・098・099土坑

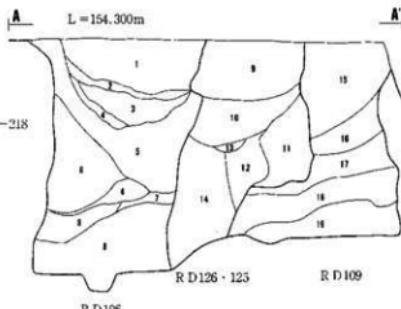
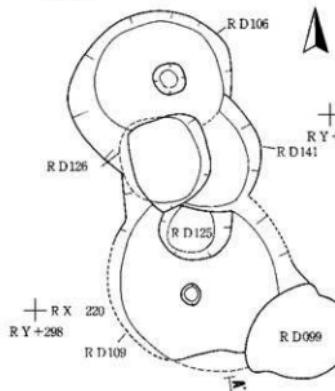


第60図 RD 100・101・102・103土坑



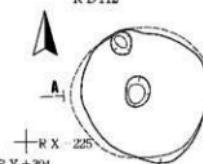
第61図 R D104・105・107・108・110・111坑

R D106・109・125  
126・141

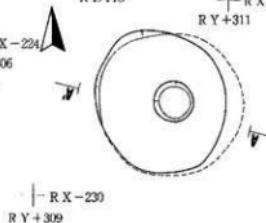


- R D106, 109, 125, 109 (左から)(A-A')  
 1. 10Y R 5/4層 壁面 黄土質シルト  
 2. 10Y R 5/4層 壁面 黄土質シルト  
 3. 10Y R 5/4層 壁面 黄土質シルト  
 4. 10Y R 2/3層 壁面 黄土質シルト  
 5. 10Y R 2/3層 壁面 黄土質シルト  
 6. 10Y R 4/6層 壁面 黄土質シルト  
 7. 10Y R 2/3層 壁面 黄土質シルト  
 8. 10Y R 2/3層 壁面 黄土質シルト  
 9. 10Y R 4/6層 壁面 黄土質シルト  
 10. 10Y R 4/6層 壁面 黄土質シルト  
 11. 10Y R 3/4層 壁面 黄土質シルト  
 12. 10Y R 6/8層 壁面 黄土質シルト  
 13. 10Y R 3/4層 壁面 黄土質シルト  
 14. 10Y R 4/4層 壁面 黄土質シルト  
 15. 10Y R 4/4層 壁面 黄土質シルト  
 16. 10Y R 2/3層 壁面 黄土質シルト  
 17. 10Y R 4/4層 壁面 黄土質シルト  
 18. 10Y R 5/5層 壁面 黄土質シルト  
 19. 10Y R 3/2層 壁面 黄土質シルト

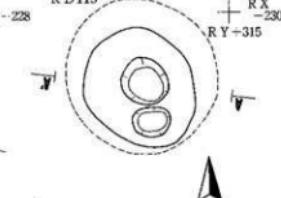
R D112



R D113



R D115



R D112 (A-A')

1. 10Y R 3/4層 壁面 黄色土含む混合土  
 2. 10Y R 6/8層 壁面 黄土質シルト  
 3. 10Y R 3/4層 壁面 黄化物少含む

L = 153.600m

L = 153.400m

L = 153.300m

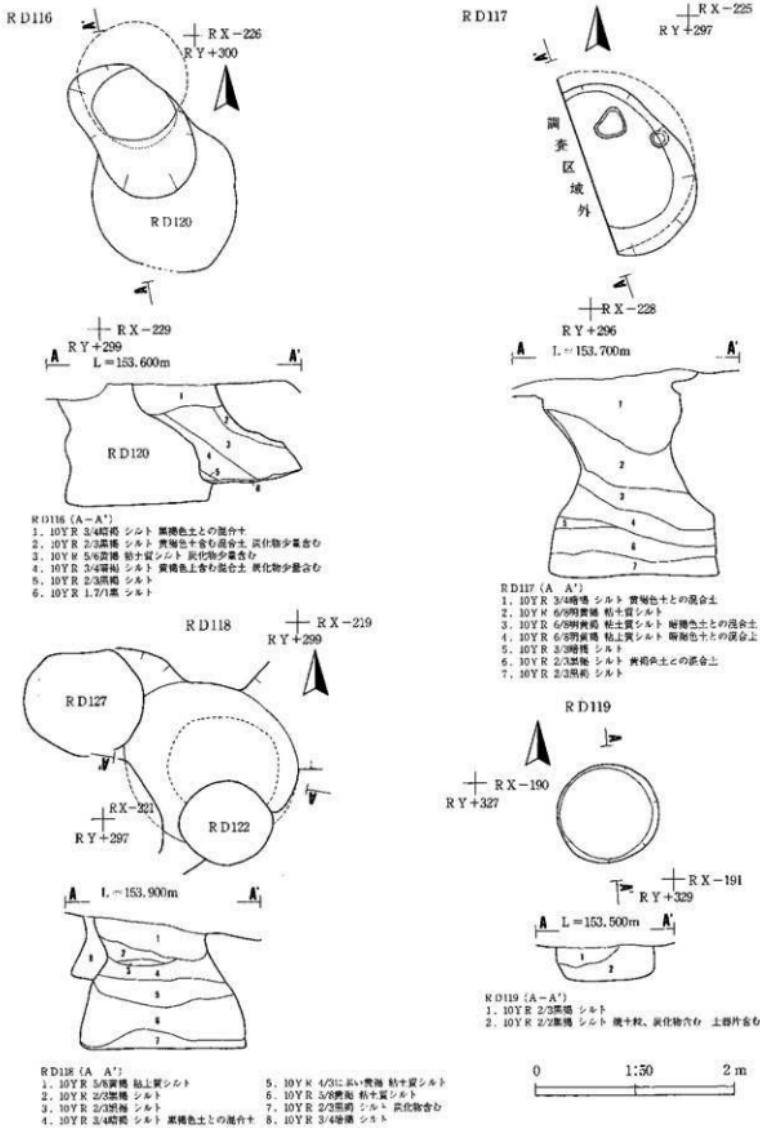
R D113 (A-A')

1. 10Y R 6/8層 黄土質シルト  
 2. 10Y R 2/3層 壁面 黄土質シルト  
 3. 10Y R 2/3層 壁面 黄土質シルト  
 4. 10Y R 2/3層 壁面 黄色土との混合土  
 5. 10Y R 2/3層 壁面 黄土質シルト  
 6. 10Y R 4/6層 壁面 黄土質シルト  
 7. 10Y R 4/6層 壁面 黄色土との混合土

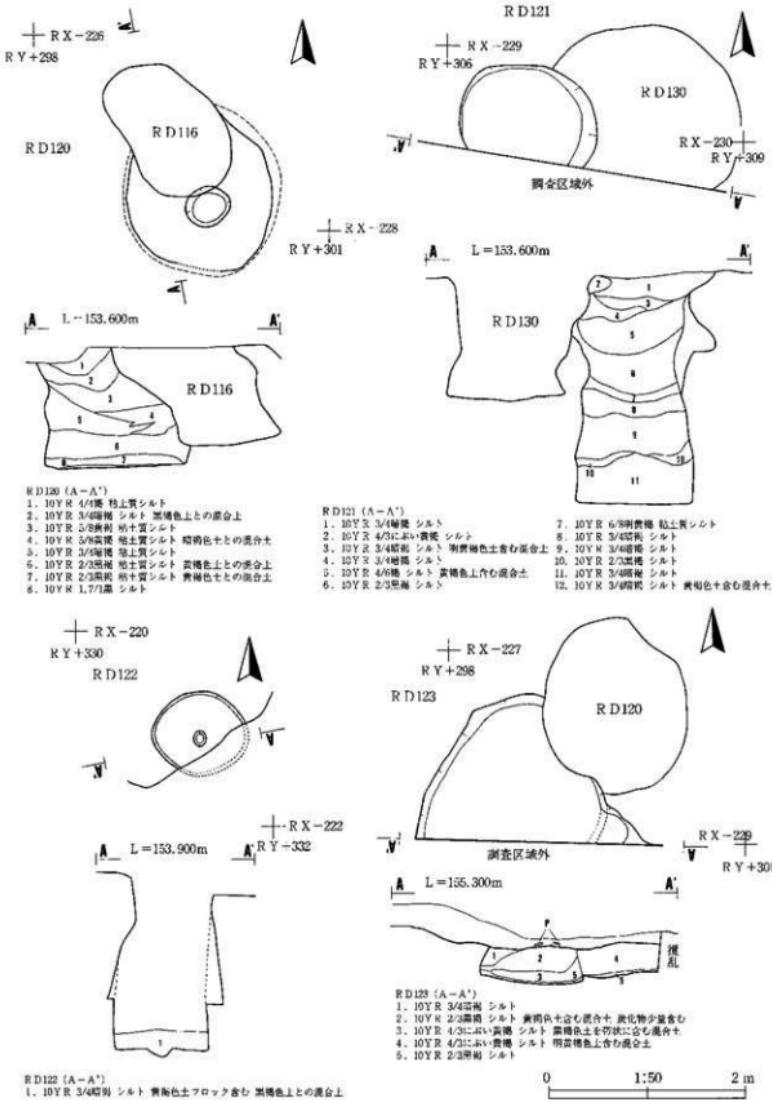
- R D115 (A-A')  
 1. 10Y R 3/3層 黄土質シルト  
 2. 10Y R 2/2層 壁面 黄土質シルト  
 3. 10Y R 4/4層 壁面 黄土質シルト  
 4. 10Y R 4/4層 壁面 黄土質シルト  
 5. 10Y R 3/2層 壁面 黄土質シルト  
 6. 10Y R 3/2層 壁面 黄土質シルト

0 1:50 2 m

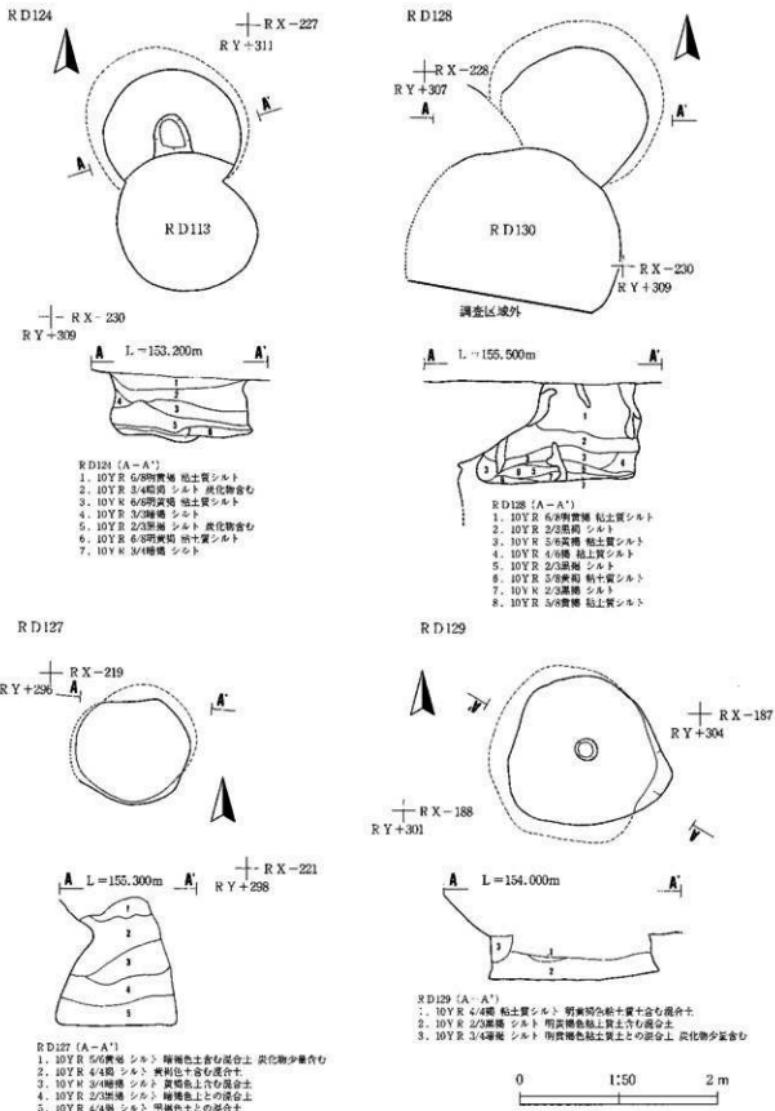
第62図 R D106・109・112・113・115・125・126・141土坑



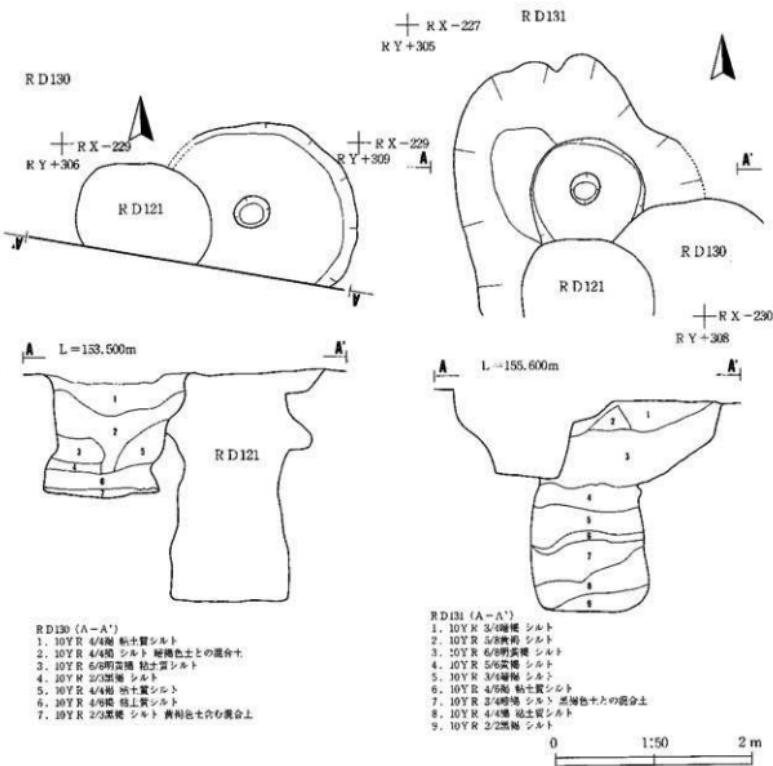
第63図 RD116・117・118・119土坑



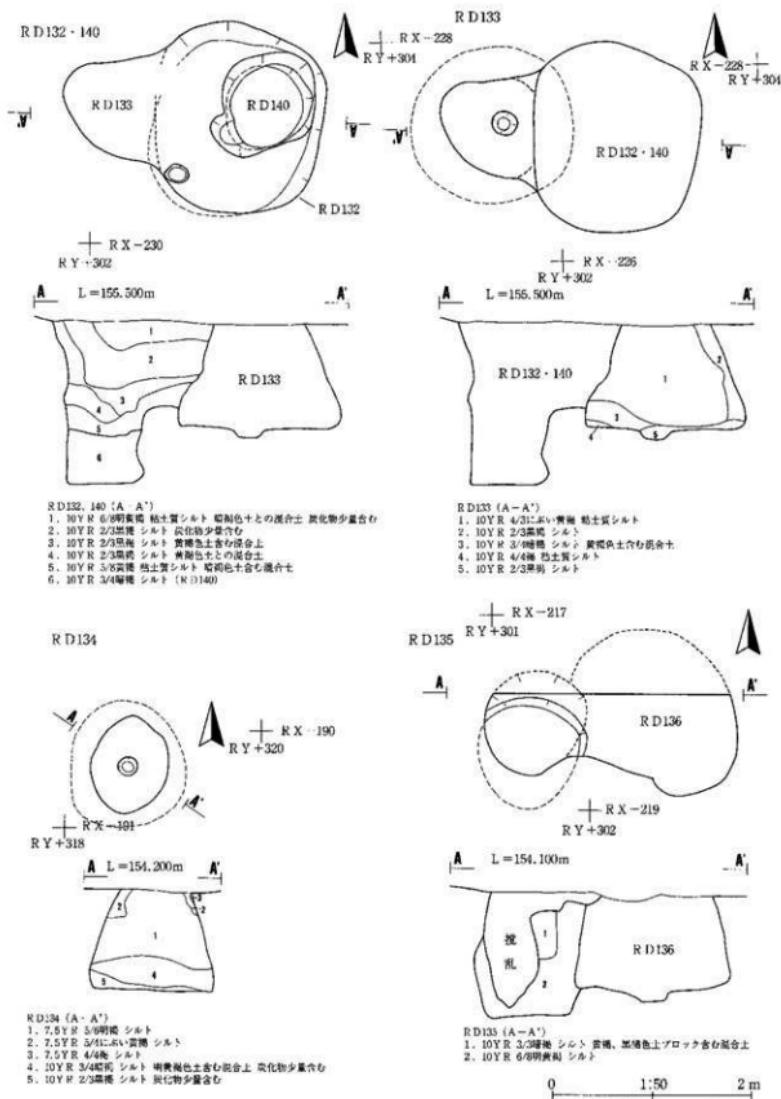
第64図 RD 120・121・122・123土坑



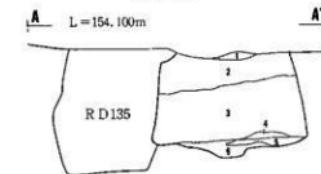
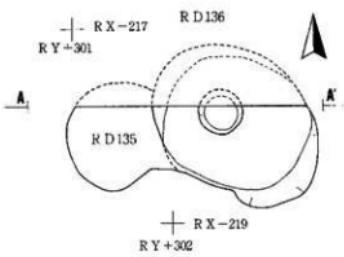
第65図 R D 124・127・128・129土坑



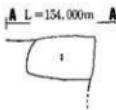
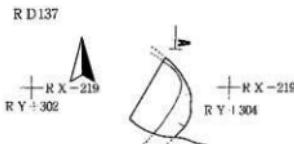
第66図 RD 130・131土坑



第67図 RD 132・133・134・135・140土坑

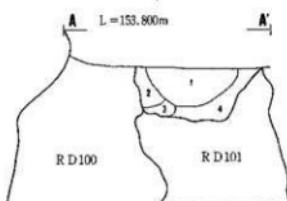
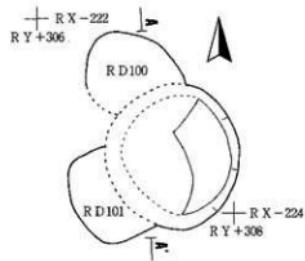


- R D 135 (A-A')
1. 10YR 4/4褐色 シルト
  2. 10YR 3/3褐色 シルト 黄褐色土を斑状に含む混合土
  3. 10YR 1/6赤褐色 シルト 黄褐色上との混合土
  4. 10YR 2/2黒褐色 シルト
  5. 10YR 6/6明黄褐色 シルト
  6. 10YR 2/3黒褐色 シルト



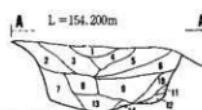
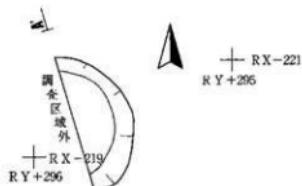
R D 137 (A-A')  
1. 10YR 3/4暗褐色 シルト 黄褐色土を含む混合土

R D 138



- R D 138 (A-A')
1. 10YR 4/6黄褐色 土質シルト
  2. 10YR 4/4褐色 土質
  3. 10YR 4/6黄褐色 土質質シルト
  4. 10YR 3/3褐色 土質

R D 139



- R D 139 (A-A')  
1. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
2. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
3. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
4. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
5. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
6. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
7. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
8. 10YR 2/2黒褐色 シルト 黑色土を含む混合土  
9. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
10. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
11. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土  
12. 10YR 3/3暗褐色 シルト 黑色土を含む混合土  
13. 10YR 3/3暗褐色 シルト 黄褐色土を含む混合土  
14. 10YR 3/3暗褐色 シルト 明黄褐色土を含む混合土

0 1:50 2 m

第68図 R D 136・137・138・139土坑

## 4 焼土遺構

### R F 001焼土遺構

遺構（第69図・写真図版67）

<位置>調査区南側4 G 17 h グリッドに位置する。

<検出状況>盛土除去後、Ⅲ層で検出している。排水管溝による擾乱を受け、残存状況はよくない。

<規模・平面形>31×40cmの不整な楕円形を呈する。焼土の厚さは最大4 cmである。

<埋土>3層に分けられる。おもに赤褐色から構成される。

遺物（第一図・写真図版-）

<出土遺物>なし。

<時期>縄文時代と推定されるが詳細は不明である。

### R F 003焼土遺構

遺構（第69図・写真図版67）

<位置>調査区西端5 F 10G グリッドに位置する。

<検出状況>Ⅱ層下位～Ⅲ層上位で赤褐色土の広がりを検出する。

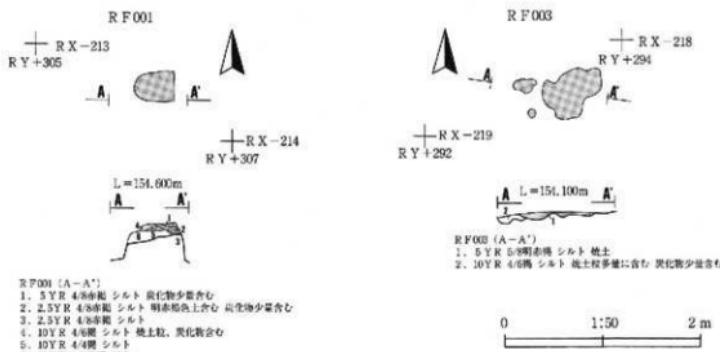
<規模・平面形>47×64cmの不整形を呈する。焼土の厚さは最大8 cmである。

<埋土>2層に分けられる。1層は明赤褐色土、2層は焼土粒・炭化物を含む、褐色土から構成される。

遺物（第一図・写真図版-）

<出土遺物>なし。

<時期>縄文時代と推定されるが詳細は不明である。



第69図 R F 001・003焼土遺構

## 5 柱穴状小土坑群

### R Z001柱穴状小土坑群

遺構（第70図・写真図版-）

＜位置＞調査区西側5 G 2 mグリッドに位置する。

＜検出状況＞Ⅲ層で8基の柱穴状土坑を検出した。建物跡を構成しない。

＜規模・平面形＞径24～42cm、深さ6～41cmである。

＜埋土＞黒褐色土を基本とする。

遺物（第一図・写真図版-）

＜出土遺物＞なし。

＜時期＞詳細は不明である。

### R Z002柱穴状小土坑群

遺構（第71図・写真図版67）

＜位置＞調査区北側4 F 21 x グリッドに位置する。

＜検出状況＞Ⅲ層で26基の柱穴状土坑を検出した。建物跡を構成しない。

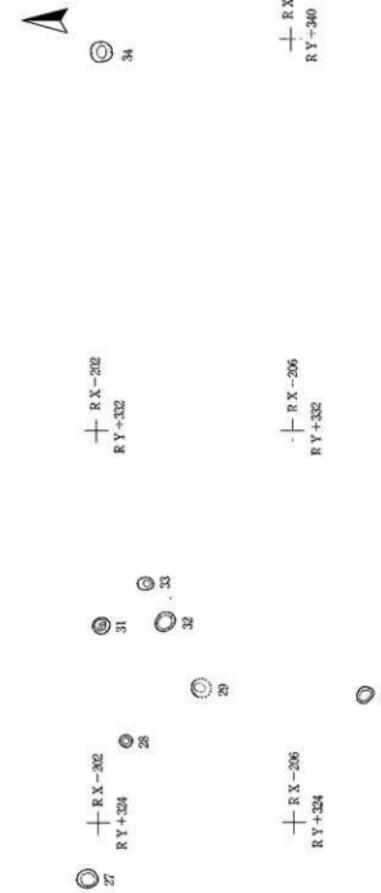
＜規模・平面形＞径26～68cm、深さ9～64cmである。

＜埋土＞黒褐色土を基本とする。

遺物（第一図・写真図版-）

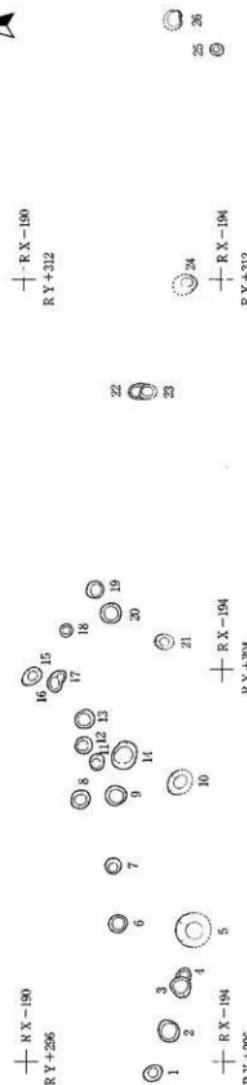
＜出土遺物＞なし。

＜時期＞詳細は不明である。



第70図 RZ 001柱穴状小土坑群

△



P-S <sub>0</sub>	延	測5
P P 1	38×31	9
P P 2	46×42	15
P P 3	43×41	25
P P 4	36×27	18
P P 5	68×69	64
P P 6	36×34	73/9
P P 7	33×32	31
P P 8	38×36	54
P P 9	11×38	8
P P 10	49×7	12
P P 11	34×29	48
P T 12	36×31	40
P P 13	39×39	38
P T 26	55×39	44

P-S <sub>0</sub>	延	測5
P P 14	57×48	9
P P 15	41×30	15
P P 16	36×28	19
P P 17	26×28	17
P P 18	23×22	32
P P 19	35×32	49
P P 20	41×39	11
P P 21	35×30	59
P P 22	30×36	32
P P 23	30×38	52
P P 24	46×40	32
P P 25	27×29	29
P T 26	35×39	44

第71図 R Z 002柱穴状小土坑群

## V. 出土遺物

出土した遺物の総量は、大コンテナ（41×31×30cm）で30箱である。内訳は土器、石器、土製品、石製品、金属製品が出土している。本報告では時間の制約があり陶磁器、煙管は不掲載とした。時期は縄文時代中期を主体とする。

### 1 土器

縄文時代早期、中期、後期の土器が出土している。分類については、縄文時代早期の土器を第Ⅰ群（I）、縄文時代中期の土器を第Ⅱ群（II）、縄文時代後期の土器を第Ⅲ群（III）として時期区分を行った。さらに小分類をa類・b類・c類・・・として記載した。小分類の設定にあたっては、従来の型式名や分類名に対応するように努めた。分類の基準は土器の器形、文様を中心とした型式学的分類であり、遺物の出土状況や層位に基づいたものではない。

#### 第Ⅰ群・上器

縄文時代早期の土器群である。無文、沈線文、格子文、刺突文、貝殻文、条痕文などの文様が施文される上器群である。器種は深鉢である。施文方法・文様からa類～g類の7類に分類した。

##### I群 a類

大町新跡・大船遺跡・前九年遺跡・館坂遺跡・安倍館遺跡から出土した無文・縄文土器を主体とした上器群が発見されており、これに比類する無文土器である。

全体的に丁寧な縱方向のナデ整形が施されており、口唇下には横位の調整擦痕が見られる。

##### I群 b類

蛇干洞式に比類する上器群で、沈線による格子目文を横位に多段に施し、文様帶は数条の平行沈線によって区画されている。

##### I群 c類

白浜・小船渡平式に比類する上器群で、沈線と共に貝殻腹縁文が多用され、口縁部は縦位の沈線・貝殻腹縁文が施される。文様は口縁部～体部上半に集約される傾向がある。

##### I群 d類

根井沼・寺の沢式に比類する上器群で、口唇部が外削ぎとなり、口唇部下には横位の貝殻文が施される。

##### I群 e類

明神裏Ⅲ層式に比類する土器群で、押し引きによる沈線により主文様を描き、描かれた区画内に貝殻腹縁文を施している。

#### I群 f類

大寺・島木沢式に比類する土器群で、右上がり、左上がりの貝殻腹縁文による文様が施文され、区画が施されている。

#### I群 g類

吹切沢式に比類する土器群で、口縁部には絡条体圧痕文を施し、内外面は斜位、横位の貝殻条痕文を施している。

#### 第II群土器

繩文時代中期に該当するとと思われる土器群である。隆線・沈線・隆沈線による文様を施す土器群で、特に沈線や隆沈線による渦巻文、懸垂文が文様として描かれる傾向にある。器種は深鉢、浅鉢を基本とし、深鉢には中型の深鉢と小型の深鉢もあり、器台もある。施文方法・文様などから a類～h類の8類に分類した。

#### II群 a類

器形はキャリバー形の深鉢が主体をなす。口縁部は隆線により渦巻文を端部に加飾する横位に展開する文様を施す。体部は横位の平行沈線による文様区画を頭部に施し、胴部は横位の平行沈線から底部にかけて沈線による文様が垂直に施される。大木8b-1式に比類する土器群である。

#### II群 b類

器形は、キャリバー形の深鉢に加えて、頭部に括れをもち、口縁部が外反する器形が出てくる。口縁部の文様帶は短い隆沈線で文様を連結・区画させるようになり、連結部は椿円状の区画になる。大木8b-2式に比類する土器群である。

#### II群 c類

器形は口縁が大きく外反して屈曲し、外反部が無文となる小型深鉢が主体となる。文様は、隆沈線を多用し、有棘渦巻文、小渦巻文が描かれる。大型の深鉢は、胴部が緩く湾曲する樽形の器形で、体部に大渦巻文を描き、その周囲に小渦巻文を配する。大木8b-3式に比類する土器群である。

#### II群 d類

沈線による胸骨文を施す土器で、板林式に比類する土器群である。

#### II群 e類

体部にやや膨らみをもつ深鉢で、出土した土器は地文のみの粗製深鉢である。大木10式に比類される土器群である。

#### II群 f類

地文のみの粗製土器の破片、底部片を一括した。II群 e類に属する可能性もある。

## II群g類

ミニチュア土器を括した。

## II群h類

備目状の文様を施す土器である。

## 第III群土器群

縄文時代後期初頭に比類すると思われる土器群である。門前式、牛が沢式に比類されるものと思われるが細分はしなかった。山形状の口縁をもち、頂部から腹部にかけて隆帯を貼り付け、隆帯上に連続した円形状文を押出す。体部は磨消しによるU字状の文様を施している。

## 2 石器

石器は、445点出土しており、188点掲載している。器種は、石鏃、尖頭器、石匙、石箆、削搔器、磨製石斧、打製石斧、磨石、凹石、敲打石、特殊磨石、石皿、石棒が出土している。

### (1) 石鏃

矢の先に装着して使用したと考えられる石器である。平均的な大きさは、長さは3.0cm、幅1.5cm、重量は2~3gである。基部が欠損して不明のものもあるが、基部の形態から凹基無茎鏃、平基鏃、尖基鏃、凸基有茎鏃に分類できる。石材は珪質頁岩、頁岩である。

### (2) 尖頭器

尖頭部をもち、刺突具として使用されたと考えられるもので、石鏃より大型のもので石槍状のものである。長さ4.5cm、幅1.4cm、重量4.5gである。石材は頁岩である。

### (3) 石匙

両側または片側より抉りを入れて作った抜み部と刃部を併せもつ石器である。抜み部が刃部と並行する縦型の石匙が出土している。石材は頁岩、赤色頁岩である。

### (4) 石箆

ほぼ左右対称で上方が狭く下方が広がっている形状で、一端に刃部を作り出している石器である。打製石斧とは規模で分類し、長さ10cm未満のものを石箆とした。石材は頁岩である。

### (5) 削搔器

定形化していない不定形な石器を含めて分類した。削る・搔くという用途が考えられるものである。石材は頁岩、黒曜石である。

### (6) 磨製石斧

研磨により石斧の形状に整えたものである。石材は砂岩、頁岩、砾岩である。

#### (7) 打製石斧

打ち欠きにより石斧の形状に整えたものである。石材は砂岩である。

#### (8) 磨石

平面形が円形または梢円形の砾で、1面または2面に磨滅痕を有するいわゆる磨石である。石材は安山岩、花崗斑岩である。

#### (9) 凹石

平面形が円形または梢円形の砾の1面または2面に円錐状の凹みをもつものである。石材は砂岩、閃緑岩、安山岩である。

#### (10) 敷打石

敷打によって生じたと考えられる潰れがみられるものである。凹石と併用されている。石材は安山岩、凝灰岩である。

#### (11) 特殊磨石

自然石の側縁に研磨・敷打に使用された平坦な磨面をもつ石器を一括した。使用された側縁は1～複数の場合がある。石材は砂岩、安山岩、凝灰岩、閃緑岩、花崗閃緑岩である。

#### (12) 石皿

縁や脚が作り出されているが、すべて破損している。石材は安山岩、凝灰岩、砾岩である。

#### (13) 石棒

棒状の石器で、加工の有無は明瞭でない。石材は石英安山岩である。

### 4 土製品

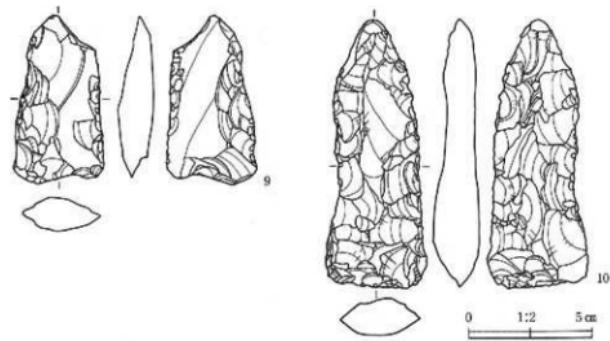
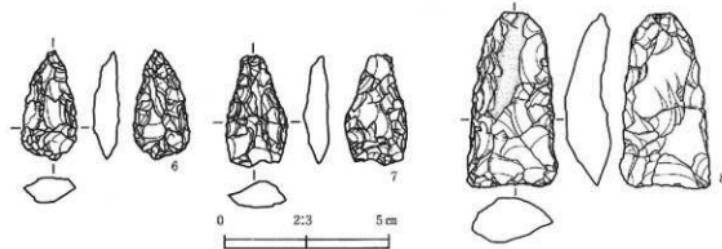
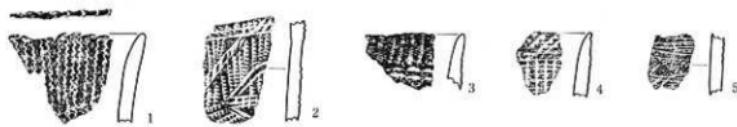
10点出土している。土製品の種類には土玉・三角形状の土製品・円盤状の土製品・斧や男根を模倣したと思われる土製品がある。時期は他の出土遺物から、縄文時代中期中葉の可能性があると思われる。

### 3 石製品

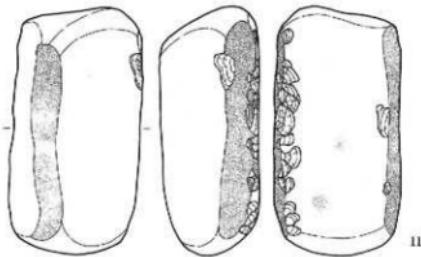
8点出土している。有孔の石製品・三日月形の石製品・三角墳形石製品・垂飾品などが出土している。

### 5 金属製品

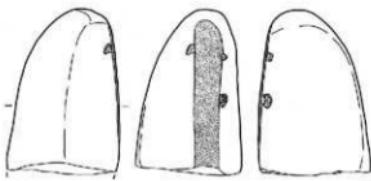
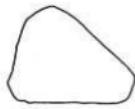
貨幣・壺管が出土しているが、貨幣のみ25点を掲載した。錢種は寛永通宝と一錢通貨である。



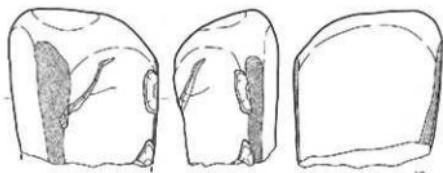
第72図 R E 001 (1) 出土遺物



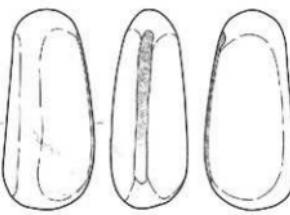
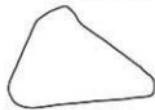
11



12



13

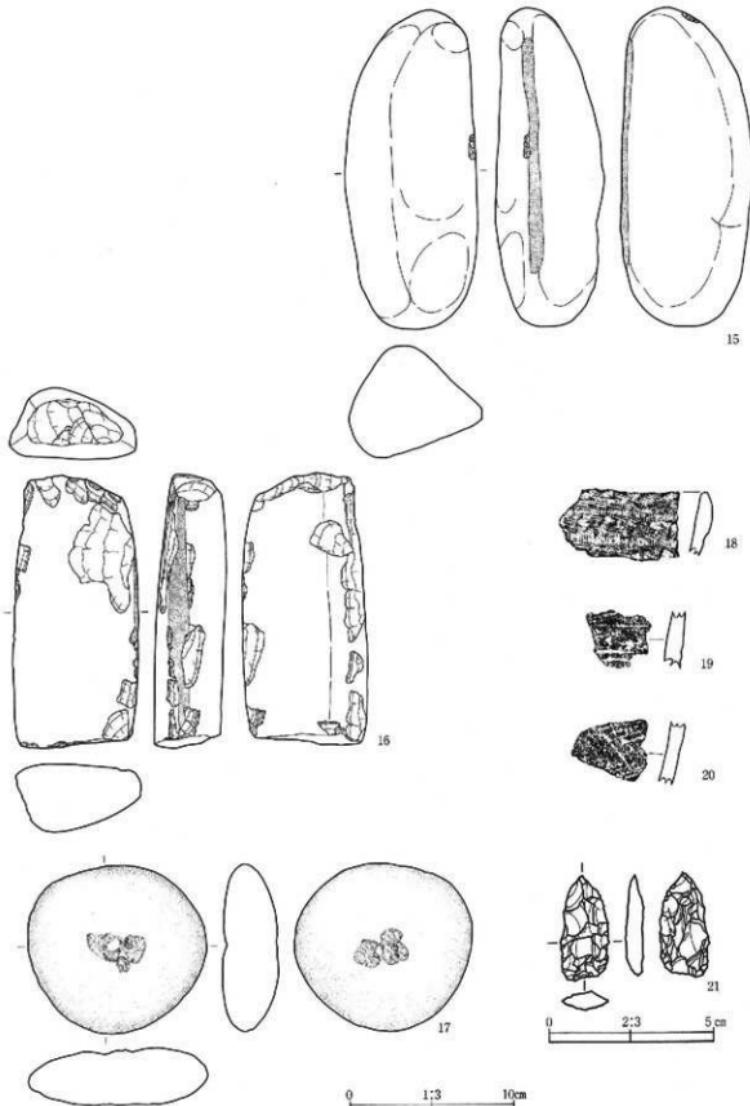


14

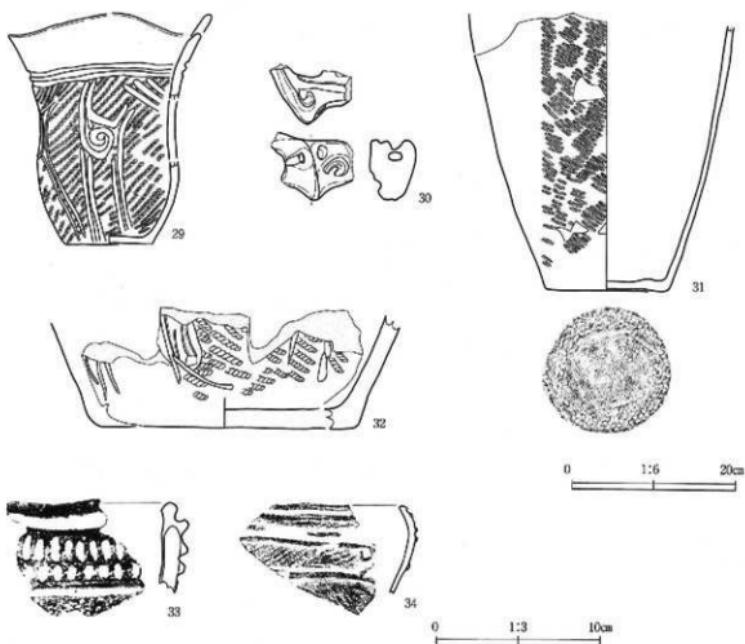
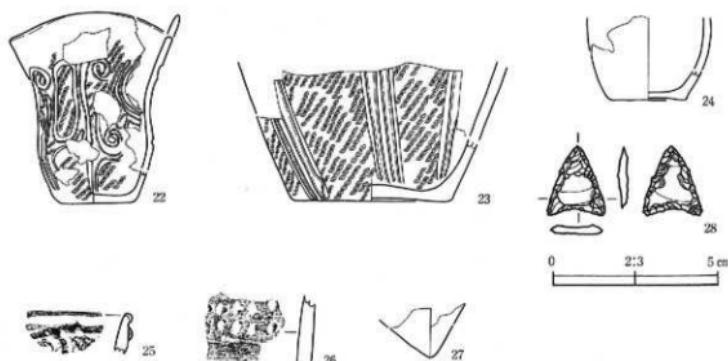
0 1:3 10cm

A scale bar at the bottom left, indicating a ratio of 1:3 and a length of 10 cm.

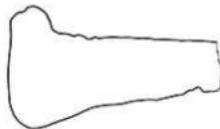
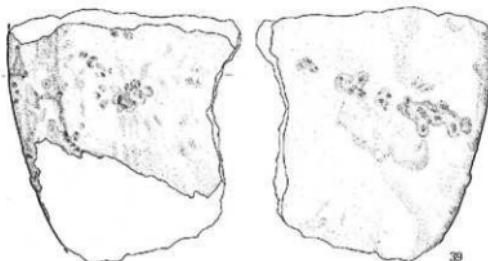
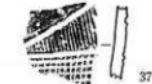
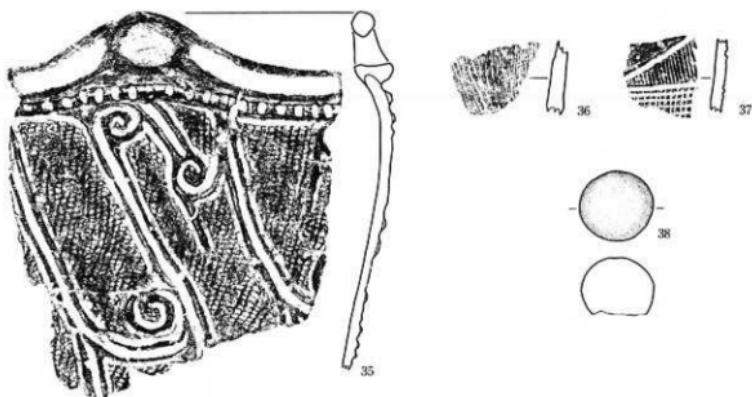
第73図 R E 001 (2) 出土遺物



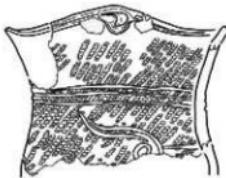
第74図 RE 001 (3) · 002出土遺物



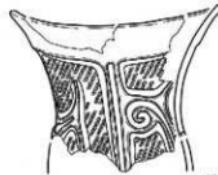
第75図 RA 001・002・003(1) 出土遺物



0 1:3 10cm

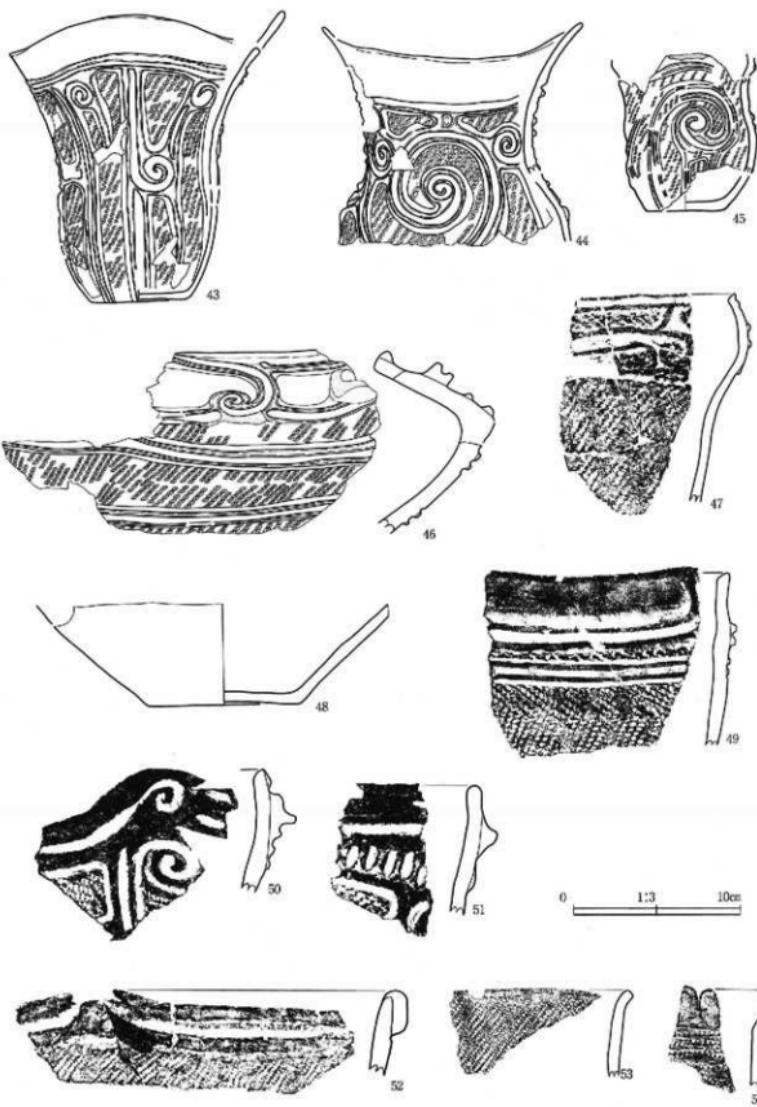


41

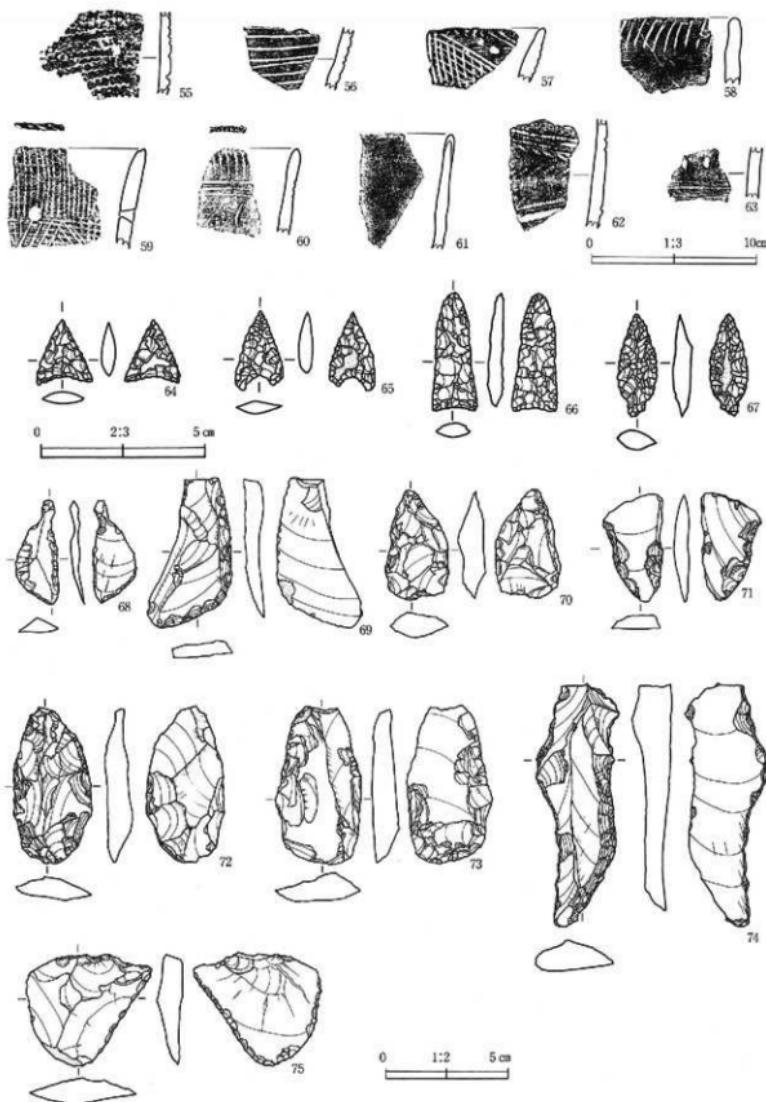


42

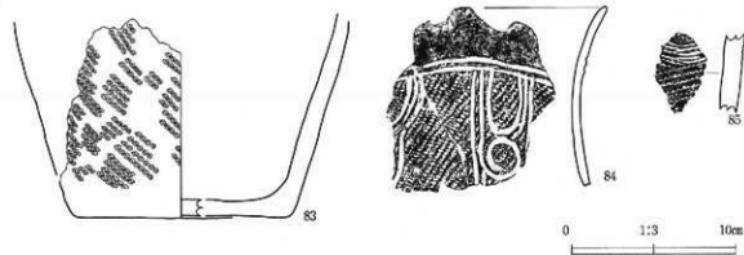
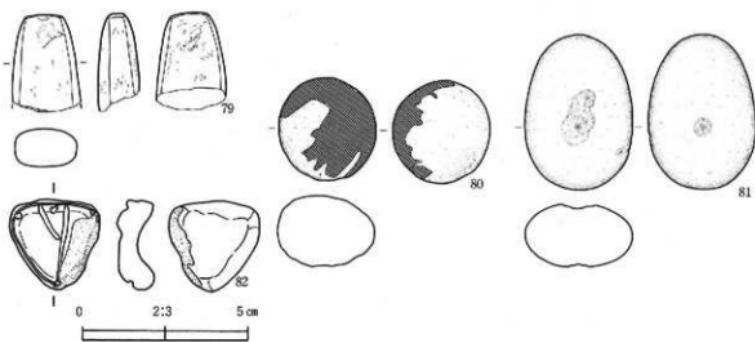
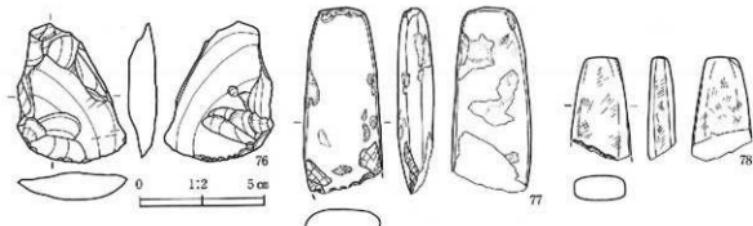
第76図 RA003(2)・004(1)出土遺物



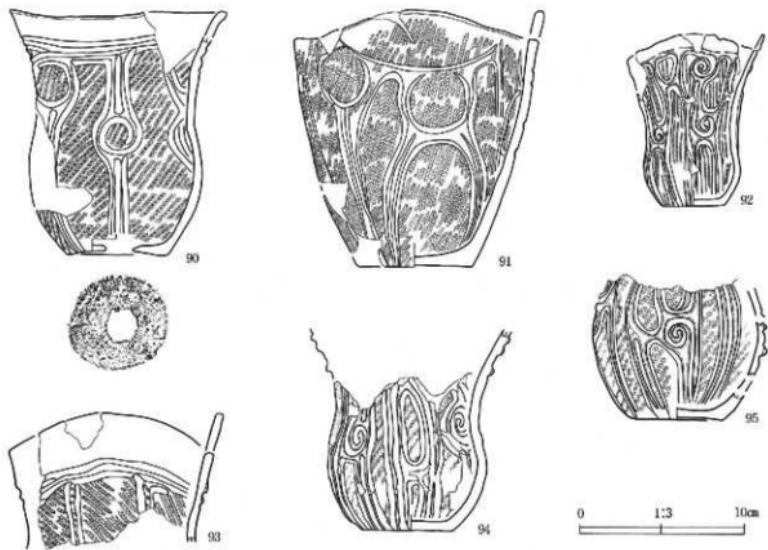
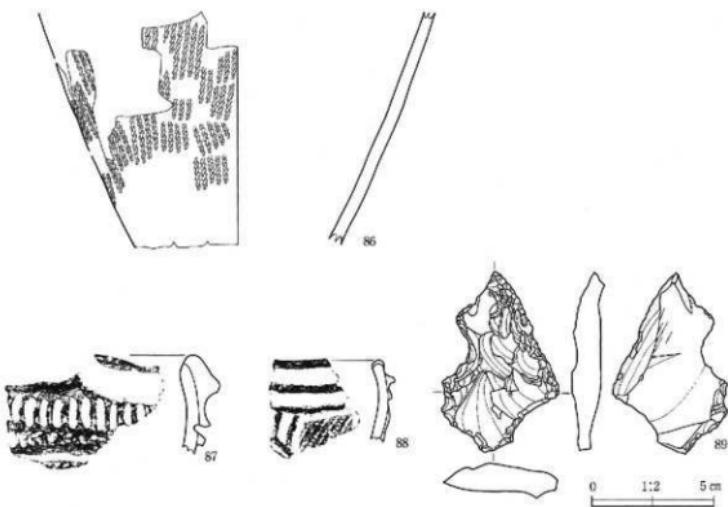
第77図 RA 004 (2) 出土遺物



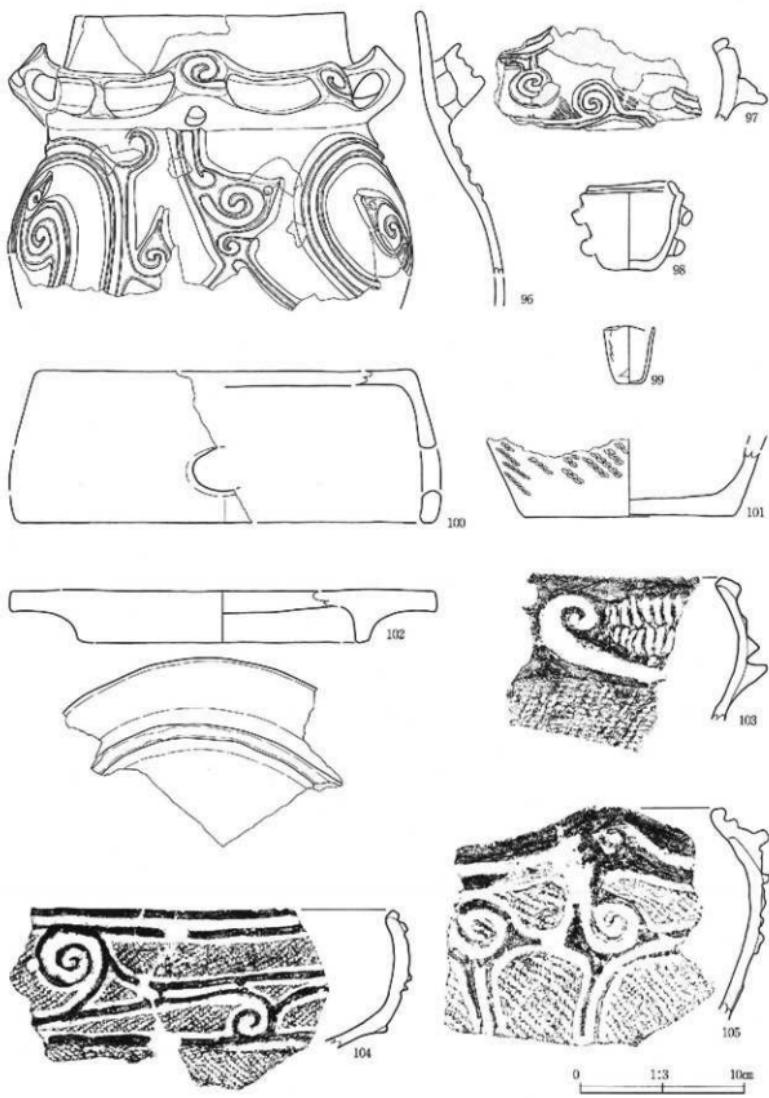
第78図 RA004 (3) 出土遺物



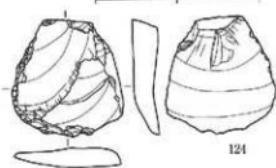
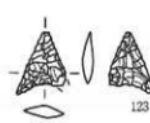
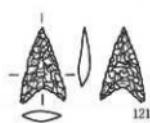
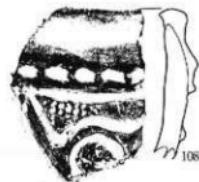
第79図 RA004(4)・005出土遺物



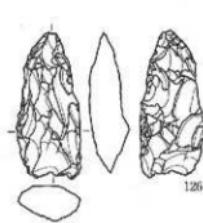
第80図 R.A.006・007・008 (1) 出土遺物



第81図 RA 008 (2) 出土遺物

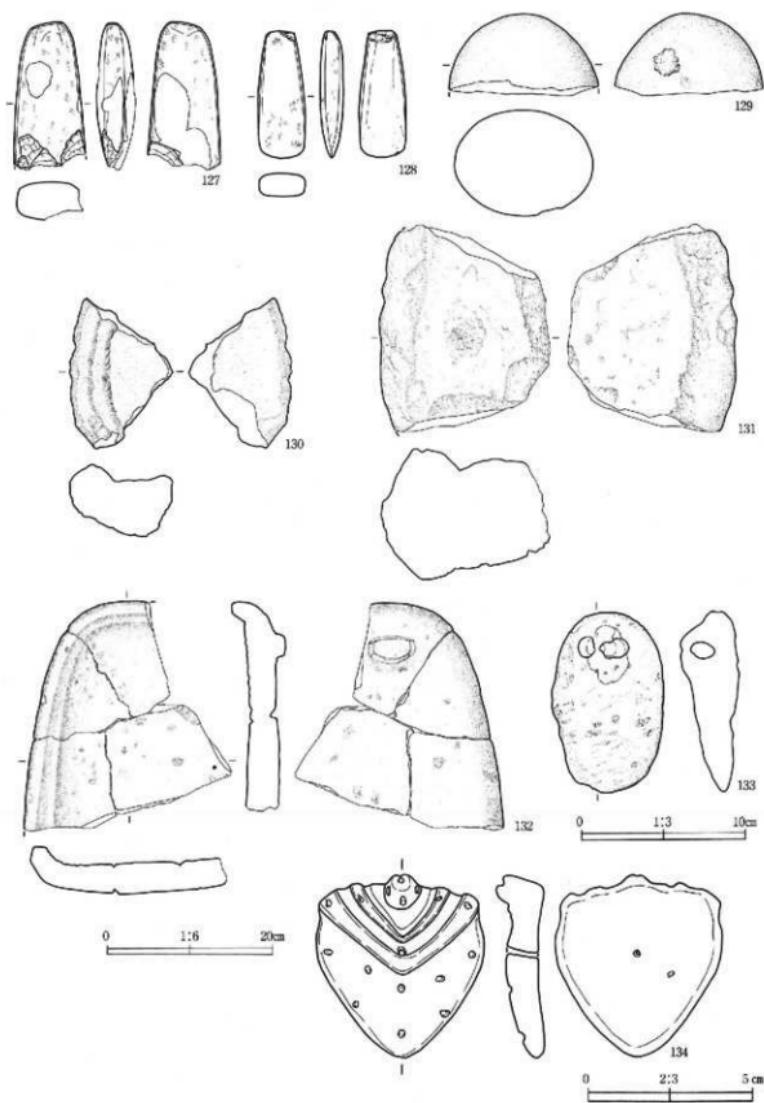


0 1:3 10cm

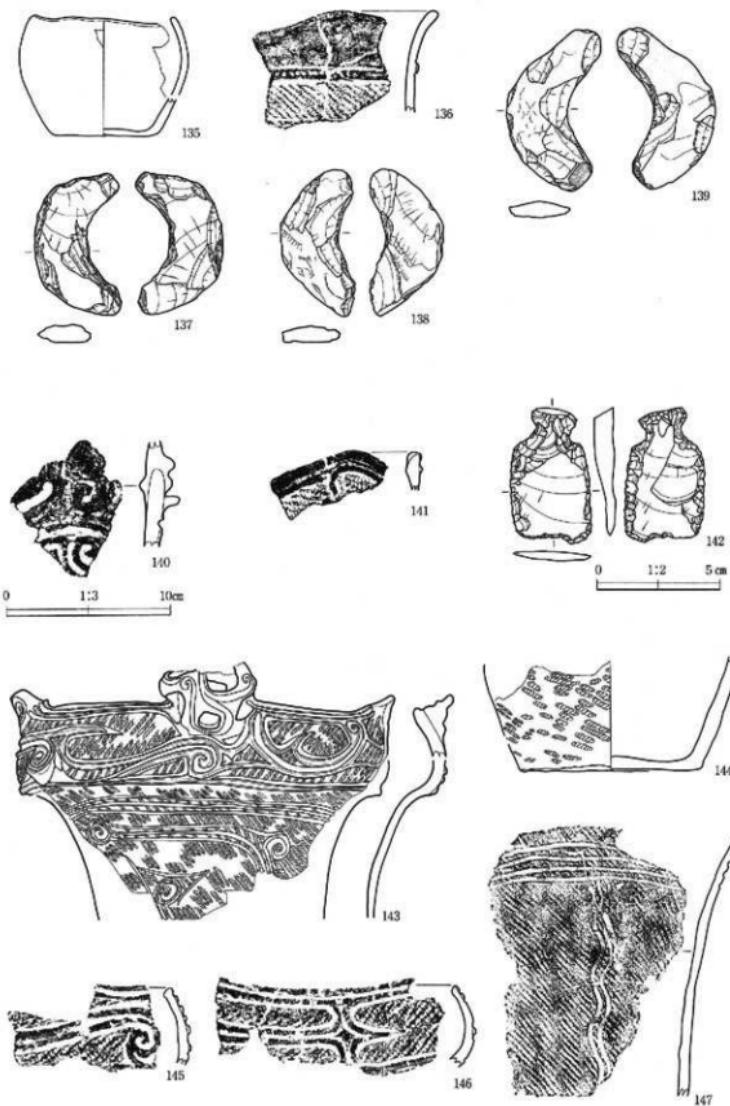


0 1:2 5cm

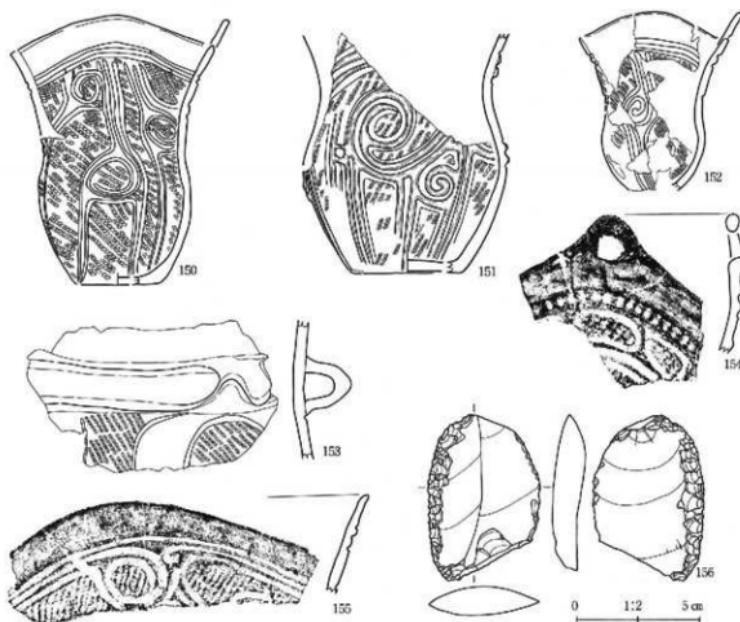
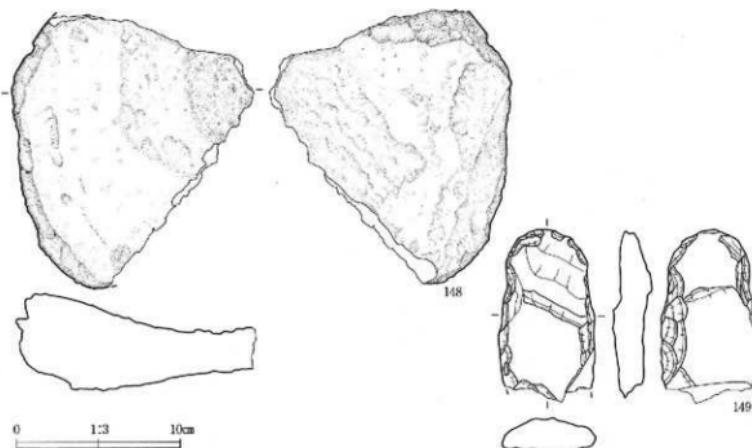
第82図 R A 008 (3) 出土遺物



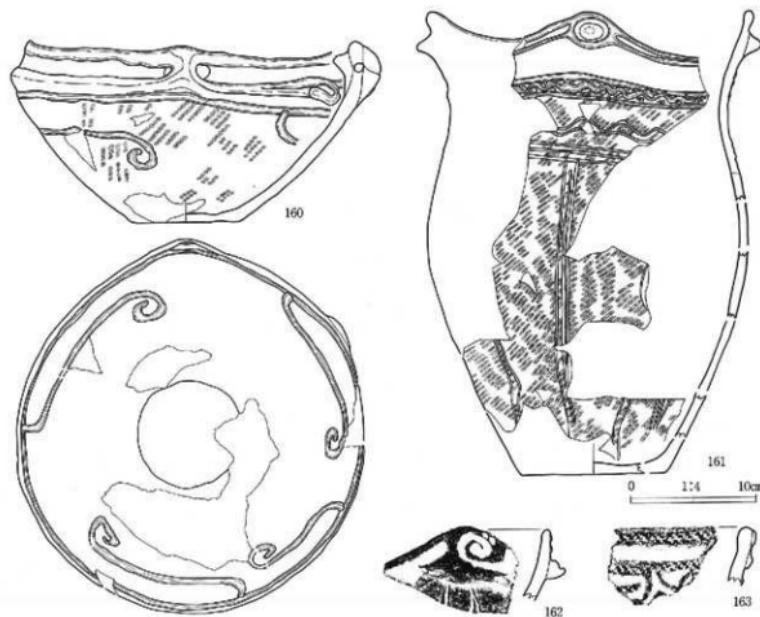
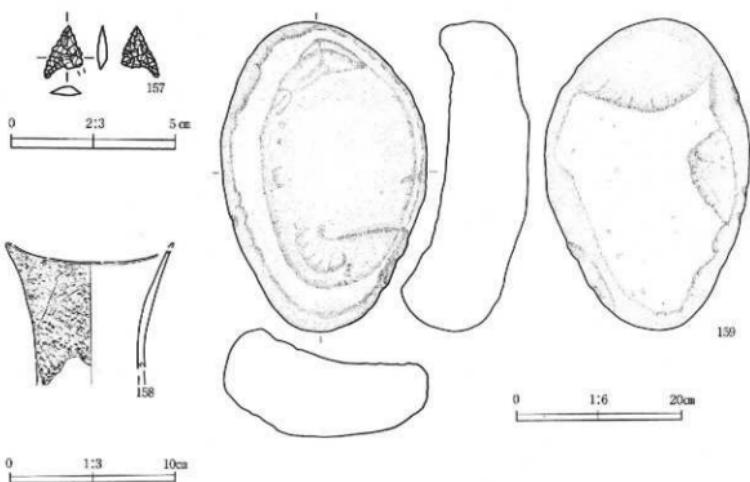
第83図 RA008 (4) 出土遺物



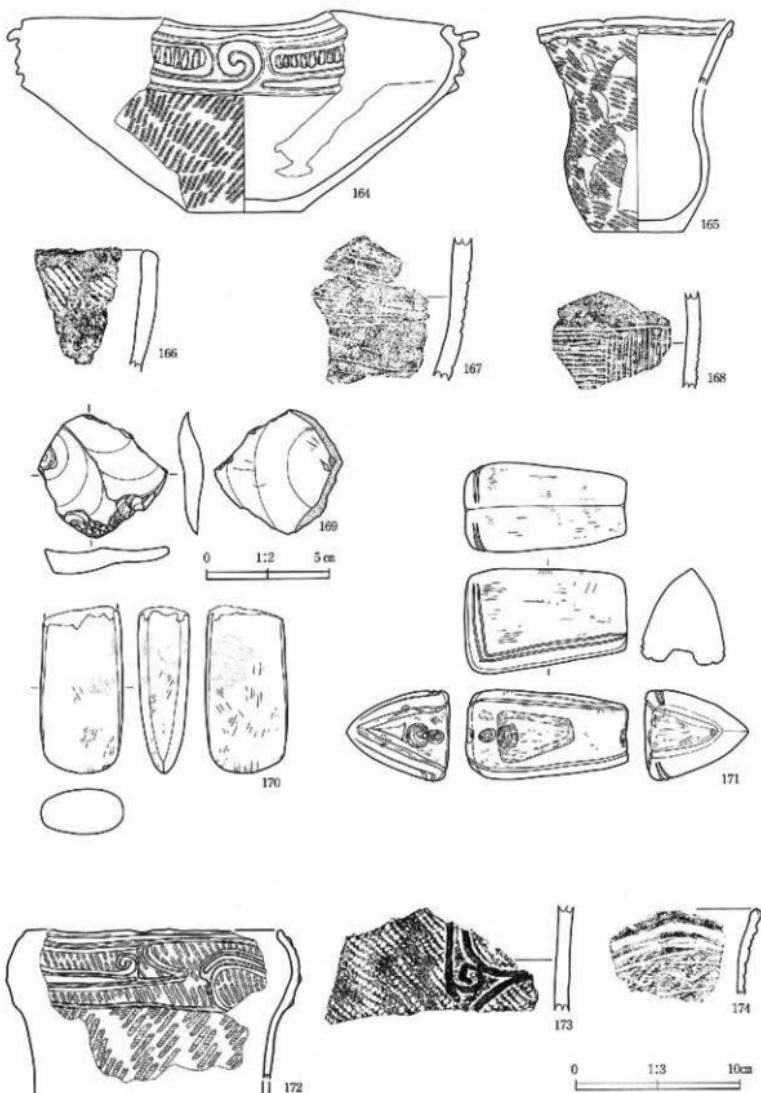
第84図 RA009・010・011(1)出土遺物



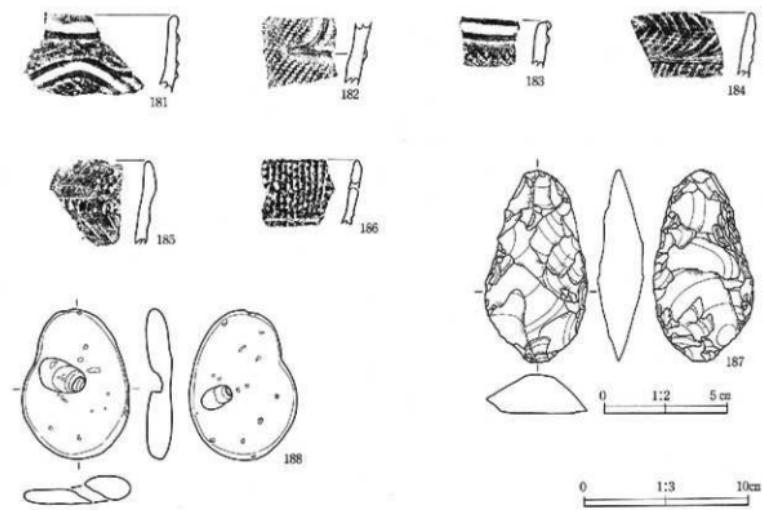
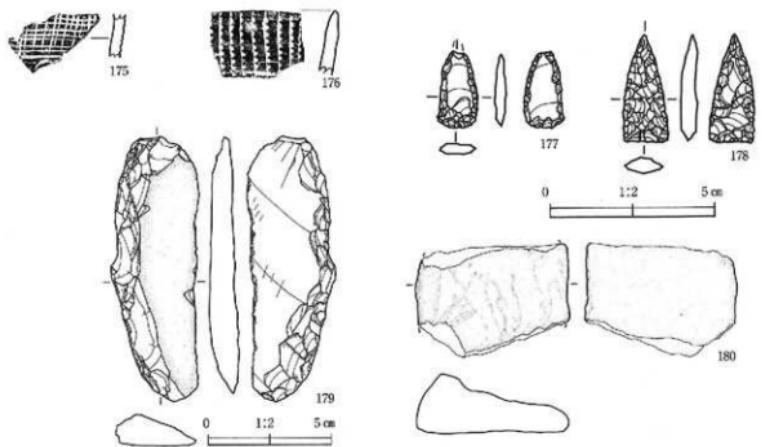
第85図 RA011 (2)・012 (1) 出土遺物



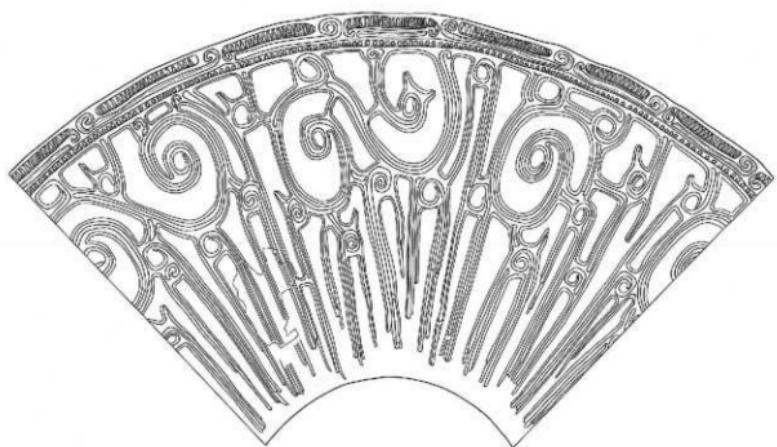
第86図 R A012 (2) + 015 (1) 出土遺物



第87図 RA015(2)・016(1) 出土遺物



第88図 RA016(2)・017出土遺物

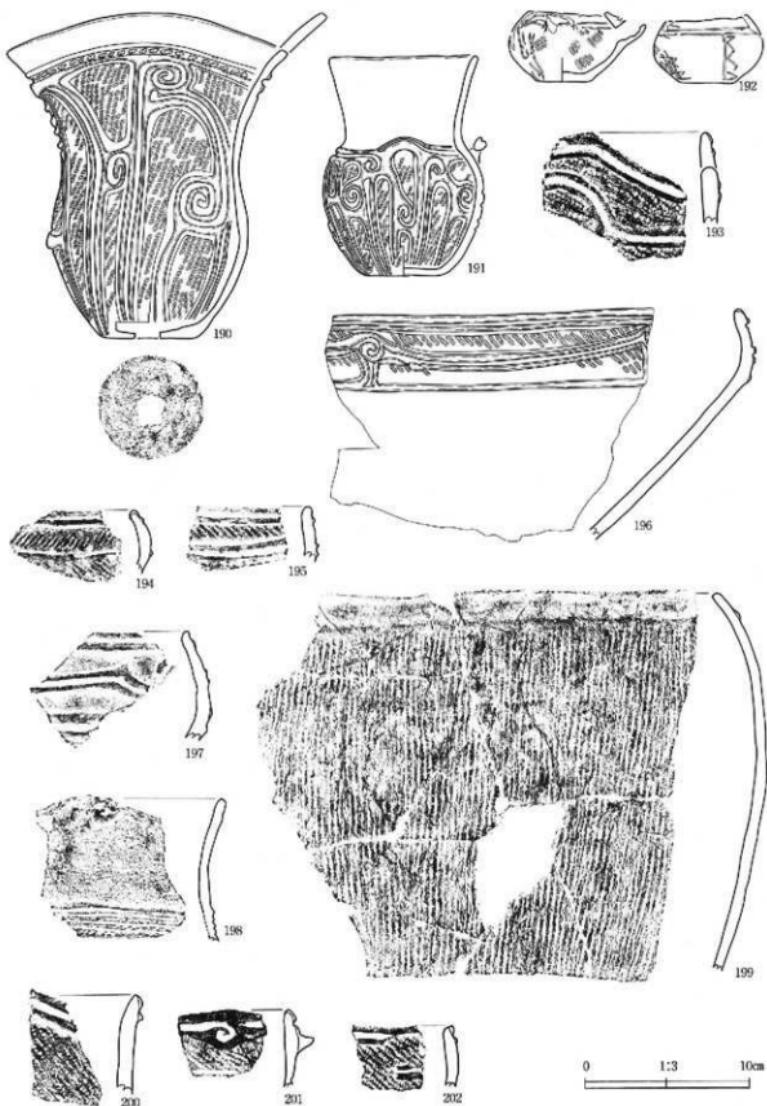


189

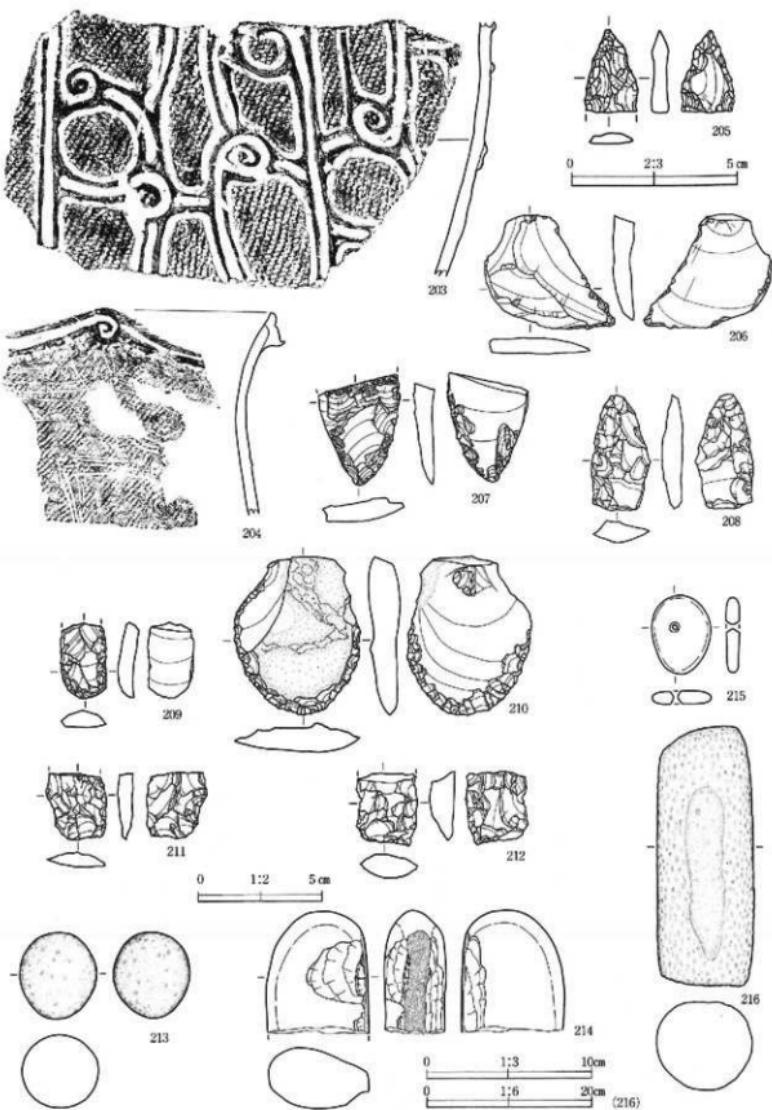


0 1:6 20cm

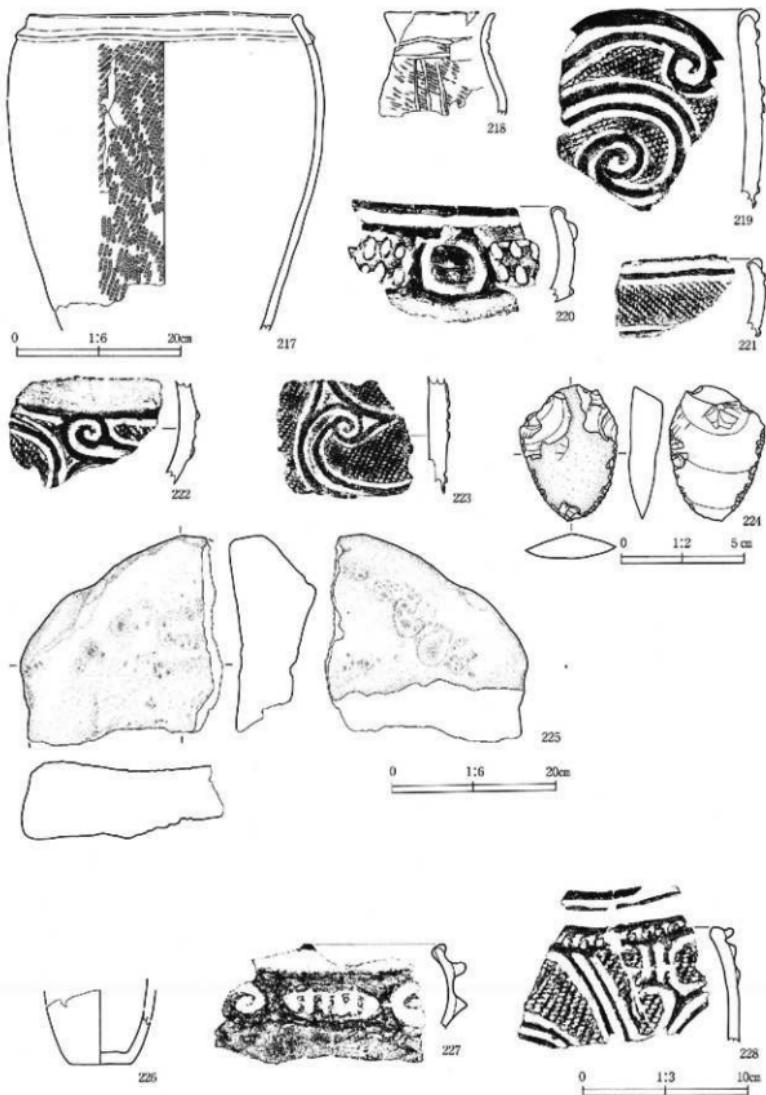
第89図 R A018 (1) 出土遺物



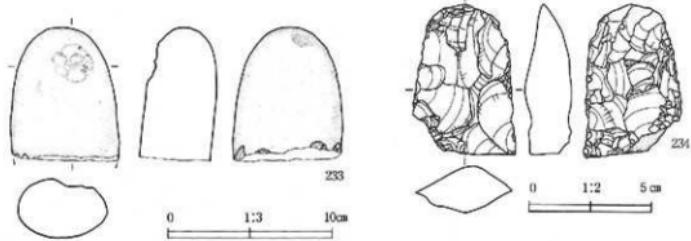
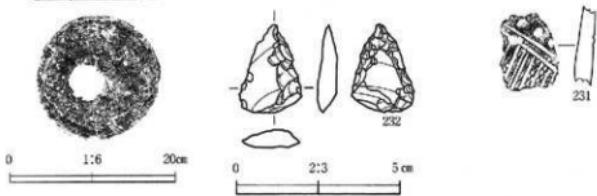
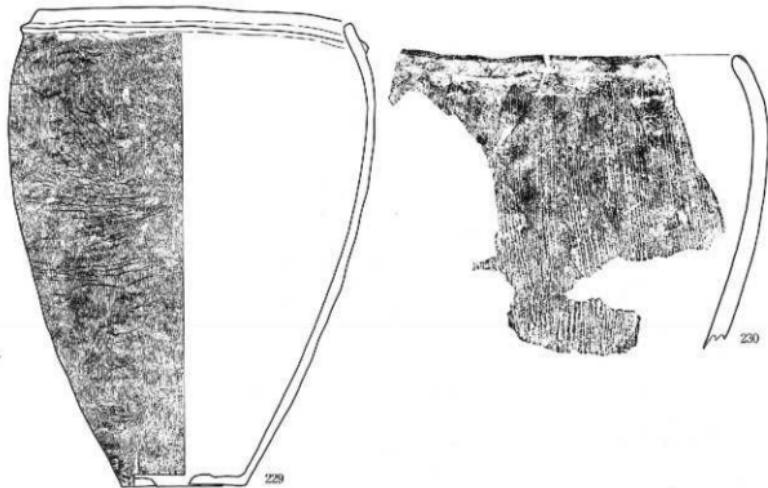
第90図 RA018 (2) 出土遺物



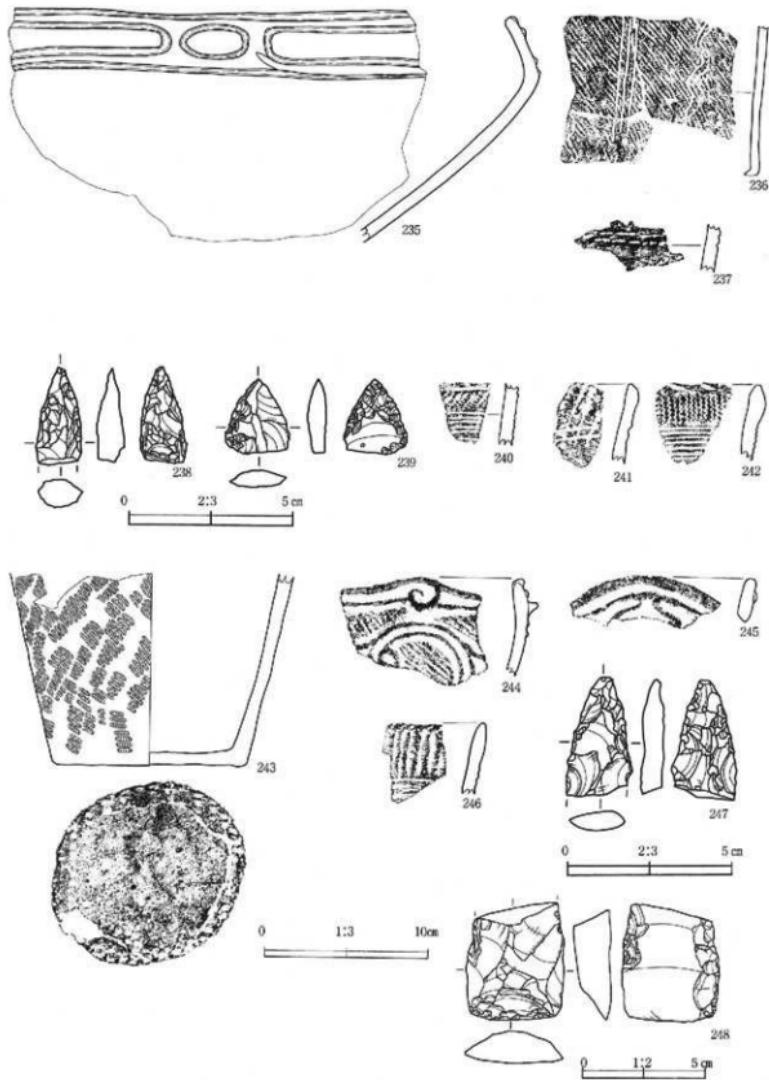
第91図 RA018 (3) 出土遺物



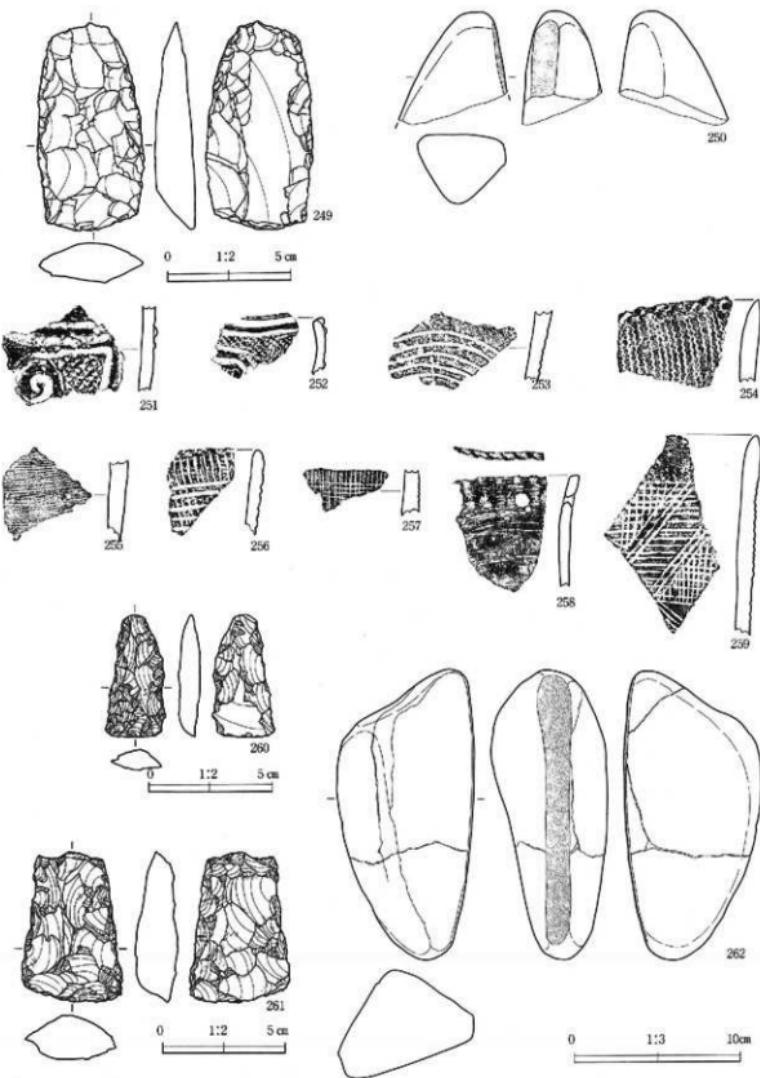
第92図 R A 019・020 (1) 出土遺物



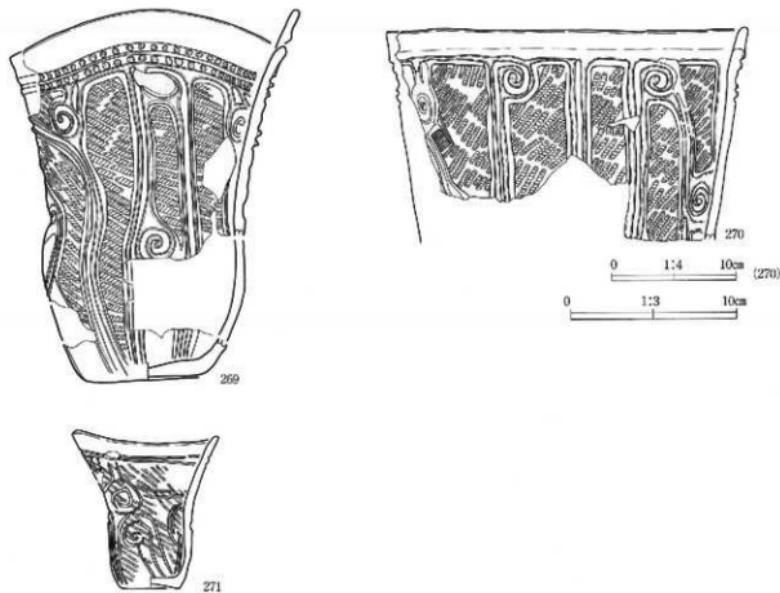
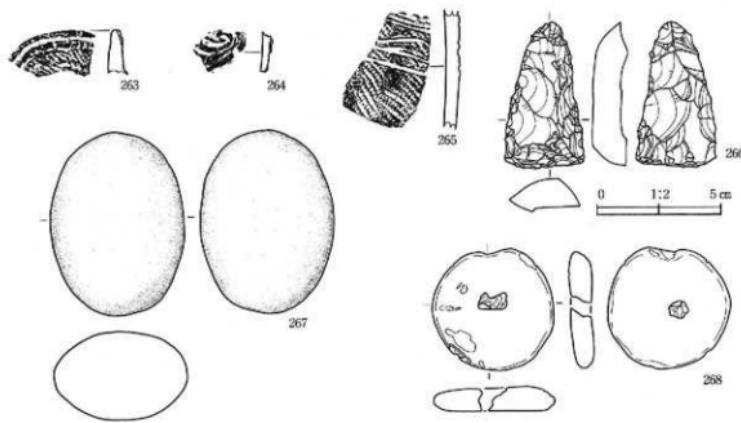
第93図 RA020 (2) 出土遺物



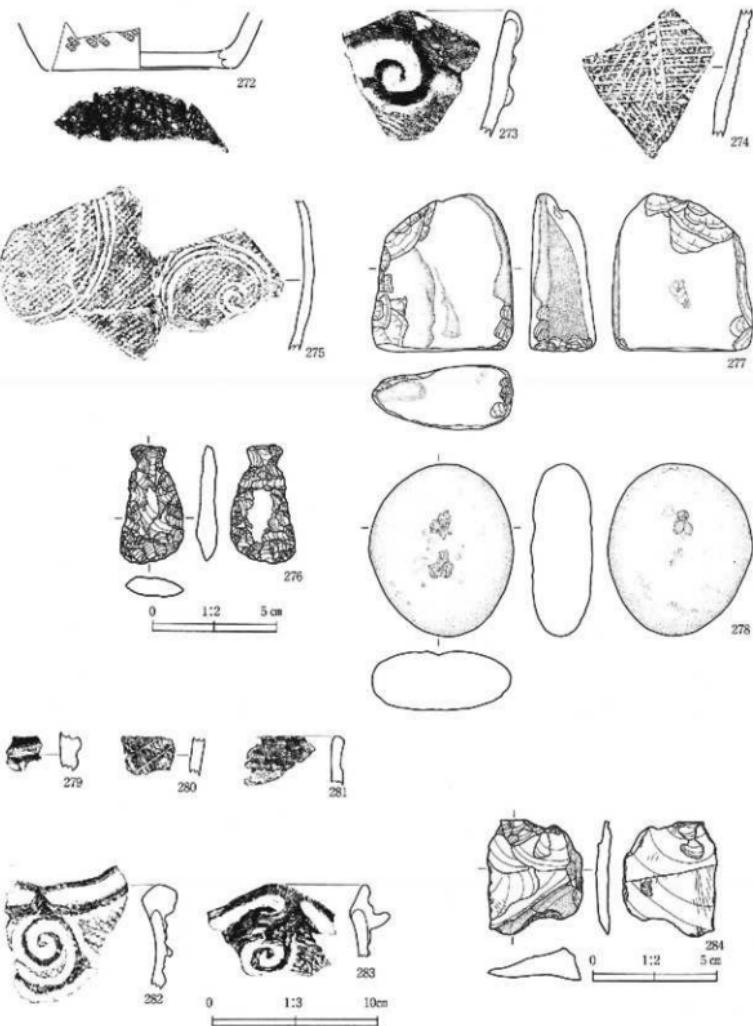
第94図 R A 021・022・023(1) 出土遺物



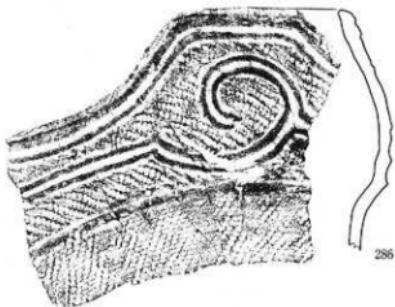
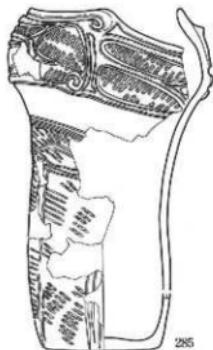
第95図 RA 023 (2) - 024出土遺物



第96図 R A 025・026出土遺物

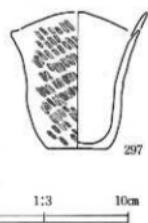
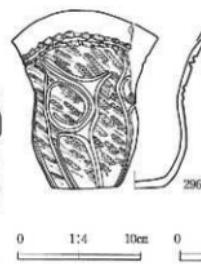
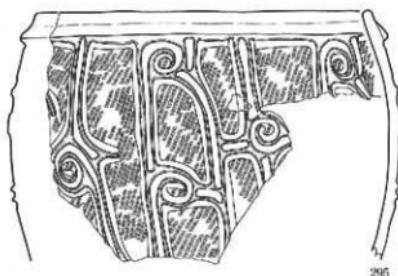
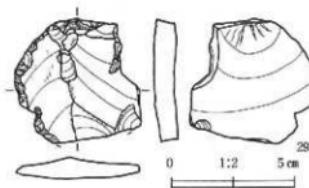
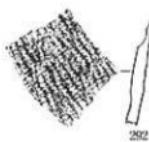
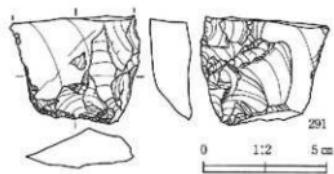
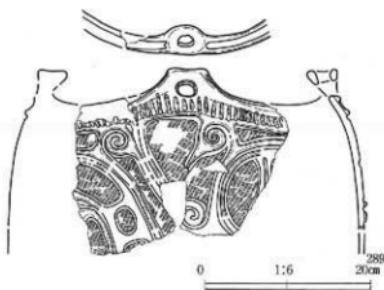
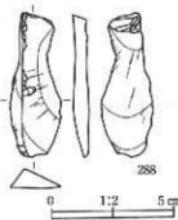


第97図 RA 027・030・034出土遺物

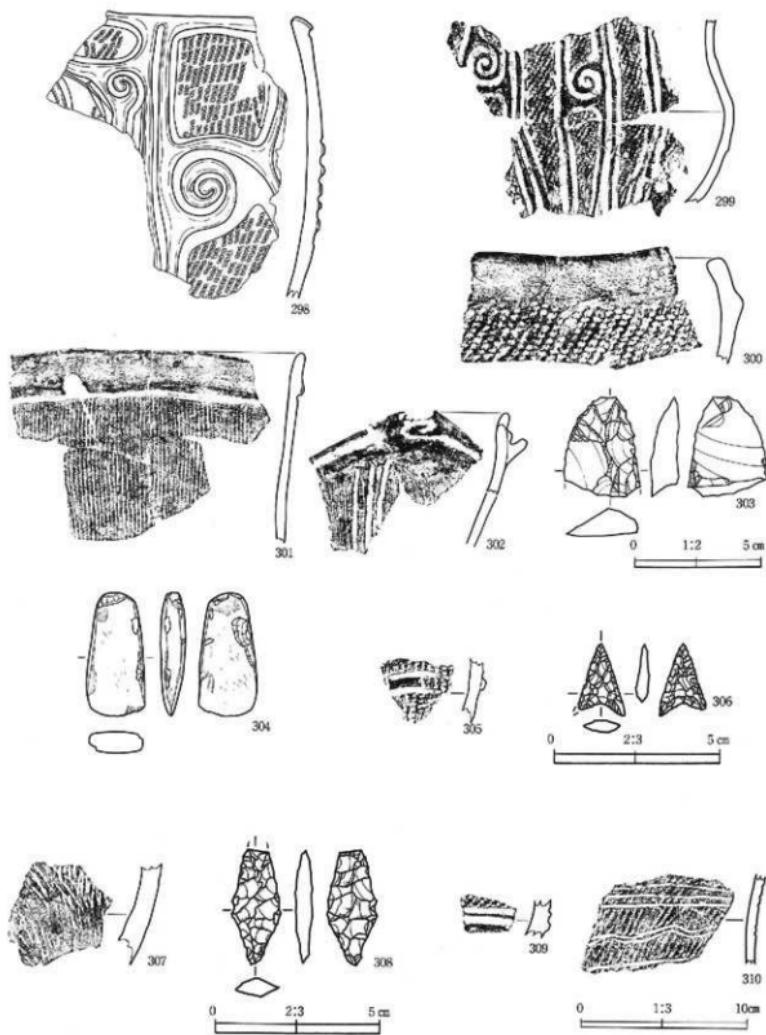


0 1:3 10cm

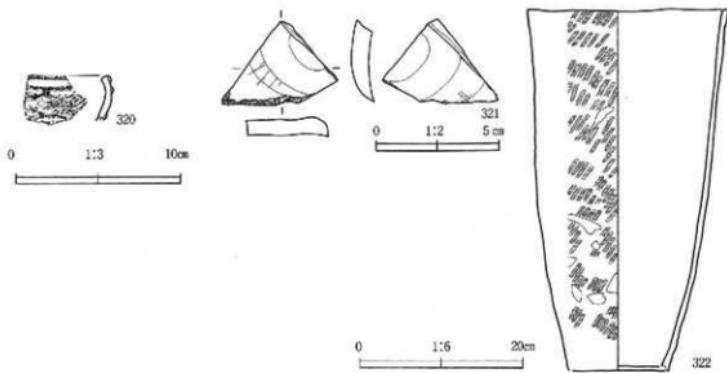
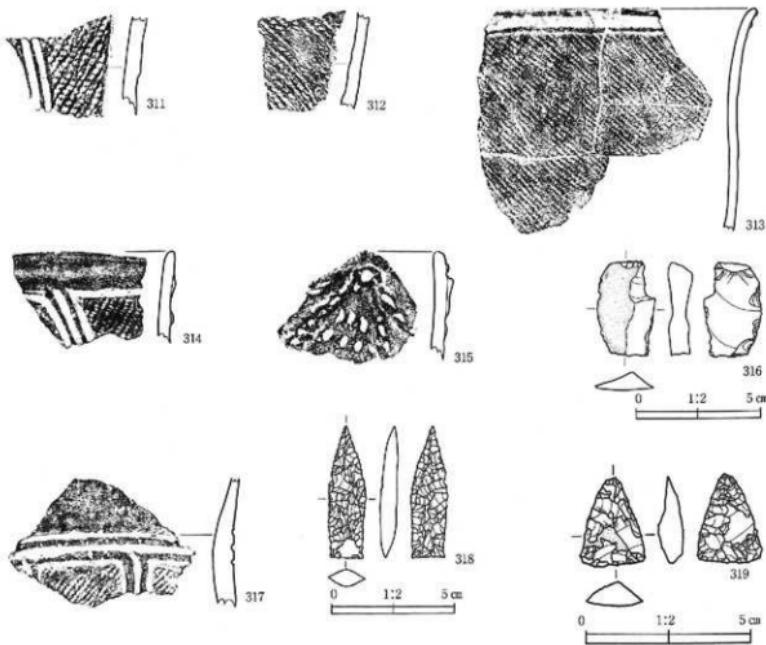
第98図 R A 035出土遺物



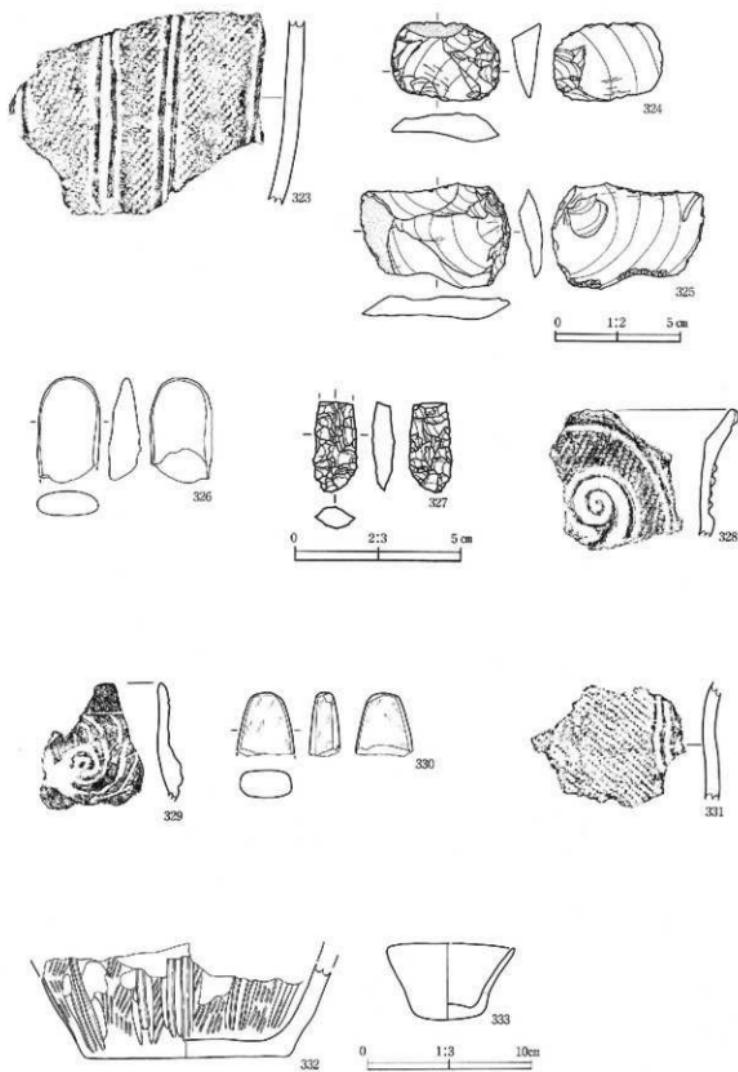
第99図 R D 008・009・011・012 (1) 出土遺物



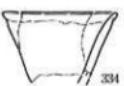
第100図 RD 012 (2) • 013・016・018・019出土遺物



第101図 R D 020・024・027・028・029・030・033(1) 出土遺物



第102図 R D 033 (2) • 036 • 037 • 039 • 042 • 043出土遺物



334



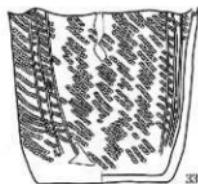
335



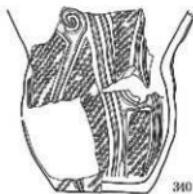
337



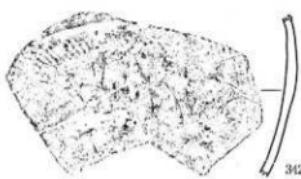
338



339



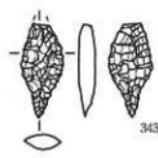
340



342



341



343

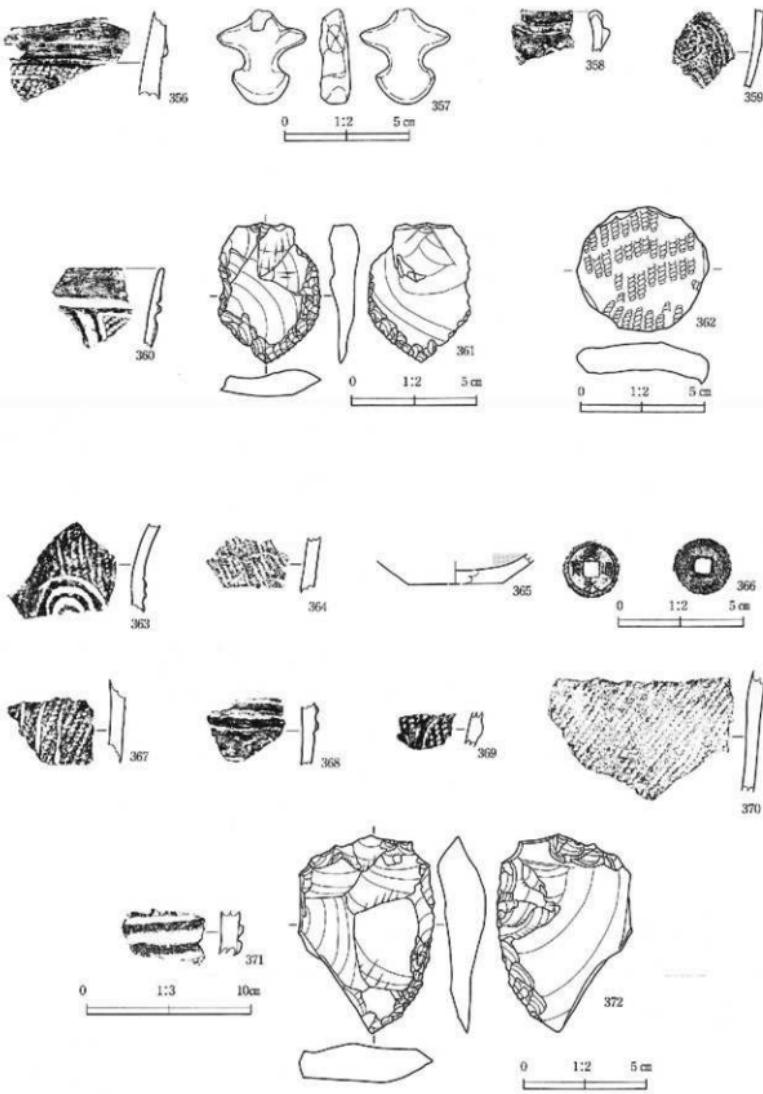
0 2:3 5cm

0 1:3 10cm

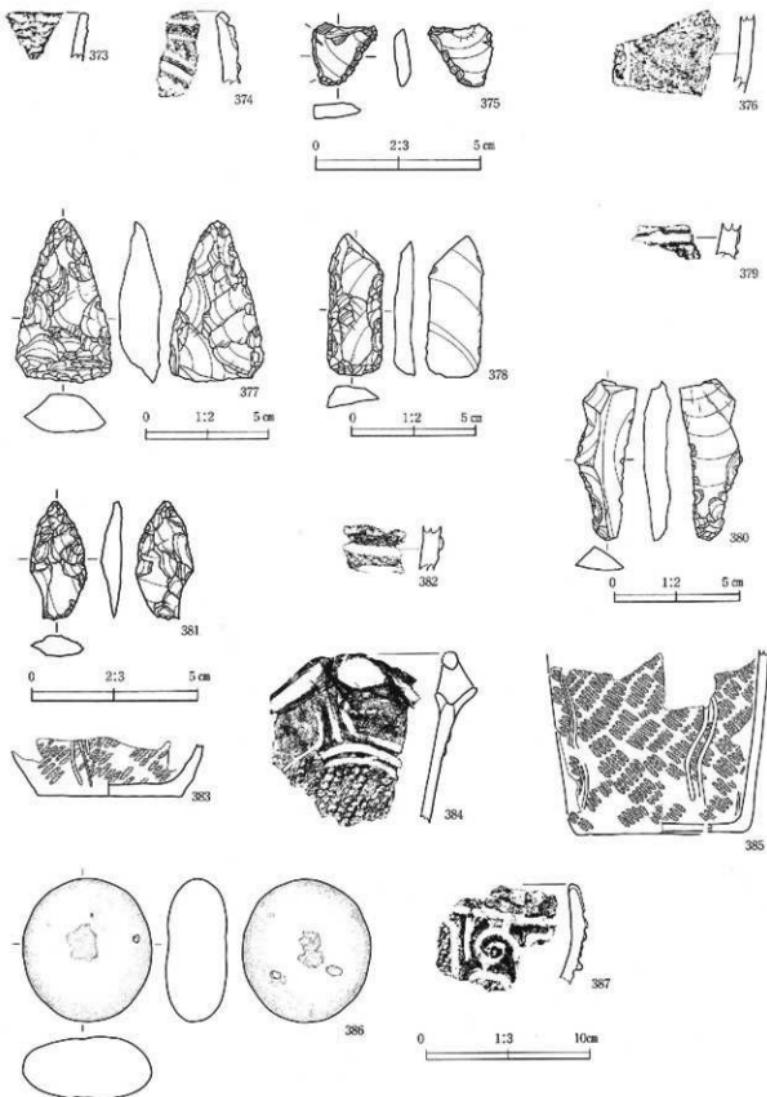
第103図 R D 044・049 (1) 出土遺物



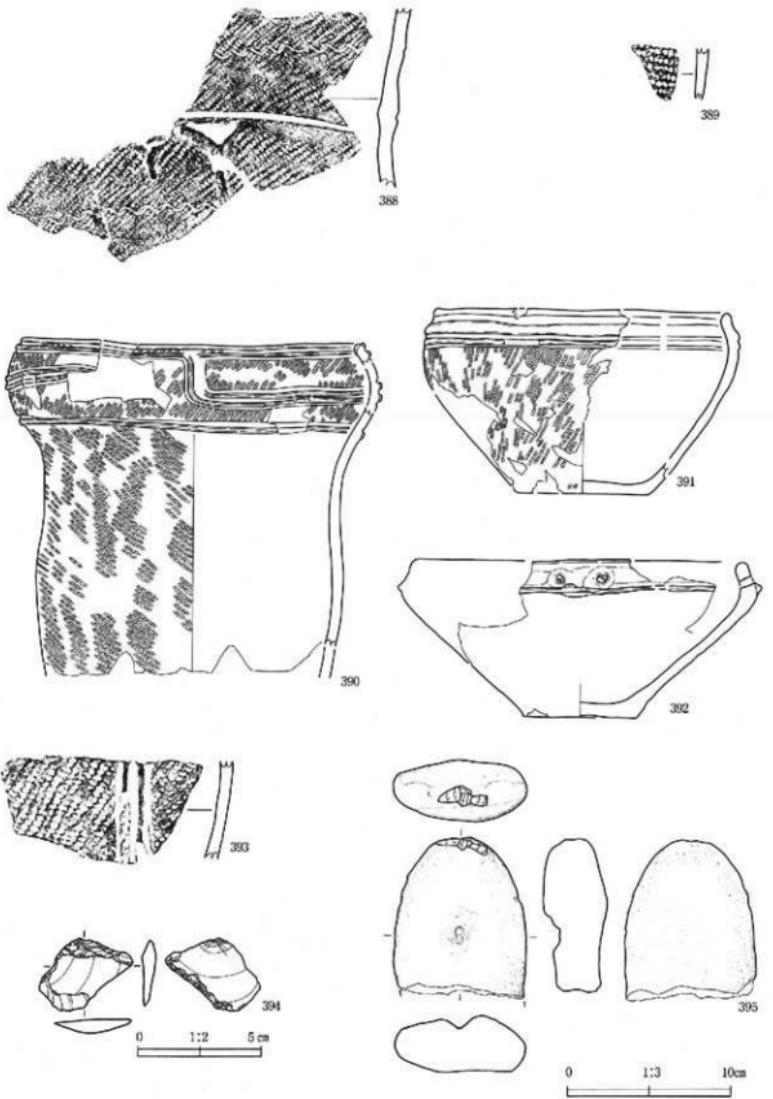
第104図 RD 049 (2) • 050・051・052・053・056出土遺物



第105図 RD 057・058・059・060・062・063・064・065・066・068・069・070出土遺物



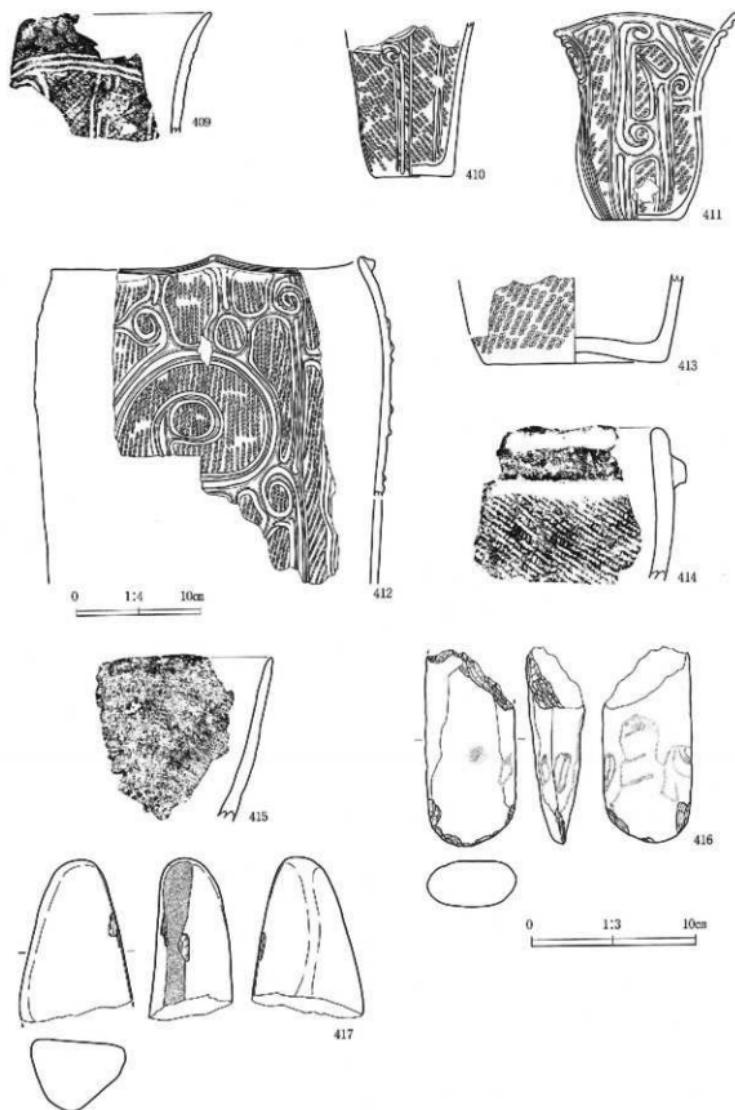
第106図 R D 071・072・076・077・078・079・080・084・086出土遺物



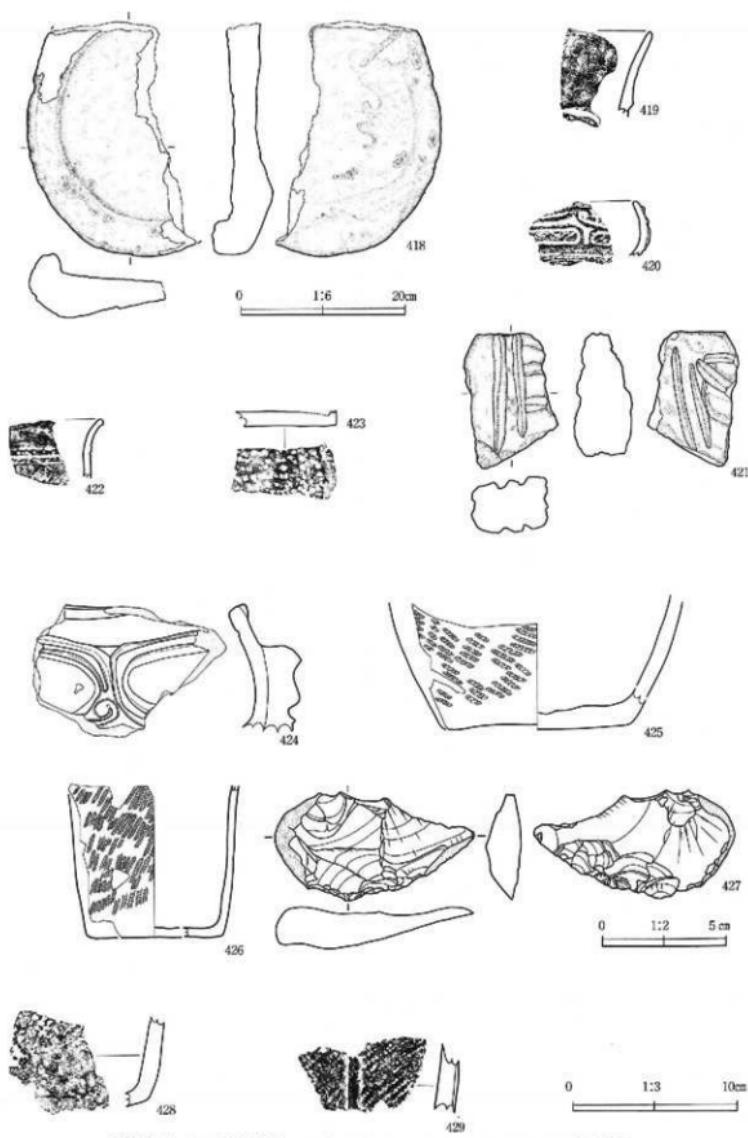
第107図 R D 087・089・091・092出土遺物



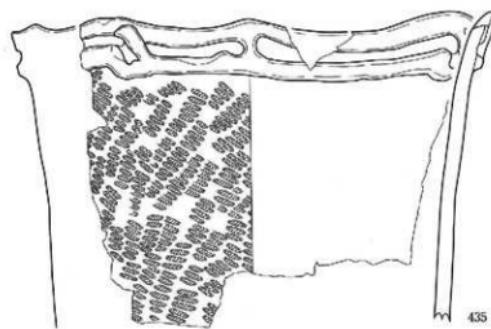
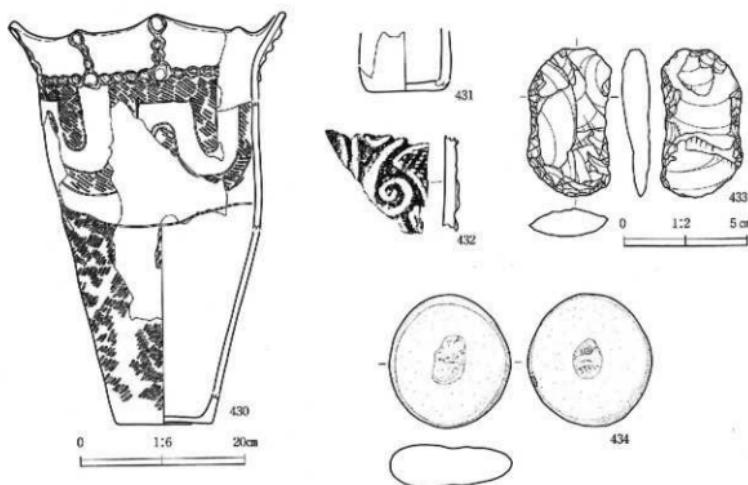
第108图 R D 096 · 098 · 099 · 100 · 101 · 102 · 104 · 105 · 106 · 108出土遗物



第109図 R D 109・110 (1) 出土遺物



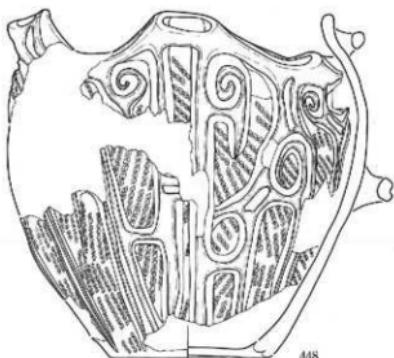
第110図 RD110 (2) · 112 · 113 · 115 · 116 · 117 · 118 · 120出土遺物



第111図 R D 121・123出土遺物



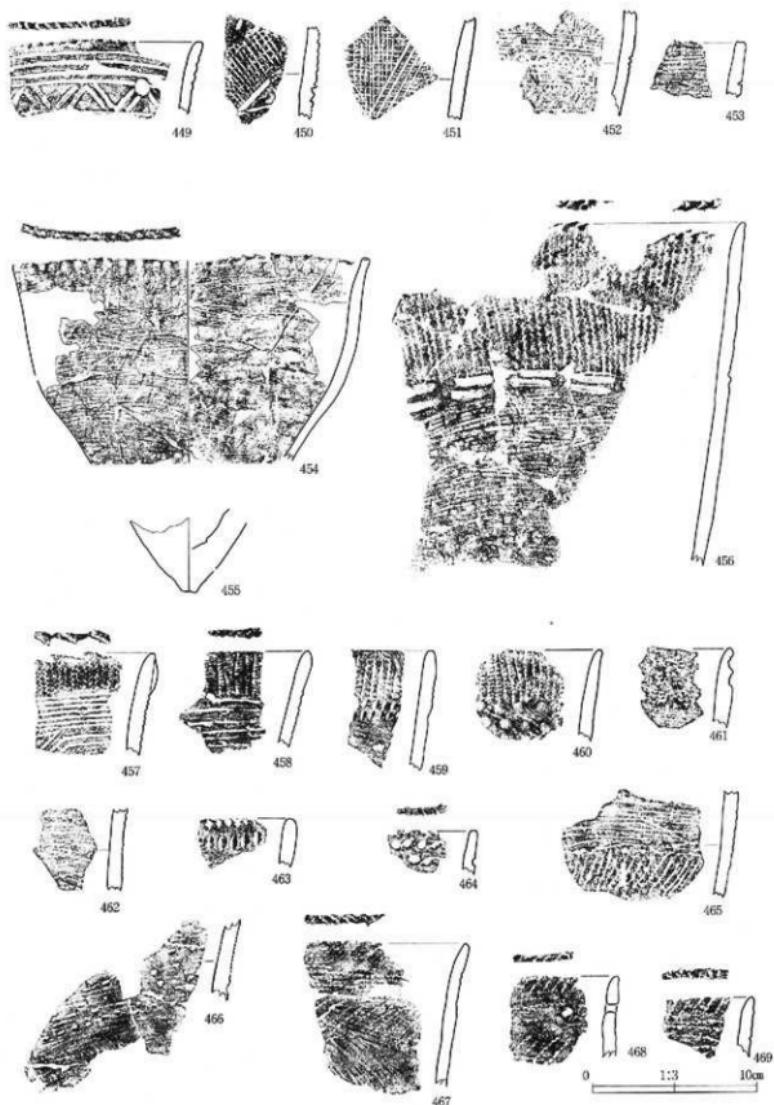
第112図 R.D.124・127・128・129・130・131・132・133出土遺物



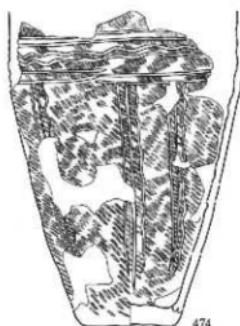
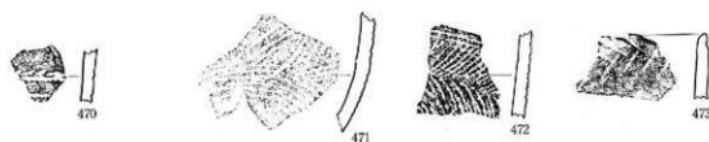
448

0 1:3 10cm

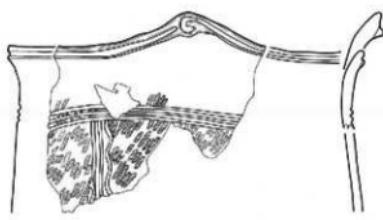
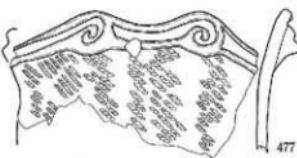
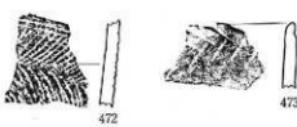
第113図 R D 134出土遺物



第114図 遺構外出土遺物（1）



0 1:6 10cm



476

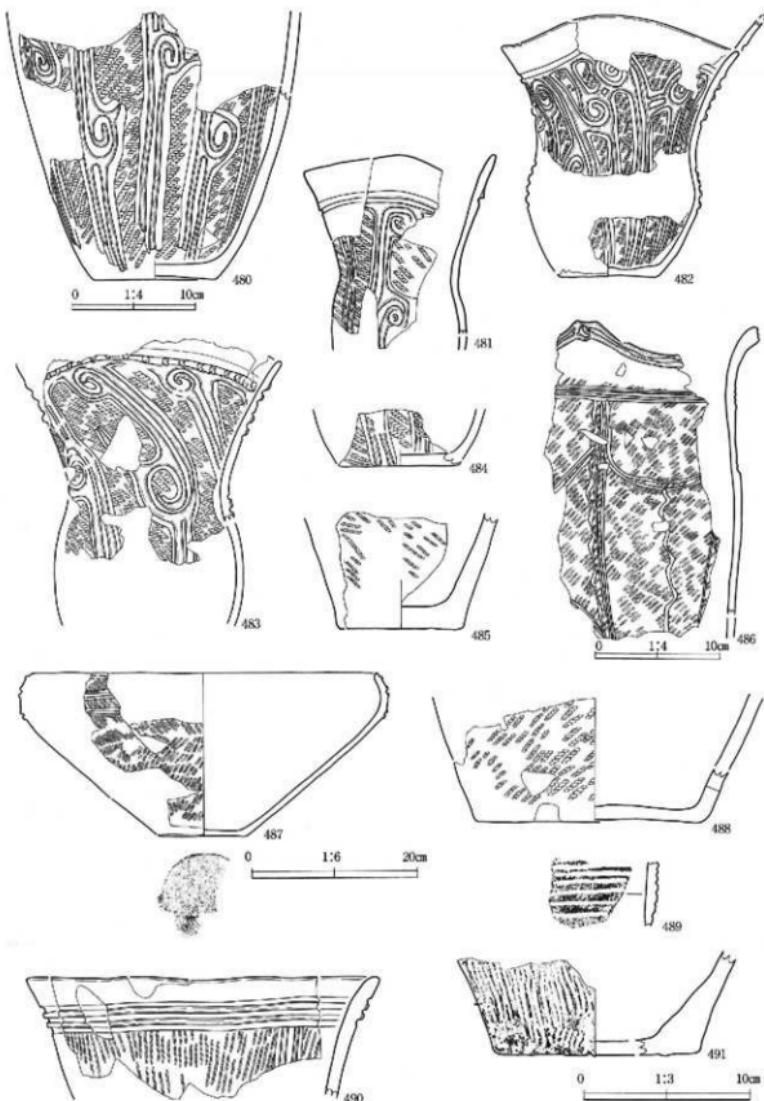


0 1:3 10cm

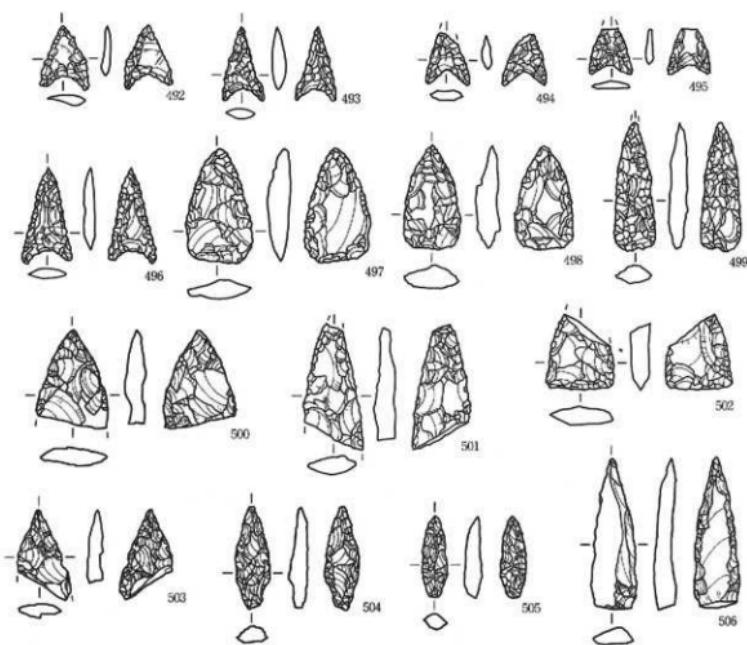


0 1:4 10cm

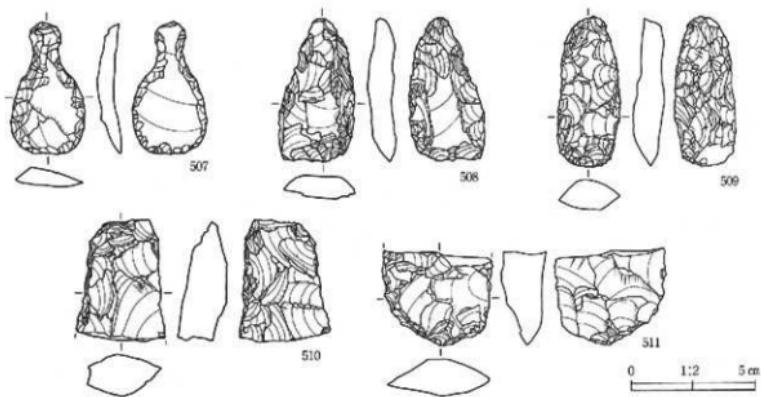
第115図 遺構外出土遺物（2）



第116図 遺構外出土遺物（3）

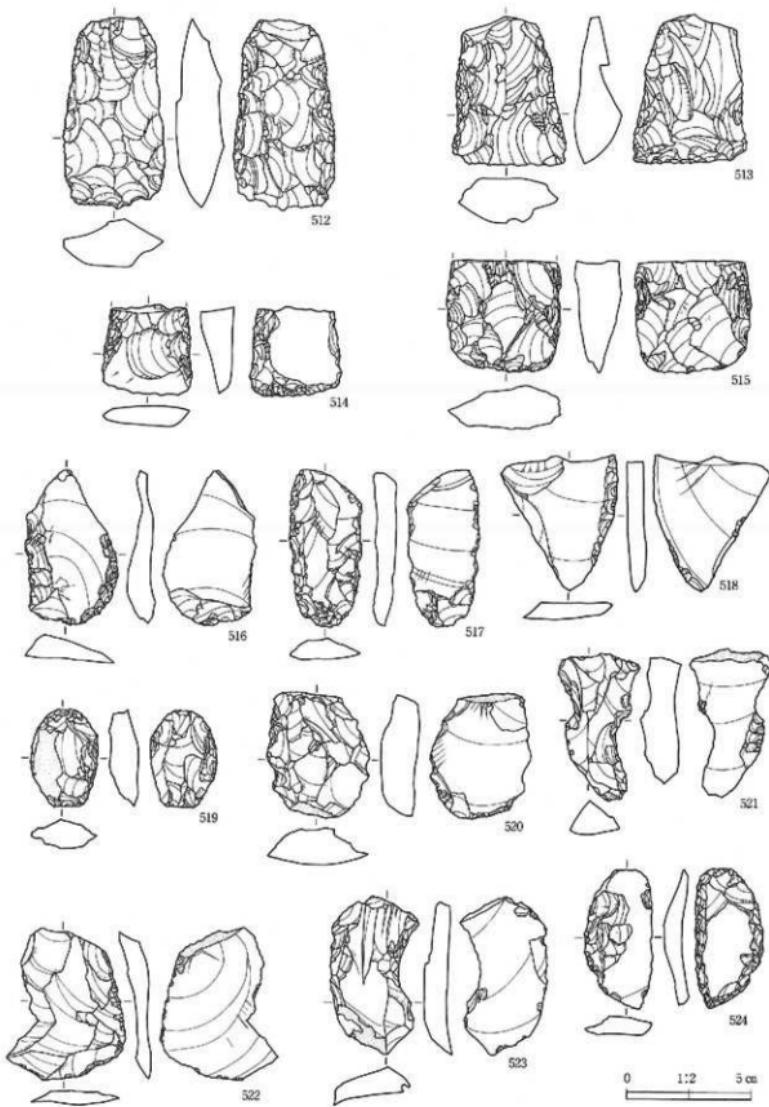


0 2:3 5 cm

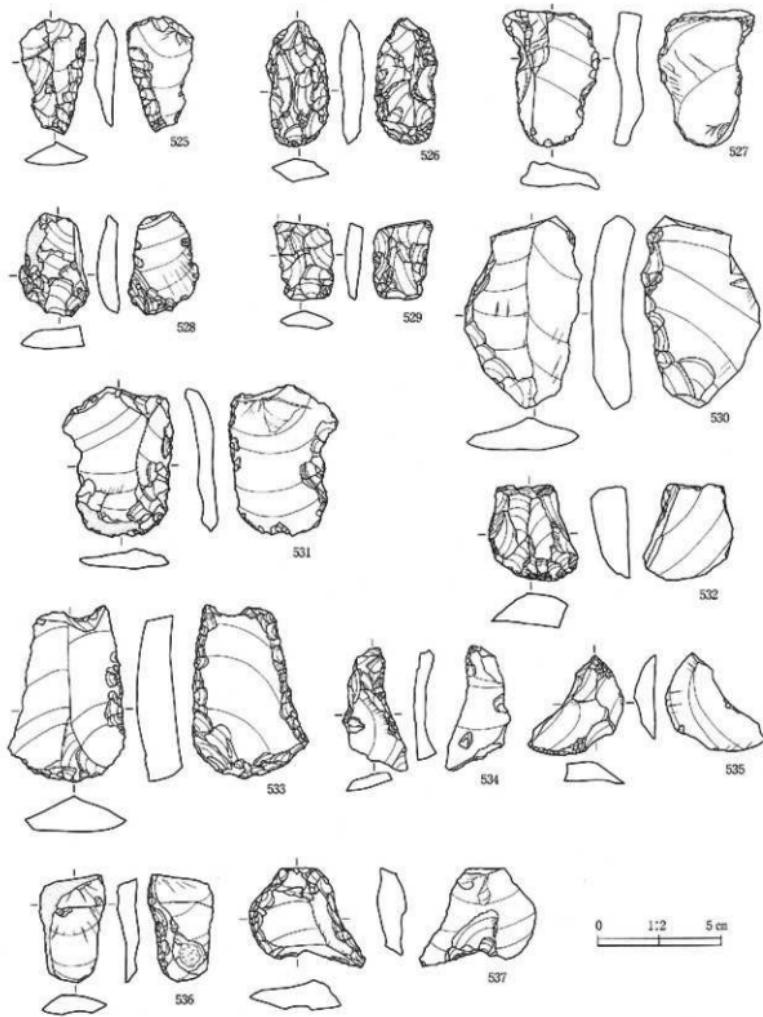


0 1:2 5 cm

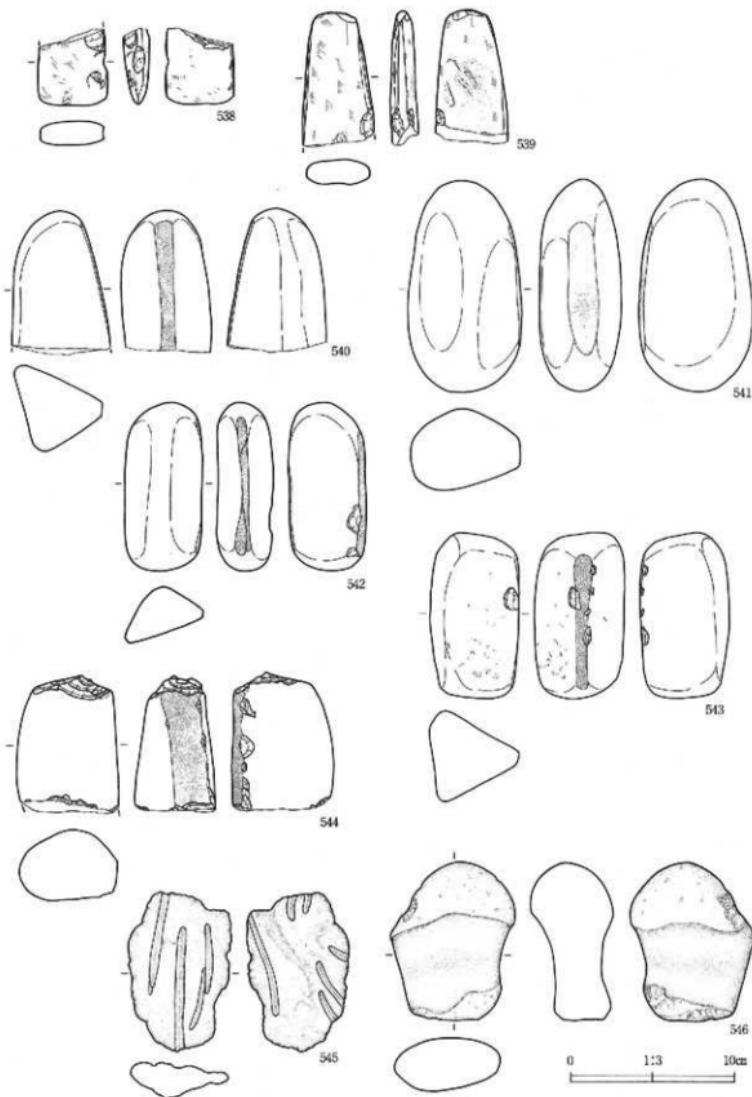
第117図 遺構外出土遺物（4）



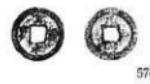
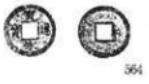
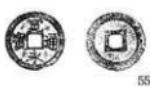
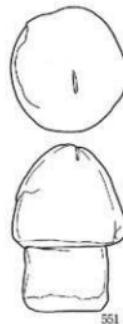
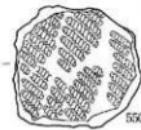
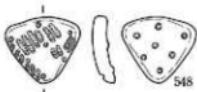
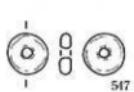
第118図 遺構外出土遺物（5）



第119図 遺構外出土遺物（6）



第120図 造構外出土遺物（7）



0 1:2 5 cm

第121図 遺構外出土遺物（8）

第4表 土器観察表1

団版No.	掲載No.	出土点地	層位	器種	原体	方向	文様の特徴	分類
72	1	R E 001	埋土	深鉢			口燃部斜位割目 貝殻模様文	I c
72	2	R E 001	埋土	深鉢			2本1組斜位沈縫 貝殻模様文	I d
72	3	R E 001	埋土	深鉢			貝殻文	I e
72	4	R E 001	埋土	深鉢			貝殻模様文	I c
72	5	R E 001	埋土下位	深鉢			貝殻模様文 沈縫 貝殻模様文 沈縫	I c
74	18	R E 002	埋土	深鉢			貝殻文	I c
74	19	R E 002	埋土	深鉢			貝殻系文	I c
74	20	R E 002	埋土	深鉢	R L R	横	貝殻模様压痕文	I f
75	22	R A 001	埋土2層	小深鉢	R L R	横	口燃部無文 小凸唇文 懸垂文	II c
75	23	R A 001	埋土1層	深鉢	R L R	横	2本1組の隆沈縫による懸垂文	II c
75	24	R A 001	埋土3層	小鉢			無文 ミニチャーチガラス	II g
75	25	R A 002	埋土	深鉢	R L	横	口燃部 隆沈縫 隆沈縫溝巻文	II c
75	26	R A 002	埋土	深鉢			洞突文 貝殻模様文	I c
75	27	R A 002	埋土	深鉢			底底記	I
75	29	R A 003	埋土	小深鉢	R L R	横	口燃部無文 2本1組沈縫 小渦巻文 懸垂文	II c
75	30	R A 003	埋土	深鉢	R L R	横	美術突起 深縫 透かし	II
75	31	R A 003	埋土	深鉢	R L	横	地文 底部 明代青	II f
75	32	R A 003	埋土上位	深鉢	R L	横	2本1組の隆沈縫による懸垂文	II
75	33	R A 003	埋土	深鉢	R L R	横	2列削突文	II c
75	34	R A 003	埋土	深鉢	R L	横	キヤリバ 沈縫 滴落文	II b
76	35	R A 003	埋土上位	深鉢	R L	横	沈口縫 孔 刺突文 壓比縫 小渦巻文	II c
76	36	R A 003	埋土	深鉢			沈縫文	II h
76	37	R A 003	埋土	深鉢			沈縫文 極子口文	II b
76	40	R A 004	埋土下位	小深鉢	R L	横	2本1組の沈縫による懸垂文	II c
76	41	R A 004	埋土	深鉢	R L	横	波状口縫 小渦巻文 3本1組沈縫	II a
76	42	R A 004	埋土1層	小深鉢	R L R	横	口燃部無文による渦巻文	II c
77	43	R A 004	埋土	小深鉢	R L R	横	口燃部無文 2本1組沈縫 滴落文 懸垂文	II c
77	44	R A 004	埋土5層	小深鉢	R L R	横	口燃部無文 残沈縫 小渦巻文 大渦巻文	II c
77	45	R A 004	床面	小深鉢	R L R	横	沈縫による渦巻文 懸垂文	II c
77	46	R A 004	埋土	深鉢	R L R	横	平縫 透かし? 滴落文 隆沈縫 2本1組隆等	II b
77	47	R A 004	埋土	深鉢	R L	横	無文	II b
77	48	R A 004	埋土	深鉢			無文	II
77	49	R A 004	埋土9層	深鉢	R L R	横	口燃部無文 横位置沈縫	II
77	50	R A 004	埋土	深鉢	R L R	横	キヤリバ 滴落文突起 隆沈縫	II b
77	51	R A 004	埋土	深鉢			疊帶 刺突文 残沈縫	II c
77	52	R A 004	埋土7層	深鉢			口燃部 隆沈縫	II
77	53	R A 004	埋土	深鉢	R L	横	口燃部や外反 地文	II
77	54	R A 004	埋土	深鉢			口燃部 摻圧	III?
78	55	R A 004	埋土	深鉢			貝殻模様压痕文	I c
78	56	R A 004	埋土	深鉢			貝殻文	I c
78	57	R A 004	埋土	深鉢			沈縫格子目文 平行試鏡区画	I b
78	58	R A 004	埋土上位	深鉢			口燃部斜剖目(短沈縫)	I c
78	59	R A 004	埋土	深鉢			貝殻模様压痕文 沈縫文	I c
78	60	R A 004	埋土	深鉢			口燃部 残位沈縫	I c
78	61	R A 004	埋土	深鉢			口燃部 橋位調整	I a
78	62	R A 004	埋土	深鉢				I e
78	63	R A 004	埋土	深鉢			爪形縫突文 貝殻条痕文	I c
79	83	R A 005	埋土5層	深鉢	R L R	横	地文	II ?
79	84	R A 005	床面14層	深鉢	R L	横	口燃部無文 2本1組沈縫 内・箱内沈縫文	II c
79	85	R A 005	埋土2層	深鉢			貝殻模様压痕文 II型条痕文	I c
80	86	R A 005	土面埋却	深鉢	R L	横	無文	II e
80	87	R A 007	埋土	深鉢			波状口縫 降番貼付 刺突文	I c
80	88	R A 007	埋土2層	深鉢			横状平行隆沈縫 刺突文	II
80	90	R A 008	床面	小深鉢	R L R	横	口燃部無文 沈縫 滴落文 懸垂文 穀孔	II c
80	91	R A 008	埋土	深鉢	R L	横	口燃部小波状 沈縫 H形 箱内区画	II c
80	92	R A 008	埋土15層	小深鉢	R	横	口燃部無文 隆沈縫 滴落文 懸垂文	II c
80	93	R A 008	埋土	深鉢	R L	横	口燃部無文 2本1組沈縫 懸垂文	II c
80	94	R A 008	埋土5層	小深鉢	R L R	横	沈縫 滴落文 極子口文	II c
80	95	R A 008	埋土下位	小深鉢	R L R	横	隆沈縫 滴落文 懸垂文 上底	II c
81	96	R A 008	埋土19層	深鉢			導形 斜彎 除帶微状小渦文 把手 滴落文 有輪	II c
81	97	R A 008	埋土上位	深鉢	R L	横	キヤリバ 隆沈縫 滴落文突起 滴落文	II b
81	98	R A 008	埋土下位	小深鉢			ミニチュア 1対把手	II g
81	99	R A 008	埋土	小深鉢			ミニチュア	II g
81	100	R A 008	埋土	豊口			無文 合部に孔	II
81	101	R A 008	塑土3層	豊口	R L R	横	地文	II f
81	102	R A 008	埋土	豊口			無文	II
81	103	R A 008	ベルト7層	深鉢	R L	横	弱文 隆沈縫 滴落文	II b
81	104	R A 008	埋土	豊口	R L R	横	弱文 キヤリバ 隆沈縫 滴落文 疏孔	II c
81	105	R A 008	埋土	深鉢	R L	横	波状口縫 波頂部 隆沈縫滴落文 隆沈縫	II c
82	106	R A 008	埋土	深鉢	R L R	横	隆沈縫 滴落文 懸垂文	II c

第4表 土器觀察表2

回数No.	揭露No.	出土地点	層位	面種	原体	方向	文様の特徴	分類
82	107	R A008	埋土	深鉢			波状口縁 孔 刺突列 隆沈縫 小溝巻文	II c
82	108	R A008	埋土	深鉢	RLR	横	刺突列 隆沈縫 満巻文	II c
82	109	R A008	埋土5層	深鉢	RLR	横	平縁 肩部 满文	II
82	110	R A008	ベルト2層	深鉢	RLR	縱	口縁部無文 刺突列 隆沈縫溝巻文 満巻文	II c
82	111	R A008	ベルト2層	深鉢			キャリパー 波状口縁 2本1組隆沈縫	II b
82	112	R A008	埋土	深鉢			貼付瘤	III
82	113	R A008	ベルト9層	深鉢			刺突列 内外圓ミガキ	II c
82	114	R A008	埋土	深鉢			沈縫 刺突列	II
82	115	R A008	埋土	深鉢			沈縫	II
82	116	R A008	埋土	深鉢			刺突列 番円区文	III
82	117	R A008	埋土6層	深鉢			継縫北縫	II c
82	118	R A008	埋土	深鉢			貝殻条痕	II c
82	119	R A008	埋土5層	深鉢			口唇部削留	II c
82	120	R A008	埋土	深鉢				I
84	135	R A009	p o t 1	鉢			ミガキ？ ミニチュア	II
84	136	R A009	埋土8層	深鉢	LR	縱	口縁小波状 隆背 刺突文	II
84	140	R A010	埋土	深鉢			斜溝巻文 隆沈縫 満巻文	II b
84	141	R A010	埋土	深鉢	RL	横	波状口縁 隆背 満巻文	II
84	143	R A011	埋土1層	深鉢	LR	横幅	キャリパー 山形の體状把手 小溝巻文	II b
84	144	R A011	埋土3層	深鉢	LR	縱	地文	II f
84	145	R A011	埋土5層	深鉢	LR	横	キャリパー 隆沈縫 満巻文	II b
84	146	R A011	埋土3層	深鉢	LR	横	キャリパー 隆沈縫 有縫	II b
84	147	R A011	埋土	深鉢			4本1組沈縫 波状溝巻文	II a
85	150	R A012	埋土	小深鉢	LR	縱	口縁部無文 2本1組沈縫 満巻文 満巻文	II c
85	151	R A012	埋土	小深鉢	RLR	縱	成北縫 小溝巻文 小溝巻文	II c
85	152	R A012	埋土	小深鉢	RL	横	口縁部無文 2本1組沈縫 満巻文 満巻文	II c
85	153	R A012	埋土3層	深鉢	LRL	縱	沈縫 横状突起	II e
85	154	R A012	埋土下位	深鉢	RL	縱	波状口縁 波頂部 孔 刺突列	II c
85	155	R A012	埋土	小深鉢	RL	縱	波状口縁 波頂部 满文 ゆるやかな波状	II c
86	158	R A012	埋土4層	小深鉢			丸文 摩滅	II
86	160	R A015	埋土 p o t 1	浅鉢	RLR	縱	小波状 産帯孔？ 満巻文	II b
86	161	R A015	埋土10層	浅鉢	RL	縱	波状 满巻文 陰唇波状文 有縫 沈縫	II a
86	162	R A015	埋土	深鉢			波状口縁 波頂部下 小溝巻文	II
86	163	R A015	埋土上位	深鉢	RL	横	隆沈縫	II
87	164	R A015	埋土	深鉢	RLR	横	平縁 隆沈縫 满巻文 刺突	II c
87	165	R A015	埋土	小深鉢	LR	横	平縁 隆背 横S字状溝文 3本1組沈縫	II c
87	166	R A015	p o t 1 中位	深鉢	L	縱	無筋	II
87	167	R A015	埋土	深鉢			貝投痕溝辺痕文	II c
87	168	R A015	埋土	深鉢			竹刀折鉢	II c
87	172	R A016	埋土	深鉢	RL	横幅	キャリパー 2本1組隆背 满巻文 有縫	II a
87	173	R A016	埋土下位	深鉢	LR	縱	隆背 满巻文 有縫	II a
87	174	R A016	埋土上位	深鉢	RL	縱	小波状口縁 波状沈縫	II a
88	175	R A016	埋土下位	深鉢			格子文 满文	II c
88	176	R A016	埋土下位	深鉢			口唇部削留の貝投痕溝辺痕文	II c
88	181	R A017	埋土	深鉢	RL	横	筋縫 满巻文	II
88	182	R A017	埋土	深鉢	RLR	縱	筋縫 有縫？	II a
88	183	R A017	埋土	深鉢	RLR	縱	隆沈縫	II c
88	184	R A017	埋土	深鉢			口唇部削留の貝投痕溝辺痕文	II c
88	185	R A017	埋土	深鉢			口唇部削留	II
88	186	R A017	埋土	深鉢			口唇部 大溝巻文 小溝巻文 满文穿孔	II c
89	189	R A018	床下	深鉢	RLR	縱	口唇部 大溝巻文 小溝巻文 满文穿孔	II c
90	190	R A019	床下	小深鉢	RLR	縦	口唇部無文 隆沈縫 刺突 满巻文 満巻文	II c
90	191	R A019	埋土	深鉢	RLR	縦	口唇部無文 陰唇波状文 ミガキ 佛狀把手 隆沈縫	II c
90	192	R A019	埋土	土口	RL	横	小波状 满文 ミニチュア	II g
90	193	R A019	埋土	深鉢	RL	横	狀突起 降帶 满巻文 2次焼成	II b
90	194	R A019	埋土	深鉢	RL	横	無	II b
90	195	R A019	埋土	深鉢	RL	横	キャリパー？ 隆沈縫	II b
90	196	R A019	舞土下位	深鉢	RL	横	キャリパー？ 隆沈縫	II b
90	197	R A019	埋土	深鉢	RL	横	平縁 2本1組隆背 满巻文 満文溝筋	II b
90	198	R A019	埋土	深鉢	RL	縦	キャリパー？ 隆沈縫 满巻文	II b
90	199	R A019	床下	深鉢	R	縦	波状口縁？ 波頂部 满巻文	II b
90	200	R A019	埋土	深鉢			無	II
90	201	R A019	炉付近	深鉢	LR	縦	小波状口縁 波頂部下小溝巻文 突起 すり付痕	II
90	202	R A019	埋土	深鉢				II
91	203	R A018	床下	深鉢	RL	縦	隆沈縫 小溝巻文 円 楊冂形区画	II c
91	204	R A018	埋土	深鉢	RL	縦	波状口縁 成直筋 隆沈縫 满巻文	II a
92	217	R A019	埋土上位	深鉢	RL	縦	口唇部削留 地文	II c
92	218	R A019	埋土	小深鉢			溝筋 2本1組沈縫 3本1組沈縫 満巻文	II
92	219	R A019	埋土	深鉢	RLR	横	介状突起 隆沈縫 满巻文	II c
92	220	R A019	炉上	浅鉢			刺突列 隆沈縫 円形区画	II c

第4表 土器觀察表3

図版No.	揭露No.	出土地点	層位	器種	原体	方向	文様の特徴	分類
92	221	R A019	埋土	深鉢	R L R	横	キャリバー？ 隆沈線 满文 懸垂文	II
92	222	R A019	埋土	深鉢	R L R	横	隆沈線 满文 懸垂文	II c
92	223	R A019	埋土	深鉢	R L R	横	隆沈線 满文 文有縫	II b
92	226	R A020	埋土下位	小鉢			ミニチュア 2次成形	II c
92	227	R A020	埋土	深鉢			隆沈線 满文 刺文	II c
92	228	R A020	埋土	深鉢	R L	縱	口唇部 刺突 刷毛線 内文	II c
93	229	R A020	床下	深鉢	縦		口縁部 满文 底部穿孔	II c
93	230	R A020	埋土	深鉢			施目状文	II c
93	231	R A020	埋土	深鉢			沈線	I
94	235	R A021	埋土12層	浅鉢			平行 積層 内文 梅門文区画	II
94	236	R A021	埋土12層	深鉢	L R	横	3本1組懸垂文 2本1組波状懸垂文	II
94	240	R A022	埋土	深鉢			貝殻模印痕文 平行沈線	I c
94	241	R A022	埋土	深鉢			貝殻模印痕文 波破	I c
94	242	R A022	埋土	深鉢			口縁部 貝殻模印痕文 平行沈線	I c
94	243	R A023	床直	深鉢	R L	横	沈線 部落制代文	II e
94	244	R A023	床直	深鉢			波状口縁 波頂部 隆沈線小滿卷文	II c
94	245	R A023	埋土	深鉢			波狀口縁 波頂部下孔 壁帶	II c
94	246	R A023	埋土	深鉢			貝殻模印痕文	I c
95	251	R A024	埋土	深鉢	R L R	横	隆沈線 满文 懸垂文	II c
95	252	R A024	埋土	深鉢	R L	横	キャリバー 隆沈線 满文	II b
95	253	R A024	埋土下位	深鉢			沈線文	I c
95	254	R A024	埋土	深鉢			貝殻模印痕文	I c
95	255	R A024	埋土	深鉢			貝殻模印痕文	I c
95	256	R A024	埋土	深鉢			口縁 文位捺印 沈線	I c
95	257	R A024	埋土	深鉢			格子文	I c
95	258	R A024	埋土	深鉢			神修孔 几段垂塗文 外向土付看	I c
95	259	R A024	埋土	深鉢			格子文 構造多段 平行沈線	I b
96	263	R A025	p 7	深鉢	L R	縱	波狀口縁 隆沈線	II
96	264	R A025	埋土1-2層	深鉢	R L	縱	波狀沈線 满文	II c
96	265	R A025	埋土	深鉢	L R ?	?	沈線	II
96	269	R A026	炉直上	小深鉢	L R	縱	口縁部刺文 2本1組隆沈線 刺突 懸垂文	II c
96	270	R A026	埋土	深鉢	R L	縱	口縫貼付予縫 小通文 懸垂文	II c
96	271	R A026	埋土	小深鉢	L R	縱	口縫部刺文 2本1組沈線 满卷文 懸垂文	II c
97	272	R A027	埋土	深鉢	L R	縱	地文 内面 丁字行若	II f
97	273	R A027	埋土	深鉢	R L	縱	小波狀口縁 波頂部下 隆沈線 满文	II c
97	274	R A027	埋土	深鉢			平行沈線 貝殻模印痕文 口縫模印痕文	II c
97	275	R A027	埋土	深鉢			沈線 ゆるやかな満文	II
97	279	R A030	埋土	深鉢			輪帶	II
97	280	R A030	埋土	深鉢			沈線	I ?
97	281	R A030	埋土	深鉢			口縁部 内面3ガキ	II c
97	282	R A034	埋土	深鉢	L R	横	口縫小穴起 隆沈線 满文	II c
97	283	R A034	埋土	深鉢			波狀口縁 波頂部小満卷文 满文	II
98	285	R A035	埋土16層	深鉢	L R	横	横織 キャリバー 小波狀 小満卷文 3本1組の沈線	II b
98	286	R A035	埋土16層	深鉢	R L	横	分縫貼付 满文	II
98	287	R A035	埋土16層	深鉢	L R	縱	波狀沈線	II
99	289	R D009	埋土	深鉢	R L R	?	介次突起 孔 刺突 隆沈線 满文 懸垂文	II c
99	290	R D009	埋土2層	深鉢	R L	縫	平縫貼付 内文 隆沈線	II
99	292	R D011	埋土	深鉢	L R	縫	地文	I ?
99	294	R D012	床直14層	小深鉢	R L R	縫	刺突 文 隆沈線 满文 懸垂文	II c
99	295	R D012	床直13層	深鉢	R L R	縫	平縫 贴付 隆沈線 满文 懸垂文	II c
99	296	R D012	埋土	小深鉢	L R	縫	口縫部刺文 2本1組沈線 刺突 满文	II c
99	297	R D012	11-12層	小深鉢	L R	縫	地文	II c
100	298	R D012	埋土中一	深鉢	R L R	縫	平縫 贴付 太い沈線 满文 懸垂文	II c
100	299	R D012	無土最下位	深鉢			隆沈線 满文 懸垂文	II c
100	300	R D012	埋土12層	深鉢	R L	縫	地文	II
100	301	R D012	埋土11層	深鉢			隆帶貼付 亂口状？	II h
100	302	R D012	埋土11層	深鉢			波狀口縁 波頂部小満卷文	II ?
100	305	R D013	埋土	深鉢			隆沈線	II
100	307	R D016	埋土	深鉢			柳目状？	II h
100	309	R D018	埋土下位	深鉢			沈線	II
100	310	R D019	埋土	深鉢			柳目状？	II h
101	311	R D020	土1号	深鉢	R L R	縫	2本1組波狀沈線 3本1組平行沈線	II a
101	312	R D021	埋土下位	深鉢	L R	縫	地文	II
101	313	R D027	埋土	深鉢			口縫部 亂口文 隆沈線	II
101	314	R D027	埋土	深鉢	R L ?	縫	口縫部文 隆沈線	II b
101	315	R D027	埋土	深鉢			刺突文	III
101	317	R D028	埋土1位	深鉢	R L	縫	口縫部文 隆沈線 区画文	II c
101	320	R D030	埋土1位	深鉢	R L	縫	キャリバー 隆帶	II
101	322	R D033	埋土1号	深鉢	R L	縫	地文	II e
102	323	R D033	埋土3号	深鉢	R L R	縫	隆沈線	II c

第4表 土器観察表4

図版No.	掲載No.	出土地点	層位	器種	累体	方向	文様の特徴	分類
102	328	R D037	埴土4層	小深鉢	R L	横	小波状口縁 滅北縫 大溝巻文	II c
102	329	R D039	埴土	小深鉢			ミニチュア 沈模 满文	II g
102	331	R D042	埴土上位	深鉢	I R	横	沈縫	II
102	332	R D043	埴土下層	深鉢	R	横	絞垂体 欧沈縫 極巻文	II c
102	333	R D043	埴土	小鉢			ミニチュア 外面ミガキ 内面ナデ	II g
103	334	R D044	埴土	小鉢			ミニチュア 折線?	II g
103	335	R D044	埴土	深鉢	R L	横	口縁部無文 地文	II c
103	337	R D049	埴土下位	小深鉢	R L	横	口縁部無文 3本1組沈縫 小溝巻文 滅並文	II a
103	338	R D049	埴土	深鉢	I R L	横	成狀(2単位) 頂部3 3本1組沈縫 繊い溝巻文	II a
103	339	R D049	埴土	深鉢	L R	縦	3本1組沈縫による繊巻文	II
103	340	R D049	埴土	小深鉢	R L R	縦	纏沈縫 满文 地文	II c
103	341	R D049	埴土下位	小深鉢	L R	縦	口縁部隆帯 地体止張	II c
103	342	R D049	埴土下位	小深鉢	R L	横	隆縫 体部ミガキ 内面ミガキ	II
104	348	R D050	埴土	深鉢			横状小把手	III
104	349	R D050	埴土	深鉢			隆縫 円形刺突文	III
104	350	R D050	埴土	深鉢	R L	横	隆沈縫 小溝巻文	II c
104	351	R D051	埴土	深鉢			隆帶による繊巻文	II
104	352	R D052	埴土6層	深鉢	I R R	縦	円形区画文	II c
104	353	R D053	埴土4層	深鉢	L R	横	ゆるやかな波状口縁 地文	II
104	354	R D056	埴土	深鉢	L R	横	紺筋彫文 S字状	II
104	355	R D056	埴土	深鉢	I R L	横	キャリバー 满巻文のある突起	II c
105	356	R D057	埴土	深鉢	R L R	横	口縁部無文	II
105	358	R D058	埴土	深鉢			沈縫	II
105	359	R D059	埴土2層	深鉢			隆沈縫 小溝巻文	II c
105	360	R D060	埴土下位	深鉢	R L	横	口縁部無文 隆沈縫	II c
105	363	R D062	埴土下位	小深鉢	R L	横	隆沈縫 满巻文	II c
105	364	R D063	埴土13層	深鉢			II	
105	365	R D065	埴土1層	坏			内面内黒色處理	
105	367	R D065	埴土8層	深鉢	R L	横	沈縫	II
105	368	R D065	埴土2層	深鉢			隆沈縫	II
105	369	R D068	埴土4層	深鉢	I R R	横	隆縫	II
105	370	R D069	床直	深鉢	I R R	横	地文	II
105	371	R D070	埴土5層	深鉢			隆帶	II
105	373	R D071	埴土	深鉢				
105	374	R D072	埴土8層	深鉢	R L	底	隆沈縫	II
105	376	R D076	埴土6層	深鉢	I R	横	沈縫	II
106	379	R D079	埴土	深鉢			隆沈縫 满巻文	II
106	382	R D084	埴土	深鉢	L R	底	刺突文 沈縫	II
106	383	R D086	埴土下位~	深鉢	R L	底	沈縫による繊巻文(2本1組)	II
106	384	R D086	埴土下位	深鉢	I R R	横	孔をもつ波状口縁 隆沈縫	II c
106	385	R D086	埴土	深鉢	L R	横	波状の沈縫による刺突文(2本1組)	II
106	387	R D086	埴土下位	深鉢	I R L	横	口縁部刺突文 隆沈縫 小溝巻文	II c
107	388	R D087	埴土1層	深鉢	L R	横	隆高沈縫 体部 ヨ子状隆帯 結節彫文 S字状	II
107	389	R D091	埴土	深鉢	R L	横	地文	II
107	390	R D098	埴土下位	深鉢	L R	横	キャリバー(2本1組)隆沈縫 脊部 隆沈縫	II b
107	391	R D089	埴土	深鉢	R L	底	平縫2本1組の隆沈縫	II
107	392	R D089	埴土	深鉢			平縫 隆帯 孔(2)	II
107	393	R D092	埴土12層	深鉢	R L	紙	隆沈縫 满巻文	II
108	396	R D096	埴土1	深鉢	I R	横	キャリバー ヨ子状隆縫 满巻文	II b
108	397	R D096	埴土下位	深鉢	I R	横	隆沈縫	II
108	399	R D099	埴土	深鉢	R L		口縁無文 3本1組沈縫 補修孔	II
108	400	R D100	埴土1	小深鉢			隆沈縫 小溝巻文	II
108	401	R D101	埴土	深鉢	R L	横	地文	II
108	402	R D101	埴土	深鉢			貝殻腹縫文	I c
108	403	R D102	埴土	小鉢			ミニチュア 内面ミガキ	II f
108	404	R D104	埴土9層	深鉢	I R	横	波状口縁 波頂部 满巻文突起	II c
108	405	R D105	埴土	深鉢			椅子状文 沈縫文 円文	I c
108	406	R D106	埴土	深鉢			山形状口縁 刻目 沈縫	II
108	407	R D108	埴土	深鉢	R L R	横	平縫 隆沈縫 满巻文	II c
109	409	R D109	埴土	中深鉢	R L	横	口縁無文 3本1組沈縫 满巻文 满季文	II c
109	410	R D110	埴土	小深鉢	I R L	横	沈縫による満季文 满季文	II c
109	411	R D110	埴土	小深鉢	I R R	横	隆沈縫による満季文 满季文	II c
109	412	R D110	埴土	深鉢	I R	横	小波状口縁 小尖起 椅系 隆沈縫 大溝巻文	II c
109	413	R D110	埴土6層	深鉢	I R R	横	地文 上げ底	II
109	414	R D110	埴土7層	深鉢	I R	横	地文 すす付着	II c
109	415	R D110	埴土	深鉢			貝殻季文	I c
110	419	R D112	埴土	深鉢			口縁無文	II c
110	420	R D113	埴土	深鉢	I R	横	キャリバー 隆沈縫 小溝巻文 稲円状口縫	II b
110	422	R D115	埴土	小深鉢	R L	横	小波状口縫 脊部 刺突文 2本1組沈縫	II
110	423	R D116	埴土1層	深鉢			底部 剛化痕	II f

第4表 土器観察表5

調査№	掲載№	出土地点	層位	器種	原体	方向	文様の特徴	分類
110	421	R D117	埋土	深鉢	LR	縦	隆帯による小渦巻文	II
110	425	R D117	埋土上位	深鉢	RL	縦	地文	II f
110	426	R D117	埋土上位	深鉢	RL	縦	地文	II f
110	428	R D118	埋土	深鉢	RLR	縦	地文	II f
110	429	R D120	埋土	深鉢	LR	横	隆帯	II
111	430	R D121	埋土中	深鉢	LRL, RL	縦	U型部 波状(単位) 隆帯 押升 体部	III
111	431	R D121	埋土下位	小鉢			ミニチュア	II g
111	432	R D121	埋土下位	深鉢	RL	縦	隆沈板 高巻文	II
111	435	R D123	埋土	深鉢	LR	縦	小波状 小い隆帯	II
112	437	R D127	埋土	深鉢	RL	縦	筋糸	II
112	438	R D128	埋土	深鉢		平綫	隆巻	II
112	439	R D129	埋土	深鉢	RL	縦	隆沈板	II
112	441	R D130	埋土	深鉢		平行	格子口文	I c
112	443	R D131	埋土	深鉢	RLR	縦	隆沈板	II
112	444	R D132	埋土1層	深鉢	RL	縦	地文 2次焼成	II f
112	445	R D132	埋土1・2層	深鉢	LR	横	平綫 隆帯 横S字状 游巻文連続	II b
112	446	R D132	埋土	深鉢	RL	縦	波状口縁 波頂部 小渦巻文 隆沈板 游巻文	II c
112	447	R D133	埋土5層	深鉢	LR	横	地文	II
113	448	R D134	埋土下位	深鉢	RLR	縦	孔をもつ山形状突起 隆沈板 游巻文 游巻文	II c

第4表 土器観察表(遺構)

調査№	掲載№	出土地点	層位	器種	原体	方向	文様の特徴	分類
114	449	4 G17d	1d層	深鉢	1d層	平行	沈縁 V字状沈縁 補修孔あり	I b
114	450	4 G19	1d層	深鉢	1d層	平行	格子口文 沈縁	I b
114	451	4 G21n	1d層	深鉢	1d層	平行	格子口文 斜格子口文	I b
114	452	4 G21n	1d層	深鉢	1d層	平行	竹筒文	I b
114	453	4 G18c	1d層	深鉢	1d層	平行	沈縁	I b
114	454	4 G18a～19a	1d層	深鉢	1d層	平行	口縁・口縁 絡条体仕組 体部横位貞鉛条痕文	I f
114	455	4 G23p	1d層	深鉢	1d層	平行	尖先	I c
114	456	4 G21e	1d層	深鉢	1d層	平行	腹位貝殻模様II痕文 沈縁 日數条痕文	I c
114	457	4 G19d	1d層	深鉢	1d層	平行	縦位貝殻模様II痕文 平行沈縁	I c
114	458	4 G17d	1d層	深鉢	1d層	平行	縦位貝殻模様II痕文 平行沈縁	I c
114	459	4 G17d	1d層	深鉢	1d層	平行	縦位貝殻模様II痕文	I c
114	460	4 G23p	1d層	深鉢	1d層	平行	縦位貝殻模様II痕文	I c
114	461	4 G19d	1d層	深鉢	1d層	平行	貝殻条痕文	I c
114	462	4 G19～20d	深鉢	深鉢		平行	沈縁	I c
114	463	4 G23o	粗掘	深鉢			爪形刺突文	I c
114	464	4 G20a	1d層	深鉢	1d層	平行	刺突文	I c
114	465	4 G17d	1d層	深鉢	1d層	平行	貝殻条痕文	I c
114	466	4 G23p	1d層	深鉢	1d層	平行	貝殻条痕文	I c
114	467	4 G18h	1d層	深鉢	1d層	平行	斜位貝殻模様II痕文	I c
114	468	4 G18h	1d層	深鉢	1d層	平行	斜位貝殻模様II痕文 平行沈縁 補修孔	I c
114	469	4 G18h	1d層	深鉢	1d層	平行	斜位貝殻模様II痕文 平行沈縁	I c
115	470	4 G22r	1d層	深鉢	1d層	平行	押し引き沈縁	I e
115	471	4 G22p	1d層	深鉢	1d層	平行	横位貝殻模様文(羽状)	I f
115	472	4 G17d	1d層	深鉢	1d層	平行	沈縁 橫位貝殻模様文(羽状)	I f
115	473	4 G21p	1d層	深鉢	1d層	平行	横位貝殻模様文	I d
115	474	4 G20n	1c層	深鉢	LR	縦	2本1組沈縁 沈縁	II a
115	475	4 F18x	1c層	深鉢	LR	横窓	キャリバー 口縁波状沈縁 体部3本1組沈縁	II a
115	476	4 G21o	1c層	深鉢	RL	縦	U型波状突起 隆沈板小渦巻文 3本1組沈縁	II a
115	477	4 G20o	1c層	深鉢	LR	縦	小波状口縁 波頂部 隆沈板 小渦巻文	II b
115	478	4 G20n	1c層	深鉢	RL	横	キャリバー 隆沈板 小渦巻文 有縫	II b
115	479	4 F18x	1c層	深鉢	R LR	縦	U型波状突起 隆沈板小渦巻文 隆底文	II c
116	480	4 G18a	1c層	深鉢	RL	縦	沈縁 北側 沈縁 小渦巻文 懸垂文	II c
116	481	4 F18x	1c層	小深鉢	LR	縦	U型無文 隆底 小渦巻文 懸垂文	II c
116	482	4 F18x	1c層	小深鉢	R LR	縦	口縁無文 隆沈縁 小渦巻文 懸垂文	II c
116	483	4 G18x	1c層	小深鉢	LR	縦	口縁無文 利突文 隆沈縁 小渦巻文 懸垂文	II c
116	484	4 F18y	1c層	深鉢	LR	縦	2本1組 隆沈縁 懸垂文	II c
116	485	4 G19d	1c層	深鉢	RL	縦	沈縁	II f
116	486	4 G21o	1c層	深鉢	RL	縦	波状口縁 波頂部 小渦巻文 沈縁 胸骨文	II d
116	487	4 G20n	1c層	浅鉢	RL	縦	2本1組隆沈縁 底部木底痕	II
116	488	5 G15d	1c層	深鉢	RL	縦	地文	II
116	489	5 G11e	1c層	深鉢	RL	平行	沈縁	III
116	490	4 F18x	1c層	深鉢	R	縦	2本1組隆沈縁 筋糸 すす付着	III
116	491	透探		深鉢			透孔	II f

( ) は残存値

第5表 石器観察表1

団版No.	発掘No.	出土地点	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石材	产地
72	6	R E001	黒褐色土	石鏃	3.40	1.70	0.80	4.19	頁岩	北上山地
72	7	R E001	埋土下位	石鏃	3.40	1.90	0.80	4.05	頁岩	北上山地
72	8	R E001	埋土2層	石劍	7.20	3.70	1.85	45.21	頁岩	北上山地
72	9	R E001	埋土下位	石劍	6.90	4.70	1.50	35.13	頁岩	北上山地
72	10	R E001	埋土	打製石斧	11.00	4.20	1.90	69.53	頁岩	北上山地
73	11	R E001	埋土	特殊磨石	15.30	7.80	6.00	1180.00	安山岩	奥羽山脉
73	12	R E001	埋土	特殊磨石	(10.20)	6.90	6.50	530.00	花崗岩	北上山地
73	13	R E001	床面直上	特殊磨石	(9.70)	9.15	6.40	700.00	砂岩	北上山地
73	14	R E001	床面直上	特殊磨石	12.30	5.55	4.70	438.00	閃綠岩	北上山地
74	15	R E001	床面直上	特殊磨石	19.70	8.10	7.00	1330.00	砂岩	北上山地
74	16	R E001	床面直上	特殊磨石	16.80	7.00	4.55	860.00	砂岩	北上山地
74	17	R E001	埋土下位	凹石	10.35	11.00	3.45	520.00	安山岩	奥羽山脉
74	21	R E002	埋土	石鏃	3.20	1.50	0.60	2.69	頁岩	北上山地
75	28	R A001	埋土	石鏃	2.15	1.80	0.30	1.09	頁岩	北上山地
76	38	R A003	床面直上	磨石	4.30	4.50	(3.50)	97.26	閃綠岩	北上山地
76	39	R A003	埋土上位	石皿	(15.60)	(14.30)	7.50	870.00	安山岩	奥羽山脉
78	64	R A004	埋土下位	石鏃	2.50	1.70	0.40	0.94	頁岩	北上山地
78	65	R A004	埋土	石鏃	2.45	1.40	0.40	0.97	頁岩	北上山地
78	66	R A004	埋土下位	石鏃	3.65	1.40	0.48	2.10	頁岩	北上山地
78	67	R A004	埋土	石鏃	3.15	1.20	0.60	1.94	頁岩	北上山地
78	68	R A004	埋土上位	石鏃	4.35	1.80	0.60	2.99	頁岩	北上山地
78	69	R A004	埋土中位	石鏃	6.20	3.40	0.80	13.59	頁岩	北上山地
78	70	R A004	埋土下位	削鏽器	4.50	2.65	1.25	11.93	頁岩	北上山地
78	71	R A004	埋土上位	削鏽器	4.40	2.40	0.60	6.16	頁岩	北上山地
78	72	R A004	埋土中位	削鏽器	6.50	3.20	1.10	19.79	頁岩	北上山地
78	73	R A004	埋土中位	石刀	6.50	3.50	1.20	26.17	頁岩	北上山地
78	74	R A004	埋土上位	削鏽器	10.00	3.20	1.60	37.71	頁岩	北上山地
78	75	R A004	埋土	削鏽器	4.60	5.15	1.10	19.13	頁岩	北上山地
79	76	R A004 p p23	埋土	削鏽器	5.70	4.40	1.10	40.23	頁岩	北上山地
79	77	R A004	埋土中位	磨製石斧	(11.30)	4.75	2.15	202.27	礫岩	北上山地
79	78	R A004	埋土下位	磨製石斧	(6.40)	3.65	1.70	57.85	頁岩	北上山地
79	79	R A004	埋土下位	磨製石斧	(6.00)	4.20	2.55	95.11	砂岩	北上山地
79	80	R A004	埋土5層	磨石	6.30	6.00	4.40	340.00	礫灰岩	奥羽山脉
79	81	R A004	埋土+6層	凹石	9.60	6.60	3.80	134.39	砂岩	北上山地
80	89	R A007	埋土3層	削鏽器	7.50	4.65	1.20	9.29	頁岩	北上山地
82	121	R A008	埋土上位	石鏃	2.30	1.40	0.35	0.72	頁岩	北上山地
82	122	R A008	埋土6層	石鏃	2.00	1.60	0.40	0.82	頁岩	北上山地
82	123	R A008	埋土上位	石鏃	1.95	1.45	0.35	0.61	頁岩	北上山地
82	124	R A008	埋土中位	削鏽器	4.90	4.50	1.05	24.10	頁岩	北上山地
82	125	R A008	埋土中位	石劍	8.10	3.50	2.25	52.31	頁岩	北上山地
82	126	R A008	埋土上位	石劍	6.00	2.65	1.65	21.63	頁岩	北上山地
83	127	R A008	埋土中位	磨製石斧	(9.20)	4.50	2.35	148.67	頁岩	北上山地
83	128	R A008	床面直上	磨製石斧	7.80	2.90	1.40	53.61	頁岩	北上山地
83	129	R A008	埋土下位	磨石	(5.00)	9.10	6.50	370.00	安山岩	奥羽山脉
83	130	R A008	埋土~7層	石盤	(9.30)	(6.25)	4.45	148.73	礫灰岩	奥羽山脉
83	131	R A008	床面直上	石盤	(12.70)	(10.80)	8.05	760.00	安山岩	奥羽山脉
83	132	R A008	埋土~7層	石皿	(28.10)	(25.20)	6.50	2170.00	礫灰岩	奥羽山脉
84	142	R A010	埋土	石匙	5.55	3.30	0.90	13.76	頁岩	北上山地
85	148	R A011	埋土3層	石皿	(16.90)	(14.80)	6.10	1261.50	礫岩	奥羽山脉
85	149	R A011	埋土下位	打製石斧	10.60	5.90	2.10	197.82	砂岩	北上山地
85	156	R A012	埋土中位	削鏽器	6.75	4.60	1.35	40.33	頁岩	北上山地
86	157	R A012	埋土中位	石鏃	1.60	1.15	0.30	0.30	頁岩	北上山地
86	159	R A012	埋土	石皿	38.00	25.00	15.60	9200.00	安山岩	奥羽山脉
87	169	R A015	埋土	削鏽器	5.10	5.20	1.00	20.49	頁岩	北上山地
87	170	R A015	床直上	磨製石斧	(10.30)	5.05	3.10	227.18	砂岩	北上山地
88	177	R A016	埋土	石鏃	(2.38)	1.20	0.35	1.09	頁岩	北上山地
88	178	R A016	埋土1層	石鏃	3.35	1.40	0.50	1.94	頁岩	北上山地
88	179	R A016	埋土下位	削鏽器	10.90	3.60	1.20	49.78	頁岩	北上山地
88	180	R A016	埋土下位	石皿	7.00	9.30	3.70	130.69	安山岩	奥羽山脉
88	187	R A017	床直上	削鏽器	7.90	4.10	1.60	51.74	頁岩	北上山地
91	205	R A018	埋土	石鏃	(2.60)	1.65	0.40	2.01	頁岩	北上山地
91	206	R A018 p p4	埋土	削鏽器	4.60	5.25	0.85	17.27	頁岩	北上山地
91	207	R A018	埋土	削鏽器	(4.55)	3.30	1.00	11.55	頁岩	北上山地
91	208	R A018	埋土上面	削鏽器	4.75	2.40	0.90	8.99	頁岩	北上山地
91	209	R A018	埋土	削鏽器	(3.10)	1.90	0.90	5.22	頁岩	北上山地
91	210	R A018	埋土	削鏽器	6.50	5.10	1.20	40.02	頁岩	北上山地
91	211	R A018	埋土	削鏽器	(2.73)	2.45	0.65	4.47	頁岩	北上山地
91	212	R A018	埋土	削鏽器	(3.00)	2.50	1.05	7.82	頁岩	北上山地

第5表 石器観察表2

( ) は残存値

圆版No.	掲載No.	出土地点	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石材	产地
91	213	R A018	埋上	磨石	5.30	4.70	4.50	150.61	花崗四綠岩	北上山地
91	214	R A018	埋付近	磨石	(7.55)	6.30	3.80	288.97	砂岩	北上山地
91	216	R A021	埋土	石棒	31.90	11.90	10.90	6840.00	石英安山岩	奥羽山脈
92	224	R A019	埋土	削接器	5.70	3.90	1.40	22.05	頁岩	北上山地
92	225	R A019	埋土	石皿	(24.70)	(25.60)	5.25	3500.00	安山岩	奥羽山脈
93	232	R A020	埋土	石盤	2.70	1.90	0.60	2.48	頁岩	北上山地
93	233	R A020	埋土下位	四石	(8.00)	6.60	3.60	358.00	四綠岩	北上山地
93	234	R A020	埋土	石劍	6.20	4.90	1.90	48.46	頁岩	北上山地
94	238	R A021 p. p. 16	埋土	石錐	(3.00)	1.40	0.85	3.08	頁岩	北上山地
94	239	R A021	埋土	石錐	2.35	2.00	0.60	2.23	頁岩	北上山地
94	247	R A023	埋土	石錐	(3.70)	2.00	0.70	5.01	頁岩	北上山地
94	248	R A023	埋土	石錐	(4.90)	3.95	1.55	30.87	頁岩	北上山地
95	249	R A023	埋土	石錐	6.20	4.10	1.80	47.88	頁岩	北上山地
95	250	R A023	埋土	特殊磨石	(7.00)	6.70	4.30	189.45	安山岩	奥羽山脈
95	260	R A024	埋土	石錐	5.00	2.50	0.90	11.46	頁岩	北上山地
95	261	R A024	埋土	石錐	8.50	4.35	1.70	66.58	頁岩	北上山地
95	262	R A024	特殊磨石	石錐	17.80	8.40	7.20	1138.00	安山岩	奥羽山脈
96	266	R A025	埋土	石錐	6.00	3.25	1.35	26.72	頁岩	北上山地
96	267	R A025	埋土	磨石	11.30	8.20	5.40	722.00	花崗四綠岩	北上山地
97	276	R A027	埋土	石匙	4.90	2.60	0.90	10.48	頁岩	北上山地
97	277	R A027	埋土	磨石	9.70	9.65	3.90	430.00	砂岩	北上山地
97	278	R A027	埋土	凹石	10.55	8.95	3.70	480.00	閃綠岩	北上山地
97	284	R A034	埋土	削接器	4.70	3.85	1.30	16.89	頁岩	北上山地
99	288	R D008	埋土	石臼	5.95	2.10	0.80	8.08	頁岩	北上山地
99	291	R D009	埋土3層	削接器	5.10	5.15	0.95	25.26	頁岩	北上山地
99	293	R D011	埋土中位	削接器	(4.50)	5.20	1.70	41.24	頁岩	北上山地
100	303	R D012	埋土中位	削接器	4.10	3.10	1.10	13.64	頁岩	北上山地
100	304	R D012	埋土14層	特殊磨石斧	7.60	3.50	1.50	51.74	頁岩	北上山地
100	306	R D013	埋土中位	石錐	2.20	1.42	0.40	0.60	頁岩	北上山地
100	308	R D016	床土上位	石錐	(3.55)	1.50	0.60	2.40	頁岩	北上山地
101	316	R D027	埋土12層	削接器	3.80	2.30	1.00	7.67	頁岩	北上山地
101	318	R D028	埋土5層	尖頭矛	5.45	1.50	0.70	4.90	頁岩	北上山地
101	319	R D029	埋土	石錐	2.75	1.90	0.75	2.98	球狀頁岩	北上山地
101	321	R D030	埋土中位	削接器	3.40	4.70	0.90	10.66	頁岩	北上山地
102	324	R D033	埋土中位	削接器	3.20	4.40	1.20	18.97	頁岩	北上山地
102	325	R D033	埋土下位	削接器	4.30	6.10	1.00	26.26	頁岩	北上山地
102	327	R D036	埋土6層	尖頭矛	(2.75)	1.30	0.70	2.49	頁岩	北上山地
102	330	R D039	埋土	磨製石斧	(3.90)	3.50	1.80	40.78	頁岩	北上山地
103	343	R D049	埋土下位	石錐	(2.90)	1.25	0.50	1.72	頁岩	北上山地
104	344	R D049	埋土下位	削接器	5.30	4.20	0.90	14.35	頁岩	北上山地
104	345	R D049	埋土下位	削接器	6.20	4.20	1.10	18.61	頁岩	北上山地
104	346	R D049	埋土上位	磨製石斧	12.70	5.20	2.85	284.67	砂岩	北上山地
104	347	R D049	埋土下位	磨製石斧	(12.20)	4.75	2.70	267.81	閃綠岩	北上山地
105	361	R D060	埋土下位	削接器	5.80	4.15	1.20	23.49	頁岩	北上山地
105	372	R D070	埋土5層	削接器	8.20	5.50	1.90	77.45	頁岩	北上山地
106	375	R D077	埋土3層	削接器	1.95	2.00	5.00	1.67	頁岩	北上山地
106	377	R D076	埋土6層	石錐	6.70	3.80	1.65	35.44	頁岩	北上山地
106	378	R D076	埋土6層	削接器	5.80	2.30	0.90	10.49	頁岩	北上山地
106	380	R D079	埋土	削接器	6.60	2.50	1.10	11.85	頁岩	北上山地
106	381	R D080	埋土上位	石錐	3.62	1.75	0.65	3.02	頁岩	北上山地
106	386	R D086	埋土上位	刮刀	8.80	7.90	3.80	400.00	砂岩	北上山地
107	394	R D092	埋土8層	削接器	3.00	3.80	0.60	4.59	頁岩	北上山地
107	395	R D092	埋土12層	凹鐵	(9.80)	8.10	3.50	219.64	安山岩	奥羽山脈
108	398	R D098	戴下位	石皿	50.80	59.40	6.30	2000.00	安山岩	奥羽山脈
108	408	R D108	埋土	凹鐵	12.85	6.50	3.60	400.00	變灰岩	北上山地
109	416	R D110	埋土上位	磨製石斧	(12.10)	5.40	3.40	308.00	砂岩	北上山地
109	417	R D110	埋土1層	特殊磨石	(9.90)	6.85	5.10	378.00	砂岩	北上山地
110	418	R D110	埋土	石錐	(26.70)	(20.40)	7.70	1850.00	安山岩	奥羽山脈
110	421	R D113	埋土	砾石	8.30	5.65	3.55	78.71	安山岩	奥羽山脈
110	427	R D117	埋土	削接器	4.40	8.20	1.70	48.32	頁岩	北上山地
111	433	R D121	埋土上位	削接器	6.10	3.30	1.15	25.54	頁岩	北上山地
111	434	R D121	埋土下位	凹石	8.20	7.40	2.70	231.01	砂岩	北上山地
112	436	R D124	埋土	特殊磨石	(8.60)	6.65	5.00	410.00	安山岩	奥羽山脈
112	440	R D129	埋土	磨製石斧	(7.50)	5.00	1.95	132.87	砂岩	北上山地
112	442	R D130	埋土	削接器	4.40	2.30	1.40	10.40	頁岩	北上山地
117	492	4 G24 n	I c 壁	石錐	2.00	1.50	3.00	0.66	頁岩	北上山地
117	493	4 G20~21 a	I c 壁	石錐	2.30	1.30	0.45	0.67	頁岩	北上山地
117	494	4 G23 n	I c 壁	石錐	(1.60)	1.35	0.30	0.57	頁岩	北上山地

第5表 石器観察表 3

図版No.	揭露No.	出土地点	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石材	产地
117	495	4 G17 d	I c 層	石鏃	(0.80)	0.80	0.23	0.39	頁岩	北上山地
117	496	4 G18 d	III c 層	石鏃	2.95	1.55	0.35	1.26	頁岩	北上山地
117	497	T 9 中部	I c 層	石鏃	3.50	2.50	0.75	4.76	頁岩	北上山地
117	498	4 G18 d	I c 層	石鏃	3.20	1.75	0.70	3.65	頁岩	北上山地
117	499	T 4	堆積	石鏃	(3.90)	1.30	0.60	2.48	頁岩	北上山地
117	500	4 G19 c	I c 層	石鏃	(3.05)	2.20	0.70	3.57	頁岩	北上山地
117	501	4 G23 m	I c 層	石鏃	(3.90)	1.85	0.70	3.93	頁岩	北上山地
117	502	4 G24 n	擾乱	石鏃	(2.30)	2.00	0.60	2.48	頁岩	北上山地
117	503	4 G22 n	擾乱	石鏃	(2.80)	1.50	0.55	1.64	頁岩	北上山地
117	504	4 G23 p	I c 層	石鏃	3.20	1.05	0.60	1.65	頁岩	北上山地
117	505	4 G23 m	I c 層	石鏃	3.20	1.05	0.60	1.07	頁岩	北上山地
117	506	4 G19 a	III b 層	尖頭器	4.45	1.40	0.70	4.47	頁岩	北上山地
117	507	4 G20 l	I c 層	石鏃	5.40	3.00	1.00	12.53	赤色頁岩	北上山地
117	508	4 G18 d	I c 層	石鏃	5.90	3.10	1.20	20.02	頁岩	北上山地
117	509	4 G18 i	埋土	石鏃	6.20	2.25	1.30	20.90	頁岩	北上山地
117	510	4 G19 s - 20 d	I c 層	石鏃	(5.00)	3.70	2.00	33.78	頁岩	北上山地
117	511	4 G20 d	I c 層	石鏃	3.95	4.55	1.80	30.36	頁岩	北上山地
118	512	4 G21 h	I c 層	石鏃	7.90	4.10	2.00	62.14	頁岩	北上山地
118	513	4 G23 o	III b 層	石鏃	6.10	4.60	1.90	50.69	頁岩	北上山地
118	514	4 G23 p	I c 層	石鏃	3.70	3.70	1.40	19.58	頁岩	北上山地
118	515	T 9 中部	I c 層	石鏃	(4.60)	4.60	1.90	47.17	頁岩	北上山地
118	516	4 F18 h	I c 層	削撲器	6.30	3.70	1.10	21.75	頁岩	北上山地
118	517	4 G18 d	I c 層	削撲器	6.30	2.95	0.95	20.16	頁岩	北上山地
118	518	4 G18 d	I c 層	削撲器	5.30	3.60	0.70	19.22	頁岩	北上山地
118	519	4 G19 b	擾乱	削撲器	4.00	2.70	1.20	13.46	頁岩	北上山地
118	520	4 G19 l - k	I c 層	削撲器	5.15	4.15	1.55	35.69	頁岩	北上山地
118	521	4 G20 a	III b 層	削撲器	3.95	3.65	1.60	22.71	頁岩	北上山地
118	522	4 G20 d	I c 層	削撲器	6.20	4.90	1.20	21.87	頁岩	北上山地
118	523	4 G20 m	I c 層	削撲器	6.30	3.10	1.10	26.16	頁岩	北上山地
118	524	4 G21 b	I c 層	削撲器	5.70	2.80	0.95	12.78	頁岩	北上山地
119	525	4 G21 h	I c 層	削撲器	4.40	2.60	0.90	9.41	頁岩	北上山地
119	526	4 G21 p	I c 層	削撲器	5.15	2.60	1.00	13.21	頁岩	北上山地
119	527	4 G22 p	I c 層	削撲器	5.65	3.95	1.25	25.50	頁岩	北上山地
119	528	4 G23 m	II 層	削撲器	4.25	2.85	0.90	11.14	黑曜石	北上山地
119	529	4 G23 q	擾乱	削撲器	(3.25)	2.40	0.70	5.81	頁岩	北上山地
119	530	4 G23 r - s	擾乱	削撲器	7.80	4.60	1.30	57.62	頁岩	北上山地
119	531	4 G20 b	擾乱	削撲器	6.10	4.40	1.20	27.14	頁岩	北上山地
119	532	4 G24 r	I c 層	削撲器	3.95	3.65	1.60	22.79	頁岩	北上山地
119	533	4 G24 r	I c 層	削撲器	7.25	4.75	1.80	49.21	頁岩	北上山地
119	534	5 F 4 w	I c 層	削撲器	5.10	2.65	0.90	7.65	頁岩	北上山地
119	535	5 G 2 s	I c 層	削撲器	4.10	3.90	0.90	8.59	頁岩	北上山地
119	536	T 3	I c 層	削撲器	4.20	2.65	0.90	11.36	頁岩	北上山地
119	537	T 10	検出時	削撲器	4.10	4.80	1.20	19.01	頁岩	北上山地
120	538	4 G20 b	I c 層	打製石斧	(4.70)	4.25	1.60	46.25	黑曜石	北上山地
120	539	4 G21 n	I c 層	磨製石斧	(8.20)	4.40	1.50	94.46	頁岩	北上山地
120	540	4 F18 h	I c 層	特殊磨石	6.30	3.70	1.10	21.75	頁岩	北上山地
120	541	4 G21 o	I c 層	特殊磨石	13.00	7.00	5.00	680.00	安山岩	奥羽山脈
120	542	4 G22 o	I c 層	特殊磨石	10.30	4.80	3.40	238.21	安山岩	奥羽山脈
120	543	5 G 15 h	I c 層	特殊磨石	10.20	5.50	5.55	400.00	砂岩	北上山地
120	544	表様		特殊磨石	8.40	6.20	4.40	380.00	砂岩	北上山地
120	545	4 G21 b	擾乱	砾石	9.98	6.30	2.20	66.30	安山岩	奥羽山脈
120	546	T 9	I c 層	砾石	9.80	7.65	5.00	380.00	安山岩	奥羽山脈

第6表 土製品観察表

団版No.	掲載No.	出土地点	層位	文様の特徴	分類
79	82	R A004	埋土	三角形・沈線・刺突	三角形土製品
83	134	R A008	埋土	三角形・刺突・隆起・有孔	二角形土製品
102	326	R D036	埋土下位	無文	希状土製品?
105	357	R D057	埋土	無文	十個
105	362	R D057	埋土	2段R L・打ち欠き	円盤状土製品
121	547	5 G15 a	II層	有孔	土長
121	548	4 G24 h	I c層	三角形・刺突	三角形土製品
121	549	表探		円形・有孔・沈線	円盤状土製品
121	550	4 G23 p	I c層	2段R L・打ち欠き	円盤状土製品
121	551	4 G21~23 p	搅乱	くびれ?	男根状土製品?

第7表 石製品観察表

団版No.	掲載No.	出土地点	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特徴・備考	石材	産地
83	133	R A008	埋土中位	石製品	11.10	6.90	3.50	27.78		絆石	奥羽山脈
84	137	R A009	床直上	三日月形	8.70	5.25	1.10	53.18		頁岩	北上山地
84	138	R A009	床直上	三日月形	9.10	4.55	1.00	43.78		頁岩	北上山地
84	139	R A009	床直上	三日月形	9.95	5.85	1.00	58.63		頁岩	北上山地
87	171	R A015	床直上	三角彫形	9.90	6.50	6.50	360.00		凝灰岩	北上山地
88	188	R A017	埋土	有孔石	9.20	6.60	1.70	93.79		砂岩	北上山地
91	215	R A018	埋土	垂飾	4.80	3.60	0.80	18.92		砂岩	北上山地
96	268	R A025	埋土	有孔石	7.45	7.50	1.50	121.10		凝灰岩	北上山地

第8表 金属製品観察表

団版No.	掲載No.	出土地点	層位	錢種	径(cm)	重量(g)	特徴・備考
105	366	R D064	I層	一錢	2.10	13.91	
121	552	4 G20 d	I b層	?	3.00	12.89	
121	553	4 G20 d	I b層	一錢	3.40	13.93	
121	554	4 G21 a	I b層	一錢	3.50	13.91	
121	555	4 G24 n ~ o	搅乱	一錢	3.10	13.79	
121	556	4 G21 b	搅乱	寛永通寶	2.30	14.68	
121	557	4 G21 o ~ p	I b層	寛永通寶	2.50	14.93	
121	558	4 G22 p	I b層	寛永通寶	3.10	15.00	
121	559	4 G22 r	I b層	寛永通寶	(2.30)	(15.93)	背文
121	560	4 G21 b	I b層	寛永通寶	2.20	13.92	
121	561	4 G24 p	搅乱	寛永通寶	3.10	15.00	
121	562	R A004	I層	寛永通寶	(1.30)	(13.00)	
121	563	4 G25 v	粗掘	寛永通寶	1.90	13.91	
121	564	5 F 8 w	II a層	寛永通寶	1.60	11.91	
121	565	5 F 10 h	II a層	寛永通寶	(2.35)	(1.18)	
121	566	5 F 10 h	I b層	寛永通寶	2.10	0.97	
121	567	5 F 10 h	I b層	寛永通寶	1.60	0.49	
121	568	5 G13 g	搅乱	寛永通寶	2.50	15.68	
121	569	5 G 1 g	搅乱	寛永通寶	2.20	14.27	
121	570	5 G11 e	搅乱	寛永通寶	2.50	14.27	
121	571	5 G16 h	I a層	寛永通寶	2.40	3.37	
121	572	5 G16 h	I a層	寛永通寶	2.40	2.20	
121	573	T 4	搅乱	寛永通寶	1.50	12.16	
121	574	T 8	I b層	寛永通寶	2.00	13.14	
121	575	T 10	I b層	寛永通寶	(1.70)	(15.69)	
121	576	T 10	I b層	寛永通寶	2.90	16.15	
121	577	T 10	I b層	寛永通寶	(0.50)	(12.15)	
121	578	表探		寛永通寶	2.40	14.16	

## VI. まとめ

### 1 造構

検出した造構は縄文時代早期の堅穴状造構2棟、縄文時代中期中葉の堅穴住居跡27棟、縄文時代中期末葉の堅穴住居跡1棟、縄文時代の上坑119基、柱穴状小上坑71基、焼上造構2基である。

#### (1) 堅穴状造構

堅穴状造構は、調査区南端で1棟と北側で1棟検出した。出土遺物から縄文時代早期中葉に属すると思われる。多数の土坑や住居跡が密接して重複しているため全容は明らかにできなかった。規模は3~5m、平面形は梢円~隅丸方形を呈するようである。

#### (2) 堅穴住居跡

<時期・占拠> 縄文時代中期中葉27棟、中期末葉1棟、計28棟検出した。堅穴住居跡は調査区の縁辺沿いに位置しており、特に調査区北側に集中し、重複している。

<平面形・規模> 平面形が把握できるもの、及び推定できるものは21棟である。椭円形12棟、円形7棟、隅丸方形5棟、不明4棟である。円形を基調とするものが多い傾向にある。床面積の最小は12.9m<sup>2</sup>(RA002)、最大は55.5m<sup>2</sup>(RA008)である。

<柱穴> 柱配置が推定できる住居跡は11棟である。柱配置は炉もしくは住居跡中央付近を中心とする4本を基本とし、規模の大きな住居跡では6本の配置もみられる。RA002・003・005・012・020・023は柱穴の規模・配置から4本の配図が推定される。ただし、RA020については住居跡の拡張がなされ5本の配置も推定される。柱の規模は22~27cm、深さ27~79cm、柱間120~280cmである。RA004・012は5・7本の柱配置の可能性もある。RA008は炉の長軸でもある住居跡の中軸線を中心として、左右対称に3本ずつ計6本の配置が確認されている。

<炉> 検出した堅穴住居跡28棟のうち、20棟から炉を検出している。それらの内訳は地床炉5基、石圓炉14基、土器埋設炉1基、不明8である。地床炉は規模径30~70cm、厚さ0.3~5cmと焼土の形成が薄い。石圓炉には方形基調と円形基調のものがある。方形基調のものは8基（そのうち1基は部分的に炉石を欠き、コ字状を呈する）で、規模は長径71~150cm、短径68~105cmである。規模の大きなものはやや台形状を呈し、炉石が部分的に二重に廻るものもある(RA008・020の石圓炉)。円形基調のものは6基で、規模は径45~102cmである。位況は住居跡の軸線上でやや壁際に寄る。土器埋設炉はほぼ正位に埋設し、周囲には堅くしまった焼土が巡っている。

<埋甕> 本稿では「堅穴住居跡内に底部に穴が開けられて逆さまに埋設された土器」を埋甕とする。埋甕は、RA018堅穴住居跡内から大小各1基づつ計2基、RA020堅穴住居跡内から1基検出している。RA018の2基の埋甕は住居の軸線上より約20cm東寄りと約134cm西寄りにそれぞれ倒立状態で埋設されていた。また、RA020の埋甕は住居の軸線上に倒立状態で埋設されていた。埋甕内の状況は8分目までは黒褐色土が堆積していた。埋設方法はいずれも土器より少し大きめの穴（掘り方）を掘って埋設され、褐色土あるいは黄褐色土主体の埋土、もしくは上部が黒褐色土で下部は褐色土、黄褐色土の埋土で埋め戻されている。

#### (3) 上坑

土坑は119基検出した。時代別に縄文時代96基（縄文2、中期10、中期中葉80、後期初頭4）、近世1基、時期不明22基である。平面形は円形基調のものと梢円形基調のものに大別される。近世の土坑は平面形が円形、断面形が皿形を呈している。また、土坑の断面形は開口部径が底部径より小さいラスコ形、開口部径

と底部径がほぼ同じピーカー形、皿形、逆台形に大別される。平面形が円形基溝の土坑は103基で、そのうちフ拉斯コ形60基（縄文1、中期3、中期中葉44、中期末葉1、後期初頭4、不明7）、ピーカー形22基（縄文中期2、中期中葉14、不明6）、皿形10基（縄文中期1、中期中葉4、近世1、不明4）、逆台形7基（縄文中期中葉5、不明2）、不整形2基（縄文1、中期中葉1）、不明2基（縄文中期中葉2）である。平面形が精円形基溝の土坑は16基で、そのうち断面形がフ拉斯コ形3基（中期中葉3、不明1）、ピーカー形3基（縄文中期1、中期中葉1、不明1）、皿形5基（縄文中期1、中期中葉3、不明1）、逆台形3基（縄文1、中期中葉2）、不整形1基（縄文中期1）、不明1基である。土坑の分布は遺跡全体の把握ができないので断定はできないが、調査区内に限っていえば調査区南側に集中している。

## 2 遺物

出土した遺物の総量は大コンテナ（41×31×30cm）で30箱である。土器は遺構内外併せて708点登録し、342点掲載した。石器は445点登録し、188点掲載した。

### （1）土器

＜第Ⅰ群土器＞縄文時代早期の土器である。無文・沈線文・格子文・刺突文・貝殻文・条痕文などにより文様が施される土器群である。

＜第Ⅱ群土器＞縄文時代中期に該当すると思われる土器群である。平行沈線・隆線・隆沈線の文様を施す。特に沈線・隆沈線による渦巻文・懸垂文が描かれる傾向にある。器種は深鉢・浅鉢がある。

＜第Ⅲ群土器＞縄文時代後期初頭に該当すると思われる土器である。門前式・牛ガ沢式に比類し、山形状の口縁をもち、頂部から頸部にかけて降帯を貼り付け、押圧による連続した円形文を施す体部は、磨消しによるU字状の文様を施す。

### （2）石器

石器は石鏃38点、尖頭器3点、石匙6点、石斧20点、削撗器61点、磨製石斧13点、打製石斧3点、磨石8点、凹石6点、敲打石2点、特殊磨石15点、石皿10点、砥石2点、石棒1点が出土している。石材は剥片石器は黒曜石もみられるが頁岩が卓越し、石斧類は、砂岩、頁岩、麻岩が多い。

### （3）石製品

三角彫形石製品1点、三日月形石製品3点、有孔石製品2点、垂飾1点、石棒1点、その他1点が出土している。

#### 参考文献

- 1982 いわき市教育委員会「竹之内遺跡」いわき市埋蔵文化財調査報告書第8冊。
- 1983 盛岡市教育委員会「大船遺跡群一大新町遺跡一」昭和57年度発掘調査概報。
- 1985 盛岡市教育委員会「御ノ木平遺跡」昭和59年度発掘調査概報。
- 1987 盛岡市教育委員会「安部船・早臨遺跡」昭和61年度発掘調査概報。
- 1988 盛岡市教育委員会「大船遺跡群一大船町遺跡一」昭和61年発掘調査概報。
- 1990 盛岡市教育委員会「大船遺跡群一大新町遺跡一」平成元年度発掘調査概報。
- 1991 福島県教育委員会「前原A遺跡」福島県文化財調査報告書第249集。
- 1995 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター「上米内遺跡発掘調査報告書」文振報第220集。
- 1995 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター「松屋敷遺跡発掘調査報告書」文振報第221集。
- 1995 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター「上八木田1遺跡発掘調査報告書」文振報第227集。
- 1995 盛岡市教育委員会「大船遺跡」第1次発掘調査報告書。
- 1997 盛岡市教育委員会「大船道跡群一大船町道跡一」平成6・7年発掘調査概報。
- 1988 大竹憲治「石冠小舟・I類石冠の検討」いわき地方史研究第25号。
- 1988 大竹憲治「二角形土製品寸考」いわき地方史研究概説1号。
- 1994 本間 宏「大木10・土器の考え方」しのぶ考古第10号。
- 1996 鶴塚正浩「東北地方北部に於ける縄文時代早期前半の土器編年」(上)(下)史録第27号。
- 1998 阿部勝則「岩手県における縄文時代中期中葉の底部穿孔埋蔵について—住居内出土事例を中心に—」紀要XⅨ。

## VII. 分析・鑑定

盛岡市山王山遺跡出土の炭化材の樹種

高橋 利彦（木工舎「ゆい」）

### 1. 試料

試料は2点で、縄文時代中期のものとされる竪穴住居址RA002とRA020の床面直上の埋土中からそれぞれ出土したものである。

### 2. 方法

試料を室内で自然乾燥させたのち木口・柾目・板目の3断面を作製・実体顕微鏡と走査型電子顕微鏡（加速電圧10kV）で観察・同定した。同時に電子顕微鏡写真図版（図版1）も作成した。電子顕微鏡観察に当たっては（株）ニッセツ・ファイン・プロダクツ釜石試験分析センターのご協力をいただいた。記して感謝いたします。なお、ネガ・フィルムと残った炭化材は木工舎「ゆい」に保管されている。

### 3. 結果

試料はともにクリに同定された。試料の主な解剖学的特徴や一般的な性質は次のようなものである。

・クリ (*Castanea crenata*) ブナ科

環孔材では孔圓部は1~4列、孔圓外でやや急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大造管は単獨、横断面では円形~橢円形、小造管は単獨および2~3個が斜（放射）方向に複合、横断面では角張った橢円形~多角形。造管は單穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では柵状~網目状となる。放射組織は同性、單列、1~15細胞高。柔組織は周囲状および短接線状。年輪界は明瞭。

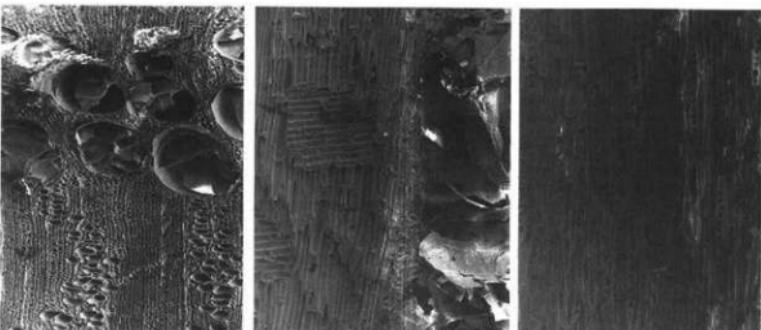
クリは、北海道西部・本州・四国・九州の山野に自生し、また植栽される落葉高木である。材はやや重硬で、強度は大きく、加工はやや困難であるが、耐朽性が高い。土木・建築・器具・家具・薪炭材・楳木・海苔粗朶などの用途が知られている。

住居址から検出されたクリの炭化材は、筆者がこれまで検討した県内各地・各時代の試料の中で最も多く認められているるが、今回の試料とはほぼ同時期の縄文時代中期とされるクリ炭化材は岩手町秋浦Ⅰ<sup>①</sup>・Ⅱ<sup>②</sup>遺跡の住居址からも検出されている。

<注>

1) ほかにケヤキも認められている。詳細は既報の「秋浦Ⅰ遺跡出土炭化材樹種同定報告書」(木工舎「ゆい」1998)を参照のこと。

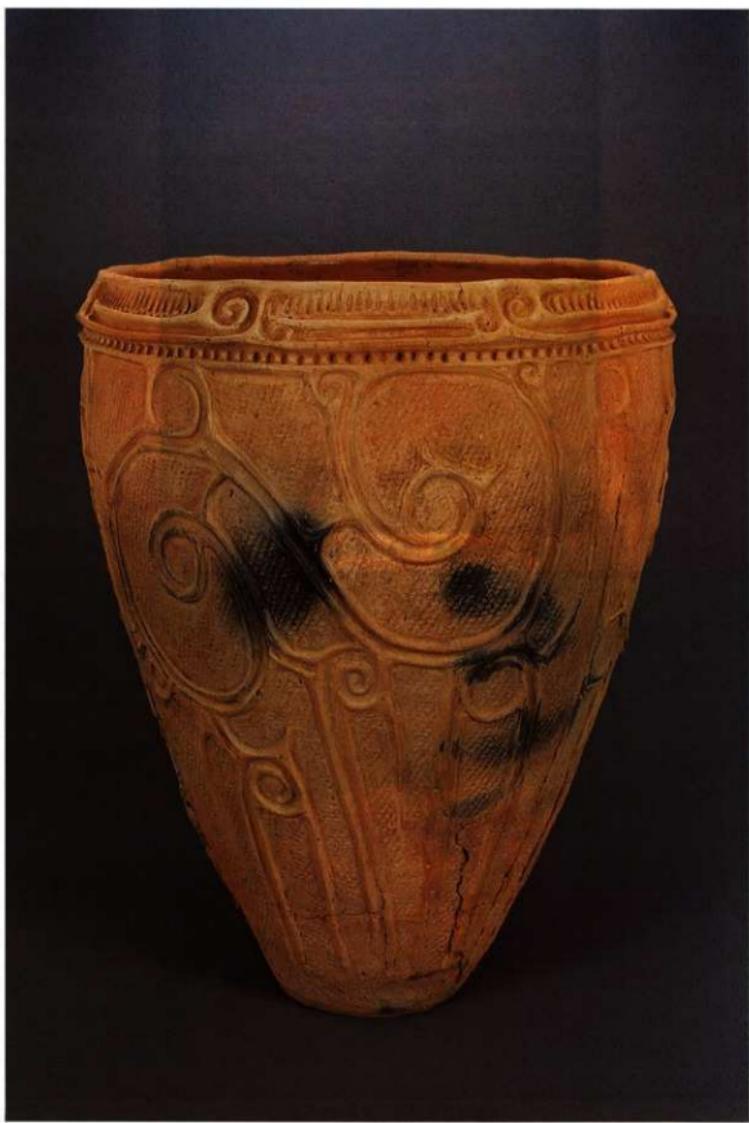
2) ほかにコナラ節もある。別稿の「秋浦Ⅱ遺跡出土炭化材樹種同定報告書」(木工舎「ゆい」1999)を参照のこと。



クリ RA020出土試料

# 写 真 図 版





写真図版1 埋甕 (R A018内出土)



埋甕（R A020内出土）



三角塔形石製品（R A015内出土）

写真図版 2 埋甕・三角塔形石製品



埋甕断面（R A 018）



埋甕断面（R A 020）

写真図版 3 埋甕出土状況（R A 018・020）



遺跡遠景

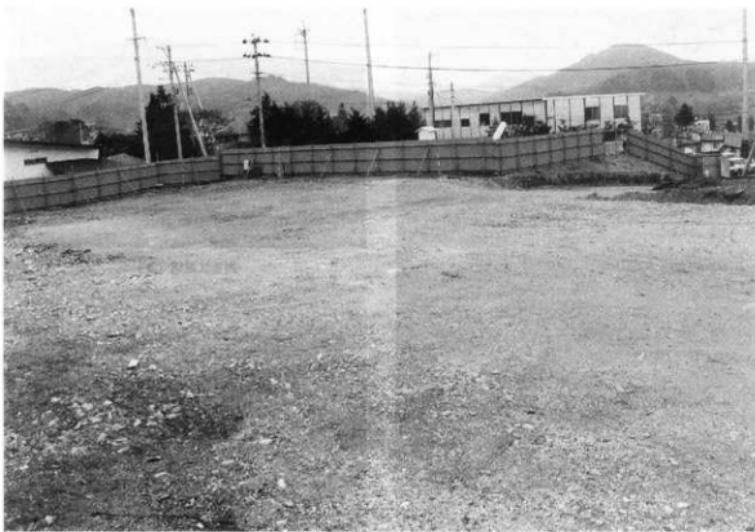


遺跡近景

写真図版4 遺跡全景



調査区現況（西側から）



調査区現況（北西侧から）

写真図版 5 調査区現況



調査区現況（北側から）



基本層序



調査区周辺（東）



調査区周辺（東）

写真図版 6 調査区現況・基本層序



R E 001 平面



R E 001 土層断面



遺物出土状況（1）

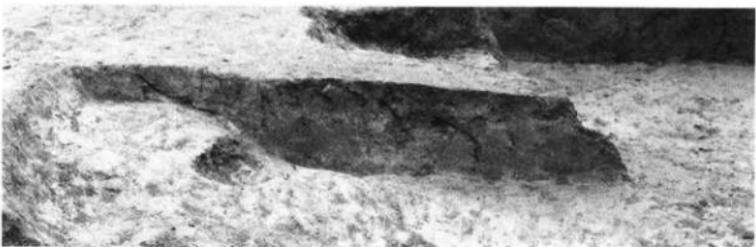


遺物出土状況（2）

写真図版 7 R E 001 穴状遺構



R E 002 平面



R E 002 土層断面



作業風景（1）



作業風景（2）

写真図版 8 R E 002 竪穴状造構



R A 001 平面



R A 001 土層断面A-A'



R A 001 土層断面B-B'

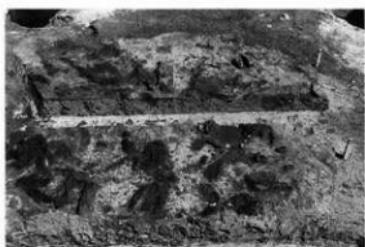
写真図版 9 R A 001 竪穴住居跡



R A 002 平面



R A 002 土層断面



炭化物検出状況



炉平面

写真図版10 R A 002竪穴住居跡



R A 003 平面



R A 003 土層断面



土器出土状況



炉断面

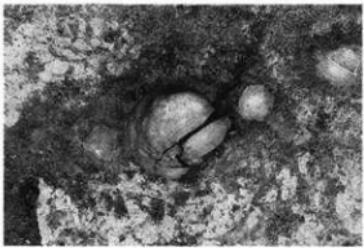
写真図版11 R A 003竪穴住居跡



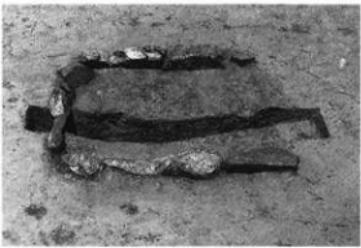
R A 004 平面



R A 004 土層断面

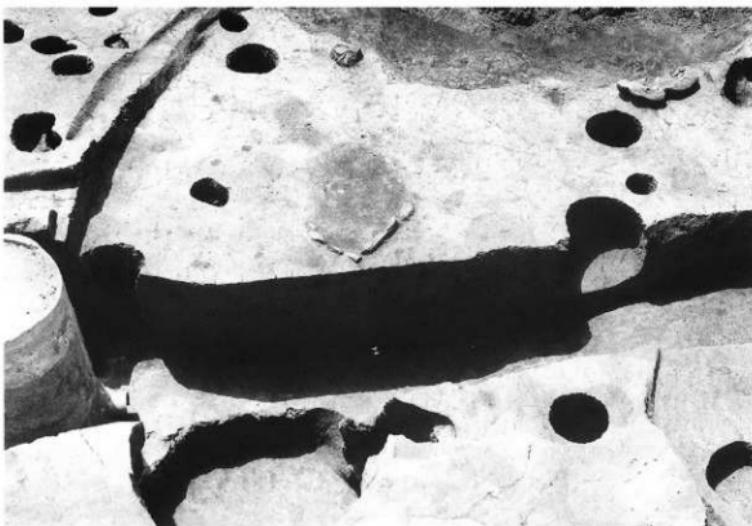


土器出土状況



炉断面

写真図版12 R A 004竪穴住居跡



RA 005 平面



RA 005 土層断面



土器出土状況



炉断面

写真図版13 RA 005竪穴住居跡



R A 006 平面



R A 006 土層断面



土器埋設炉平面



土器埋設炉断面

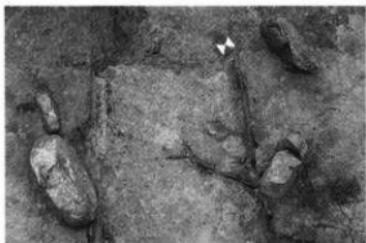
写真図版14 R A 006竪穴住居跡



R A 007 平面



R A 007 土層断面



炉平面



炉断面

写真図版15 R A 007竪穴住居跡



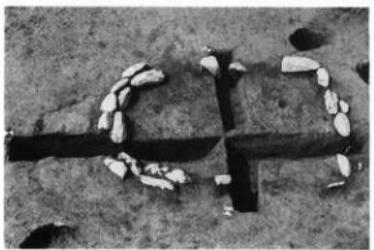
R A 008 平面



R A 008 土層断面



炉平面



炉断面

写真図版16 R A 008竪穴住居跡



R A 009 平面



R A 009 断面



炉平面



炉断面

写真図版17 R A 009竪穴住居跡



R A010 平面



R A010 土層断面



炉平面



炉断面

写真図版18 R A010竪穴住居跡



R A011 平面



R A011 土層断面



土器出土状況



炉平面

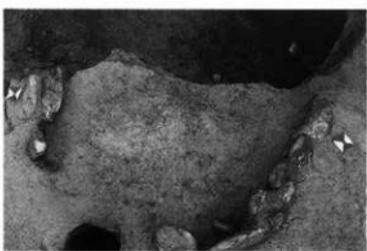
写真図版19 R A011竪穴住居跡



R A012 平面



R A012 土层断面



炉平面



炉断面

写真図版20 R A012竪穴住居跡



R A015 平面



R A015 土層断面B-B'



R A015 土層断面A-A'



三角形石製品出土状況

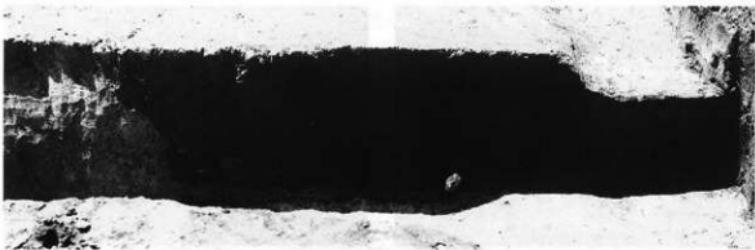
写真図版21 R A015竪穴住居跡



R A016 平面

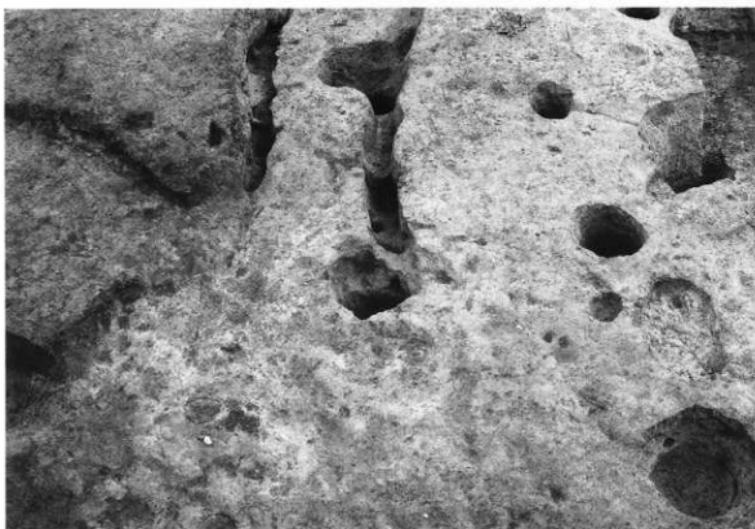


R A016 土層断面A-A'



R A016 土層断面B-B'

写真図版22 R A016竪穴住居跡



R A017 平面



R A017 土層断面

写真図版23 R A017竪穴住居跡



R A018 平面



R A018 土层断面



炉平面

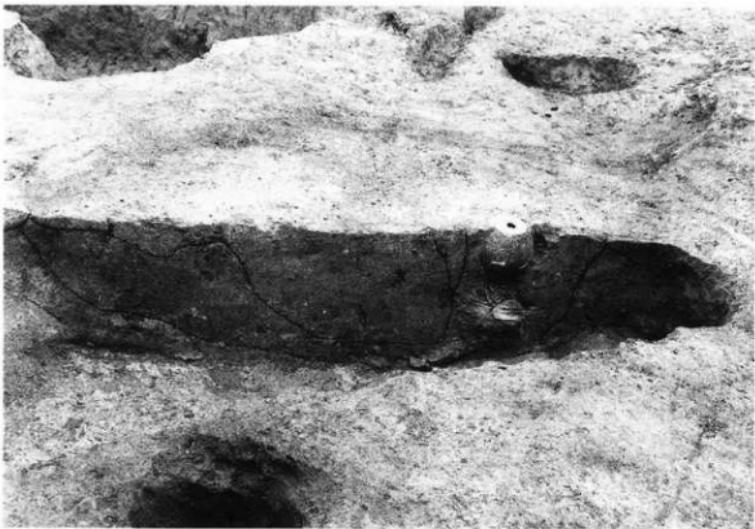


炉断面

写真图版24 R A018竖穴住居跡（1）



R A018 埋甕（1）土層断面



R A018 埋甕（2）土層断面  
写真図版25 R A018竪穴住居跡（2）



R A019 平面



R A019 土層断面



R A019 土層断面

写真図版26 R A019竪穴住居跡（1）



R A019 土層断面



炉平面



炉断面



作業風景

写真図版27 R A019堅穴住居跡（2）



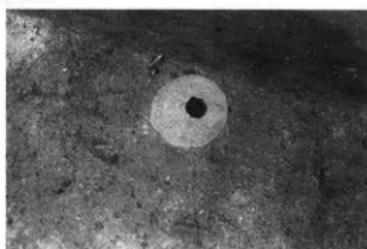
R A 020 平面



R A 020 土层断面



炉断面



埋葬底部出土状况

写真图版28 R A 020竖穴住居跡（1）



R A 020 埋甕土層断面



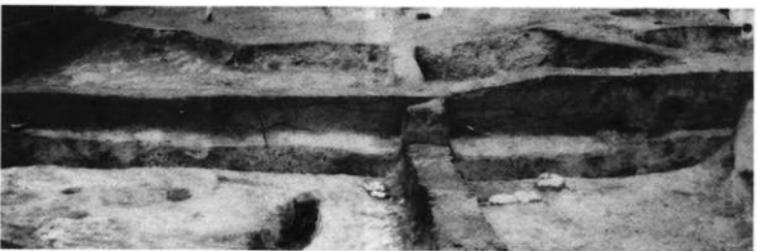
土器出土状況（1）



土器出土状況（2）



R A 021 平面

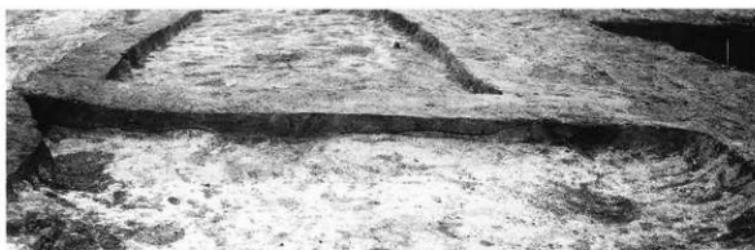


R A 021 土層断面

写真図版30 R A 021竪穴住居跡



R A 022 平面

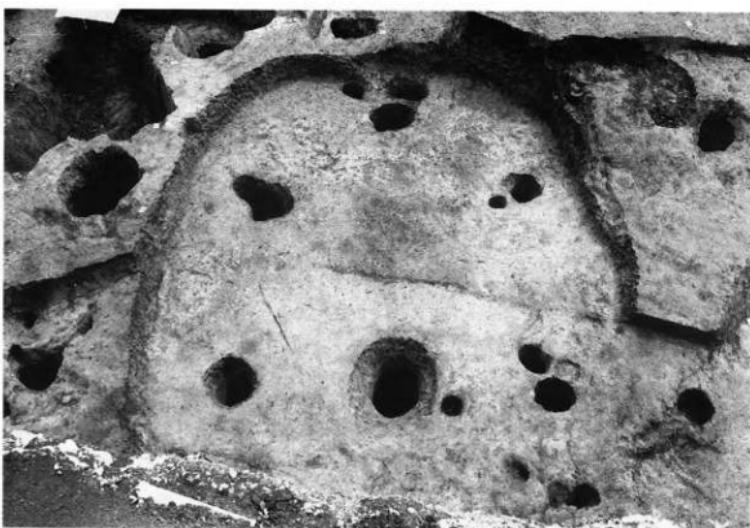


R A 022 土層断面 A-A'



R A 022 土層断面 B-B'

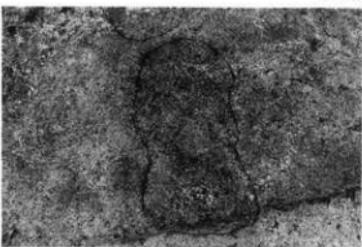
写真図版31 R A 022竪穴住居跡



R A023 平面



R A023 土層断面



焼土平面



焼土断面

写真図版32 R A023竪穴住居跡



R A 024 平面



R A 024 土層断面A-A'



R A 024 土層断面B-B'

写真図版33 R A 024竪穴住居跡



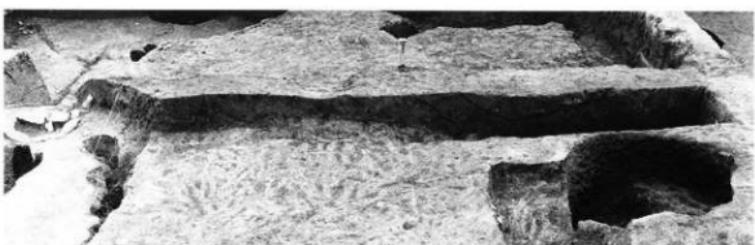
R A 025 平面



R A 025 断面



R A 026 平面



R A 026 土層断面



炉平面



炉断面

写真図版35 R A 026竪穴住居跡



R A 027 平面



R A 030 平面

写真図版36 R A 027・030竪穴住居跡



R A 034 平面



R A 034 土層断面



焼土断面

写真図版37 R A 034竪穴住居跡

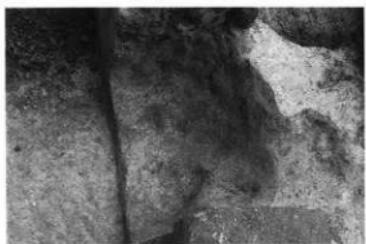


R A 035 平面



R A 035 土層断面

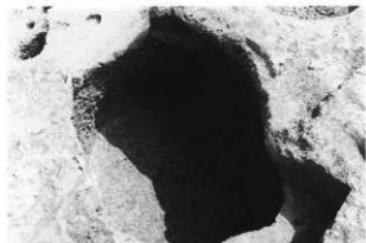
写真図版38 R A 035竪穴住居跡



R D 008 平面



R D 008 土層断面



R D 009 平面



R D 009 土層断面



R D 011 平面



R D 011 土層断面

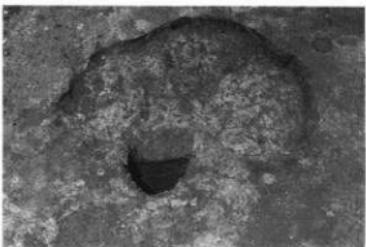


R D 012 平面



R D 012 土層断面

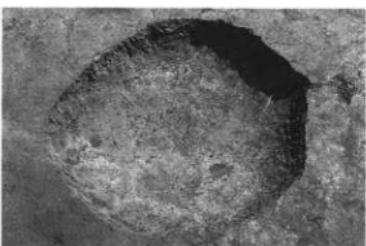
写真図版39 R D 008・009・011・012土坑



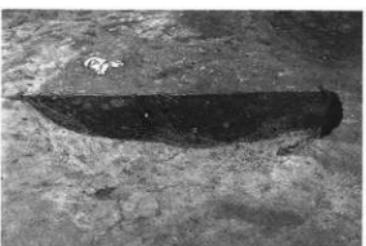
R D013 平面



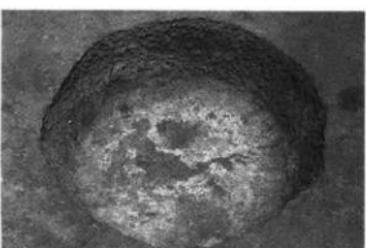
R D013 土層断面



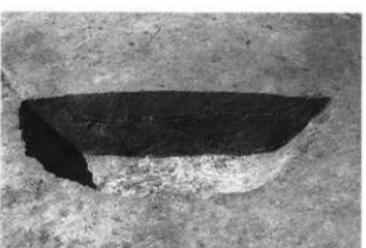
R D015 平面



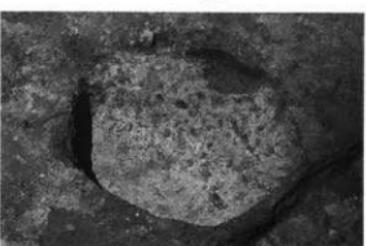
R D015 土層断面



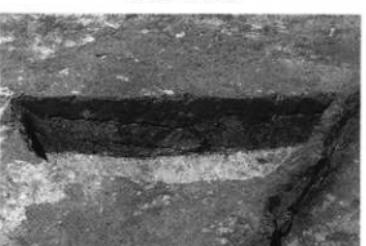
R D016 平面



R D016 土層断面



R D017 平面



R D017 土層断面

写真図版40 R D013・015・016・017土坑



R D018 平面



R D018 土层断面



R D019 平面



R D019 土层断面



R D020 平面



R D020 土层断面



R D021 平面



R D021 土层断面

写真図版41 R D018・019・020・021土坑



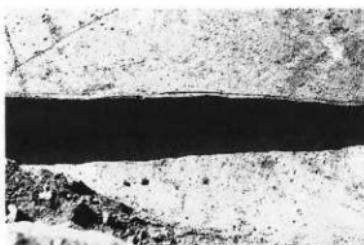
R D 022 平面



R D 022 土層断面



R D 023 平面



R D 023 土層断面



R D 024 平面



R D 024 土層断面

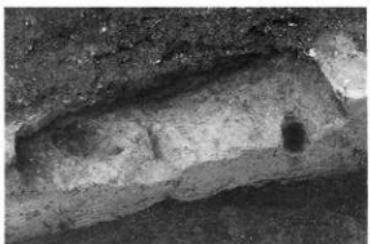


R D 025 平面



R D 025 土層断面

写真図版42 R D 022・023・024・025土坑



R D 026 平面



R D 026 土層断面



R D 027 平面



R D 027 土層断面



R D 028 平面

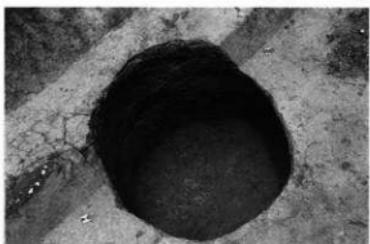


R D 028 土層断面



R D 029 土層断面

写真図版43 R D 026・027・028・029土坑



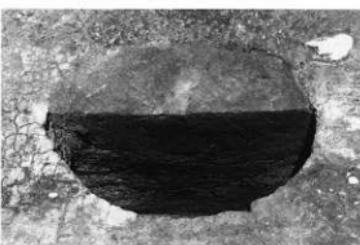
R D 030 平面



R D 030 土層断面



R D 031 平面



R D 031 土層断面



R D 032 平面



R D 032 土層断面

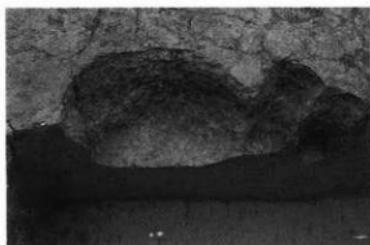


R D 033 平面

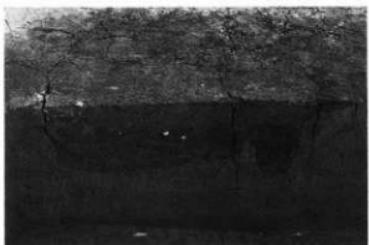


R D 033 土層断面

写真図版44 R D 030・031・032・033土坑



R D 034 平面



R D 034 土層断面



R D 035 平面



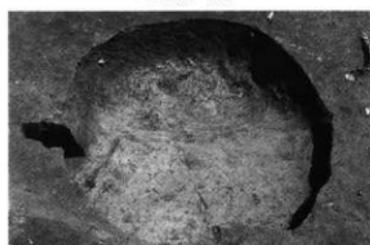
R D 035 土層断面



R D 036 平面



R D 036 土層断面

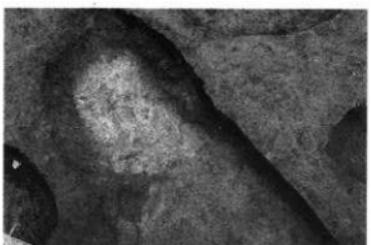


R D 037 平面



R D 037 土層断面

写真図版45 R D 034・035・036・037土坑



R D 039 平面



R D 039 土層断面



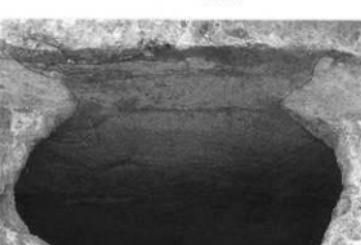
R D 042 平面



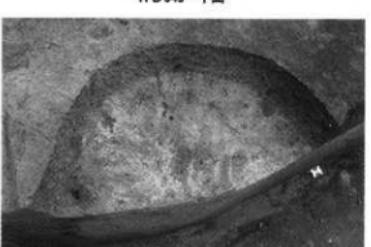
R D 042 土層断面



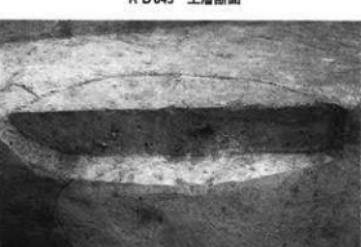
R D 043 平面



R D 043 土層断面

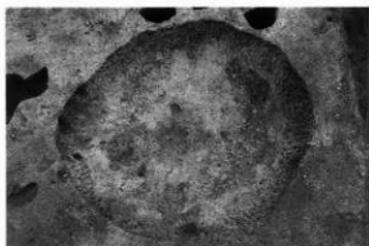


R D 044 平面



R D 044 土層断面

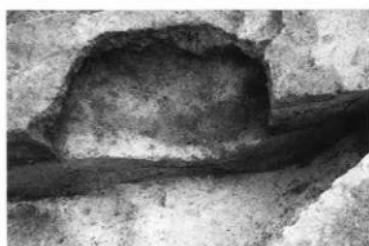
写真図版46 R D 039・042・043・044土坑



R D 045 平面



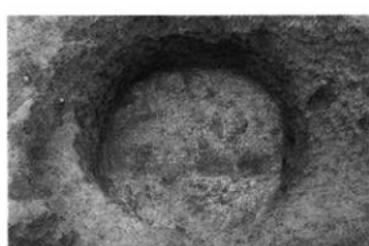
R D 045 土層断面



R D 049 平面



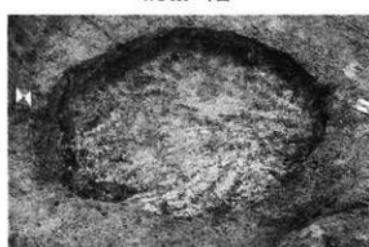
R D 049 土層断面



R D 050 平面



R D 050 土層断面



R D 051 平面



R D 051 土層断面

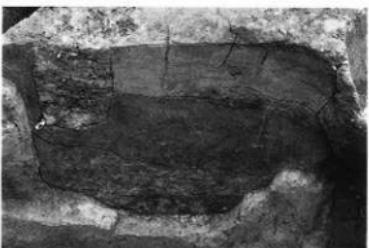
写真図版47 R D 045・049・050・051土坑



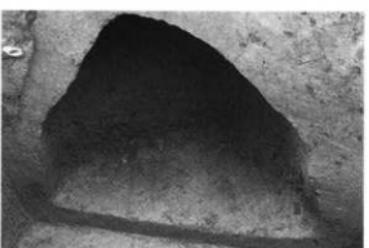
R D 052 平面



R D 052 土層断面



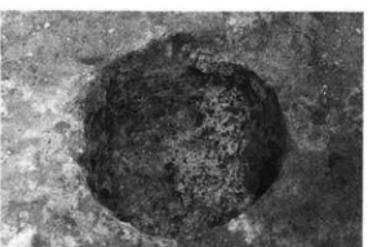
R D 053 土層断面



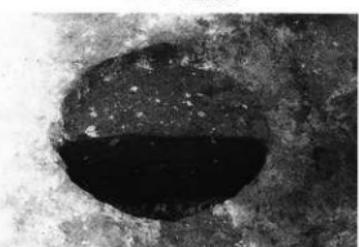
R D 054 平面



R D 054 土層断面

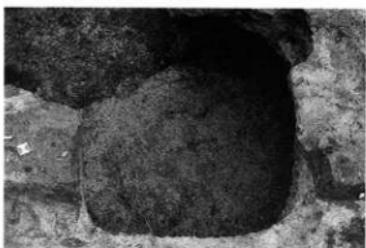


R D 055 平面



R D 055 土層断面

写真図版48 R D 052・053・054・055土坑



R D 056 平面



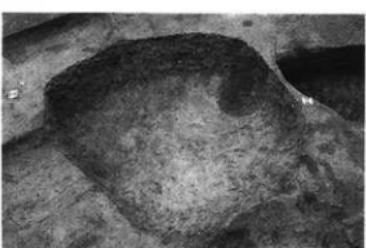
R D 056 土层断面



R D 057 平面



R D 057 土层断面



R D 058 平面



R D 058 土层断面



R D 059 平面



R D 059 土层断面

写真図版49 R D 056・057・058・059土坑



R D 060 平面



R D 060 土層断面



R D 062 平面



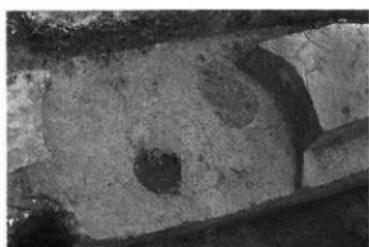
R D 062 土層断面



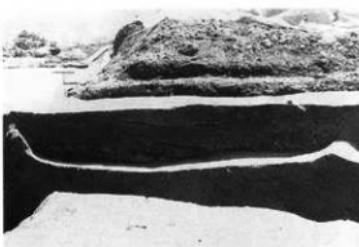
R D 063 平面



R D 063 土層断面



R D 064 平面



R D 064 土層断面

写真図版50 R D 060・062・063・064土坑



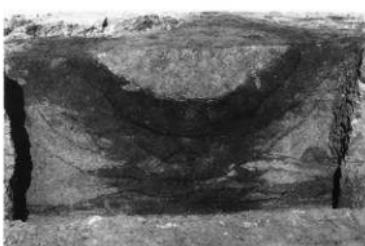
R D 065 平面



R D 065 土層断面



R D 066 平面



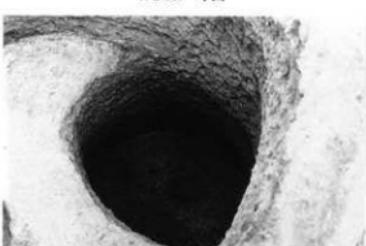
R D 066 土層断面



R D 067 平面



R D 067 土層断面



R D 068 平面

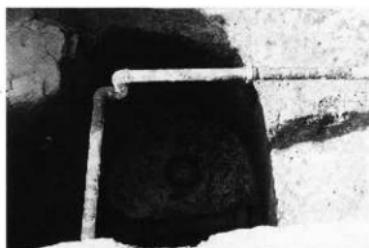


R D 068 土層断面

写真図版51 R D 065・066・067・068土坑



R D069 平面



R D070 平面



R D070 土層断面



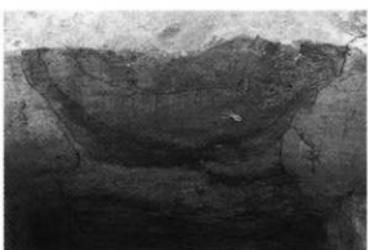
R D071 平面



R D071 土層断面



R D072 平面



R D072 土層断面

写真図版52 R D069・070・071・072土坑



R D 074 平面



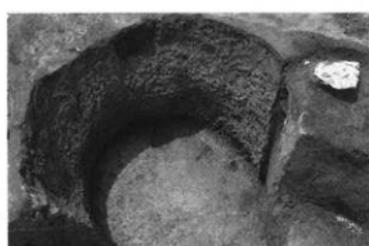
R D 074 土層断面



R D 075 平面



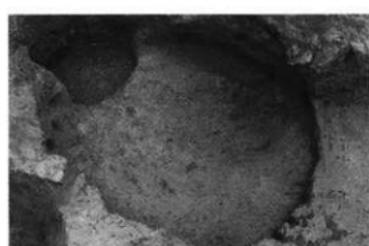
R D 075 土層断面



R D 076 平面



R D 076 土層断面



R D 077 平面

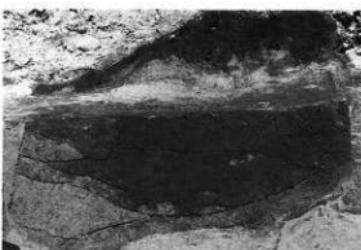


R D 077 土層断面

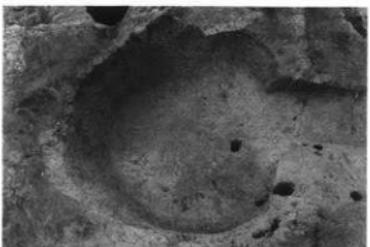
写真図版53 R 074・075・076・077土坑



R D 078 平面



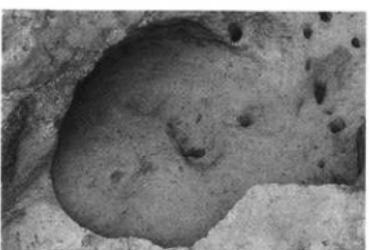
R D 078 土层断面



R D 079 平面



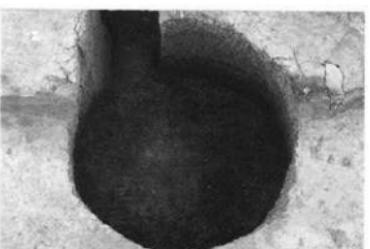
R D 079 土层断面



R D 080 平面



R D 080 土层断面



R D 082 平面



R D 082 土层断面

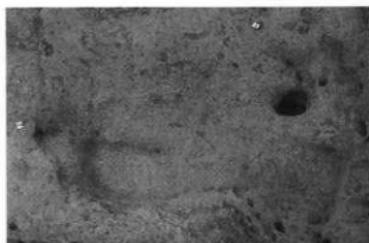
写真图版54 R D 078 · 079 · 080 · 082土坑



R D 083 平面



R D 083 土層断面



R D 084 平面



R D 084 土層断面



R D 085 平面



R D 085 土層断面



R D 086 平面



R D 086 土層断面

写真図版55 R D 083・084・085・086土坑



R D 087 平面



R D 087 土層断面



R D 089 平面



R D 089 土層断面



R D 091 平面



R D 091 土層断面



R D 092 平面

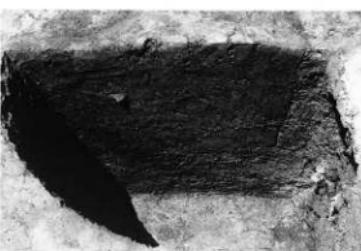


R D 092 土層断面

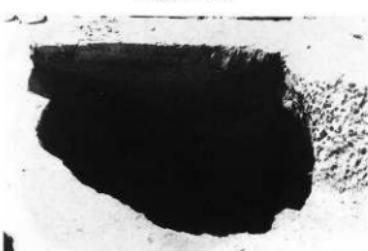
写真図版56 R D 087・089・091・092土坑



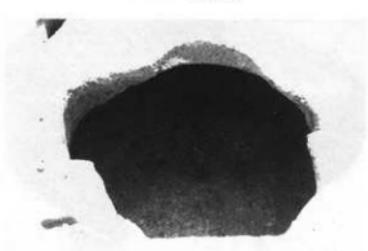
R D 093 平面



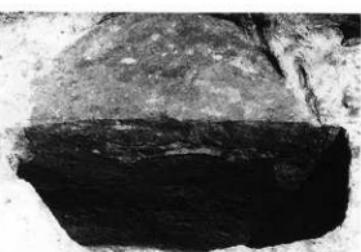
R D 093 土层断面



R D 094 土层断面



R D 096 平面



R D 096 土层断面

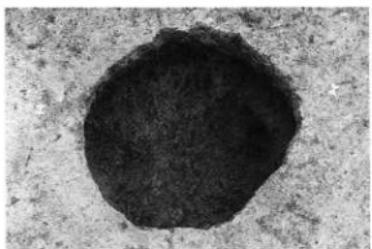


R D 097 平面

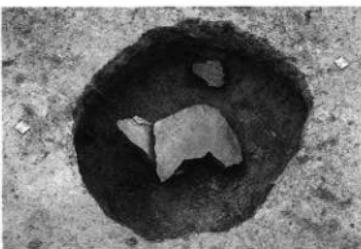


R D 097 土层断面

写真図版57 R D 093・094・096・097土坑



R D 098 平面



R D 098 出土状况



R D 098 土层断面



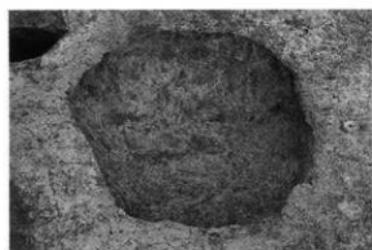
R D 099 土层断面



R D 100・101 平面



R D 100・101 土层断面

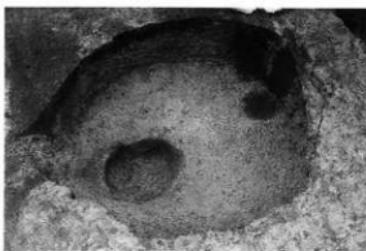


R D 102 平面



R D 102 土层断面

写真図版58 R D 098・099・100・101・102土坑



R D 103 平面



R D 103 土層断面



R D 104 平面



R D 104 土層断面



R D 105 土層断面

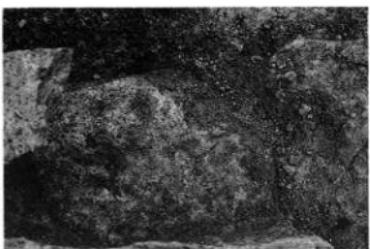


R D 106 平面



R D 106 土層断面

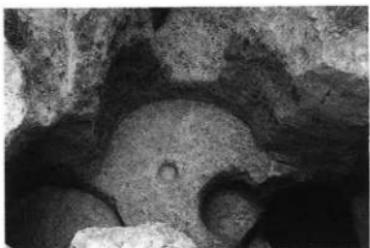
写真図版59 R D 103・104・105・106土坑



R D108 平面



R D108 土層断面



R D109 平面



R D109 土層断面



R D110 平面



R D110 土層断面

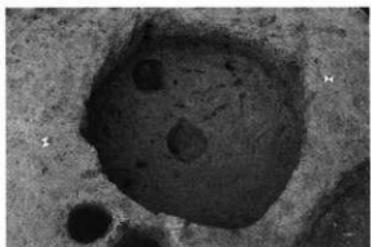


R D111 平面



R D111 土層断面

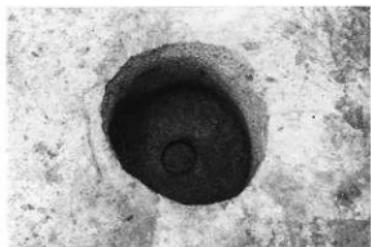
写真図版60 R D108・109・110・111土坑



RD112 平面



RD112 土層断面



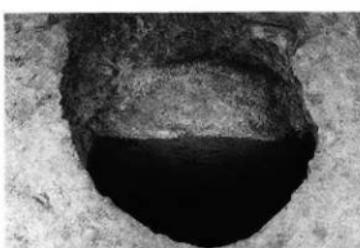
RD113 平面



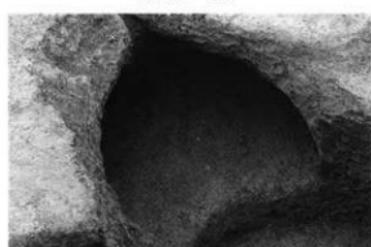
RD113 土層断面



RD115 平面



RD115 土層断面



RD116 平面



RD116 土層断面

写真図版61 RD112・113・115・116土坑



R D117 平面・土層断面



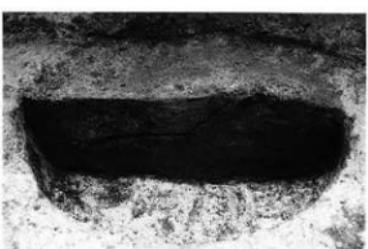
R D118 平面



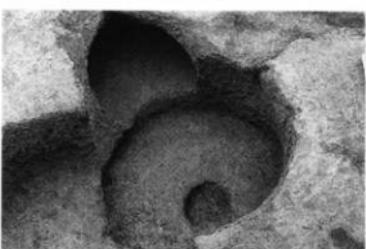
R D118 土層断面



R D119 平面



R D119 土層断面



R D120 平面



R D120 土層断面

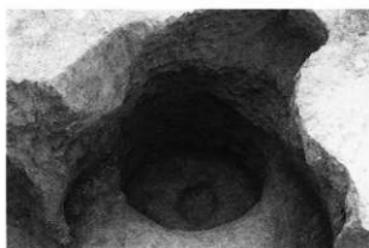
写真図版62 R D117・118・119・120土坑



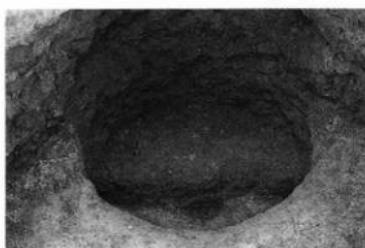
RD121 平面



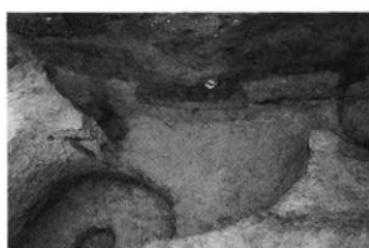
RD121 土層断面



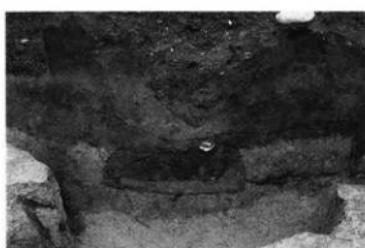
RD122 平面



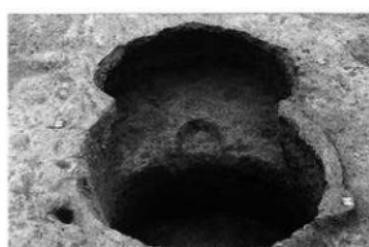
RD122 土層断面



RD123 平面



RD123 土層断面

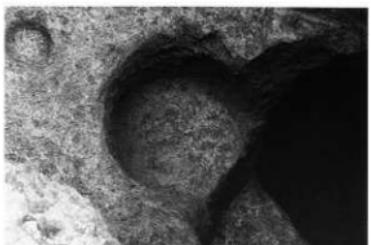


RD124 平面

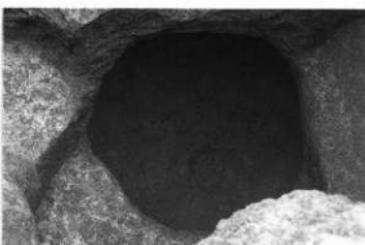


RD124 土層断面

写真図版63 RD121・122・123・124土坑



R D125 平面



R D126 平面



R D127 平面



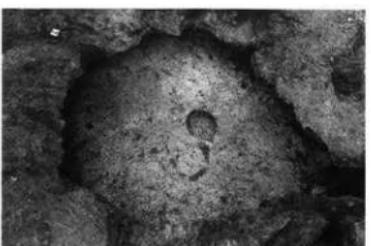
R D127 土層断面



R D128 平面



R D128 土層断面



R D129 平面

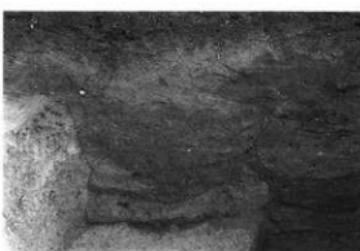


R D129 土層断面

写真図版64 R D125・126・127・128・129土坑



R D130 平面



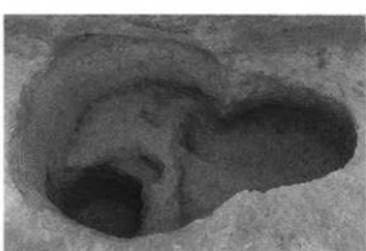
R D130 土層断面



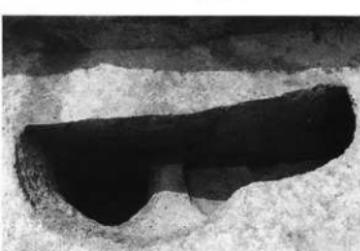
R D131 平面



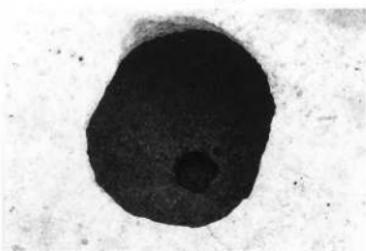
R D131 土層断面



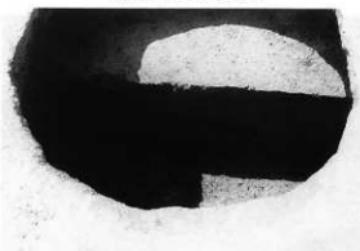
R D132 + 133 平面



R D132 + 133 土層断面



R D134 平面



R D134 断面

写真図版65 R D130・131・132・133・134土坑



R D135 平面



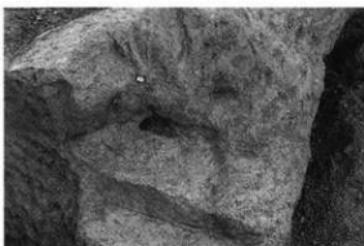
R D135 土層断面



R D136 平面



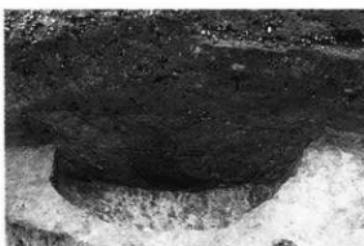
R D136 土層断面



R D138 平面



R D138 土層断面

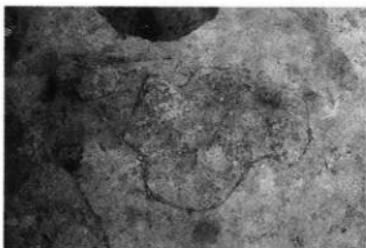


R D139 断面

写真図版66 R D135・136・138・139土坑



RF 001 土層断面



RF 003 平面

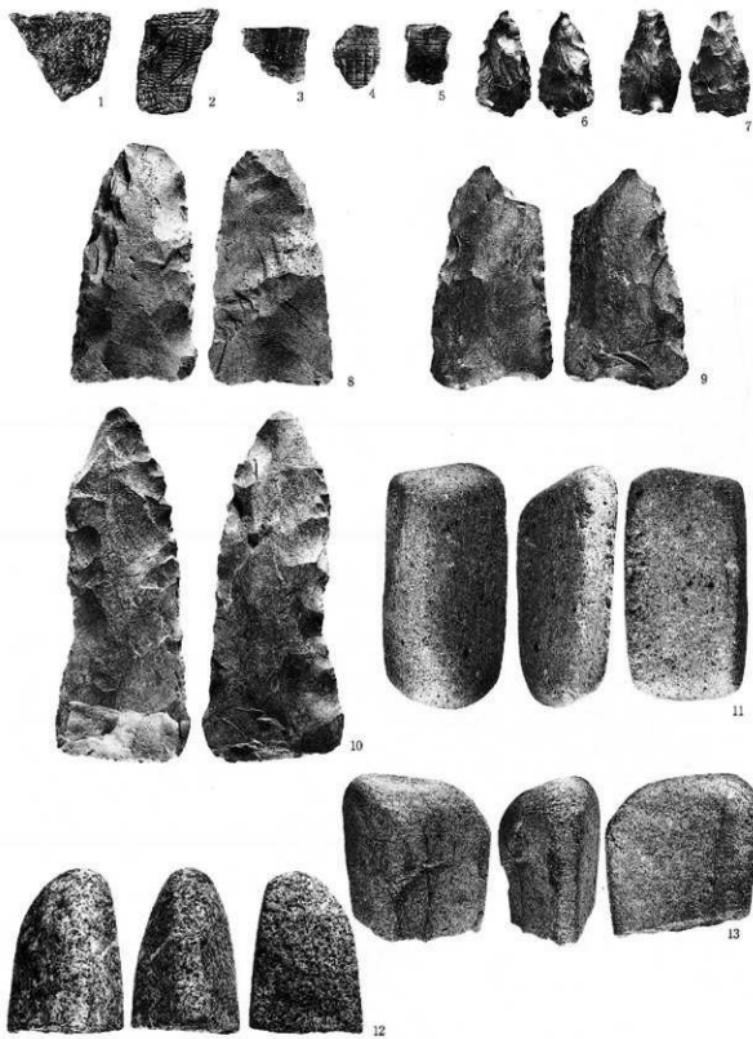


RF 003 土層断面



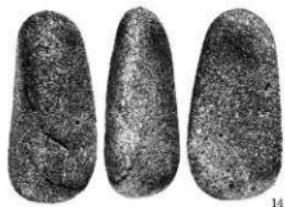
RZ 002 平面

写真図版67 RF 001・003焼土遺構・R Z 002柱穴状小土坑群

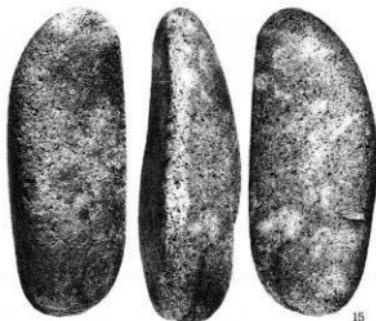


1~10 S=1/3  
他 S=1/3

写真図版68 造構内出土遺物（1）



14



15



16



17



18



19



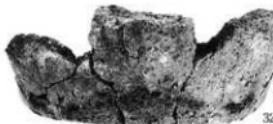
20



21

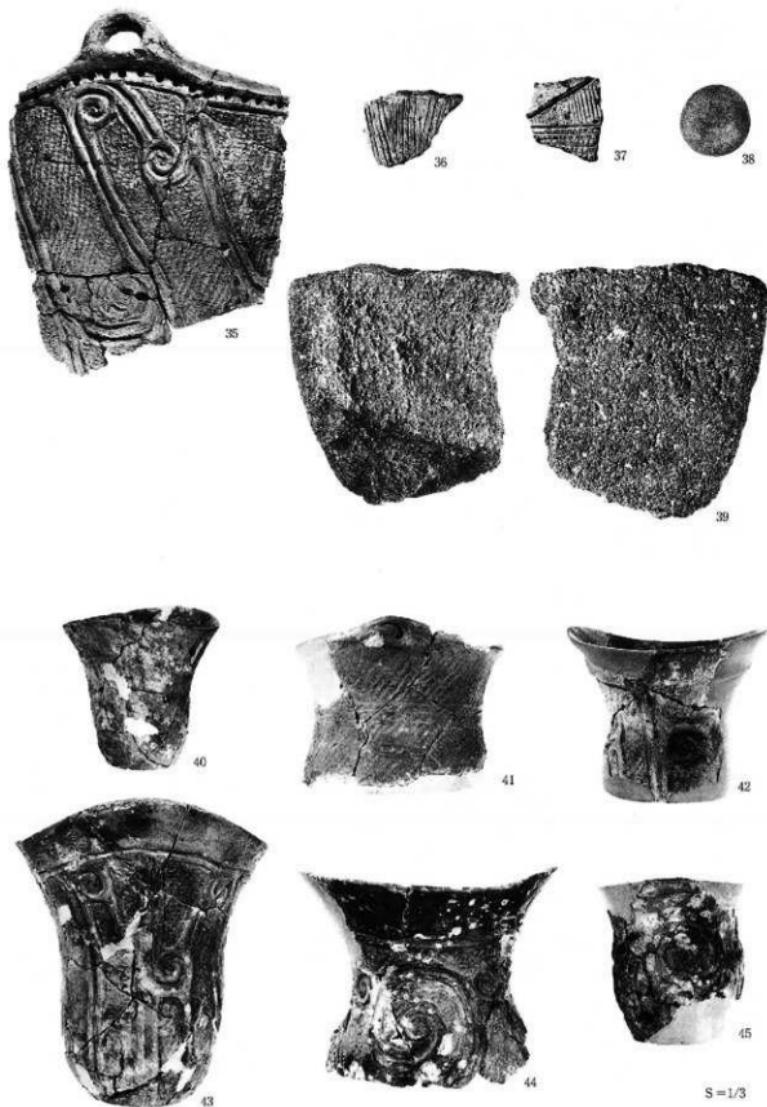
18~21 S=2/3  
他 S=1/3

写真図版69 遺構内出土遺物（2）

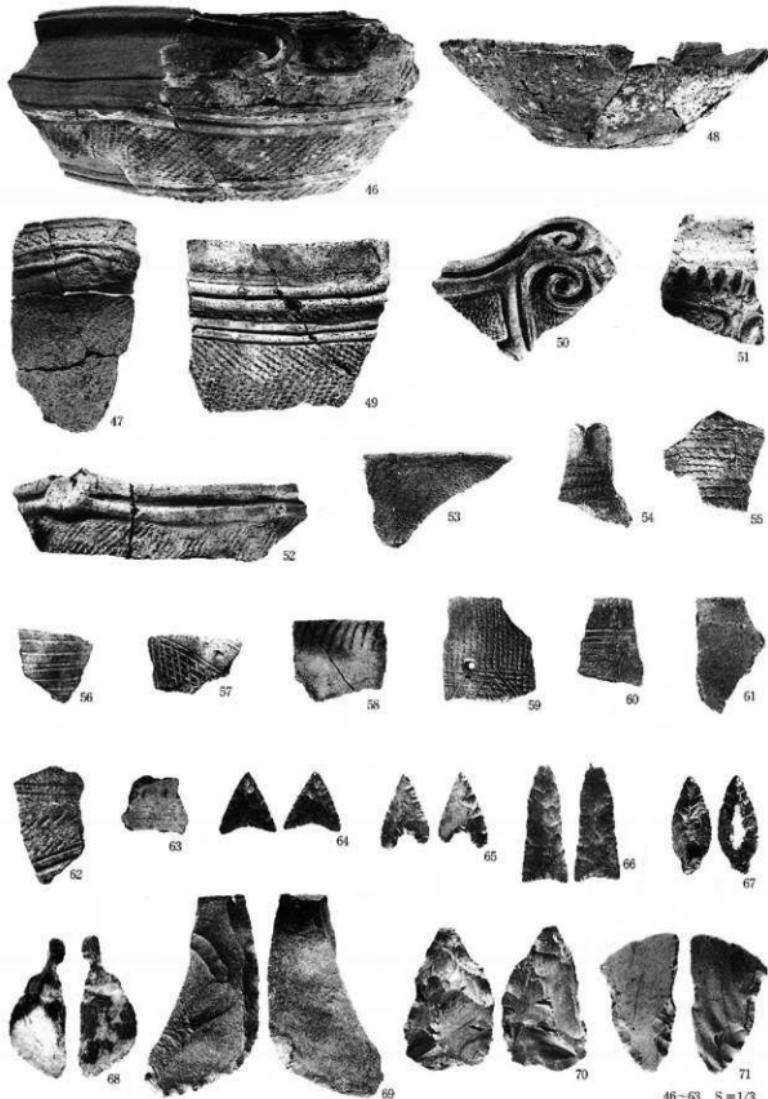


28 S=2/3  
31 S=1/6  
他 S=1/3

写真図版70 遺構内出土遺物（3）



写真図版71 遺構内出土遺物（4）



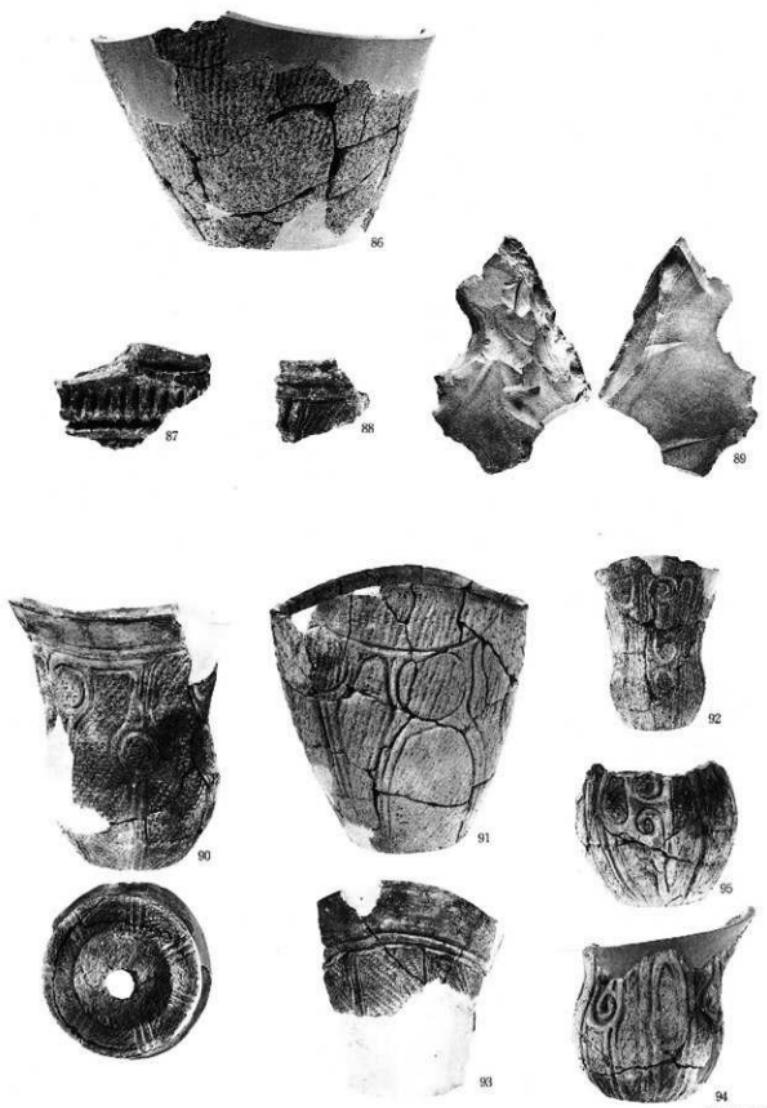
写真図版72 遺構内出土遺物（5）

46~63 S=1/3  
64~71 S=2/3



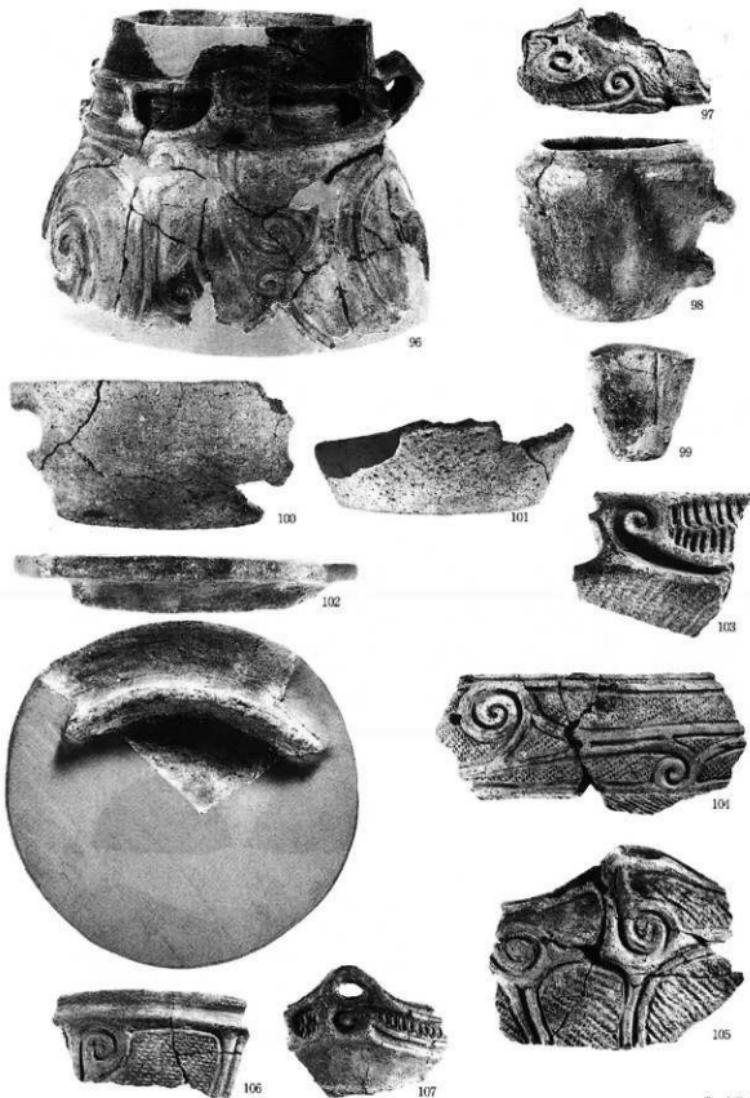
写真図版73 遺構内出土遺物（6）

72~76・82 S=2/3  
他 S=1/3

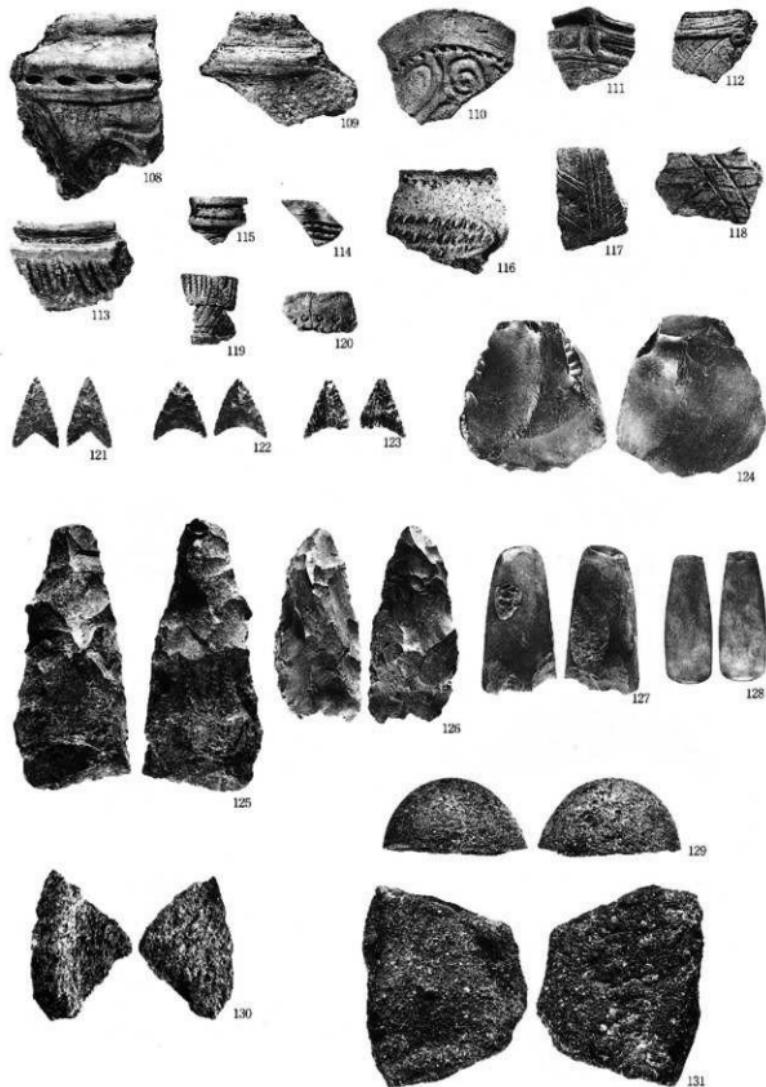


写真図版74 遺構内出土遺物（7）

89 S = 2/3  
他 S = 1/3



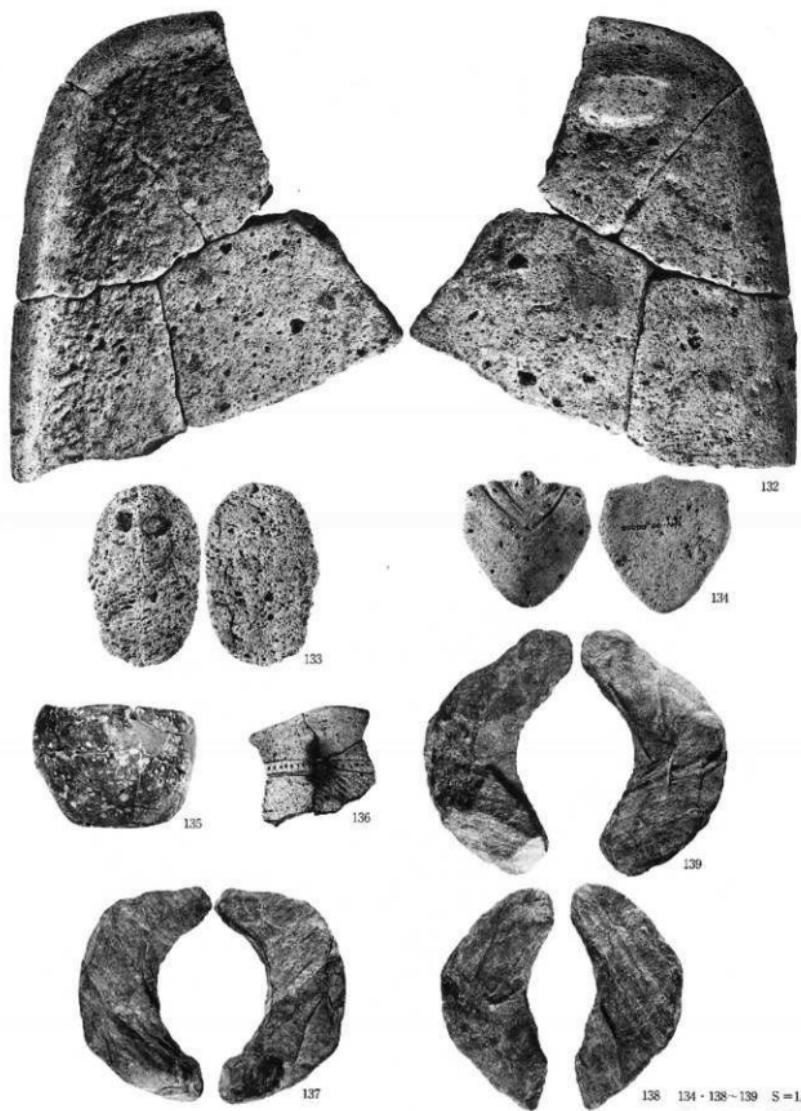
写真図版75 遺構内出土遺物（8）



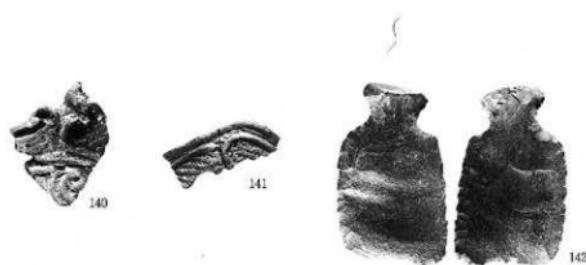
写真図版76 遺構内出土遺物（9）

121~126 S=2/3

他 S=1/3

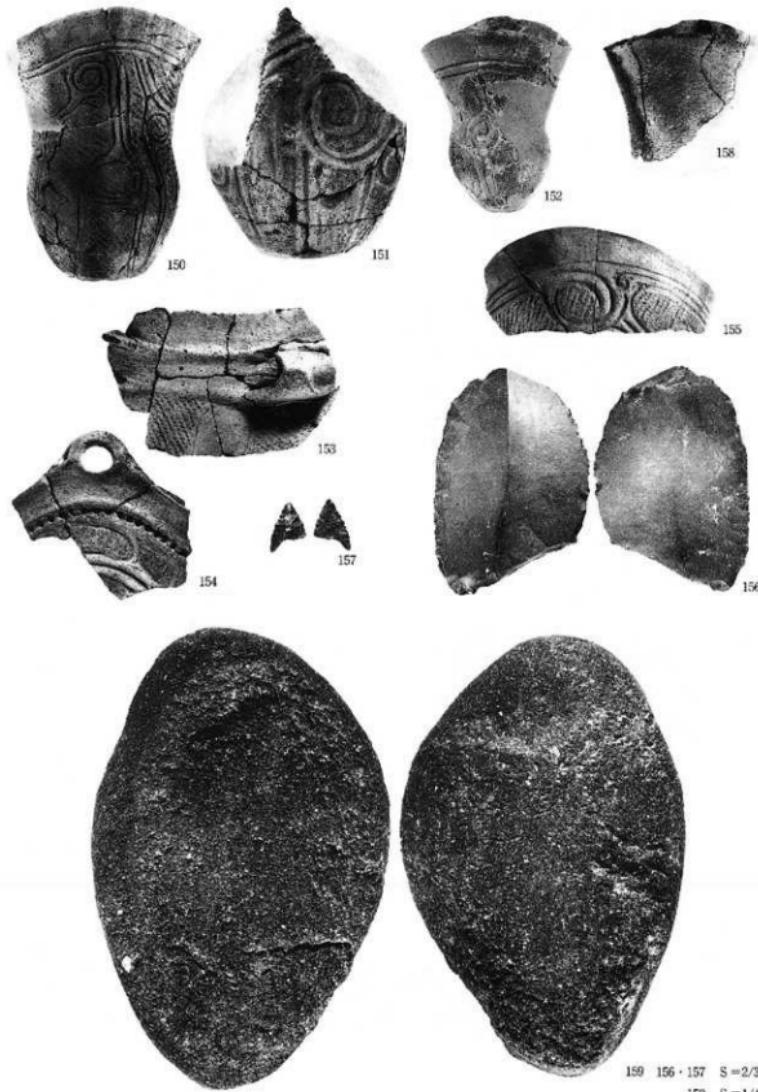


写真図版77 造構内出土遺物 (10)

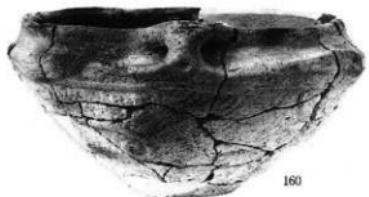


142 S = 2/3  
他 S = 1/3

写真図版78 遺構内出土遺物 (11)



写真図版79 遺構内出土遺物 (12)



160



161



162



163



164



165



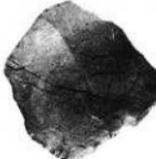
166



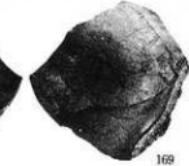
167



168



169



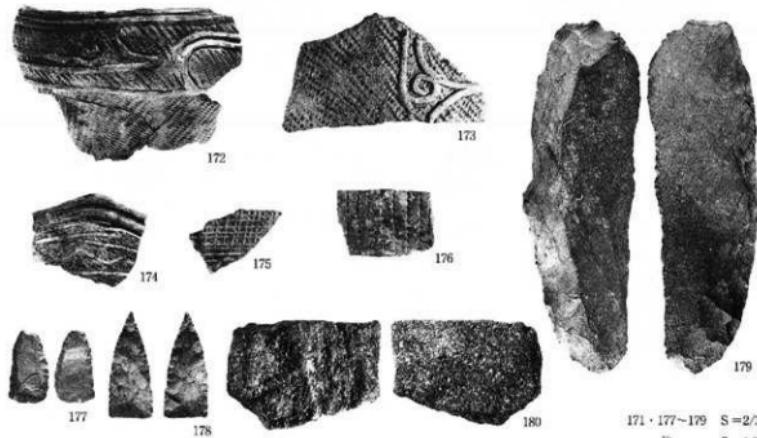
169



170

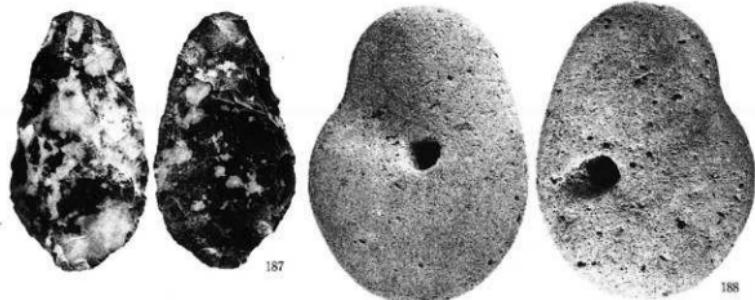
169 S = 2/3  
170 S = 1/3

写真図版80 遺構内出土遺物 (13)



写真図版81 遺構内出土遺物 (14)

171・177~179 S=2/3  
他 S=1/3



187・188 S=2/3  
他 S=1/3

写真図版82 遺構内出土遺物 (15)



189



193



195



194



196



197



198



200



201



202



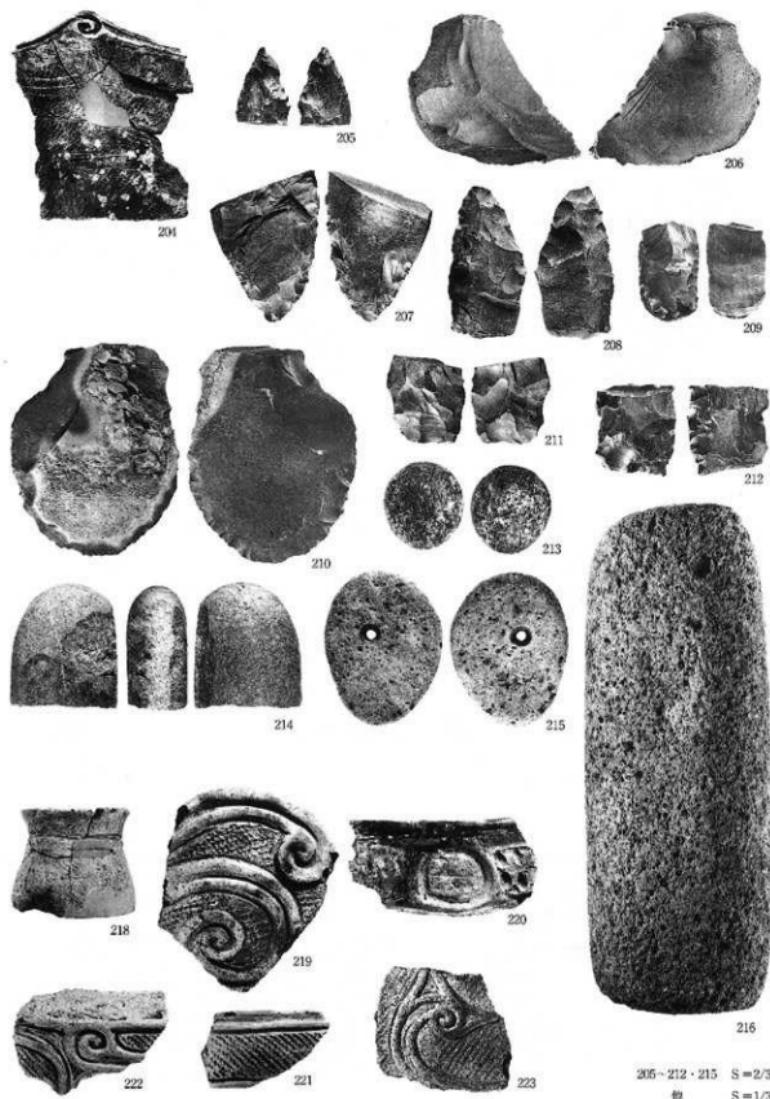
199



203

189 S = 1/6  
193 S = 1/3

写真図版83 遺構内出土遺物 (16)



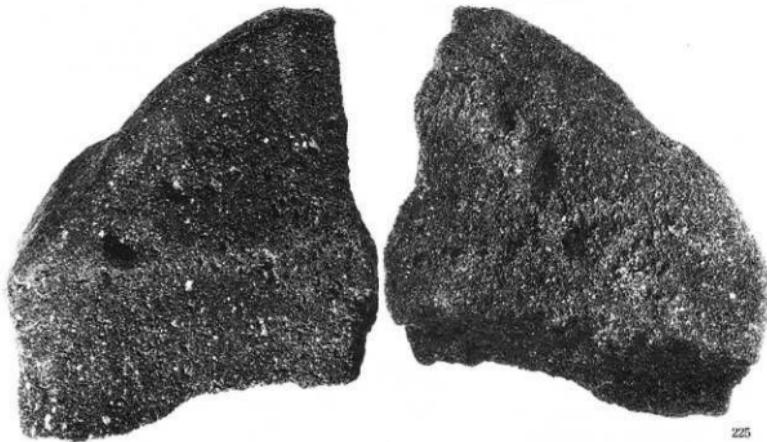
写真図版84 遺構内出土遺物 (17)



224



217



225



226



227



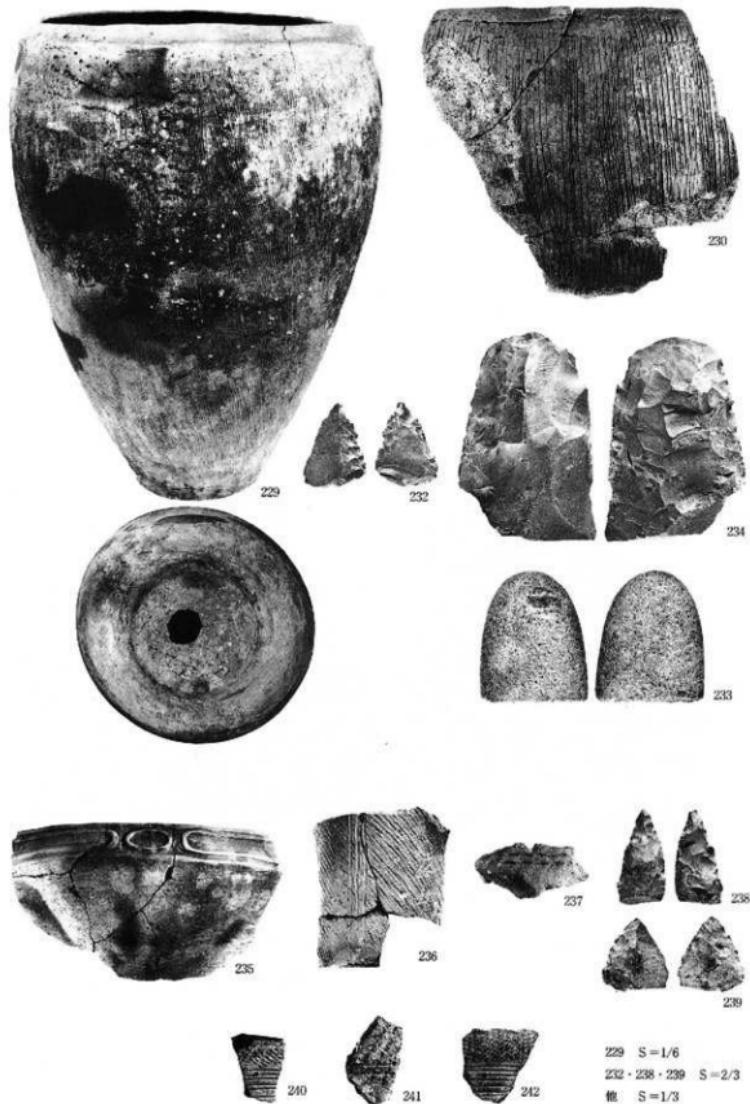
228



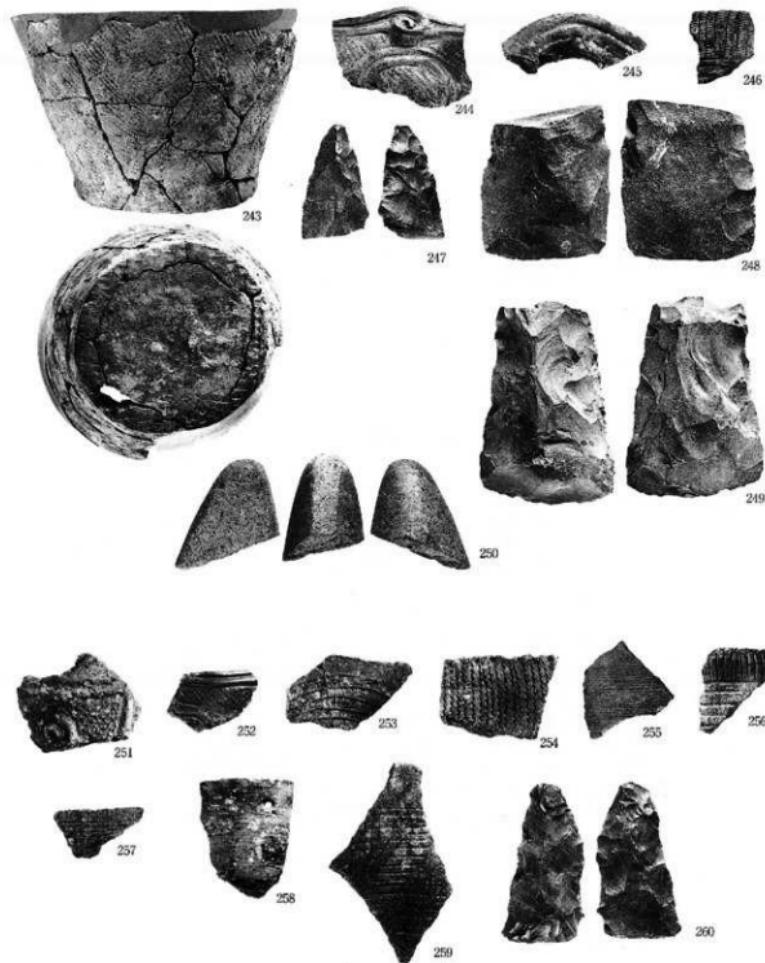
231

244 S=2/3  
他 S=1/3

写真図版85 遺構内出土遺物 (18)

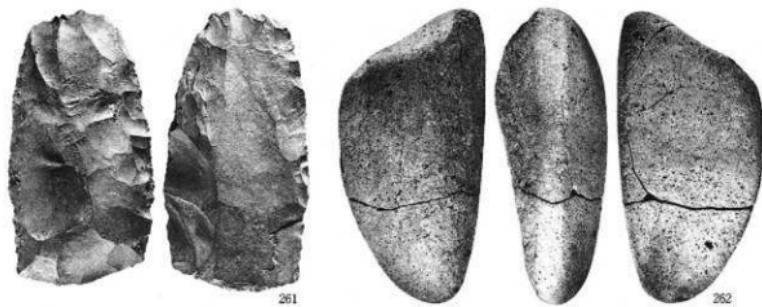


写真図版86 遺構内出土遺物 (19)



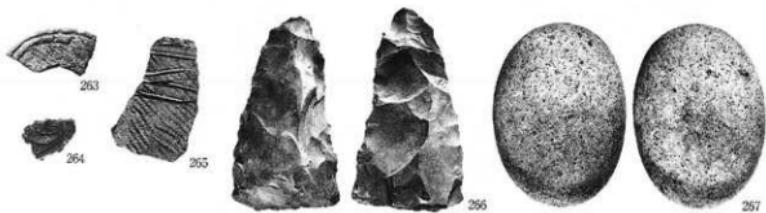
247・249・260 S=2/3  
他 S=1/3

写真図版87 遺構内出土遺物 (20)



261

262



263

264

265

266

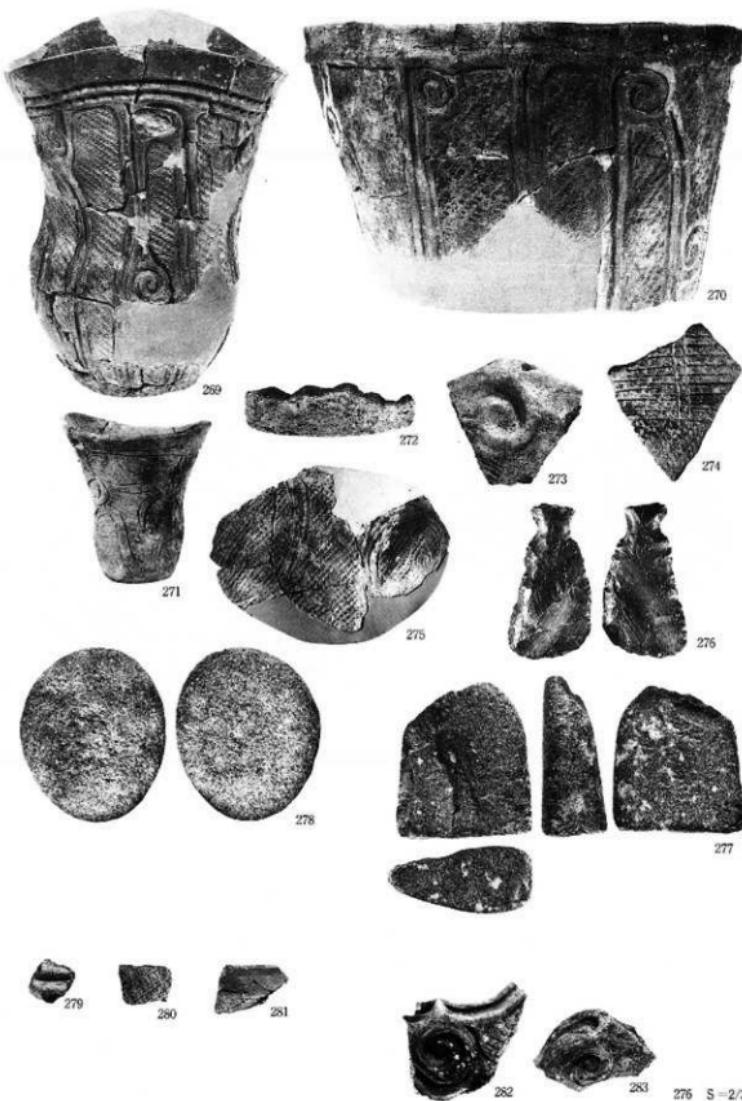
267



268

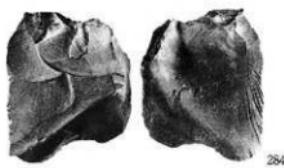
261・266・268 S = 2/3  
他 S = 1/3

写真図版88 遺構内出土遺物 (21)



写真図版89 遺構内出土遺物 (22)

276 S = 2/3  
他 S = 1/3



284



285



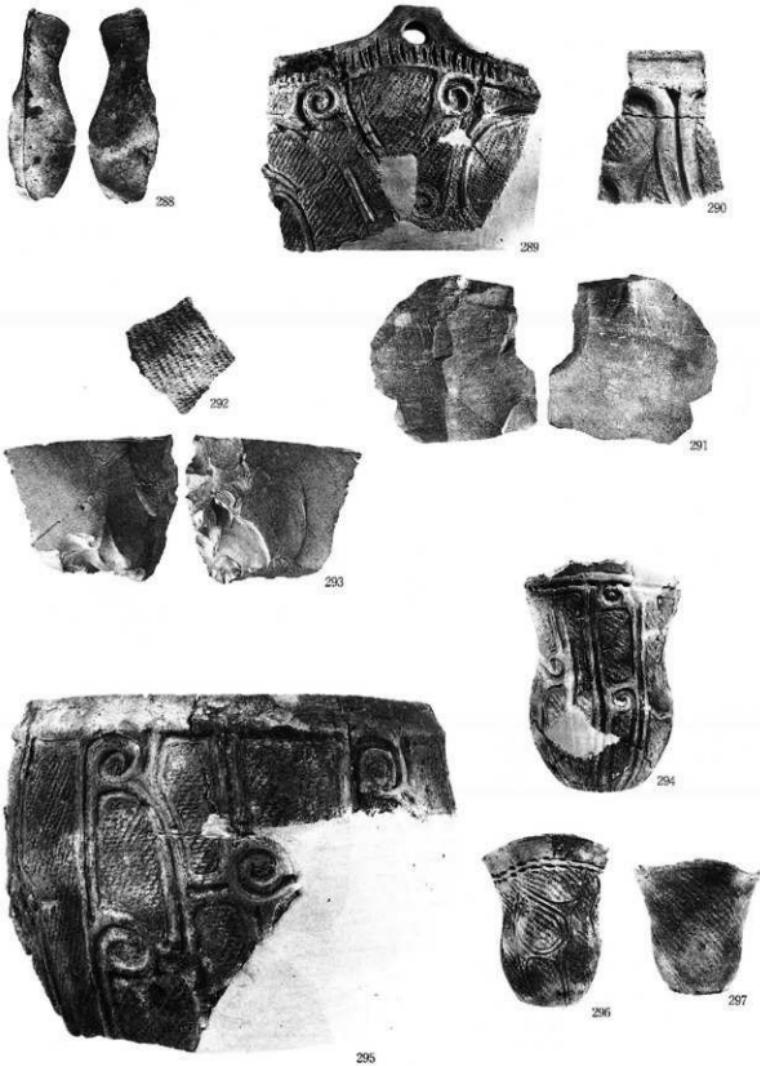
286



287

284 S = 2/3  
他 S = 1/3

写真図版90 遺構内出土遺物 (23)



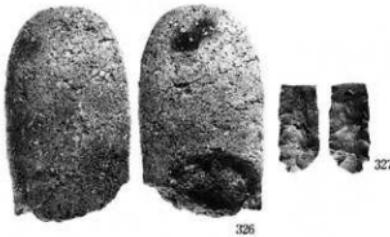
写真図版91 道構内出土遺物 (24)

S = 2/3  
他 S = 1/3



写真図版92 造構内出土遺物 (25)

303・306・308・316・318 S=2/3  
他 S=1/3

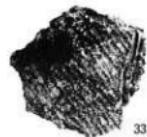


319・321・324・325・327 S=2/3

322 S=2/9

他 S=1/3

写真図版93 遺構内出土遺物 (26)



331



332



333



334



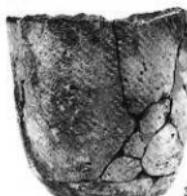
335



337



338



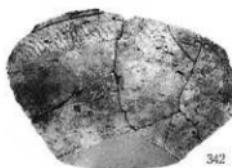
339



340



341



342



343

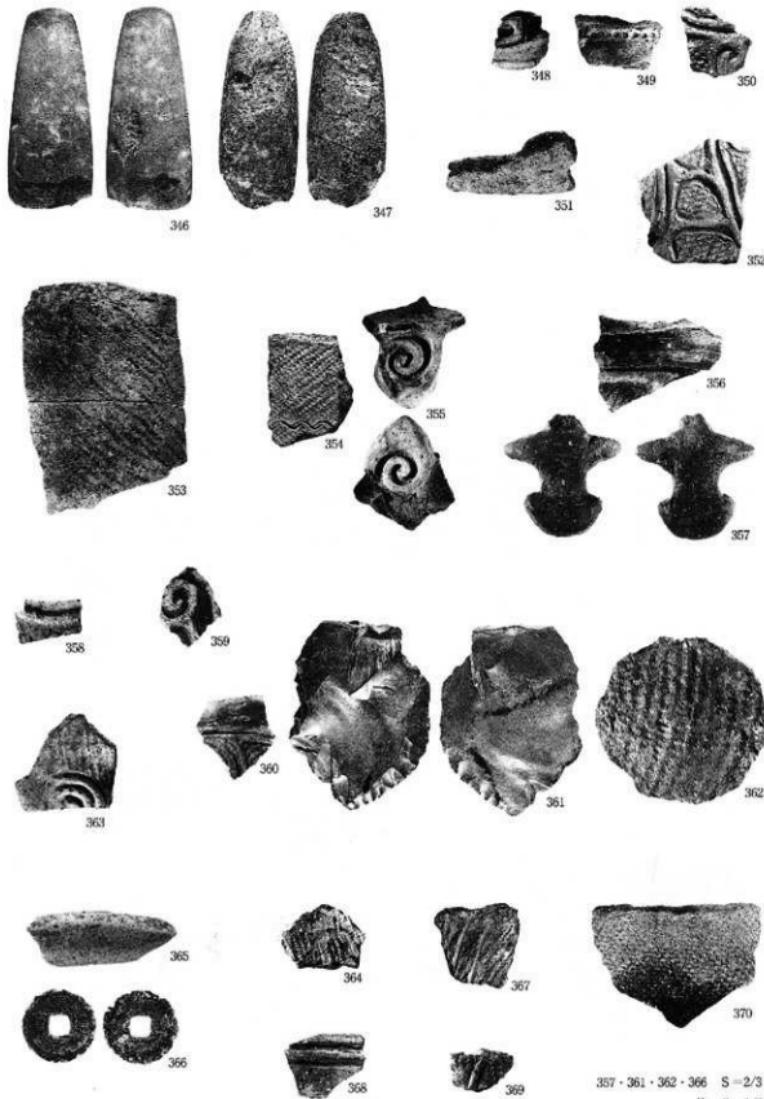


344

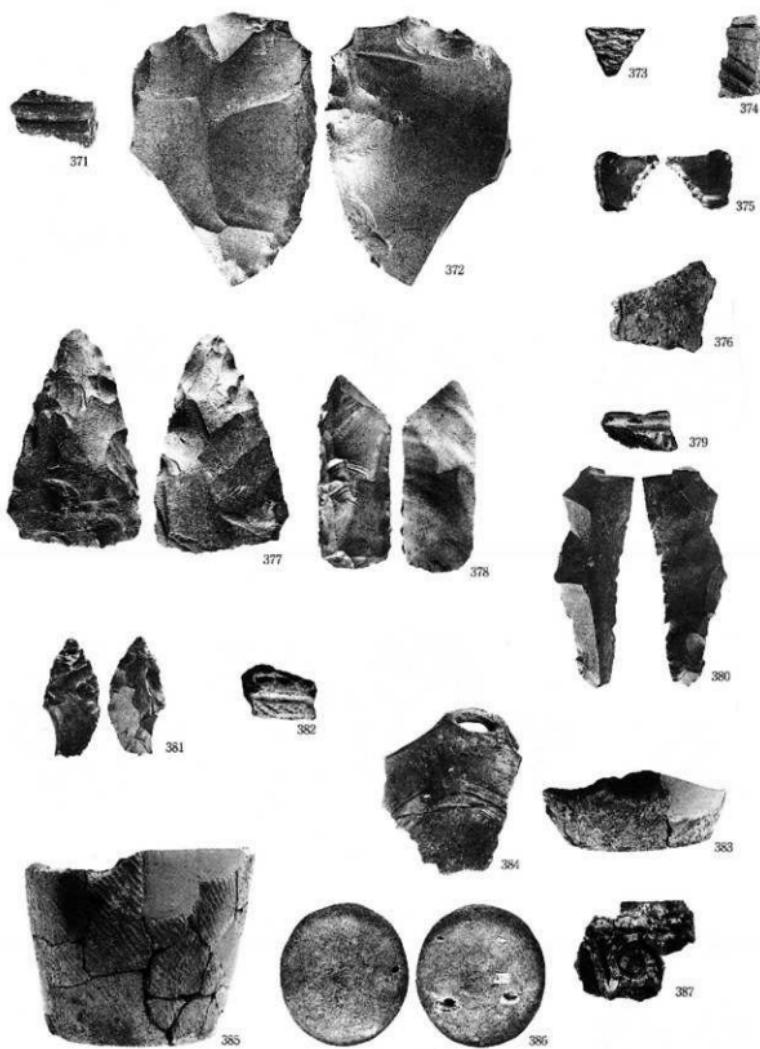


343~345 S=2/3  
他 S=1/3

写真図版94 遺構内出土遺物 (27)

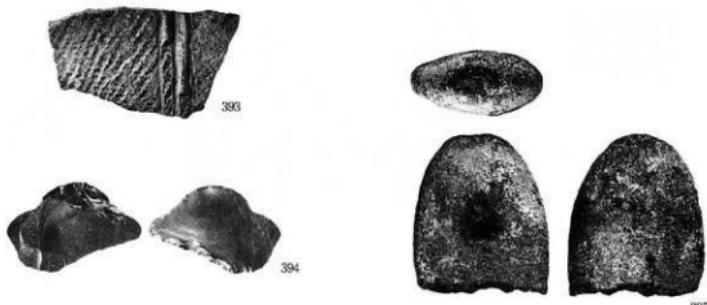
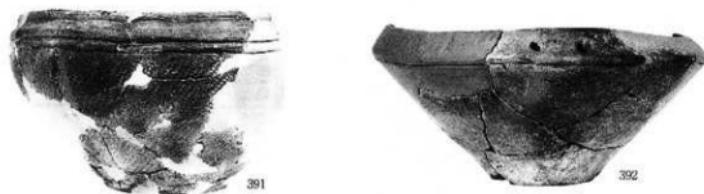
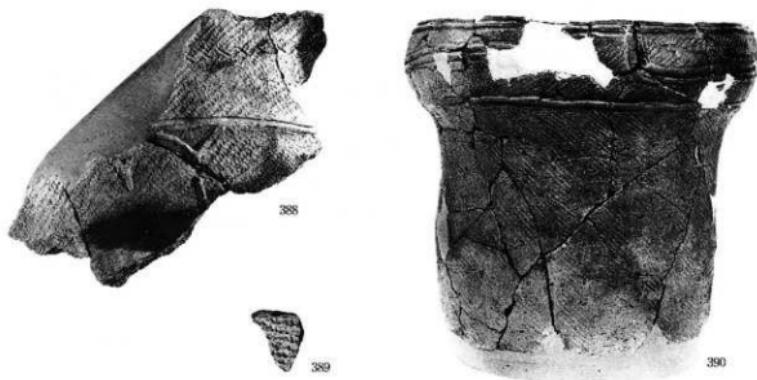


写真図版95 遺構内出土遺物 (28)



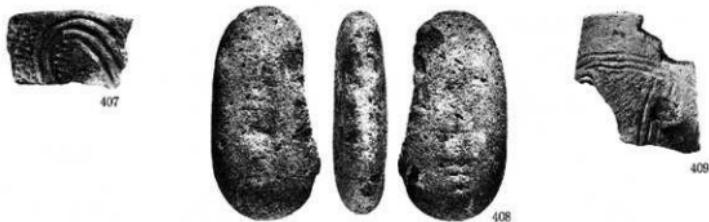
372・377~381 S=2/3  
他 S=1/3

写真図版96 遺構内出土遺物 (29)



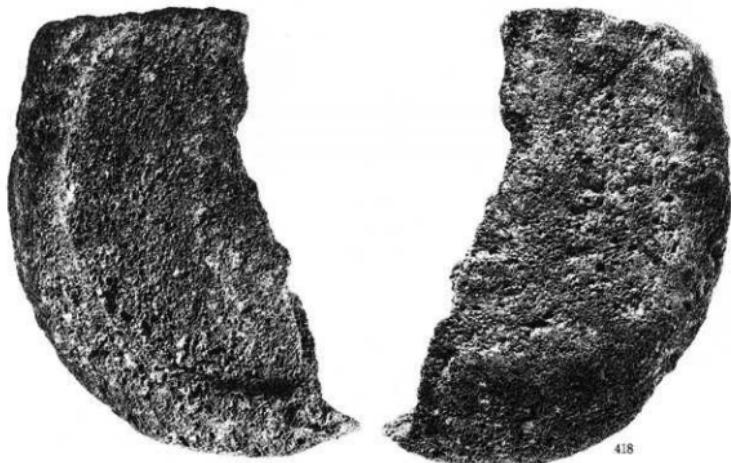
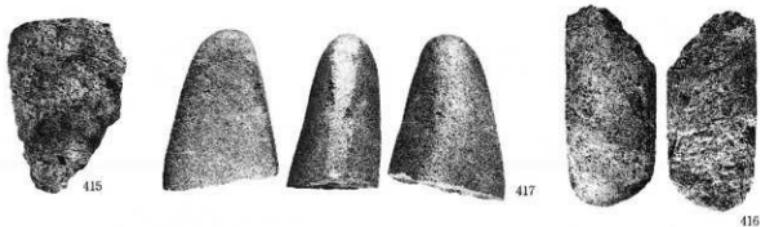
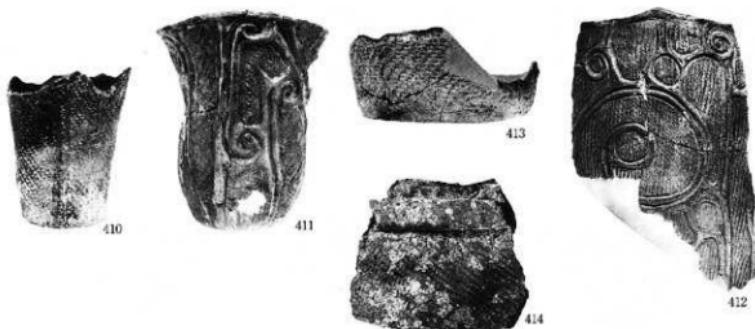
写真図版97 遺構内出土遺物 (30)

394 S = 2/3  
他 S = 1/3



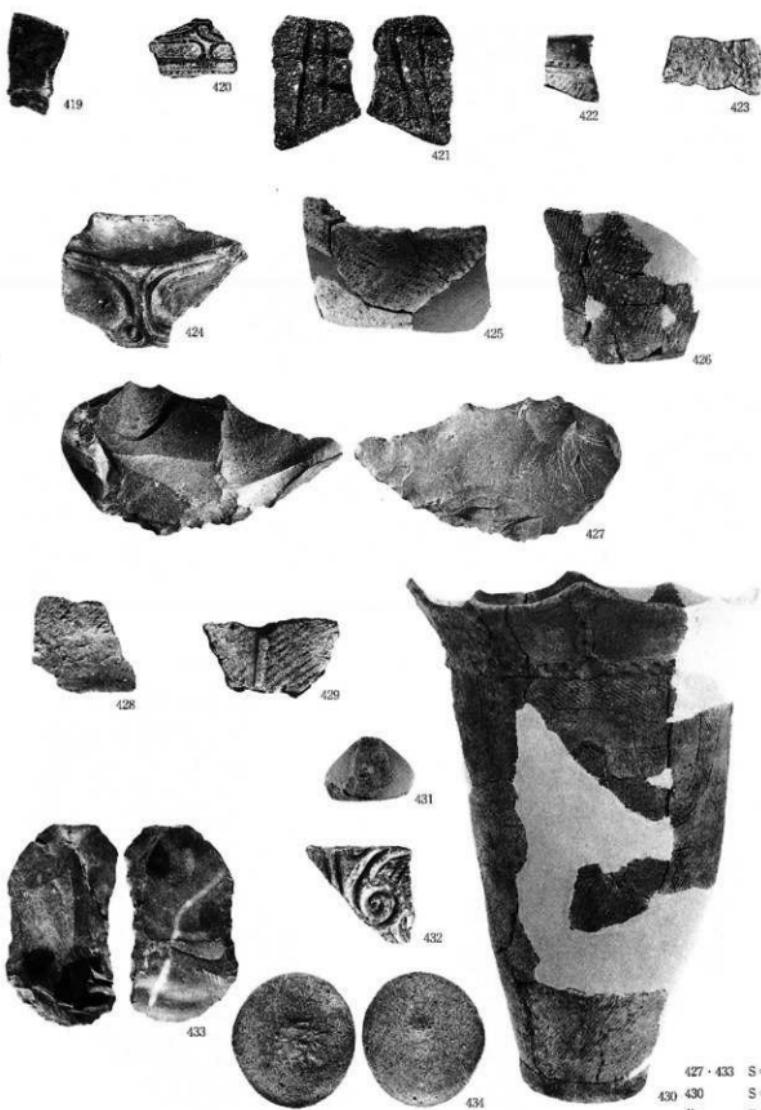
398 不定箱尺  
他 S=1/3

写真図版98 遺構内出土遺物 (31)

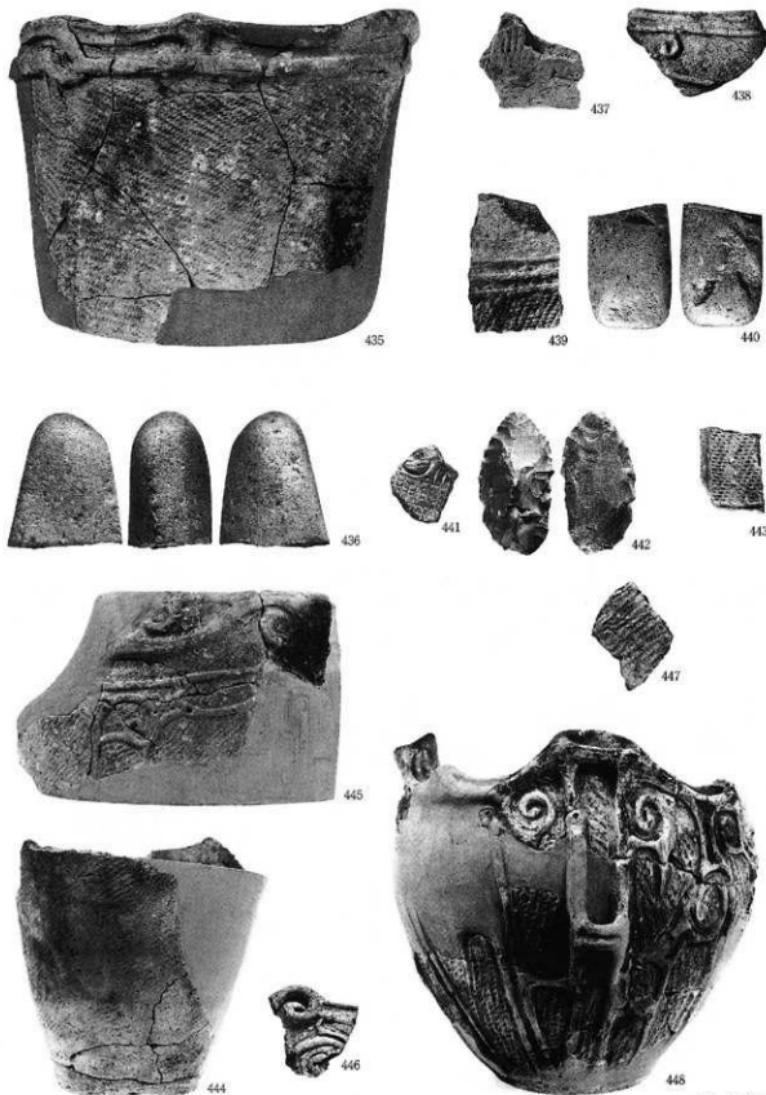


写真図版99 遺構内出土遺物 (32)

S = 1/3

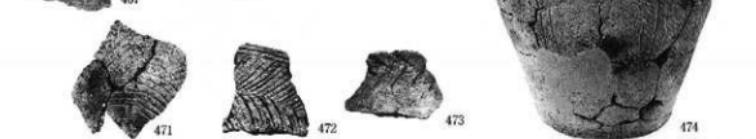
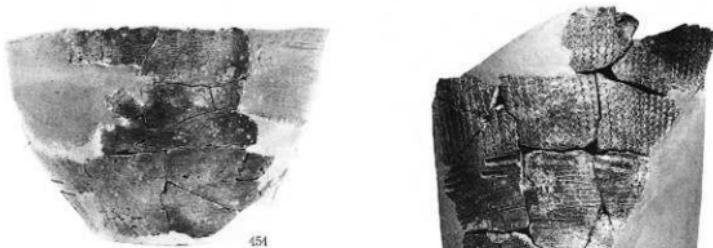


写真図版100 遺構内出土遺物 (33)



写真図版101 遺構内出土遺物 (34)

4/2 S = 2/3  
他 S = 1/3



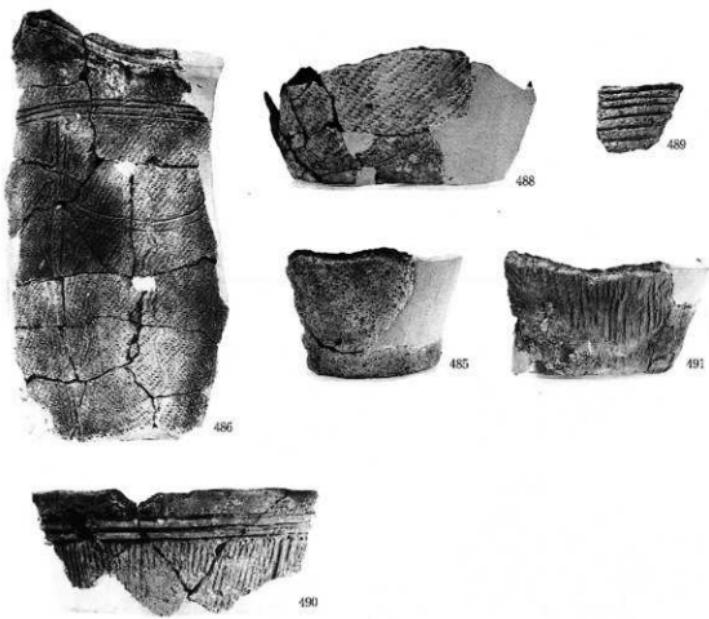
写真図版102 遺構外出土遺物（1）

474 S=2/9  
他 S=1/3



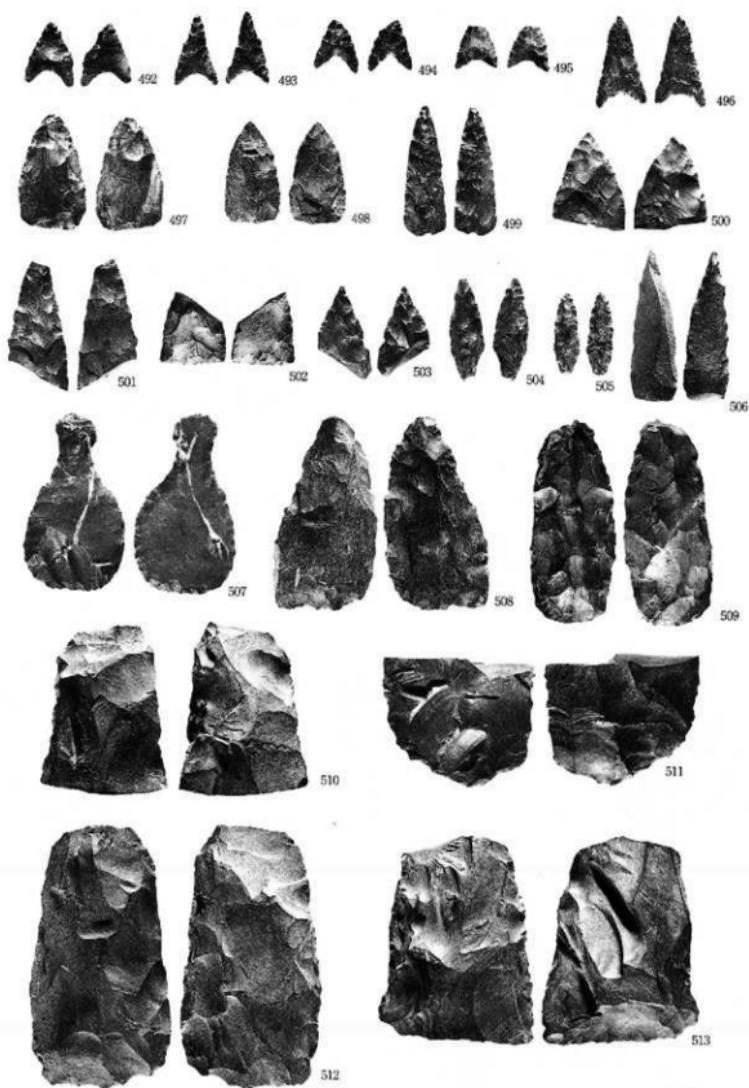
写真図版103 遺構外出土遺物（2）

$S = 1/3$



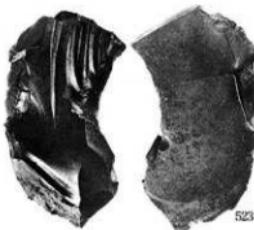
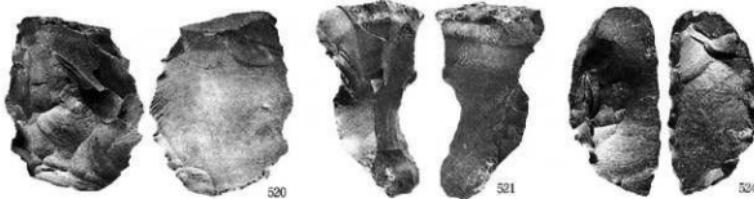
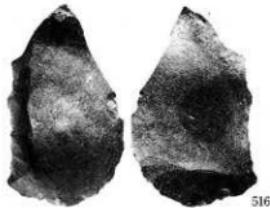
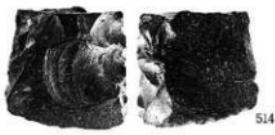
S = 1/3

写真図版104 遺構外出土遺物（3）



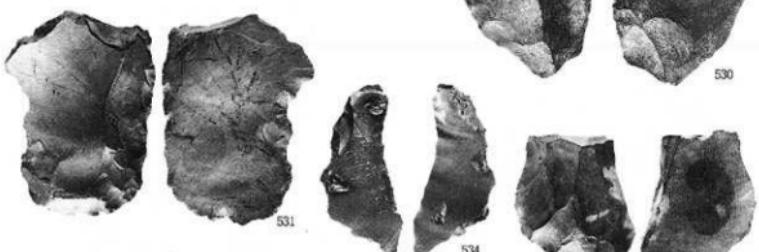
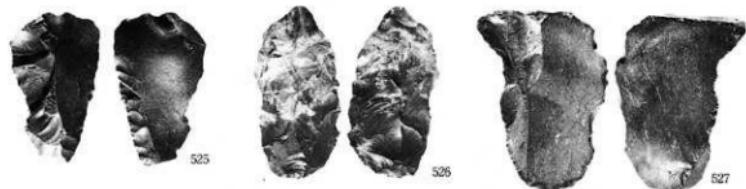
S=2/3

写真図版105 遺構外出土遺物（4）



S - 2/3

写真図版106 遺構外出土遺物（5）



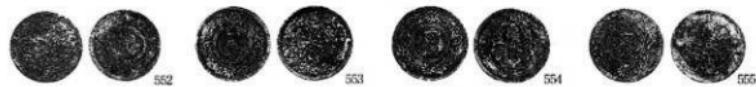
S = 2/3

写真図版107 遺構外出土遺物（6）



写真図版108 遺構外出土遺物（7）

547~551 S=2/3  
他 S=1/3



S = 2/3

写真図版109 遺構外出土遺物（8）

**報告書抄録**

ふりがな	さんのうやまいせきだいくじはっくつちょうさほうこくしょ							
書名	山王山遺跡第9次発掘調査報告書							
副書名	盛岡地方気象台建設関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第316集							
編著者名	菊地榮壽							
編集機関	JR岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL 019-638-9001・9002							
発行年月日	西暦1999年11月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 道番号	北緯 東経	調査期間	調査面積	調査原因		
山王山遺跡	盛岡市山王町 7-60	03201 L E 17 -0068	39° 41' 45"	141° 10' 8"	19980408~ 19980806	2,000m <sup>2</sup>	盛岡地方気象台建設に伴う緊急発掘調査	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
山王山遺跡	集落跡	縄文時代早期 中期	竪穴状遺構 竪穴住居跡 土坑 焼土遺構	2棟 28棟 119基 2基	縄文土器 石器 土製品 石製品	埋甕を伴う竪穴住居跡を2棟検出した。		

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所長 佐藤 基  
副所長 伊藤 直可

〔管理〕

管理課長 川浪清徳  
主任 主立花多加志  
主任 主日影駿吉

〔調查第一課〕

課長 小田野 哲文  
課長補佐 佐々木 清宗  
主任文化財 井孝透  
専門文化財員 酒井 小山内

文化財専門調査員 中田吉川

小笠原 健一郎  
鳥居 達人

演山 加  
佐々木 進悦  
安藤 由紀夫

木戸口 株子  
小野寺 正之  
阿部 勝則

正彦人  
直人晃  
木晃

佐藤淳一  
菅原靖彦  
半澤武彦

朝倉雄廣人  
菊池貴広招  
村上

本多準一郎  
中村直美  
丸山浩治

期限付賃職門専用

江藤弘広  
小林鳳

嘱託　藤島　患ト光子曰唐  
タタ　新田　佐々木

〔調査第二課〕	課長	高橋	右衛門
課長	補佐	中川	重義
主任文化	財政監査	橋	貞
専門文化	文化監査	館	介身
専門文化	高古		

澄幸一  
眞芳眞  
尾原小  
阿松松

タ 藤 徹  
タ 前 稔  
タ 金 子 佐知子

計悟務

晴山雅光之孫

杉沢 昭太郎  
浦 浩二郎  
北村 忠照

昭彦聰秀  
行子木遷

音彦規義俊

思和熙里  
田北吉谷

期限付

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第316集

## 山王山遺跡第9次発掘調査報告書

盛岡地方気象台建設関連遺跡発掘調査

印刷 平成11年11月24日

発行 平成11年11月30日

発行 (株)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185  
TEL (019) 638-9001・9002  
FAX (019) 638-8563

印刷 川口印刷工業株式会社  
〒020-0841 岩手県盛岡市羽場10-1-2  
TEL (019) 632-2211

